

1985

# 樋村遺跡

長野県佐久市平賀樋村遺跡発掘調査報告書

(遺構編)

昭和60年3月

長野県佐久市教育委員会



## 序 文

佐久市教育委員会

教育長 大井昭二

現代日本の繁栄は、日本大陸出現から築きあげられた祖先の生活文化の一歩一歩の積み重ねにより生れたものである。

したがって、人類が生存していく上での食糧文化の発達により移動民族から定住民族に移り変り、その生活様式がこの佐久平においても極めて貴重な文化財として地下に存在することは明らかであり、これらを保護保存し未来に伝承することは、現代に生きる我々の責務である。

昭和47年頃の日本列島改造論によりこの佐久平にもその影響が出、工場の進出や核家族化による宅地化、食糧事情に伴う水田改良事業等々、各種開発事業が進み埋蔵文化財の発掘調査は益々盛んに行なわれるようになってきた。

佐久市大字平賀地籍の種村遺跡調査は、県営圃場整備事業の施工に先だち第一次を昭和57年に、第二次を昭和58年と二年連続で晴天風雨の中で長期に亘り実施された。

現場は強粘土質のため晴天が続くと岩のように硬くなり、又雨が降ると道具にねばりつくと言った悪条件の中で調査員の方々をはじめ地元協力者の方々も汗と土まみれになり非常に苦労されました。

遺構は10m×11.6mという県内初の大型住居址を始め312軒、土壙46基、堅穴状遺構11、特殊遺構10、掘立柱建物址19、その他、環濠2、溝、ピット多數、銅環、土鈴、玉類等多數出土し、県下では初現の大集落遺跡であり、これらの調査結果は、考古学の上から佐久の歴史ばかりでなく、長野県の郷土を解明する上で貴重な資料となることを望むものである。

本調査は東信土地改良事務所及び佐久平土地改良区をはじめ、地権者の皆様の並々ならぬ御理解と御協力により行なわれたもので、その御厚意に対し衷心より謝意を表すと共に、藤沢平治団長をはじめとする調査員、調査補助員、協力者の方々の御協力に対しても厚くお礼を申し上げ刊頭の言葉とします。

## 例　　言

1. 本書は、昭和57年9月10日～10月13日にかけて第1次発掘調査を行ない、次年度の5月1日～11月30日にかけて第2次調査を行なった、佐久市大字平賀北耕地に所在する穂村遺跡の調査報告書である。
2. 本調査は、東信土地改良事務所の委託を受けて佐久市教育委員会が実施し、農家負担分は国庫補助事業として実施した。
3. 本調査は、藤沢平治、林幸彦を発掘担当者とし、佐久考古学会員有志を調査員に、地元穂村、荒屋、新町、岸野、岩田、その他地区の方々の協力を得て実施した。
4. 本書に挿入した遺構の実測図、図版の整理作業は次の分担で行なった。
  - ・遺構実測図整理・点検　島田恵子、早川俊彦
  - ・遺構トレース（住居址）小井土節子（カマド、その他遺構）神部妙子（全体図）島田恵子
  - ・遺構スクリントーン貼付他　三石延雄、橋詰勝子、橋詰信子
  - ・住居址一覧表　大井和子、前島弘子
  - ・図版作成　三石宗一、佐々木宗昭
  - ・写真撮影　（57年度）林　幸彦　（58年度）島田恵子、佐々木宗昭、細萱健一
- また、原稿執筆分担は、本文末に文責を記した。尚、大遺跡であるにもかかわらず整理作業が短期間であつたため、詳細な分析、検討が加えられず、遺構のみの提示として本書をまとめた、不備な点をご理解されたい。
5. 本書の編集は、島田恵子が行ない、林幸彦が校閲した。
6. 本遺跡の資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。尚、本書に掲載できなかつた写真、スライドも多數整理されているので活用されたい。

なお、調査にあたり、長野県教育委員会文化課指導主事郷道哲章、小林学先生に御指導いただいた。また、調査期間中は田中圭一郎・横森道二宅および地元の方々から物心両面にわたる御援助をいただきここに厚く御礼申し上げます。さらに、発掘調査にあたっては、次の研究会・研究者・地元の方々に視察いただき、適切なご指導、ご助言を賜った。記して厚くお礼申し上げます。

研究会　中込郷土史研究会・中込読書クラブ・野沢郷土史研究会・南佐久郡佐久町郷土の歴史を知る会・南佐久郡誌刊行会・小町文化財調査委員会・群馬県埋文センター

研究者　井出正義・岩崎卓也・臼田都雄・沖浦悦夫・唐木孝雄・椿沼恵介・菊地清人・桐原健・小須田盛屋・小平和夫・見玉卓文・小林公明・小柳義男・佐藤敏・佐藤信之・高林重水・高村博文・土屋忠芳・新村薫・花岡弘・林茂樹・鍵口誠司・福島邦男・三上徹也・宮坂光昭・宮沢恒之・宮下健司・森山公一・矢島宏雄・矢口良忠・山根洋子・由井明・横山順一・土屋　積

学校関係　城山小学校郷土クラブ・中込中学校サイクリング社会クラブ・中込中学校郷土クラブ・少年考古学教室参加者（300名）

地元関係　青木宮彦・岩下文次・江元石雄・江元恒雄・江元輝雄・江元信明・江元辰雄・片井清人・片井喜春・黒沢庸一・杉岡義人・田中圭一郎・田中和栄・田中好幸・田中秀雄・田中喜好・田中原吉・田中恒雄・田中丑三・田中貞市・田中栄・田中陳雄・田中好一・田中謙・田中八千代・田中行雄・田中紀雄・田中利治・田中泉・田中寛・田中隆幸・田中恵治・田中強・田中勤・田中政三郎・富岡万佐伍・中島春五郎・中島宇女じ・中島草・中島竹子・林芳弘・松下駒吉・武藤一江・武藤那一年・武藤茂人・武藤厚・武藤隆輝・柳沢秋功・柳沢宏幸・柳沢恒喜・柳沢一郎・柳沢寛一郎・柳沢平八郎・柳沢為次郎・柳沢運治・山田一夫・横森道二　他の皆さん（敬称略）

## 凡 例

### 1 遺構の略称

弥生時代住居址——Y、古墳～平安時代住居址——H、竪穴状遺構——Ta、土壙——D

特殊遺構——T、掘立柱建物址——Ho、溝状遺構——M

### 2 掘図の縮尺 住居址——1/80 炉——1/30 カマド——1/40 竪穴状遺構——1/80 土壙——1/40

特殊遺構——1/80 掘立柱建物址——1/80 溝状遺構——1/400 環濠——1/240

各掘図中にはスケールを付し、縮尺を明示した。

### 3 掘図中におけるスクリントーンは下記のものを表わす。

カマド、焼土  住居址断面図  住居址内の  は焼土の散布状態を表わす。

### 4 掘図中のカマド袖部断面は、使用中における熱の伝導によって生じた変化の記録である。

○袖部の点線は焼土の付着および赤色の焼けこみを表わす。

○a・bの記号は、変化した色の状態をあらわし、各カマド毎に説明を加えた。

### 5 標高は、東信土地改良事務所が設置したH=673.73を基準点として使用し、各地区毎に基点を設定した。尚、水系レベルは各遺構毎に統一してある。

### 6 重複住居址の切り合い関係をわかり易くするため、下記のように線の分類をおこなった。

----- 遺構が破壊されたり、新しい遺構によって切られてしまった、遺構のプランを想定した線

—— 古い遺構を切って存在する新しい遺構のプラン（古い遺構の床面を破壊している場合に使用）

— 調査時に検出された新しい遺構のプランで、古い遺構掘り下げ段階で、新しい遺構を取り除いてしまったため、すでに消滅してしまったプランの線（古い遺構の図面を示す場合のみ使用）

### 7 掘図は、原則として住居址のNo順に掲載した。一部割付けの都合により前後したものがある。

### 8 図版は、地区別に順を追って掲載したが、A地区2については整理作業過程でのミスから住居址NoにH201、H287を用いているため、このNoのみ前後している。

### 9 第2表住居址一覧表中における規模は、カマドが所在する側より計測してある。

## 本文目次

序文	
例言	
凡例	
本文目次	
挿図目次	
図版目次	
I 発掘調査の経緯	1
1. 調査に至る動機	1
2. 調査の概要	1
3. 発掘調査の経緯	3
II 遺跡の環境	7
1. 横村遺跡付近の地形地質の概要	7
2. 考古学的環境	9
III 層序	13
IV 遺構	14
1. 弥生時代住居址	14
2. 古墳時代、奈良時代、平安時代住居址	24
3. 垂穴状造構	194
4. 土壙	196
5. 特殊遺構	197
6. 捩立柱建物址	200
7. 環濠	208
8. 溝状遺構	209
V まとめ	227
引用参考文献	

## 挿図目次

第1図 横村遺跡地形図及び発掘区設定図	6
第2図 (1)横村遺跡周辺の地質図	7
(2)千曲川概念図	8
第3図 横村遺跡周辺の遺跡分布図	10
第4図 層序模式図	13
1. 弥生時代住居址	
第5図 Y 1号住居址実測図	14
第6図 Y 1号住居址炉実測図	14
第7図 Y 2号住居址実測図	14
第8図 Y 2号住居址炉実測図	14
第9図 Y 3号住居址実測図	14
第10図 Y 3号住居址炉実測図	15
第11図 Y 4号住居址実測図	15
第12図 Y 4号住居址炉実測図	15
第13図 Y 5号住居址実測図	15
第14図 Y 6号住居址実測図	15
第15図 Y 6号住居址炉実測図	15
第16図 Y 7号住居址実測図	16
第17図 Y 7号住居址炉実測図	16
第18図 Y 8号住居址実測図	17

第19図	Y 8号住居址炉実測図	16
第20図	Y 9号住居址実測図	17
第21図	Y 9号住居址炉実測図	16
第22図	Y 10号住居址実測図	18
第23図	Y 10号住居址炉実測図	18
第24図	Y 11号住居址実測図	18
第25図	Y 11号住居址炉 1 実測図	18
第26図	Y 11号住居址炉 2 実測図	18
第27図	Y 12号住居址実測図	19
第28図	Y 12号住居址炉実測図	20
第29図	Y 13号住居址実測図	19
第30図	Y 14号住居址実測図	20
第31図	Y 14号住居址炉実測図	20
第32図	Y 15号住居址実測図	20
第33図	Y 16号住居址実測図	21
第34図	Y 17号住居址実測図	21
第35図	Y 18号住居址実測図	22
第36図	Y 19号住居址実測図	22
第37図	Y 19号住居址炉実測図	22
第38図	Y 20号住居址実測図	23
第39図	Y 21号住居址実測図	23
第40図	Y 22号住居址実測図	24
2. 古墳時代・奈良時代・平安時代住居址		
第41図	H 1号住居址実測図	24
第42図	H 2号住居址実測図	24
第43図	H 2号住居址カマド実測図	25
第44図	H 3号住居址実測図	25
第45図	H 3号住居址カマド実測図	25
第46図	H 4号住居址実測図	25
第47図	H 4号住居址カマド実測図	26
第48図	H 5号住居址実測図	26
第49図	H 5号住居址カマド実測図	26
第50図	H 6号住居址実測図	27
第51図	H 6号住居址カマド実測図	26
第52図	H 7号住居址実測図	27
第53図	H 7号住居址カマド実測図	26
第54図	H 8号住居址実測図	28
第55図	H 8号住居址カマド実測図	27
第56図	H 9号・16号住居址実測図	28
第57図	H 9号住居址カマド実測図	27
第58図	H 10号住居址実測図	29
第59図	H 10号住居址カマド実測図	29
第60図	H 11号住居址実測図	29
第61図	H 11号住居址カマド実測図	30
第62図	H 12号住居址実測図	30
第63図	H 13号住居址実測図	30
第64図	H 13号住居址カマド実測図	30
第65図	H 14号住居址実測図	31
第66図	H 14号住居址カマド実測図	31
第67図	H 15号住居址実測図	31
第68図	H 15号住居址カマド実測図	32
第69図	H 17号住居址実測図	32
第70図	H 18号住居址実測図	32
第71図	H 18号住居址カマド実測図	32
第72図	H 19号住居址実測図	33
第73図	H 20号住居址実測図	33
第74図	H 21号住居址実測図	34
第75図	H 22号住居址実測図	34
第76図	H 22号住居址カマド実測図	34
第77図	H 24号住居址実測図	35
第78図	H 23・25号住居址実測図	36
第79図	H 25号住居址カマド実測図	35
第80図	H 26号住居址実測図	37
第81図	H 26号住居址カマド実測図	36
第82図	H 27号住居址実測図	38
第83図	H 28号住居址実測図	39
第84図	H 29号住居址実測図	40
第85図	H 29号住居址カマド実測図	39
第86図	H 30号住居址実測図	37
第87図	H 31号住居址実測図	41
第88図	H 31号住居址カマド実測図	40
第89図	H 32号住居址実測図	42
第90図	H 33号住居址実測図	43
第91図	H 33号住居址カマド実測図	41
第92図	H 34号住居址実測図	43
第93図	H 34号住居址カマド実測図	42
第94図	H 35号住居址実測図	44
第95図	H 35号住居址カマド実測図	44
第96図	H 36号住居址実測図	45
第97図	H 36号住居址カマド実測図	44

第98図	H37号住居址実測図	45
第99図	H38号住居址実測図	46
第100図	H38号住居址カマド実測図	46
第101図	H39号住居址実測図	46
第102図	H39号住居址カマド実測図	46
第103図	H40号住居址実測図	47
第104図	H41号住居址実測図	47
第105図	H41号住居址カマド実測図	47
第106図	H42号住居址実測図	48
第107図	H42号住居址カマド実測図	48
第108図	H43号住居址実測図	48
第109図	H44号住居址実測図	49
第110図	H44号住居址カマド実測図	49
第111図	H45号住居址実測図	49
第112図	H45号住居址カマド実測図	50
第113図	H46号住居址実測図	50
第114図	H46号住居址カマド実測図	50
第115図	H47号住居址実測図	51
第116図	H48号住居址実測図	51
第117図	H48号住居址カマド実測図	50
第118図	H49号住居址実測図	52
第119図	H50号住居址実測図	52
第120図	H50号住居址カマド実測図	53
第121図	H51号住居址実測図	53
第122図	H51号住居址カマド実測図	53
第123図	H52号住居址実測図	54
第124図	H53号住居址実測図	54
第125図	H54号住居址実測図	55
第126図	H55号住居址実測図	56
第127図	H55号住居址カマド実測図	56
第128図	H56号住居址実測図	56
第129図	H57号住居址実測図	57
第130図	H57号住居址カマド実測図	57
第131図	H58号住居址実測図	58
第132図	H58号住居址カマド実測図	57
第133図	H59号住居址実測図	58
第134図	H59号住居址カマド実測図	58
第135図	H60号住居址実測図	59
第136図	H60号住居址カマド実測図	59
第137図	H61号住居址実測図	60
第138図	H62号住居址実測図	61
第139図	H62号住居址カマド実測図	59
第140図	H63号住居址実測図	60
第141図	H64号住居址実測図	62
第142図	H65号住居址実測図	61
第143図	H65号住居址カマド実測図	63
第144図	H66号住居址実測図	63
第145図	H66号住居址カマド実測図	63
第146図	H67号住居址実測図	64
第147図	H68号住居址実測図	64
第148図	H68号住居址カマド実測図	64
第149図	H69号住居址実測図	65
第150図	H69号住居址カマド実測図	65
第151図	H70号住居址実測図	65
第152図	H70号住居址カマド実測図	66
第153図	H71号住居址実測図	66
第154図	H71号住居址カマド実測図	66
第155図	H72号住居址実測図	67
第156図	H72号住居址カマド実測図	67
第157図	H73号住居址実測図	67
第158図	H73号住居址カマド実測図	67
第159図	H74号住居址実測図	68
第160図	H75号住居址実測図	68
第161図	H75号住居址カマド実測図	69
第162図	H76号住居址実測図	69
第163図	H76号住居址カマド実測図	69
第164図	H77号住居址実測図	69
第165図	H77号住居址カマド実測図	69
第166図	H78号住居址実測図	70
第167図	H79号住居址実測図	71
第168図	H79号住居址カマド実測図	70
第169図	H80号住居址実測図	71
第170図	H81号住居址実測図	72
第171図	H81号住居址カマド実測図	70
第172図	H82号住居址実測図	72
第173図	H83号住居址実測図	73
第174図	H84号住居址実測図	73
第175図	H85号住居址実測図	73
第176図	H85号住居址カマド実測図	74
第177図	H86号住居址実測図	74

第178図	H86号住居址カマド実測図	74
第179図	H87号住居址実測図	75
第180図	H88号住居址実測図	76
第181図	H88号住居址カマド実測図	75
第182図	H89号住居址実測図	76
第183図	H89号住居址カマド実測図	75
第184図	H90号住居址実測図	77
第185図	H90号住居址カマド実測図	77
第186図	H91号住居址実測図	78
第187図	H91号住居址カマド実測図	77
第188図	H92号住居址実測図	78
第189図	H93号住居址実測図	78
第190図	H94号住居址実測図	79
第191図	H95号住居址実測図	79
第192図	H96号住居址実測図	80
第193図	H96号住居址カマド実測図	80
第194図	H97号住居址実測図	81
第195図	H97号住居址カマド実測図	80
第196図	H98号住居址実測図	81
第197図	H98号住居址カマド実測図	81
第198図	H99号住居址実測図	81
第199図	H99号住居址カマド実測図	81
第200図	H100号住居址実測図	82
第201図	H101号住居址実測図	82
第202図	H101号住居址カマド実測図	82
第203図	H102号住居址実測図	83
第204図	H103号住居址実測図	83
第205図	H104号住居址実測図	84
第206図	H105号住居址実測図	85
第207図	H105号住居址カマド実測図	85
第208図	H106号住居址実測図	85
第209図	H106号住居址カマド実測図	85
第210図	H107号住居址実測図	86
第211図	H107号住居址カマド実測図	86
第212図	H108号住居址実測図	87
第213図	H108号住居址カマド実測図	87
第214図	H109号住居址実測図	88
第215図	H109号住居址カマド実測図	90
第216図	H110号住居址実測図	88
第217図	H111号住居址実測図	89
第218図	H111号住居址カマド実測図	90
第219図	H112号住居址実測図	90
第220図	H112号住居址カマド実測図	91
第221図	H113号住居址実測図	91
第222図	H113号住居址カマド実測図	91
第223図	H114号住居址実測図	91
第224図	H114号住居址カマド実測図	92
第225図	H115号住居址実測図	92
第226図	H116号住居址実測図	92
第227図	H116号住居址カマド実測図	92
第228図	H117号住居址実測図	93
第229図	H117号住居址カマド実測図	93
第230図	H118号住居址実測図	94
第231図	H118号住居址カマド実測図	94
第232図	H119号住居址実測図	95
第233図	H119号住居址カマド実測図	94
第234図	H120号住居址実測図	95
第235図	H120号住居址カマド実測図	96
第236図	H121号住居址実測図	96
第237図	H121号住居址カマド実測図	96
第238図	H122号住居址実測図	97
第239図	H122号住居址カマド実測図	97
第240図	H123号住居址実測図	97
第241図	H123号住居址カマド実測図	99
第242図	H124号・125号住居址実測図	98
第243図	H125号住居址カマド実測図	99
第244図	H126号住居址実測図	99
第245図	H126号住居址カマド実測図	99
第246図	H127号住居址実測図	100
第247図	H127号住居址カマド実測図	101
第248図	H128号住居址実測図	101
第249図	H129号住居址実測図	101
第250図	H129号住居址カマド実測図	101
第251図	H130号住居址実測図	102
第252図	H131号住居址実測図	102
第253図	H132号住居址実測図	103
第254図	H132号住居址カマド実測図	103
第255図	H133号住居址実測図	103
第256図	H133号住居址カマド実測図	103
第257図	H134号住居址実測図	104

第258図	H135号住居址実測図	.....	104
第259図	H135号住居址カマド実測図	.....	104
第260図	H136号住居址実測図	.....	105
第261図	H136号住居址カマド実測図	.....	105
第262図	H137号住居址実測図	.....	105
第263図	H137号住居址カマド実測図	.....	106
第264図	H138号住居址実測図	.....	106
第265図	H138号住居址カマド実測図	.....	107
第266図	H139号住居址実測図	.....	106
第267図	H139号住居址カマド実測図	.....	107
第268図	H140号住居址実測図	.....	107
第269図	H140号住居址カマド実測図	.....	107
第270図	H141号住居址実測図	.....	108
第271図	H141号住居址カマド実測図	.....	108
第272図	H142号住居址実測図	.....	108
第273図	H142号住居址カマド実測図	.....	109
第274図	H143号住居址実測図	.....	109
第275図	H143号住居址カマド実測図	.....	109
第276図	H144号住居址実測図	.....	110
第277図	H144号住居址カマド実測図	.....	110
第278図	H145号住居址実測図	.....	110
第279図	H146号住居址実測図	.....	111
第280図	H146号住居址カマド実測図	.....	110
第281図	H147号住居址実測図	.....	111
第282図	H147号住居址カマド実測図	.....	111
第283図	H148号住居址実測図	.....	112
第284図	H148号住居址カマド実測図	.....	112
第285図	H149号住居址実測図	.....	112
第286図	H150号住居址実測図	.....	112
第287図	H150号住居址カマド実測図	.....	113
第288図	H151号住居址実測図	.....	113
第289図	H151号住居址カマド実測図	.....	113
第290図	H152号住居址実測図	.....	113
第291図	H152号住居址カマド実測図	.....	114
第292図	H153号住居址実測図	.....	114
第293図	H153号住居址カマド実測図	.....	114
第294図	H154号住居址実測図	.....	114
第295図	H155号住居址実測図	.....	115
第296図	H156号住居址実測図	.....	115
第297図	H156号住居址カマド実測図	.....	115
第298図	H157号住居址実測図	.....	116
第299図	H157号住居址カマド実測図	.....	116
第300図	H158号住居址実測図	.....	116
第301図	H158号住居址カマド実測図	.....	117
第302図	H159号住居址実測図	.....	117
第303図	H160号住居址実測図	.....	117
第304図	H160号住居址カマド実測図	.....	118
第305図	H161号住居址実測図	.....	118
第306図	H162号住居址実測図	.....	119
第307図	H162号住居址カマド実測図	.....	120
第308図	H163号住居址実測図	.....	119
第309図	H163号住居址カマド実測図	.....	120
第310図	H164号住居址実測図	.....	120
第311図	H165号住居址実測図	.....	120
第312図	H166号住居址実測図	.....	120
第313図	H167号住居址実測図	.....	121
第314図	H168号住居址実測図	.....	121
第315図	H168号住居址カマド実測図	.....	121
第316図	H169号住居址実測図	.....	122
第317図	H169号住居址カマド実測図	.....	121
第318図	H170号住居址実測図	.....	123
第319図	H170号住居址カマド実測図	.....	122
第320図	H171号住居址実測図	.....	123
第321図	H171号住居址カマド実測図	.....	122
第322図	H172号住居址実測図	.....	124
第323図	H172号住居址カマド実測図	.....	124
第324図	H173号住居址実測図	.....	124
第325図	H173号住居址カマド実測図	.....	124
第326図	H174号住居址実測図	.....	125
第327図	H174号住居址カマド実測図	.....	125
第328図	H175号住居址実測図	.....	126
第329図	H175号住居址カマド実測図	.....	125
第330図	H176号住居址実測図	.....	127
第331図	H176号住居址カマド実測図	.....	125
第332図	H177号住居址実測図	.....	127
第333図	H178号住居址実測図	.....	127
第334図	H179号住居址実測図	.....	127
第335図	H179号住居址カマド実測図	.....	128
第336図	H180号住居址実測図	.....	128
第337図	H180号住居址カマド実測図	.....	128

第338図	H181号住居址実測図	.....	129
第339図	H182号住居址実測図	.....	129
第340図	H182号住居址カマド実測図	.....	129
第341図	H183号住居址実測図	.....	130
第342図	H183号住居址カマド実測図	.....	130
第343図	H184号住居址実測図	.....	130
第344図	H184号住居址カマド実測図	.....	131
第345図	H185号住居址実測図	.....	131
第346図	H186号住居址実測図	.....	132
第347図	H186号住居址カマド実測図	.....	132
第348図	H187号住居址実測図	.....	132
第349図	H187号住居址カマド実測図	.....	133
第350図	H188号住居址実測図	.....	133
第351図	H188号住居址カマド実測図	.....	134
第352図	H189号住居址実測図	.....	133
第353図	H189号住居址カマド実測図	.....	134
第354図	H190号住居址実測図	.....	134
第355図	H190号住居址カマド実測図	.....	134
第356図	H191号住居址実測図	.....	135
第357図	H192号住居址実測図	.....	135
第358図	H192号住居址カマド実測図	.....	136
第359図	H193号住居址実測図	.....	136
第360図	H193号住居址カマド実測図	.....	136
第361図	H194号住居址実測図	.....	137
第362図	H194号住居址カマド実測図	.....	136
第363図	H195号住居址実測図	.....	138
第364図	H195号住居址カマド実測図	.....	137
第365図	H196・197号住居址実測図	.....	138
第366図	H196号住居址カマド実測図	.....	137
第367図	H198号住居址実測図	.....	139
第368図	H199号住居址実測図	.....	139
第369図	H199号住居址カマド実測図	.....	140
第370図	H200号住居址実測図	.....	140
第371図	H200号住居址カマド実測図	.....	140
第372図	H201号住居址実測図	.....	141
第373図	H201号住居址カマド実測図	.....	141
第374図	H202号住居址実測図	.....	141
第375図	H202号住居址カマド実測図	.....	142
第376図	H203号住居址実測図	.....	142
第377図	H203号住居址カマド実測図	.....	142
第378図	H204号住居址実測図	.....	143
第379図	H205号住居址実測図	.....	143
第380図	H205号住居址カマド実測図	.....	142
第381図	H206号住居址実測図	.....	144
第382図	H206号住居址カマド実測図	.....	144
第383図	H207号住居址実測図	.....	144
第384図	H207号住居址カマド実測図	.....	144
第385図	H208号住居址実測図	.....	145
第386図	H208号住居址カマド実測図	.....	145
第387図	H209号住居址実測図	.....	145
第388図	H210号住居址実測図	.....	146
第389図	H210号住居址カマド実測図	.....	146
第390図	H211号住居址実測図	.....	147
第391図	H211号住居址カマド実測図	.....	146
第392図	H212号住居址実測図	.....	147
第393図	H213号住居址実測図	.....	148
第394図	H213号住居址カマド実測図	.....	148
第395図	H214号住居址実測図	.....	149
第396図	H214号住居址カマド実測図	.....	148
第397図	H215号・216号住居址実測図	.....	149
第398図	H216号住居址カマド実測図	.....	150
第399図	H217号住居址実測図	.....	150
第400図	H218号住居址実測図	.....	151
第401図	H219号住居址実測図	.....	150
第402図	H219号住居址カマド実測図	.....	150
第403図	H220号住居址実測図	.....	152
第404図	H220号住居址カマド実測図	.....	153
第405図	H221号住居址実測図	.....	153
第406図	H221号住居址カマド実測図	.....	153
第407図	H222号住居址実測図	.....	154
第408図	H222号住居址カマド実測図	.....	154
第409図	H223号住居址実測図	.....	155
第410図	H223号住居址カマド実測図	.....	154
第411図	H224号住居址実測図	.....	156
第412図	H224号住居址カマド実測図	.....	156
第413図	H225号住居址実測図	.....	156
第414図	H225号住居址カマド実測図	.....	156
第415図	H226号住居址実測図	.....	157
第416図	H226号住居址カマド実測図	.....	157
第417図	H227号住居址実測図	.....	157

第418図	H227号住居址カマド実測図	.....157
第419図	H228号住居址実測図	.....158
第420図	H228号住居址カマド実測図	.....158
第421図	H229号住居址実測図	.....158
第422図	H229号住居址カマド実測図	.....159
第423図	H230号住居址実測図	.....159
第424図	H230号住居址カマド実測図	.....159
第425図	H231号住居址実測図	.....160
第426図	H231号住居址カマド実測図	.....160
第427図	H232号住居址実測図	.....161
第428図	H232号住居址カマド実測図	.....161
第429図	H234号住居址実測図	.....161
第430図	H235号住居址実測図	.....162
第431図	H236号住居址実測図	.....162
第432図	H236号住居址カマドNo.1実測図	.....163
第433図	H236号住居址カマドNo.2実測図	.....163
第434図	H237号住居址実測図	.....163
第435図	H237号住居址カマド実測図	.....163
第436図	H238号住居址実測図	.....164
第437図	H238号住居址カマド実測図	.....164
第438図	H239号住居址実測図	.....165
第439図	H240号住居址実測図	.....165
第440図	H240号住居址カマド実測図	.....165
第441図	H241号住居址実測図	.....166
第442図	H242号・243号住居址実測図	.....166
第443図	H243号住居址カマド実測図	.....166
第444図	H244号住居址実測図	.....167
第445図	H244号住居址カマド実測図	.....168
第446図	H245号住居址実測図	.....167
第447図	H245号住居址カマドNo.1実測図	.....168
第448図	H245号住居址カマドNo.2実測図	.....168
第449図	H246号住居址実測図	.....169
第450図	H247号住居址実測図	.....169
第451図	H247号住居址カマド実測図	.....168
第452図	H248号住居址実測図	.....169
第453図	H248号住居址カマド実測図	.....168
第454図	H249号住居址実測図	.....170
第455図	H250号住居址実測図	.....170
第456図	H251号住居址実測図	.....171
第457図	H252号住居址実測図	.....171
第458図	H253号住居址実測図	.....172
第459図	H253号住居址カマド実測図	.....172
第460図	H254号住居址実測図	.....173
第461図	H254号住居址カマド実測図	.....172
第462図	H255号住居址実測図	.....173
第463図	H255号住居址カマド実測図	.....172
第464図	H256号住居址実測図	.....174
第465図	H257号住居址実測図	.....174
第466図	H257号住居址カマド実測図	.....174
第467図	H258号住居址実測図	.....175
第468図	H258号住居址カマド実測図	.....174
第469図	H259号住居址実測図	.....176
第470図	H259号住居址カマド実測図	.....174
第471図	H260号住居址実測図	.....176
第472図	H261号住居址実測図	.....176
第473図	H261号住居址カマド実測図	.....176
第474図	H262号住居址実測図	.....177
第475図	H262号住居址カマド実測図	.....177
第476図	H263号住居址実測図	.....178
第477図	H264号住居址実測図	.....179
第478図	H264号住居址カマド実測図	.....177
第479図	H265号住居址実測図	.....178
第480図	H266号住居址実測図	.....180
第481図	H266号住居址カマド実測図	.....180
第482図	H267号住居址実測図	.....181
第483図	H267号住居址カマド実測図	.....181
第484図	H268号住居址実測図	.....180
第485図	H269号住居址実測図	.....182
第486図	H269号住居址カマド実測図	.....182
第487図	H270号・271号住居址実測図	.....183
第488図	H271号住居址カマド実測図	.....183
第489図	H272号住居址実測図	.....183
第490図	H272号住居址カマド実測図	.....185
第491図	H273号住居址実測図	.....184
第492図	H273号住居址カマド実測図	.....185
第493図	H274号住居址実測図	.....185
第494図	H275号住居址実測図	.....185
第495図	H275号住居址カマド実測図	.....186
第496図	H276号住居址実測図	.....186
第497図	H277号住居址実測図	.....186

第498図	H277号住居址カマド実測図	187
第499図	H278号住居址実測図	187
第500図	H279号住居址実測図	187
第501図	H279号住居址カマド実測図	188
第502図	H280号住居址実測図	188
第503図	H281号住居址実測図	188
第504図	H282号住居址実測図	189
第505図	H282号住居址カマド実測図	189
第506図	H283号住居址実測図	190
第507図	H283号住居址カマド実測図	189
第508図	H284号住居址実測図	191
第509図	H284号住居址カマド実測図	191
第510図	H285号住居址実測図	190
第511図	H285号住居址カマド実測図	190
第512図	H286号住居址実測図	192
第513図	H286号住居址カマド実測図	193
第514図	H287号住居址実測図	193
第515図	H287号住居址カマド実測図	193
第516図	H288号住居址実測図	192
3. 壺穴状遺構		
第517図	Ta1号壺穴状遺構実測図	194
第518図	Ta2号・3号壺穴状遺構実測図	194
第519図	Ta4号壺穴状遺構実測図	194
第520図	Ta5号壺穴状遺構実測図	195
第521図	Ta6号壺穴状遺構実測図	195
第522図	Ta7号壺穴状遺構実測図	195
第523図	Ta8号壺穴状遺構実測図	195
第524図	Ta9号壺穴状遺構実測図	195
第525図	Ta10号壺穴状遺構実測図	195
第526図	Ta11号壺穴状遺構実測図	195
第527図	Ta12号壺穴状遺構実測図	195
4. 土 壁		
第528図	D1号～D38号土壤実測図	196
第529図	D39号～D46号土壤実測図	197
5. 特殊遺構		
第530図	T1号特殊遺構実測図	197
第531図	T2号特殊遺構実測図	197
第532図	T3号特殊遺構実測図	197
第533図	T4号特殊遺構実測図	197
第534図	T5号特殊遺構実測図	198
第535図	T6号特殊遺構実測図	198
第536図	T7号特殊遺構実測図	198
第537図	T8号特殊遺構実測図	198
第538図	T8号特殊遺構カマド石組実測図	199
第539図	T9号特殊遺構実測図	199
第540図	T10号特殊遺構実測図	199
6. 据立柱建物址		
第541図	Ho1号据立柱建物址実測図	200
第542図	Ho2号据立柱建物址実測図	200
第543図	Ho3号据立柱建物址実測図	201
第544図	Ho4号据立柱建物址実測図	201
第545図	Ho5号据立柱建物址実測図	201
第546図	Ho6号据立柱建物址実測図	201
第547図	Ho7号据立柱建物址実測図	202
第548図	Ho8号据立柱建物址実測図	202
第549図	Ho9号据立柱建物址実測図	203
第550図	Ho10号据立柱建物址実測図	203
第551図	Ho11号据立柱建物址実測図	204
第552図	Ho12号据立柱建物址実測図	204
第553図	Ho13号据立柱建物址実測図	202
第554図	Ho14号据立柱建物址実測図	205
第555図	Ho15号据立柱建物址実測図	205
第556図	Ho16号据立柱建物址実測図	206
第557図	Ho17号据立柱建物址実測図	206
第558図	Ho18号据立柱建物址実測図	207
第559図	Ho19号据立柱建物址実測図	207
7. 環濠		
第560図	環濠1実測図	208
第561図	環濠2実測図	208
8. 溝状遺構		
第562図	溝状遺構1・2・3実測図	209

## 付表目次

第1表	周辺遺跡一覧表	11
第2表	樋村遺跡検出住居址一覧表	210

## 図版目次

- 図版1 遺跡付近航空写真
- 図版2 1・2 57年度第一次調査区遺景
- 図版3 1・2 58年度第二次調査区遺景
- 図版4 1・2 57年度第一次調査区全景
- 図版5 1 Y1号住居址 2 Y2号住居址 3 Y3号住居址
- 図版6 1・2 Y2号住居址遺物出土状況 3 Y3号住居址炉 4 Y4号住居址炉  
5 Y4号住居址炭化材出土状況 6 Y4号住居址
- 図版7 1 Y6号住居址 2 Y7号住居址遺物出土状況 3 Y7号住居址
- 図版8 1 Y8号住居址 2・3 Y7号住居址遺物出土状況 4 Y7号住居址炉  
5 Y8号住居址炉 6 Y9号住居址
- 図版9 1 Y10号住居址 2 Y9号住居址遺物出土状況 3 Y9号住居址炉  
4 Y10号住居址遺物出土状況 5 Y10号住居址炉 6 Y11号住居址
- 図版10 1 Y12号住居址 2・3 Y11号住居址炉 4 Y12号住居址出入ロビット掘り方  
5 Y12号住居址炉 6 Y13号住居址
- 図版11 1 Y14号住居址遺物出土状況 2 Y14号住居址 3~5 Y14号住居址遺物出土状況  
6 Y14号住居址炉
- 図版12 1 Y15号住居址 2 Y16号住居址 3 Y17号住居址
- 図版13 1 Y16号住居址遺物出土状況 2 Y17号住居址遺物出土状況 3 Y18号住居址  
4 Y19号住居址
- 図版14 1 Y20号住居址 2 Y21号住居址 3 Y22号住居址
- 図版15 1・2 A地区1全景
- 図版16 1 H1号住居址 2 H2号住居址 3 H3号住居址
- 図版17 1 H4号住居址 2 H5号住居址 3 H2号住居址カマド 4 H5号住居址カマド
- 図版18 1 H6号住居址 2 H7号住居址 3 H8号住居址
- 図版19 1 H9号住居址遺物出土状況 2 H9号住居址 3・4 H9号住居址遺物出土状況  
5 H8号住居址カマド 6 H9号住居址カマド
- 図版20 1 H10号住居址遺物出土状況 2 H10号住居址 3 H10号住居址カマド  
4 H11号住居址カマド 5・6 H11号住居址遺物出土状況
- 図版21 1 H11号住居址遺物出土状況 2 H11号住居址 3 H12号住居址
- 図版22 1 H13号住居址遺物出土状況 2 H13号住居址 3・4 H13号住居址遺物出土状況
- 図版23 1 H13号住居址カマド 2 H14号住居址カマド 3 H14号住居址  
4 H15号住居址遺物出土状況
- 図版24 1 H15号住居址 2~6 H15号住居址遺物出土状況 7 H15号住居址カマド
- 図版25 1 H17号住居址炭化材出土状況 2 H17号住居址 3 H17号住居址炭化材出土状況
- 図版26 A地区2全景
- 図版27 1 H18号住居址遺物出土状況 2 H18号住居址 3 H18号住居址カマド  
4 H22号住居址カマド

図版28	1 H19号住居址	2 H21号住居址	3 H20・21・22号住居址
図版29	1 H22号住居址	2 H24号住居址	3 H25・26号住居址
図版30	1 H26号住居址	2・3 H25号住居址カマド	4 H26号住居址遺物出土状況
	5 H26号住居址カマド	6 H27号住居址	
図版31	1 H28号住居址	2 H29号住居址	3・4 H29号住居址遺物出土状況
図版32	1 H30号住居址	2 H31号住居址	3 H31号住居址カマド
図版33	1 H32号住居址	2 H33号住居址	3・4 H33号住居址カマド
図版34	1 H34号住居址	2 H35号住居址	3 H34号住居址カマド
図版35	1 H36号住居址	2 H37号住居址	3 H36号住居址カマド
	4 H37号住居址遺物出土状況		
図版36	1 H38号住居址	2 H39号住居址	3 H37号住居址カマド
図版37	1 H40号住居址	2 H41号住居址	3 H39号住居址カマド
図版38	1 H42号住居址	2 H43号住居址	3 H44号住居址
	5 H44号住居址カマド		
図版39	1 H45号住居址	2 H46号住居址	3 H45号住居址カマド
図版40	1 H47号住居址	2 H48号住居址	3 H201号住居址
図版41	1 H49・201号住居址	2 H50号住居址	3 H48号住居址カマド
	4 H49号住居址カマド	5 H201号住居址カマド	6 H50号住居址カマド
図版42	1 H51号住居址遺物出土状況	2 H51号住居址	3 H52号住居址
図版43	1 H53号住居址	2 H55号住居址	3 H51号住居址カマド
	5 H56号住居址		
図版44	1 H54・55・57・58号住居址	2 H58号住居址	3 H59・61号住居址
図版45	1 H60号住居址	2 H62号住居址	3 H58号住居址カマド
	5 H60号住居址カマド	6 H62号住居址カマド	
図版46	1 H63号住居址	2 H64号住居址	3 H65号住居址
図版47	1 H66号住居址	2 H67号住居址	3 H65号住居址カマド
	5 H67号住居址カマド	6 H68号住居址カマド	
図版48	1 H68号住居址	2 H69号住居址	3 H70号住居址
図版49	1 H69号住居址カマド	2 H70号住居址カマド	3 H71号住居址
	5 H71号住居址カマド	6 H72号住居址カマド	
図版50	1 H73号住居址	2 H74号住居址	3 H75号住居址
図版51	1 H76号住居址	2 H73号住居址カマド	3 H75号住居址遺物出土状況
	4・5 H75号住居址カマド	6 H76号住居址遺物出土状況	7 H76号住居址カマド
図版52	1 H77号住居址	2 H78・79・80号住居址	3 H80号住居址
図版53	1 H77号住居址遺物出土状況	2 H79号住居址カマド	3 H81号住居址
	4 H82・83号住居址	5 H83号住居址	
図版54	1 H85号住居址	2 H86号住居址	3 H87・88号住居址
図版55	1 H88号住居址	2 H89号住居址	3 H85号住居址カマド
	5 H88号住居址カマド	6 H89号住居址カマド	
図版56	1 H90号住居址	2 H91号住居址	3 H92号住居址
	4 H90号住居址カマド		

- 5 H91号住居址カマド
- 図版57 1 H93号住居址 2 H94号住居址 3 H95号住居址
- 図版58 1 H96・97号住居址 2 H97号住居址 3 H96号住居址カマド  
4 H97号住居址カマド
- 図版59 1 H96・97号住居址 2 H287号住居址 3・4 H287号住居址カマド
- 図版60 1・2 E地区1全景
- 図版61 1 H98号住居址 2 H99号住居址 3 H98号住居址カマド 4 H99号住居址カマド  
5 H100・102号住居址
- 図版62 1 H100・101・102・103号住居址 2 H101号住居址 3 H102号住居址
- 図版63 1 H103号住居址 2 H101号住居址カマド 3 H102号住居址遺物出土状況  
4 H102号住居址カマド 5 H103号住居址カマド 6 H104号住居址
- 図版64 1 H104・105号住居址 2 H105号住居址 3 H106号住居址
- 図版65 1 H107号住居址 2・3 H104号住居址柱痕残存状況 4 H104号住居址張り出しピット  
5 H105号住居址カマド 6 H106号住居址カマド 7 H107号住居址遺物出土状況  
8・9 H107号住居址カマド
- 図版66 1 H108号住居址 2 H109号住居址 3 H110号住居址
- 図版67 1 H110・111号住居址 2 H112号住居址 3 H108号住居址遺物出土状況  
4 H109号住居址カマド 5 H110号住居址遺物出土状況 6 H110号住居址カマド  
7 H111号住居址カマド 8 H112号住居址カマド
- 図版68 1 H113号住居址 2 H114号住居址 3 H115号住居址
- 図版69 1 H116号住居址 2 H113号住居址遺物出土状況 3 H113号住居址カマド  
4 H114号住居址カマド 5 H116号住居址カマド 6 H117号住居址
- 図版70 1 H117号住居址張り出しピット 2 H117号住居址カマド 3 H118号住居址  
4 H119号住居址 5 H118号住居址カマド 6 H119号住居址カマド
- 図版71 1・2 H119号住居址遺物出土状況 3 H120号住居址 4 H120号住居址カマド  
5 H120号住居址遺物出土状況 6 H121号住居址
- 図版72 1 H122号住居址 2 H123号住居址 3 H125号住居址
- 図版73 1 H126号住居址 2・3 H122号住居址遺物出土状況 4 H122号住居址カマド  
5 H123号住居址カマド 6・7 H123号住居址遺物出土状況 8 H125号住居址カマド  
9 H126号住居址カマド
- 図版74 1 H127号住居址 2 H128号住居址 3 H129号住居址
- 図版75 1～4 H127号住居址遺物出土状況 5 H127号住居址カマド 6 H129号住居址カマド  
7 H130号住居址
- 図版76 1 H131号住居址 2 H132号住居址 3 H130・131・132号住居址
- 図版77 1 H133号住居址 2 H134・135号住居址 3 H132号住居址遺物出土状況  
4 H132号住居址カマド 5 H133号住居址カマド 6 H134・135号住居址カマド
- 図版78 1 H135号住居址 2 H136号住居址 3 H137号住居址
- 図版79 1 H138号住居址 2 H135号住居址カマド 3 H136号住居址カマド  
4 H137号住居址カマド 5 H138号住居址カマド 6 H139号住居址
- 図版80 1・2 H139号住居址遺物出土状況 3 H139号住居址カマド 4 H140号住居址カマド

	5 H140号住居址	6 H141号住居址遺物出土状況
図版81	1 H141号住居址	2 H142号住居址
	4 H142号住居址カマド	
図版82	1 H143号住居址	2 H144号住居址
図版83	1 H146号住居址	2 H143号住居址カマド
	4 H144号住居址カマド	5 H146号住居址遺物出土状況
	7 H148号住居址カマド	6 H146号住居址カマド
図版84	1 H147号住居址	2 H148号住居址
図版85	1 H150号住居址	2 H147号住居址遺物出土状況
	4・5 H150号住居址カマド	3 H147号住居址カマド
図版86	1 H151号住居址	2 H152号住居址
図版87	1 H151号住居址カマド	2 H152号住居址カマド
	4 H153号住居址カマド	3 H153号住居址遺物出土状況
	7 H156号住居址カマド	5 H155号住居址
	8 H156号住居址	6 H155号住居址カマド
図版88	1 H157号住居址	2 H158・160号住居址
図版89	1 H160号住居址	2 H161号住居址
	4 H159号住居址遺物出土状況	3 H158号住居址カマド
図版90	1 H161号住居址張り出しふト	2 H163号住居址カマド
	4 H162号住居址カヤ出土状況	3 H162号住居址
	5 H162号住居址	6 H163号住居址
図版91	1 H166号住居址	2 H167号住居址
図版92	1 H168号住居址カマド	2 H169号住居址炭化豆類出土状況
	3 H169号住居址炭化材出土状況	4 H169号住居址
図版93	1 H169号住居址カマド	2 H170号住居址カマド
	4 H172号住居址	3 H171号住居址
図版94	1 H173号住居址	2 H174号住居址
図版95	1 H176号住居址	2 H173号住居址カマド
	4 H175号住居址カマド	3 H174号住居址カマド
	5 H176号住居址カマド	6 H179号住居址
図版96	1 H179号住居址遺物出土状況	2 H179号住居址カマド
	4 H181号住居址	3 H180号住居址
図版97	1 H182号住居址	2 H183号住居址
	4 H183号住居址カマド	3 H182号住居址カマド
図版98	1 H185号住居址	2 H186号住居址
	5 H186号住居址カマド	3 H187号住居址
	4 H184号住居址カマド	
図版99	1 H188号住居址	2 H189号住居址
	4 H189号住居址カマド	3 H187号住居址カマド
図版100	1・2 H190号住居址遺物出土状況	3 H190号住居址カマド
	4 H191号住居址遺物出土状況	5 H191号住居址
図版101	1 H192号住居址遺物出土状況	2 H192号住居址カマド
	4 H194号住居址	3 H193号住居址
図版102	1 H194号住居址カマド	2 H195号住居址カマド
	5 H195号住居址	3 H195号住居址

- 4 H196・197・198号住居址  
図版I03 1 H199号住居址 2 H200号住居址 3 H196号住居址カマド  
4 H198号住居址遺物出土状況 5 H199号住居址カマド 6 H200号住居址カマド
- 図版I04 1・2 B地区全景
- 図版I05 1 H202号住居址 2 H203号住居址 3 H202号住居址カマド  
4 H202号住居址遺物出土状況 5 H202号住居址P<sub>s</sub> 6 H203号住居址カマド
- 図版I06 1 H204・205号住居址 2 H205号住居址 3 H206号住居址  
図版I07 1 H207号住居址 2 H204号住居址遺物出土状況 3 H205号住居址カマド  
4 H206号住居址遺物出土状況 5 H206号住居址カマド 6・7 H207号住居址カマド
- 図版I08 1 H208号住居址 2 H209号住居址 3 H210号住居址炭化材出土状況  
図版I09 1 H210号住居址 2・3 H208号住居址遺物出土状況 4 H208号住居址カマド  
5・6 H209号住居址遺物出土状況 7～9 H210号住居址カマド
- 図版I10 1 H211・212・213号住居址 2 H211号住居址 3 H212号住居址  
図版I11 1 H213号住居址 2 H214号住居址 3 H213号住居址カマド  
4 H214号住居址カマド 5・6 H214号住居址遺物出土状況
- 図版I12 1 H215号住居址 2 H215・216号住居址 3 H215号住居址カマド
- 図版I13 1・2 E地区2全景
- 図版I14 1 H217号住居址 2 H218号住居址炭化材出土状況 3 H218号住居址  
図版I15 1 H219号住居址 2 H220号住居址 3 H217号住居址カマド  
4 H218号住居址炭化材出土状況 5 H219号住居址カマド 6 H220号住居址カマド
- 図版I16 1 H221号住居址 2 H222号住居址 3～5 H222号住居址遺物出土状況  
6 H222号住居址カマド
- 図版I17 1 H223号住居址 2・3 H223号住居址遺物出土状況 4 H223号住居址張り出しピット  
5 H223号住居址カマド 6 H224号住居址
- 図版I18 1 H225号住居址 2 H226号住居址 3 H227・228号住居址  
図版I19 1 H228号住居址 2・3 H224号住居址カマド 4 H225号住居址カマド  
5 H227号住居址カマド土製支脚 6 H227号住居址カマド 7 H228号住居址カマド
- 図版I20 1 H229号住居址炭化材出土状況 2 H229号住居址 3 H229号住居址出入口部施設  
4・5 H229号住居址遺物出土状況 6 H229号住居址カマド
- 図版I21 1 H230号住居址遺物出土状況 2 H230号住居址 3・4 H230号住居址遺物出土状況  
5 H230号住居址カマド
- 図版I22 1 H231号住居址 2 H232号住居址 3 H234号住居址  
図版I23 1 H235号住居址 2 H236号住居址 3 H231号住居址カマド  
4 H236号住居址カマド 5・6 H236号住居址遺物出土状況
- 図版I24 1 H236号住居址 2 H237号住居址 3 H238号住居址  
図版I25 1 H239号住居址 2 H237号住居址遺物出土状況 3 H237号住居址カマド  
4 H237号住居址遺物出土状況 5・6 H238号住居址遺物出土状況  
7 H238号住居址カマド 8 H238号住居址遺物出土状況 9 H239号住居址カマド
- 図版I26 1 H240号住居址 2 H241号住居址 3 H243号住居址  
図版I27 1 H244号住居址 2 H240号住居址遺物出土状況 3 H240号住居址カマド

- 4 H243号住居址遺物出土状況 5 H243号住居址貯蔵窓 6 H243号住居址カマド  
 7 H244号住居址カマド 8・9 H244号住居址遺物出土状況
- 図版128 1 H245号住居址 2~5 H245号住居址遺物出土状況 6 H245号住居址カマド
- 図版129 1・2 E地区3全景
- 図版130 1 H246号住居址 2 H247号住居址 3 H248号住居址
- 図版131 1 H249号住居址 2 H250号住居址 3 H247号住居址カマド  
 4・5 H248号住居址遺物出土状況 6 H248号住居址カマド  
 7・8 H250号住居址遺物出土状況
- 図版132 1 H251号住居址 2 H252・253号住居址 3 H253号住居址
- 図版133 1 H254号住居址 2 H254・255号住居址 3 H252号住居址遺物出土状況  
 4 H253号住居址カマド 5・6 H254号住居址カマド
- 図版134 1 H256号住居址 2 H257号住居址 3 H258号住居址 4 H257号住居址カマド  
 5 H258号住居址カマド
- 図版135 1 H259号住居址 2 H260号住居址 3 H261号住居址
- 図版136 1 H262号住居址 2 H262号住居址遺物出土状況 3 H262号住居址カマド  
 4 H263号住居址 5 H264号住居址
- 図版137 1 H265・267号住居址 2 H266号住居址 3 H263号住居址遺物出土状況  
 4 H264号住居址カマド 5 H264号住居址遺物出土状況 6 H266号住居址カマド
- 図版138 1 H267号住居址 2 H268号住居址 3 H269号住居址
- 図版139 1 H272号住居址 2 H267号住居址カマド 3 H269号住居址遺物出土状況  
 4 H269号住居址カマド 5 H271号住居址カマド 6~8 H272号住居址遺物出土状況  
 9 H272号住居址カマド
- 図版140 1 H273号住居址 2 H274号住居址 3 H275号住居址
- 図版141 1 H276号住居址 2 H277号住居址 3 H273号住居址カマド  
 4 H275号住居址カマド 5 H277号住居址遺物出土状況 6 H277号住居址カマド
- 図版142 1 H278号住居址 2 H279号住居址 3 H280号住居址
- 図版143 1 H281号住居址 2 H282号住居址 3 H278号住居址カマド  
 4 H282号住居址カマド 5・6 H281号住居址遺物出土状況
- 図版144 1 H281・282号住居址 2 H283号住居址 3 H284号住居址
- 図版145 1 H285号住居址 2・3 H283号住居址カマド 4・5 H284号住居址遺物出土状況  
 6 H284号住居址カマド 7 H285号住居址カマド
- 図版146 1 H286号住居址 2 H288号住居址 3 H286号住居址カマド  
 4 H288号住居址遺物出土状況 5・6 H288号住居址カマド
- 図版147 1 Ta1号竪穴状造構 2 Ta2・3号竪穴状造構 3 Ta2号竪穴状造構遺物出土状況  
 4 Ta2号竪穴状造構 5 Ta3号竪穴状造構遺物出土状況 6 Ta3号竪穴状造構  
 7 Ta4号竪穴状造構 8 Ta5・6号竪穴状造構 9 Ta5号竪穴状造構  
 10 Ta6号竪穴状造構
- 図版148 1 Ta7号竪穴状造構 2 Ta8号竪穴状造構 3 Ta9号竪穴状造構  
 4 Ta10号竪穴状造構 5 Ta11号竪穴状造構 6 Ta11号竪穴状造構内施設  
 7 Ta12号竪穴状造構

図版14	1 D 2号土壤	2 D 3号土壤	3 D 4号土壤	4 D 5号土壤	5 D 6号土壤
	6 D 7号土壤	7 D 8号土壤	8 D 9号土壤	9 D 10号土壤	10 D 11号土壤
	11 D 12号土壤				
図版15	1 D 13・14号土壤	2 D 15・16号土壤	3 D 18・19・20号土壤	4 D 19号土壤	
	5 D 20号土壤	6 D 22号土壤	7 D 25号土壤	8 D 26号土壤	9 D 28号土壤
	10 D 30号土壤	11 D 31号土壤	12 D 32号土壤		
図版15	1 D 33号土壤	2 D 34号土壤	3 D 35号土壤	4 D 36・37号土壤	5 D 38号土壤
	6 D 39・40号土壤	7 D 41・42・43・44号土壤	8 D 41号土壤	9 D 42・43号土壤	
	10 D 44号土壤				
図版15	1 T 1号特殊遺構	2 T 2号特殊遺構	3 T 3号特殊遺構	4 T 4号特殊遺構	
	5 T 5号特殊遺構				
図版15	1 T 6号特殊遺構	2 T 7号特殊遺構	3・4 T 8号特殊遺構	5 T 9号特殊遺構	
	6 T 10号特殊遺構				
図版15	1 Ho 1号掘立柱建物址	2 Ho 2号掘立柱建物址	3 Ho 3号掘立柱建物址		
図版15	1 Ho 4号掘立柱建物址	2 Ho 5号掘立柱建物址	3 Ho 6号掘立柱建物址		
図版15	1 Ho 7号掘立柱建物址	2 Ho 8号掘立柱建物址	3 Ho 9号掘立柱建物址		
図版15	1 Ho 10号掘立柱建物址	2 Ho 11号掘立柱建物址	3 Ho 12号掘立柱建物址		
図版15	1 Ho 13・14号掘立柱建物址	2 Ho 15・16・17号掘立柱建物址	3 Ho 16・17号掘立柱建物址		
図版15	1 Ho 16号掘立柱建物址	2 Ho 17号掘立柱建物址	3 Ho 18号掘立柱建物址		
図版16	1 環濠1	2 環濠2・溝	3 溝		
図版16	発掘調査スナップ				
図版16	種村遺跡発掘調査図				

## 付 図 目 次

付図 1	種村遺跡時代別集落構成図	230
付図 2	I期の住居址形態	234
付図 3	II期の住居址形態	235
付図 4	III期の住居址形態	236
付図 5	(1)その他の住居址形態 (2)奈良時代(1~4)・平安時代(5~8)の住居址形態	237
付図 6	掘立柱建物址、T 8 特殊遺構一覧	238
付図 7	平出遺跡第3号住居址復原図	239
付図 8	I期大形・小形住居址のカマド	243
付図 9	II期小形住居址のカマド	244
付図10	II期中形住居址のカマド	245
付図11	II期大形住居址のカマド	246
付図12	III期住居址のカマド	247
付図13	その他に属する小形・中形住居址のカマド	248
付図14	奈良時代・平安時代のカマド	249
付図15	種村遺跡玉類出土住居址一覧表	250

## I 発掘調査の経緯

### 1 調査に至る動機

樋村遺跡は、千曲川右岸の南東、旧平賀村の北耕地、樋村地区一帯に広がる水田地帯に所在する大遺跡である。隣接した後家山の縁辺部には、昭和49年に調査された後家山古墳が樋村遺跡を見降すような状態で位置しており、その他多數の古墳が山際に散在している。

本遺跡は、昭和57年～58年度にわたる圃場整備事業に伴ない、破壊を余儀なくされる事態となつたため、第1次、第2次にわたって緊急に発掘調査を行ない記録保存することとなつた。

### 1 調査の概要

○遺跡名 樋村遺跡  
○所在地 長野県佐久市大字平賀字樋村地  
○発掘期間 第1次調査 昭和57年9月10日～10月13日  
              第2次調査 昭和58年5月1日～11月30日  
○調査委託者 東信土地改良事務所  
○調査受託者 佐久市教育委員会

○調査組織  
昭和57年度  
(事務局)  
教育次長 白田 幸作  
社会教育課長 土屋 四郎  
社会教育係長 井出 喜平  
社会教育係 堀内美喜男・林 幸彦  
社会教育指導員 茂木 智里  
(調査団)  
調査団長 戸塚平一郎 佐久市教育委員会教育長  
調査担当 林 幸彦 社会教育係・日本考古学協会員  
調査員 三石延雄、大木今朝太、島田恵子、工藤かよ子、白倉盛男、小山岳夫、三石宗一  
調査補助員 原田政信、柳 益子、茂木智里  
調査協力者 工藤都子、楠詰操、牧野こと、篠原つる子、須藤久米子、大井恵美子、田中鶴波、依田さき子、小栗源三、並木ことみ、丸山勝子、上原みづ、柳沢麗子、柳沢松子、荻原つたえ、荻原百合子、荻原めぐみ

### 昭和58年度

(事務局)

教育次長 大井昭二(昭和58年10月退任) 森泉都太郎(昭和58年11月就任)

社会教育課長 並木 進  
社会教育係長 相沢 幸男  
社会教育係 関本 功・林 幸彦  
〃 細萱 健一（昭和58年7月就任）

社会教育指導員 森泉かよ子  
庶務担当 三村美穂子・小山 岳夫

（調査団）

顧問 由井 茂也 佐久考古学会長  
前島 宗之 佐久市助役  
戸塚平一郎 佐久市教育委員会教育長（昭和58年10月退任）  
大井 昭二 タ （昭和58年11月就任）

参与 白倉 盛男 佐久市文化財保護審議会委員  
木内 捷 佐久考古学会事務局長

調査団長 藤沢 平治 北佐久農業高校教諭・日本考古学協会員

調査担当者 藤沢 平治 〃 〃  
〃 林 幸彦 教育委員会社会教育係・日本考古学協会員

調査主任 島田恵子 調査員 三石延雄、佐々木宗昭、井上行雄、大井今朝太、黒岩忠男、森泉かよ子、小山岳夫、三石宗一、原田政信 調査補助員 珠 益子

発掘調査・遺物整理協力者

片井宗市、柳沢松子、依田さき子、黒沢嘉子、中沢信子、小林きみ、田中夏江、片井きぬ子、田中まさ子、岩下しめ子、関口きく子、橋詰信子、田中静代、小林勇一、内藤てる江、田中栄三、武藤律子、星野あい、内藤春江、内藤まちよ、橋詰勝子、小山いづみ、吉田ゆかり、早川俊彦、大井恵美子、大井夏子、片井裕子、甘利文彦、並木ことみ、丸山勝子、遠藤しづか、大井和子、池田美智子、小林文江、井出百合子、須藤久米子、須藤房子、関口けい子、青木久子、市村はるい、大工原幸子、榎原浩江、御園孝子、津島美由紀、斎藤裕子、羽毛田卓也、小松富美男、小山栄次、掛川祐次、桜山守、森川健一、中島智、小林佐都志、白田悦子、木内篤子、中野秀幸、安藤やす子、荻原定雄、小林元美、須田すい、神部妙子

昭和59年度

（事務局）

教育次長 森泉 郁太郎  
社会教育課長 並木 進  
社会教育係長 相沢 幸男  
社会教育係 関本 功・林 幸彦・細萱 健一  
社会教育指導員 森泉 かよ子  
庶務担当 小山 岳夫

（調査団）

顧問 由井 茂也 佐久考古学会長  
前島 宗之 佐久市助役  
大井 昭二 佐久市教育委員会教育長  
参与 白倉 盛男 佐久市文化財保護審議会委員

木内 捷 佐久考古学会事務局長  
**調査団長** 藤沢 平治 北佐久農業高校教諭・日本考古学協会員  
**調査担当者** 藤沢 平治 グ グ  
 林 幸彦 教育委員会社会教育係・日本考古学協会員  
**調査主任** 島田 恵子 調査員 三石雄延、佐々木宗昭、三石宗一、白倉盛男、小山岳夫、森泉かよ子、森泉定勝、井上行雄、大井今朝太、(以上佐久考古学会員)  
**協力者** 大井和子、神部妙子、小井土節子、堺 益子、橋詰勝子、橋詰信子、早川俊彦、前島弘子  
 赤池絹子、浅川雅明、足立あけみ、池田美智子、市川早苗、井出百合子、臼田悦子、遠藤しづか、大井恵美子、小沢智恵子、河西えつ子、金井ふくい、勝俣松、木内亜友美、小林清彦、小林房江、小山いずみ、小山栄次、佐々木春麻、須藤久米子、高橋純子、高橋忠幸、高橋臣文、田中夏江、鷹野敏春、鷹野富美子、津島みゆき、中沢美春、並木ことみ、橋詰けさよ、島山智、堀込今朝太、丸山勝子、御園孝子、宮沢圭子、桃井澄人、吉田ゆかり

### 3 発掘調査の経過

#### 昭和57年度

第1次の発掘調査は、昭和57年9月10日～10月13日までの実質日数30日間にわたって実施された。先ず、9月9日・10日に器材を運び入れテントを設営する。並行して9月10日～15日までの5日間は、重機による表土削平およびプラン確認をおこなった。その結果、明確にプラン確認ができた遺構は、住居址10、特殊遺構1、土壤1、環濠とおもわれる落込み2、溝等が検出された。

16日より作業協力者の方々も集り本格的な調査に入る。テント・器材の整備を行なう一方、グリッド設定をする。西から東に向けて1～12、北から南にかけて、あ～づ迄4m×4mの計218グリッドを設ける。振り下げは、再度プラン確認をおこなった後、落込み状態等の観察のためにY1・Y2住に入る。遺構中央部に十字のセクションベルトを設け、主軸方向よりI～IV区に区分し土層の観察および層位別に遺物を取り上げる。観察終了後より、溝、環濠のプラン再確認を行ない住居址・環濠・溝との切り合う部分を明確に把握する。結果、溝、環濠、住居址の順に時間の差があったことが判明したため、溝から振り下げを開始する。並行してセクションベルトの部分のみ環濠の振り下げに入る。

環濠1は、規模が大きく深かったため、9月28日まで日数を費してしまった。このため調査期間が切迫し環濠2と住居址の振り下げは、大きく分散して入ることとなる。また、再度のプラン確認で住居址は計14棟、特殊遺構2基となり増加する。

住居址・特殊遺構の振り下げ、実測は、9月28日～10月12日までの15日間を要した。尚、特殊遺構は全体写真撮影後最終日に断ち割りを行ない精査する。

#### 昭和58年度

第2次の発掘調査は、昭和58年5月1日～11月30日までの7ヶ月間を費した。本年度の圃場整備対象地は10万m<sup>2</sup>という広範囲の面積であった。そのため、当初よりA～Eの5地点に区分けし、遺物散布地から調査面積は、10,000m<sup>2</sup>が予想されていた。しかし、予想外の地区にも遺構が存在する可能性が懸念され、全地区に試掘トレチを入れる計画が立てられた。

先ず5月1日～5日まで、西南端のA地区に入り重機による耕作土の削平を行なう。また、一部の畑には野菜の種が蒔かれていたり、桑が植えられており、作業の進行過程で困惑が生じた。遺構は、住居址10、掘立柱建物

址2、特殊遺構2、土壙5、ピット群等が検出された。昨年の調査から弥生中、後期の集落が予想されていたが、出土土器片はそのほとんどが土師器であった。さらに、E1地点に試掘トレンチを入れたところ、住居址・ピット群が確認され、当初の予想よりも遺構の広がりがはるかに大きいことが想定された。とりあえずこの地点から掘り下げに入ることにして、5月6日に顧問である教育長、助役の出席のもとに打合会、結団式をおこない、7日より調査が開始された。

その後、全地区の遺構存在を把握するために、6月1日～2日にかけてB～E地区にトレンチを入れる。結果、B、E地区に遺構が確認されたが、C、D地区には広がりはみられなかった。しかし、当初予想の10,000m<sup>2</sup>から40,000m<sup>2</sup>に調査対象区が拡大された。遺構は住居址だけで250棟が予想される事態となつたため、急掘、調査期日の延期を申し入れ、今後の調査方針について三者の話し合いが持たれた。東信土地改良事務所、圃場整備事務所負責業者、教育委員会および調査団で話合った結果、圃場整備作業の進行状況に合せて発掘作業を進める事になり、水路がつくられる地点より先行する事にして、B地区を8月中旬、E地区2・3を9月中旬、E地区1を10月中旬、A地区2を11月中旬に終了するよう取り決められた。強粘土であるため作業はきつく、晴天の日は地面が乾燥して固く、散水をしながら掘り下げを行ない、雨天後は地面が粘ばって一輪車が立往生してしまうという悪条件の土層であったため、調査は厳しい日程と重なつて一時の猶予も許されない状況であった。そのため重複のはげしい住居や再度のプラン確認作業は全て調査員が雨天の日や休日に行なわなければならなかつた。

A地区1 グリッドは4m×4mで北～南にふ～よ、西～東に1～33の計363グリッドを設定した。検出された遺構は、弥生中期堅穴状遺構3、古墳時代後期住居址14、国分期住居址2、国分期堅穴状遺構3、土壙24、掘立柱建物址5、春状遺構1、ピット群等である。本地区は、古墳時代後期の住居址中、真間期と決定できた住居址が5棟あった。また、焼失住居であるH17号住は、鞋道と水路に破壊されじるの検出であったが、炭化米等の残存の可能性を考え床面上の覆土を2日間にわたって水洗いする。その結果、小粒の滑石製白玉が17個発見された。また、弥生中期の堅穴状遺構Ta2、Ta3は、遺物の出土状態が特異であったため、遺物の取り上げに注意をはらつた。協力者は、初心者がほとんどであったため、掘り下げ方法、遺物の取り上げ順序等の説明を繰り返し、繰り返し行なながら調査したため、5月7日～6月11日わたる実質35日を費した。

A地区2 本地区は、5月24日～6月1日まで表土削平および並行してプラン確認を行なつたところ、遺構は重複し合つて台地の縁辺部までギッシリと連なつてゐる様相である。表土削平は苗間の水田があり60%程度であるが、全面削平すると住居址は100棟になる見込みであった。

本地区的掘り下げは、最終に持ち越す予定区であったため、B地区的表土削平が終了するまで住居址7、特殊遺構1の掘り下げを、6月4日～23日まで行なつたのみでB地区へ移る。以後、11月5日～11月30日まで調査員、協力者を増員して調査を行なう。遺構は総計して住居址88、特殊遺構3、土壙2の検出であった。追い込みの11月24日・26日は雪が舞い寒い日であった。

B地区 本地区は、6月20日に表土削平およびプラン確認をおこない翌日より掘り下げに入る。北端であったためグリッドの北側はこの地区より出発点とする。あ～こ、49～65の計170グリッドを設定した。時期的に梅雨に入ったため雨量が多く、強粘土であることと特に本地区は水はけが悪く、掘り下げた住居内には水が次から次へと湧き出して作業不可能となつたために、梅雨あけを待つて再調査にかかることにし、7月6日よりE地区2へ移る。その後8月5日から12日まで行なつたが、お盆休みの15日、16日に大雨が降りひどい浸水となる。全体写真の撮影が終らず、約束の期限でもあったため、水のかい出しや、荒れた地点の清掃で非常に困難をきわめたが、8月20日にやっと撮影を終了することができた。遺構は、住居址15、土壙1の検出であった。

E地区1 本地区は、東西に108m、南北に22mを測る細長い地区で、グリッドは、し～に、34～76までの計594グリッドを設定した。遺構は、住居址105、堅穴状遺構4、土壙1、掘立柱建物址2等多数検出された。少しの猶予も許されない期限に悩み、また、圃場整備工事のブルドーザーの騒音に追いつめながらの作業であった。

そのためこの地区は、遺構中央部に十字に入れたセクションベルトも一本に流らして、土層の観察をおこなわざるを得なくなった。また、9月下旬は雨の日が多く、入念に掘りあげた住居址に廃土の土砂がくずれて住居址を埋めてしまうというアクシデントが生じた。幸い10月に入ると雨量も減り、晴天の日が多くなり、9月19日～11月6日で本地区を終了することができた。

E地区2 本地区は、表土削平・プラン確認を6月24日～30日にかけて行ない、7月6日～8月12日まで掘り下げ作業を行なう。グリッドは、きーと、81～103までの計322グリッドを設定した。遺構は、住居址32、竪穴状遺構1、土壤2、掘立柱建物址2、その他多数のピットが検出された。このうち弥生時代の住居址は5棟を数える。

梅雨があけて8月に入ると急に暑くなり、地面の乾燥はひどく散水したり、夕立により掘り下げた住居内に水が滲りかい出したりと、両者の繰り返しの日々であった。また、この地区より大形住居址が多くなり、比例して深くなつたために作業は一段と厳しくなる。

E地区3 本地区的グリッドはね～も、86～112の計351グリッドを設定する。表土削平、プラン確認を6日間かけて終了し、8月9日より掘り下げに入り9月19日終了する。

検出遺構は、住居址42、土壤14、特殊遺構3、掘立柱建物址9、その他ピット群等であった。本地区は、一辺11m～12mを測る最大の住居址が存在し、E地区2と統いて大形の住居址が多かった。また、掘立柱建物址が住居址と重複しており、混乱した面もあった。9月に入ても残暑が厳しく、粘土層の固い掘り下げと重なつてきつい作業の日々であった。

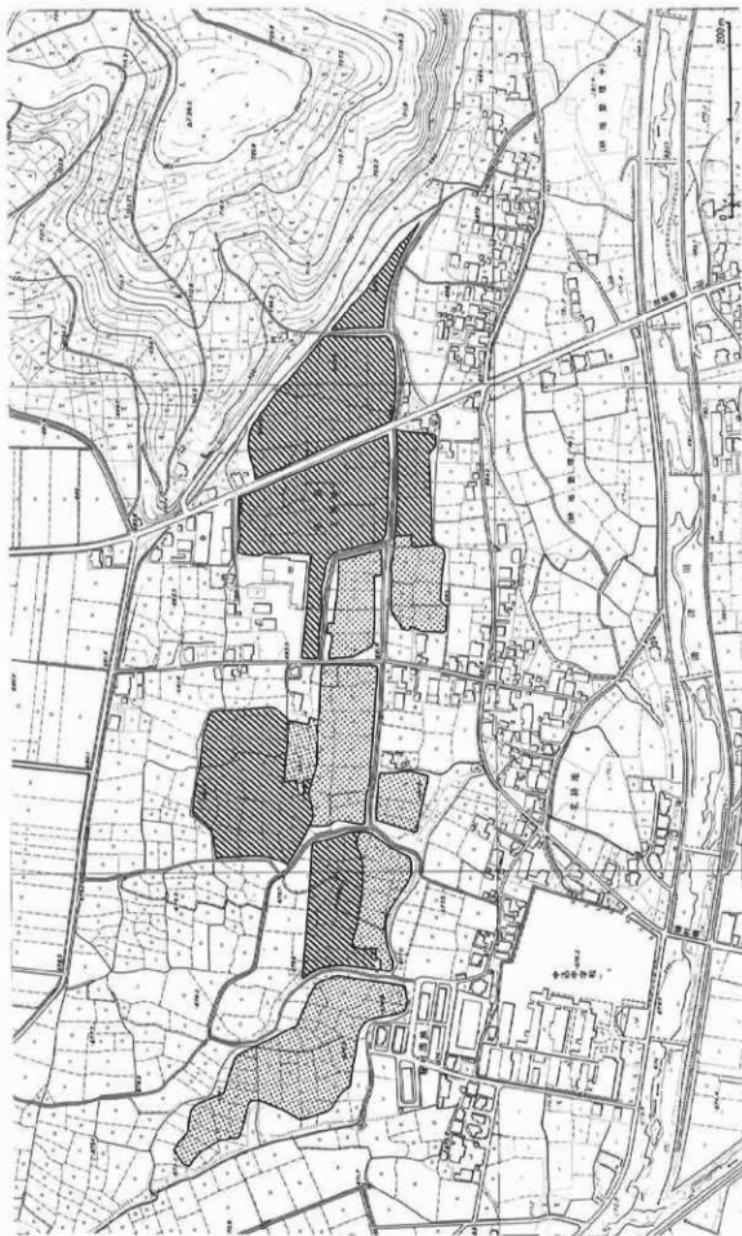
調査終了後の12月1日～3月30日までの期間は、出土遺物を各遺構毎に区分けし洗浄に入る。また現場実測図の整理及び全体図の作成を行ない報告を発刊する。

#### 昭和59年度

本年度は、報告書作成に向けて整理作業を行なう。312棟の住居址検出という大規模な調査結果となった為、現場作業の厳しさに加えて、整理作業も費用・期限の面で一段と厳しくなり、遺物の復元、実測は年度内だけでは不可能である見通しとなり断念せざるを得なくなった。そのため遺構編のみの報告書となり、不充分なものとなってしまった。貴重な大集落址の調査を完了するため、近い将来遺物編の刊行に向けてさらに努力したいと考えである。

- |        |  |
|--------|--|
| 4月     | 土器洗浄、註記  |
| 5月～12月 | 住居址実測図の整理、トレス、スクリントーン貼付、土器復元                               |
| 1月     | カマド実測図の整理、トレス、スクリントーン貼付、写真整理及び図版作成                         |
| 2月     | 竪穴状遺構、土壤、特殊遺構、掘立柱建物址の図面整理、トレス、スクリントーン貼付、図版作成、住居址一覧表作成、攝集作業 |
| 3月     | 原稿執筆、校正、出版。  |

第1図 線付道路地帯及び発掘調査区



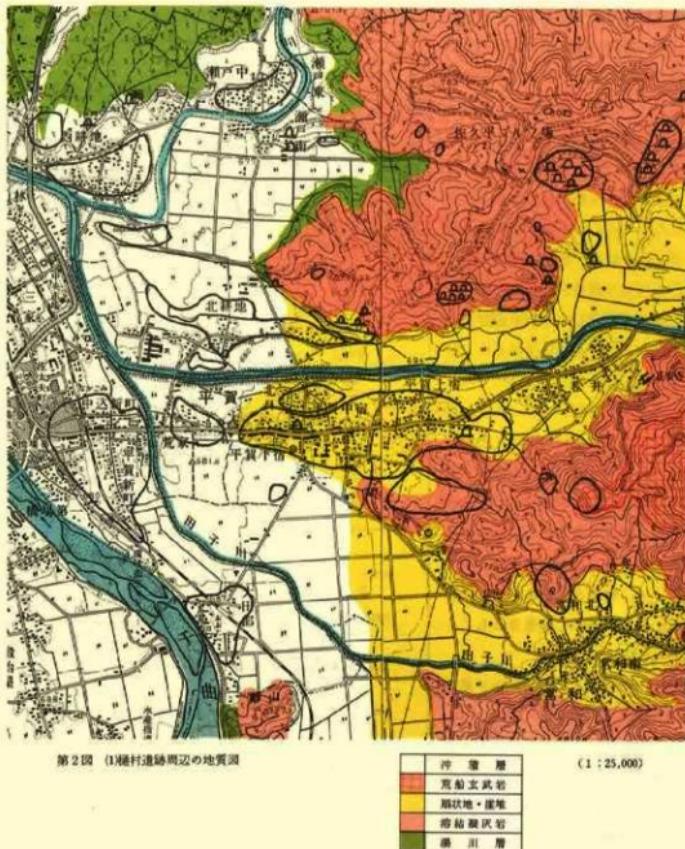
通航船出港区域

通航の存在が認められなかった調査区

## II 遺 跡 の 環 境

### 1. 植村遺跡付近の地形地質の概要

佐久平は千曲川の上流標高約700m・南北約20km・東西最大約10kmの長方形の高原盆地で東側群馬・長野県境は関東山地の最西北端部の延長が佐久山地となり、所によっては茂来山（1717m）が尾根のように千曲川沿岸まで迫っており、八風山（1315m）物見山（1375m）荒船山（1422m）を主峯とする妙義荒船佐久高原国定公園、南側は三国山（1850m）甲武信ヶ岳（2468m）金峯山（2595m）の高山地帯の秩父多摩国立公園によって埼玉・山梨県境に接している。西側はホッサマグナ（日本中部地溝帯）中心部に隆起噴出した赤岳（2899m）硫黄岳（2742m）蓼科山（2530m）霧ヶ峰・美ヶ原台地と続く八ヶ岳蓼科山火山列の八ヶ岳中信高原国定公園によって諏訪郡



界が形成され、北側は活火山浅間山（2560m）を南端とした上信越高原国定公園によって限られ、国立27・国定52公園の中の四つに四方に囲まれた自然風景観に恵まれた地域である。

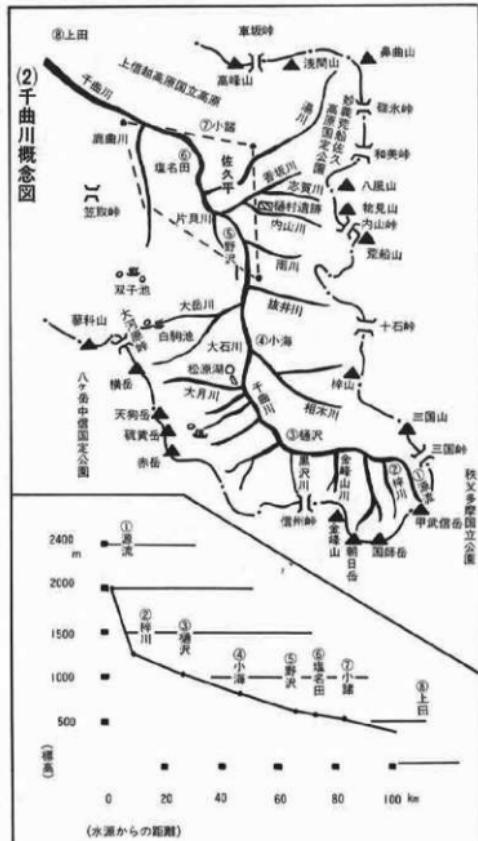
従って佐久平は千曲川の流出する西北部小県上田方面だけが平地続きで、他の各方面は何れも山地に囲まれ他の地域への交通は全て峠越しをしなければならなかつた。現在は余り利用されていないが古代から通過された記録のある峠路を数えて見ると群馬県側18・埼玉県側2・山梨県側6・諏訪郡側7・小県郡側2の計33をあげることが出来る。

地形や風景を表現する言語に山河とか山水などが用いられているが佐久平の河水は千曲川がすべてを代表している。千曲川は甲武信ヶ岳から源を発し、最上流域の川上地域では西流し、南牧村に入ると岩壁に囲まれた峡谷を北流し、小海町附近でようやく谷底を広め、佐久町附近では河床の標高750m内外となり両岸は次第に平地が広がり佐久平がこの附近から開けて、ほぼ北流し小諸市布引で標高550mとなる。この千曲川の流路が長菱形の佐久平の長い対角線に大体一致し、佐久市の中心部附近が東西の巾が最も広く菱形の短い対角線にあたつている。

広葉樹の集落の主脈を千曲川とするとその支脈にあたる支流が見事に発達している。右岸には相木川・抜井川・雨川・内山川・湯川・乙女川・深沢川・とその他的小支流を合せて15あり、左岸には梓川・金峰山川・失出川・袖添川・支月川・大石川・片貝川・鹿曲川とその他の小支流14が全般的に調和のとれた分布を示し、佐久平とその周辺では天然水に恵まれ干害を受ける事はなかった。この事は赤生式土器や遺跡の分布が実証し、現在では佐久平に於ける稻作の反当り収量が全国的に優れていること、それに関連しての稻田養鶏が古くから佐久盆地として良質共に伝統を持ち続けた要因でもあった。（第2図参照）

千曲川は最上流の花崗岩地帯・秩父古生層中生層地帯・八ヶ岳蓼科山・浅間火山山麓地帯を貫流し、又それらの地域を流下する多くの支流をも合せて河床礫を運んで来る所以千曲川原は岩石の標本室の觀を示し、古代人もこれを活用したことが遺跡発掘で確認されている。特に良質のチャートの石鎚・石斧・石匙などが多く発見されることは佐久地方の特徴である。

種村遺跡はこの佐久平の中心部やや東寄り内山川と志賀川の氾濫原に立地している。志賀川と内山川と本流千曲川の複合扇状地・氾濫原であり、原始状況の自然堤防の頃、戦国時代のこの附近の古地図には千曲川本流が現在の離れ山の東部田子川の流路を流れていることを示すものもあり、曰



田町境の離れ山は地質構造の上から東部山地（平賀城山・田口城山）の尾根続きのものが河川の浸食により切り開かれたものであることは地質図で明らかである。

穂村遺跡を中心とした、北は穂戸部落から南は太田部部落一帯の現在は基盤整備が完成された水田地であるが、以前この附近で水路改修・井戸掘削の際に埋れ木や泥炭状堆積物、微粒子良質粘土層が厚く堆積していた事を古考が語っている事と、太田部の穂村にはこの粘土を原料として日本瓦製造が昭和初期まで長く行われていた事を合せ、それに今回の遺跡発掘調査結果からこの地盤の成因は千曲川と支流内山川・志賀川合流点の沿岸一帯は大洪水のたびごとに濁流泥土の氾濫を繰り返し堆積した遊水池であったことを物語っている。

今回の発掘区域内に流路の何回かの変化・洪水量の多少による砂礫粒度差の堆積が数ヶ所に見られ、砂礫の岩質が西側が千曲川河床礫が比較的多く交ざり、東側には内山川河床礫のみとなる傾向が見られた。尚、遺跡出土石器の中には製造過程の破片と見られるものが多量に出土したが、磨製有孔石鏃の千枚岩と大型筋籠車の滑石は東信地方には原石産地はないので他地方からの移入と考えるより外はない。その他の出土石器は石質から佐久地方の原材料が使用されていた。

（白倉盛男）

## 2. 考古学的環境

穂村遺跡は、小海線中込駅の北東約1.3キロメートルの位置に所在し、北に志賀川が南に内山川が東西に流路をとるその中に立地した、志賀川と内山川の複合扇状地にあたる。特に志賀川は、遺跡付近で大きく蛇行しながら西耕地で内山川と合流して滑津川となり、やがて今井付近で千曲川に合流する。

穂村遺跡周辺の遺跡分布は、志賀川、内山川、田子川、滑津川、さらに千曲川を包括した、諸河川の複合扇状地、川沿いの微高地上に散在する。これ等の遺跡を時代別に概観してみたい。

先ず、縄文時代の遺跡は、穂村遺跡の南西端部で現在の集落の存在する地点より、縄文中期後半曾利式、後期加曾利B式の遺物が採集されている。今回の発掘調査区からも、中期後半の土器片が2、3片出土している。また、穂村遺跡の北西に隣接した上の台遺跡は、昭和57年度の穂村遺跡第一次調査中先に進行していた圃場整備工事の現場で、考古学に興味のある地元の農家の方が発見した新遺跡で、縄文前期（諸磯期）・縄文中期後半の遺物が採集された。上の台遺跡より東に1.5kmに入った扇状地に城遺跡があり、ここでも中期後半の土器散布が見受けられる。また、古墳群が群集する内山地区の長峯遺跡にも中期後半の土器分布がみられる。内山川の左岸平賀地区に入ると宮の前遺跡には中期中葉の勝坂式、後半の曾利式、縄文後期の堀の内式土器、その他石器類が多量に採集されている。さらに、荒屋遺跡からは、八幡一郎氏が「南佐久郡の考古学的調査」の中で凹石が出土していることを記録している。田子川と千曲川にはさまれた太田部には、久瀬派遺跡が存在し、打製石斧、凹石が採集されているのみで土器の散布はみられない。

以上のように、縄文時代の遺跡は小規模で遺物は、宮の前遺跡以外はうすい散布状況であり、集落も点的なあり方を示している。

弥生時代に入ると遺跡は急増する。穂村遺跡第1次調査では、中期栗林式の住居址4棟、後期吉田式10棟、環濠2、溝3が検出され、環濠集落の要素も伺える。第2次調査では、中期1、後期6の住居址が検出された。北西隅の上の台遺跡は、昭和57年度の調査において後期吉田式の住居址2棟が検出されている。また、穂村遺跡を取り囲むように南西部には、川原田遺跡、北東部には、後家遺跡、後家山遺跡が存在し、共に後期土器片が発見されている。その北部志賀川の左岸には、城遺跡があり後期土器、太形蛤刃石斧等が採集されている。また、北南に流路をとっていた志賀川が東西に大きく蛇行して滑津川と合流する地点に、弥生後期の西耕地遺跡が存在する。その北隣には、昭和47年発掘調査された深堀遺跡があり、栗林式の住居址2棟が検出された。この他内山川左岸の平賀地区には、荒屋遺跡、荒神遺跡、中屋敷遺跡、久瀬派遺跡、宮の前遺跡があり、共に弥生後期の土器片、太形蛤刃石斧等が採集されている。



第3図 楠村道路周辺の湧跡分布図

第1表 周辺遺跡一覧表

No.	遺跡名	所在地	立地	縄 弥 古 墾	歴	備 考
1	隨 村	平賀字北耕地隨村	段丘	○	○ ○ ○ ○	
2	後 家 山 古 墳	平賀字後家山	丘陵		○	昭49年発掘調査
3	後 家 山	〃	段丘	○		
4	後 家	平賀字後家	〃	○	○ ○ ○	昭58年分布調査にて新発見
5	川 原 田	平賀字川原田	〃	○	○ ○ ○	昭58年分布調査にて新発見
6	上 の 台	瀬戸字上の台	〃	○	○ ○ ○ ○	昭58年発掘調査(園場整備中新発見)
7	西 耕 地	瀬戸字西耕地	段丘	○	○ ○ ○	
8	深 堀	中込字深堀	台地	○		昭47年発掘調査
9	本 郷	瀬戸字中家敷	〃		○	
10	城	瀬戸字城	〃	○	○ ○ ○ ○	
11	宮 の 協	瀬戸字宮の協	台地		○	昭58年分布調査にて新発見
12	長 峯	内山字長峯	台地	○	○ ○ ○	
13	長峯古墳群A	〃	山頂～山麓		○	
14	〃B	〃	〃		○	
15	坪 内	内山字坪内	段丘		○	昭58年分布調査にて新発見
16	東 和 田	内山字東和田	〃		○	〃
17	西 和 田	内山字西和田	〃		○	〃
18	月 崎 古 墳 群	平賀字月崎	山腹	○		昭42年分布調査実施
19	東姥石古墳群	平賀字東姥石	〃		○	〃
20	東 姥 石	内山字東姥石	段丘		○	昭58年分布調査にて新発見
21	新 町	中込字新町・横道 孤塚・南塚	敵高地	○	○ ○	〃
22	荒 屋	平賀字荒屋	段丘	○	○ ○ ○	
23	荒 神	平賀字荒神	〃	○	○ ○ ○	昭58年分布調査にて新発見
24	中 屋 敷	平賀字中屋敷	〃	○	○ ○ ○	
25	南 谷 津	平賀字南谷津	〃	○	○ ○ ○	昭58年分布調査にて新発見
26	滝 下 古 墳 群	平賀字滝下	〃		○	
27	平 賀 城 跡	平賀字城平・城下	山頂		○	
28	宮 の 前	平賀字常和宮の前	山麓	○	○ ○ ○ ○	
29	西大久保古墳群	平賀字西大久保	山腹		○	
30	中 壠	平賀字中壠	敵高地		○	昭58年分布調査にて新発見
31	久 纏 派	平賀字太田部	段丘	○	○ ○ ○ ○	昭58年分布調査にて、版塚も含み広くなる

古墳時代に入ると遺跡はさらに急増し、規模も大きく、密集した大集落が営まれていたことが本調査によって判明した。こうした集落の首長たる人物を埋葬したかのように、後家山、北耕地、東久保、月崎、東姥石、西和田、坪内、長峯A・B等の古墳群が、北東山間部の丘陵に群をなしている。樋村遺跡の中にも、2基の古墳が存在していたことが記録に残されているが、現在は住宅が建ち並びあとからもない。

昭和49年10月、遺跡の北東に存在する後家山古墳が発掘調査された。この古墳は後家山丘陵斜面の西端に位置し、標高は736mを測る。戦後、盗掘されて石室主体部の岩石はほとんど取り除かれ、農道の石材として使われてしまつたため、横穴式の石室は地表に露出しており、側壁の最下段とかもち石、礎床等が検出残存していたのみであった。規模は、墳丘径17.4mを測る円墳で、玄室全長4.8m、玄室及羨道幅2.3m、玄室長さ2.9mを測る。石室プランは長方形で、玄室、羨道は同幅で大形のかまち石で境をなしていた。また、墳丘は自然丘陵を利用しておらず、丘陵を長方形に掘りこみ、壁を築き、裏積みをなしたと推定されるもので、周辺古墳の中核的規模であるとされている。出土遺物は、水晶製の切子玉8、管玉7、ガラス小玉14、小形臼玉12、鉄鏡12、直刀片5、刀子2、鉄片、土師器片多數と須恵器片少量等である。これ等の副葬品と同類のものが樋村遺跡の住居址からも多量に出土している。切子玉、管玉、臼玉、勾玉、鉄鏡、刀子、銅環等である。特に臼玉は多くの住居址から出土しており、装飾品として一般的であったものとおもわれる。こうした古墳を築造した人々の集落がどのような規模で、どのように存在したのか、過去における調査および遺跡分布のあり方から考えて、とうてい樋村遺跡にみられるような、密集した大集落を形成しているとは想像でき得なかった。しかし、40,000m<sup>2</sup>の土地に300棟の住居がひしめきあっている現実をみた時、古墳時代後期が2~3期に区分されて存在していた集落であっても、一時期の棟数は相当数にのぼることと、集落はまだ現在宅地にされている樋村地区全体に広がっている可能性もあり、今回の調査によって集落およびムラを考える一つのメルクマールが出来たことは大きな成果である。同時代の遺跡は、内山川左岸および田子川沿いに、新町遺跡、荒屋遺跡、荒神遺跡、中屋敷遺跡、南谷津遺跡、久禪派遺跡が存在しております。対岸には、後家遺跡、川原田遺跡、上の台遺跡、西耕地遺跡、城遺跡、長峯遺跡等が分布している。これ等の遺跡は範囲も広く、現在の集落に劣らぬ大集落が形成されていたものとおもわれる。こうした集落のモニュメントとして古墳群が大きく関わってくるのである。

歴史時代の遺跡は、そのほとんどが古墳時代と連続して集落が形成されている。新たに加わった遺跡は、宮の脇遺跡、坪内遺跡、東和田遺跡、西和田遺跡、東姥石遺跡、中壠遺跡等であるがどれも規模は小さくて大きく分散していることが特徴的である。古墳時代にみられた大集落が縮小したことを探る分布の状態を示している。反面、耕作地の起因した集落の分散も考えられ、水田開発はこの期に入つて出来上がってきたものとおもわれる。そして平賀氏がやがて権勢をふるう下地が、この頃より培われていたのであろう。

また、江戸時代末期には遺跡一帯の土層が良質の強粘土層であるため、これに目をつけた三河の瓦製造業者山田伊兵衛が職人を共なつてこの地にやって来た。そして、西耕地に工場を建て、江戸時代末期~昭和15年まで瓦製造をおこなっている。

以上が樋村遺跡周辺の遺跡分布状態である。第1表で明記してあるように昭和57・58年度に実施された佐久市遺跡詳細分布調査によって、樋村遺跡周辺からは、12遺跡が新たに発見されより面密な資料提出となつた。

(島田恵子)

### III 層序

越村遺跡は、内山川と志賀川および本流千曲川の複合扇状地・氾濫原に立地している。遺跡一帯の土層は、微粒子状の強粘土層に覆われているが、全体図に示した如く数ヶ所漆黒色土が帶状に層をなしている沈殿池や砂礫層が露出している場所が見られる。この地盤の成因は、たび重なる大洪水の氾濫により、遊水地底での堆積を繰り返した結果、長い期間の沈殿により形成された粘土層は粒度が均質で粘り強く良質である。

また、57年度の第1次調査区では、砂礫の岩質が千曲川河床礫と内山川河床礫とが混入していたが、58年度の第2次調査区では、そのほとんどが内山川河床礫であった。

I層は、褐色を呈した耕作土で、粒子の緻密な強粘土層に小石粒を微量含み固い。層厚は35cm前後を測る。

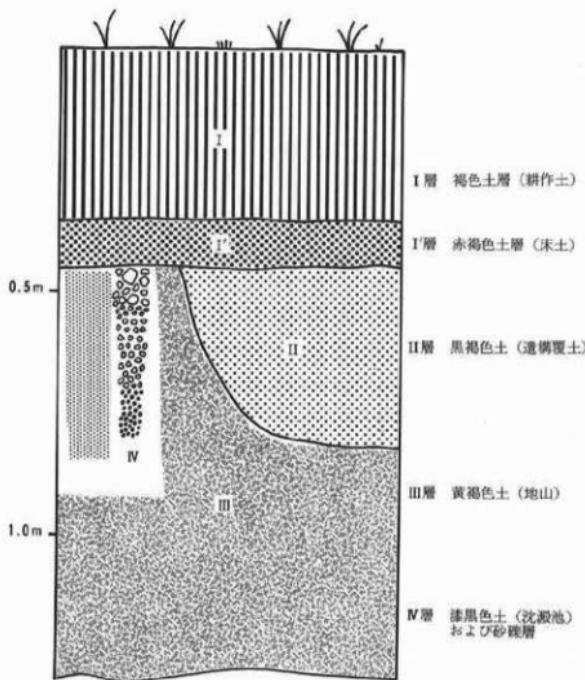
I'層は、水酸化鉄を含んだ水田床土でコチコチに固い。この床土を取り除いた直下より遺構が確認される。

II層は、遺構覆土である。1cm~3cmの黄色粘土ブロックを斑点状乃至2mm~5mm大の粒状に含んだ強粘土層で固く引き締っている。保水性に富んでいたため、出土土器は磨耗が著しい。

III層は、黄褐色を呈した緻密で良質な強粘土層の地山である。II層に含まれていた黄色粘土ブロックを斑点状に混入する。

IV層は、調査区内のところどころに見られた洪水の氾濫に起因する砂礫層および腐植によって生じた有機質の漆黒色土と砂層の沈殿池である。

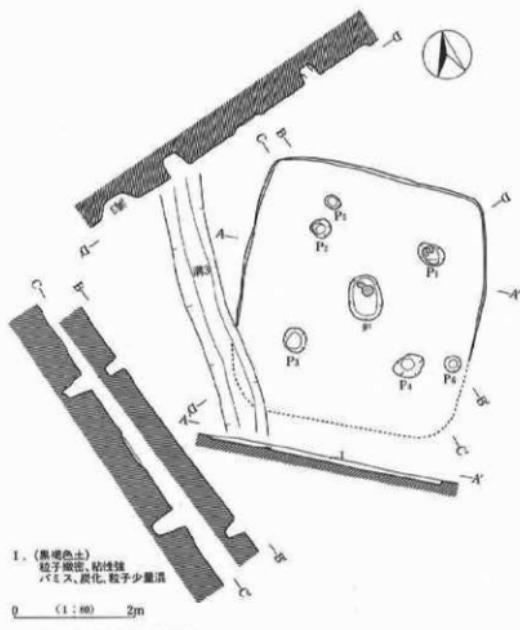
(白倉盛男・島田恵子)



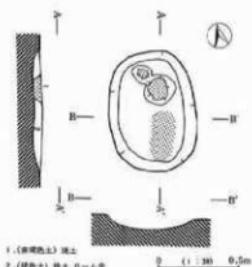
第4図 層序模式図

## IV 遺構

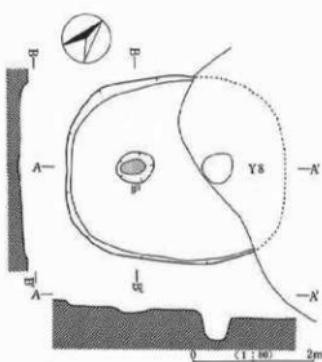
### 1 弥生時代



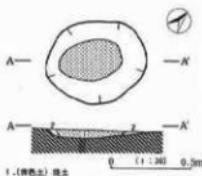
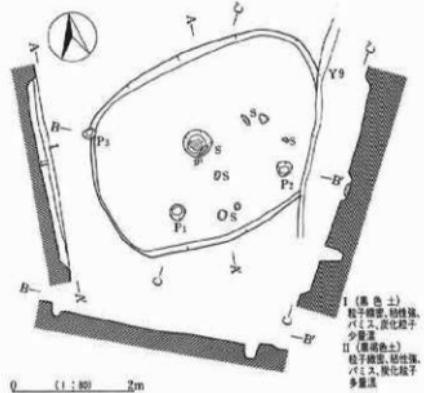
第5図 Y1号住居址実測図



第6図 Y1号住居址実測図



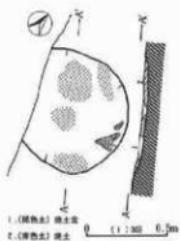
第7図 Y2号住居址実測図



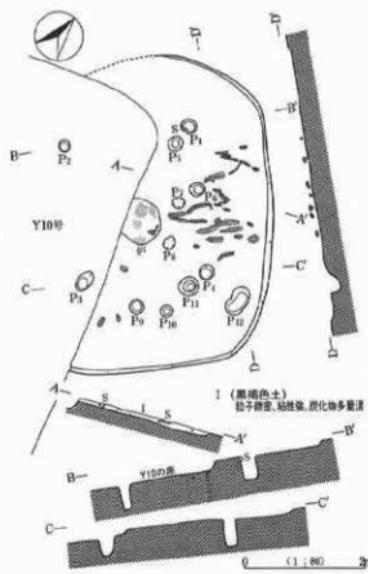
第9図 Y3号住居址実測図



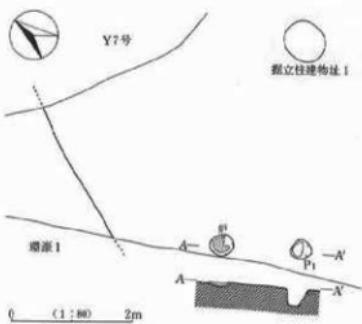
第10図 Y3号住居址炉実測図



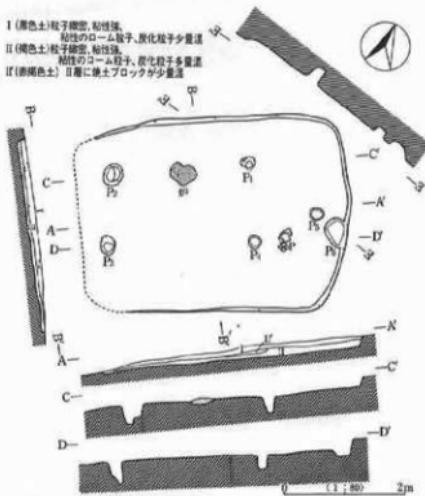
第12図 Y4号住居址炉実測図



第11図 Y4号住居址炉実測図



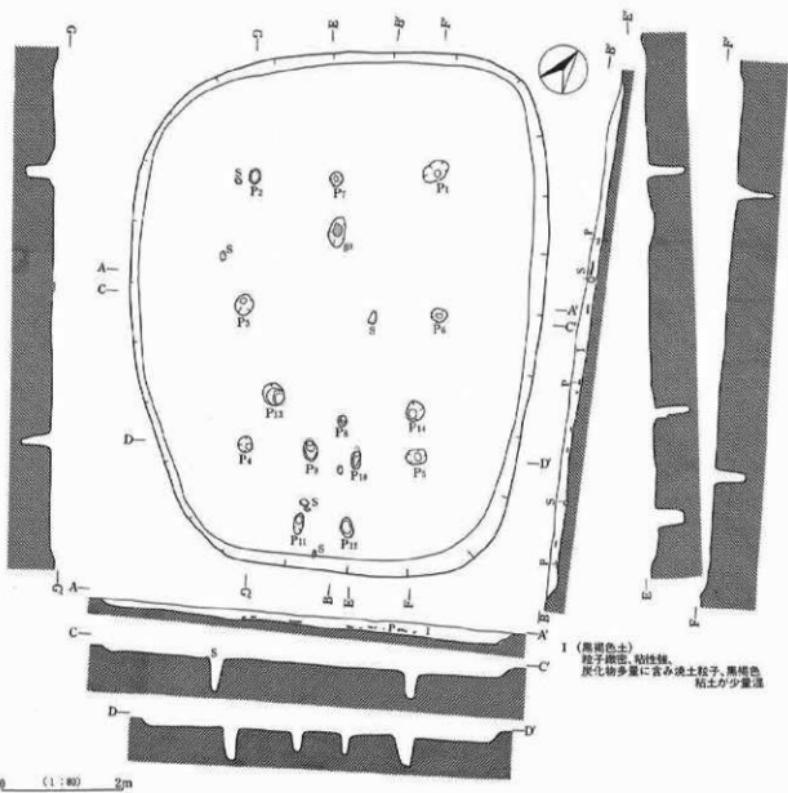
第13図 Y5号住居址炉実測図



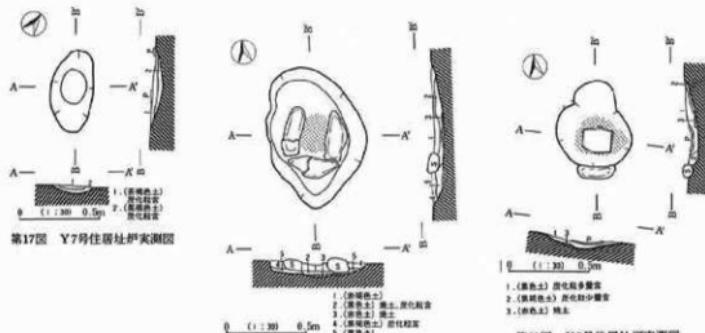
第14図 Y6号住居址炉実測図



第15図 Y6号住居址炉実測図



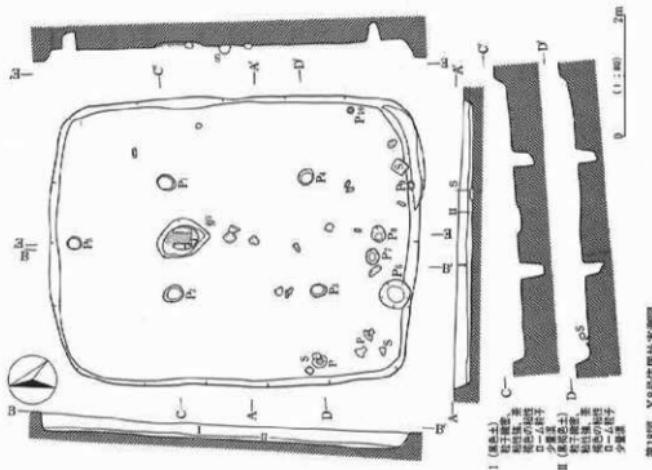
第16図 Y7号住居址実測図



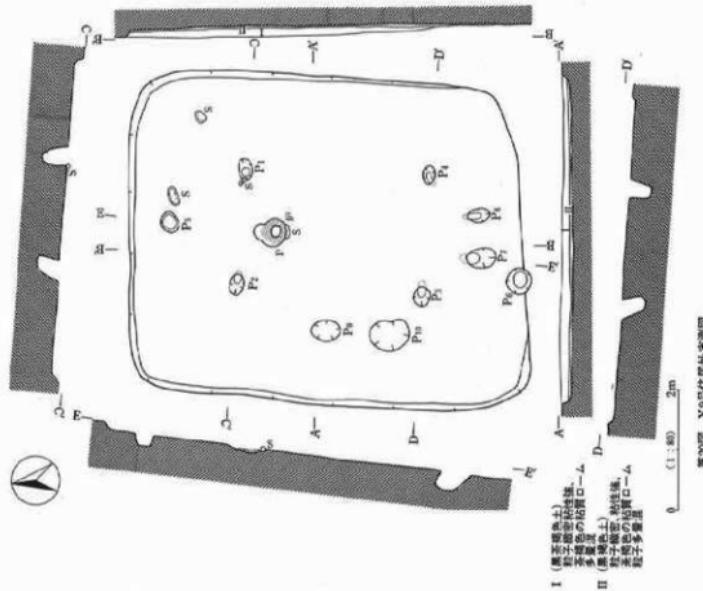
第17図 Y7号住居址実測図

第19図 Y7号住居址実測図

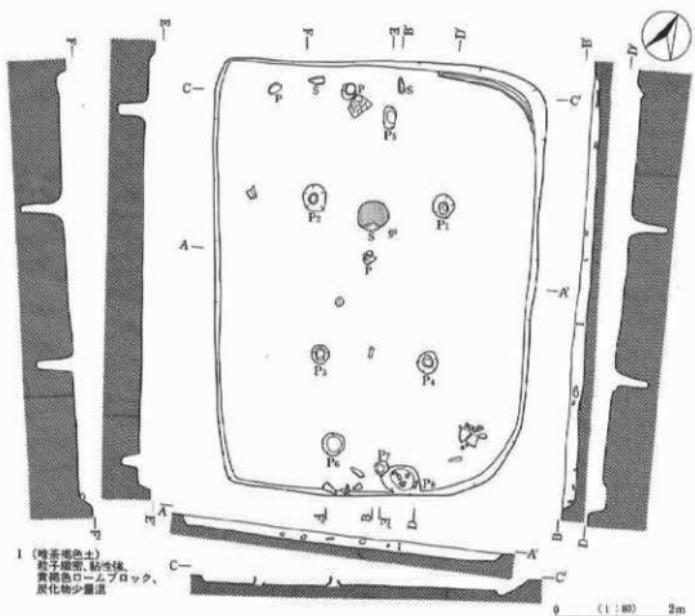
第21図 Y9号住居址実測図



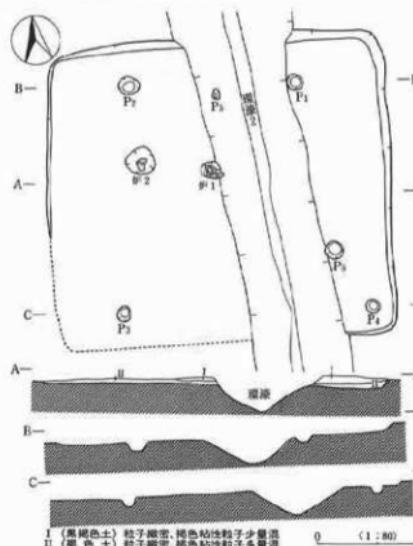
第18図 Y8号生田井水井図



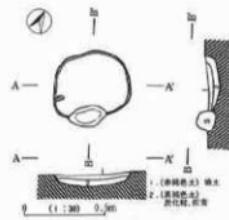
第19図 Y9号生田井水井図



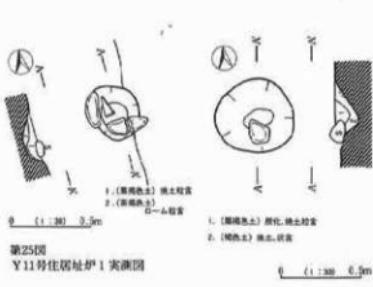
第22図 Y10号住居址実測図



第24図 Y11号住居址実測図

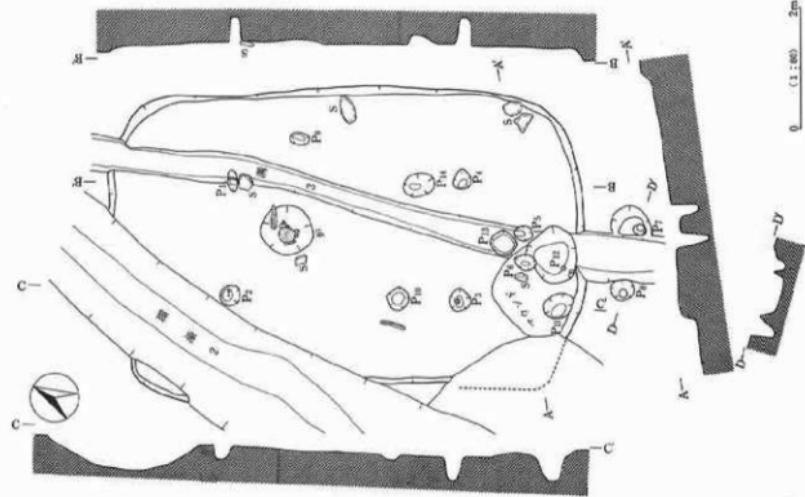


第23図 Y10号住居址炉1実測図

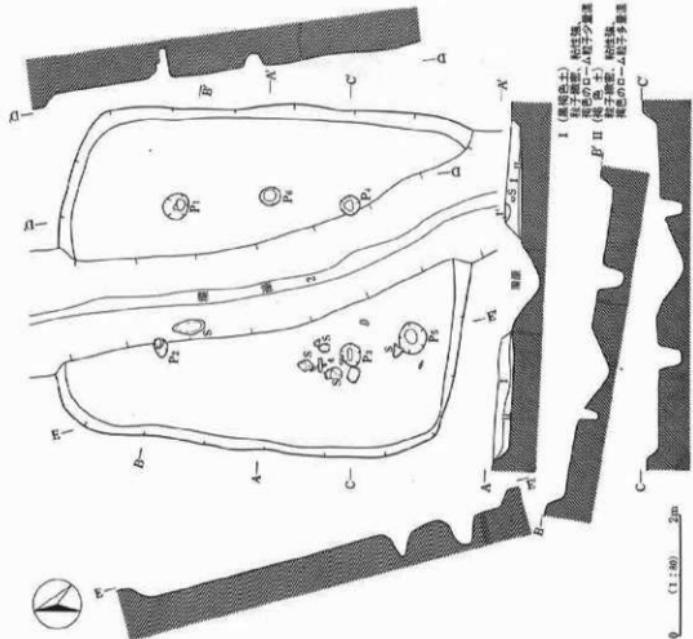


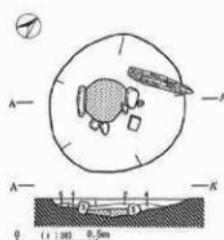
第26図 Y11号住居址炉2実測図

第27図 Y12号生胚地質断面

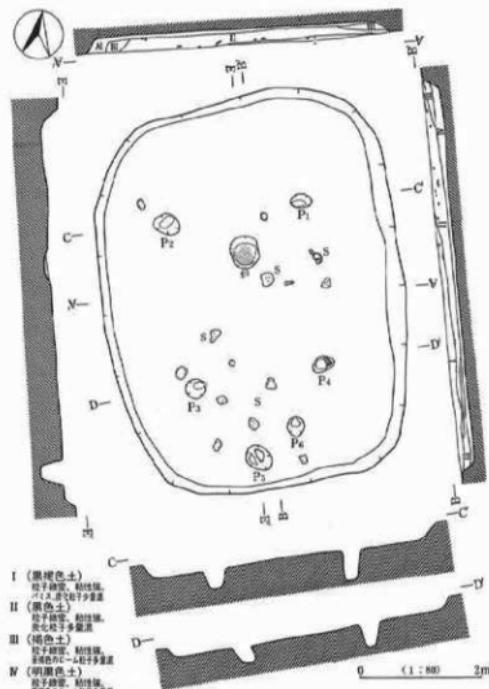


第28図 Y13号生胚地質断面

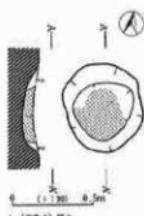




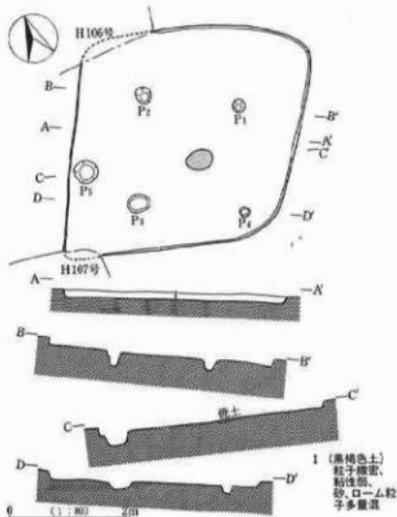
第28図 Y12号住居址実測図



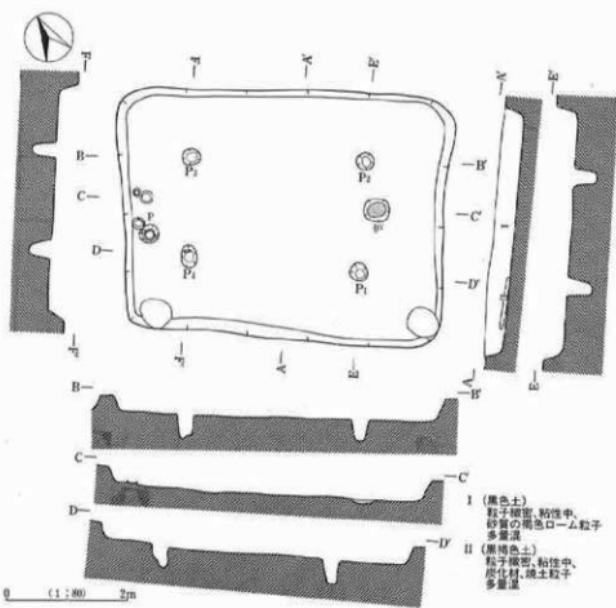
第29図 Y14号住居址実測図



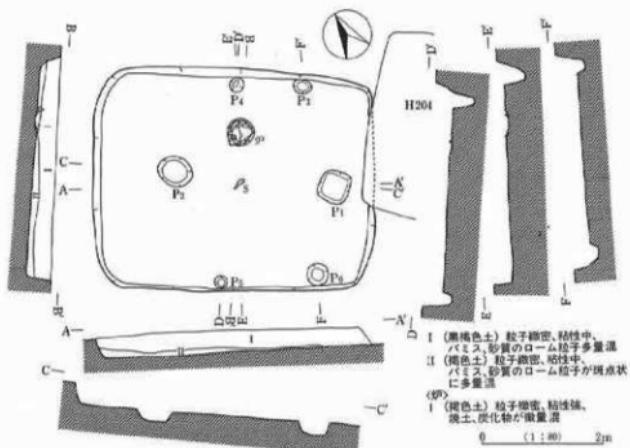
第30図 Y14号住居址実測図



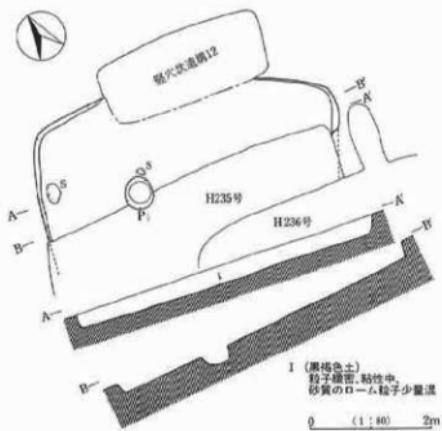
第32図 Y15号住居址実測図



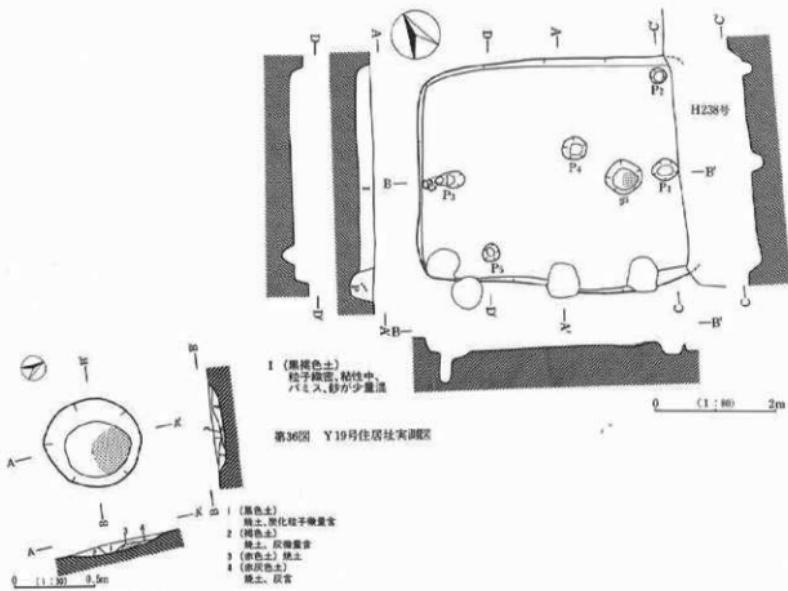
第33図 Y16号住居址実測図



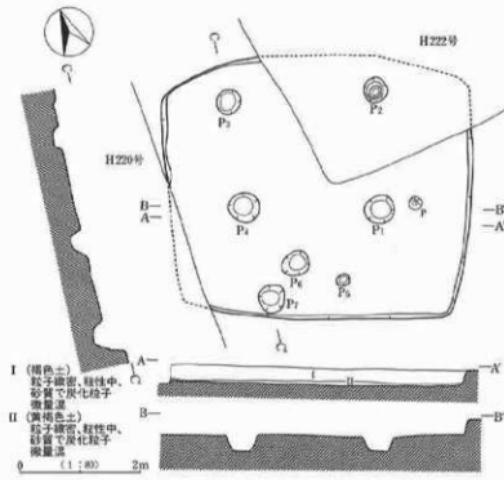
第34図 Y17号住居址実測図



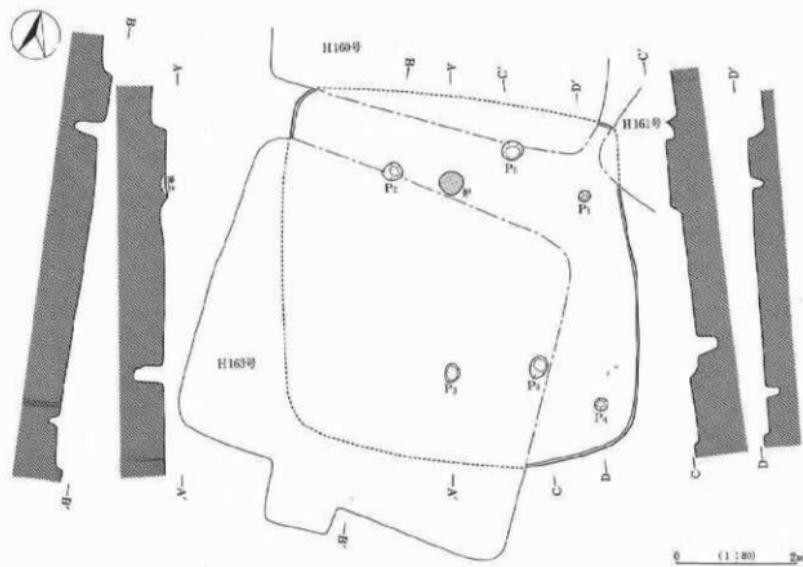
第35図 Y18号住居址実測図



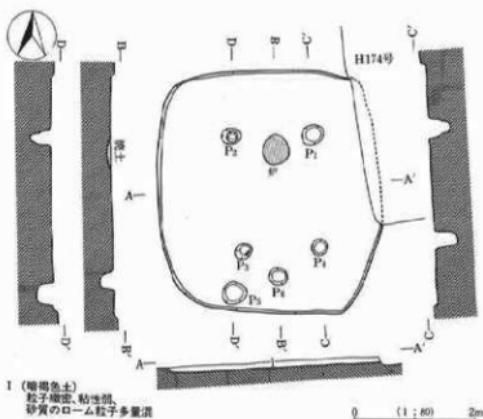
第36図 Y19号住居址実測図



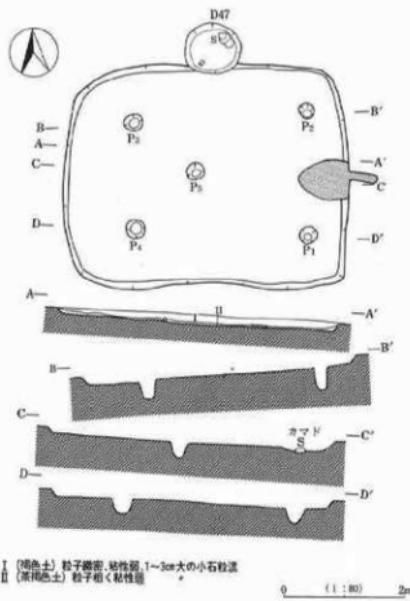
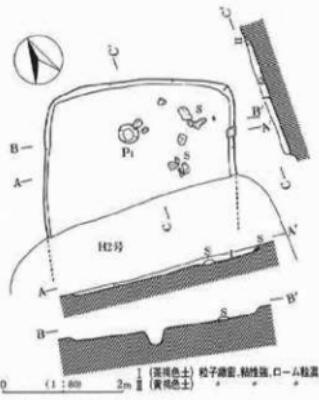
第38图 Y20号住居址実測図

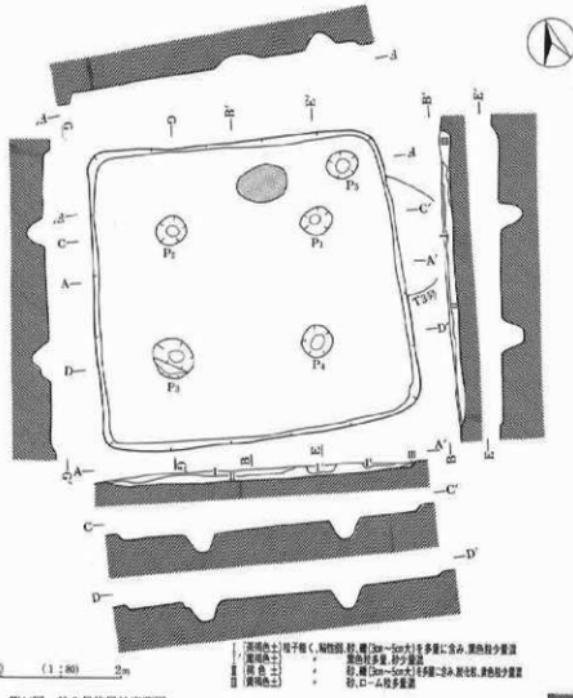


第39图 Y21号住居址実測図

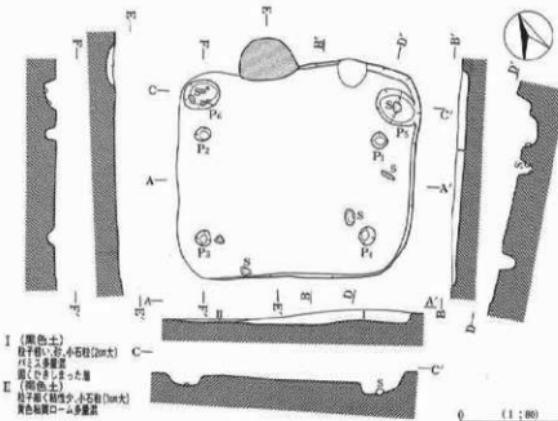


## 2 古墳時代・奈良時代・平安時代

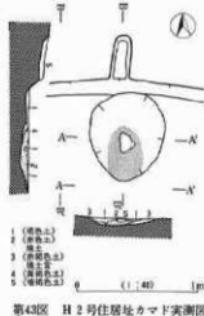




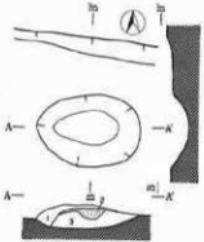
第44図 H3号住居址実測図



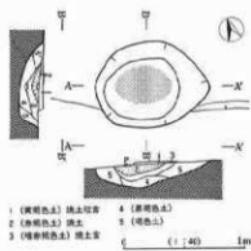
第46図 H4号住居址実測図



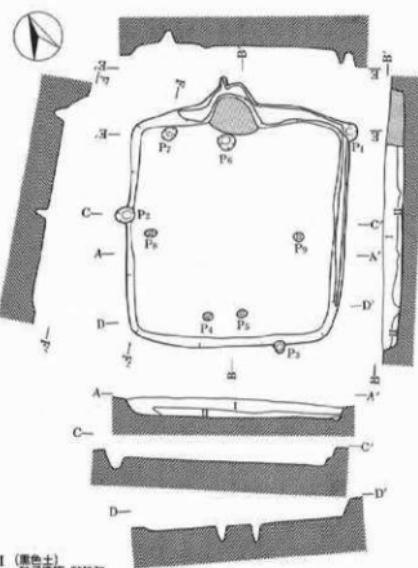
第43図 H2号住居址カマド実測図



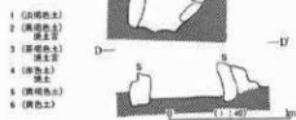
第45図 H3号住居址カマド実測図



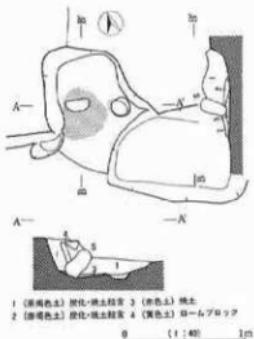
第47図 H4母性住居カマド実測図



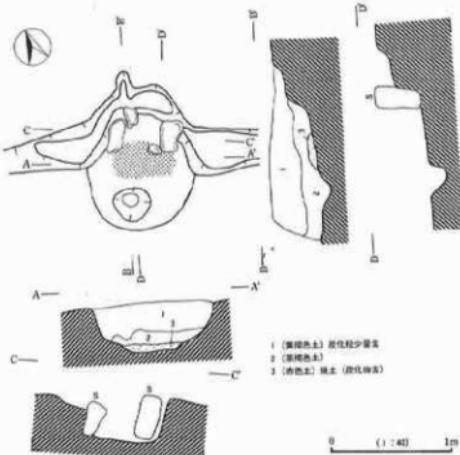
第48図 H5母性住居カマド実測図



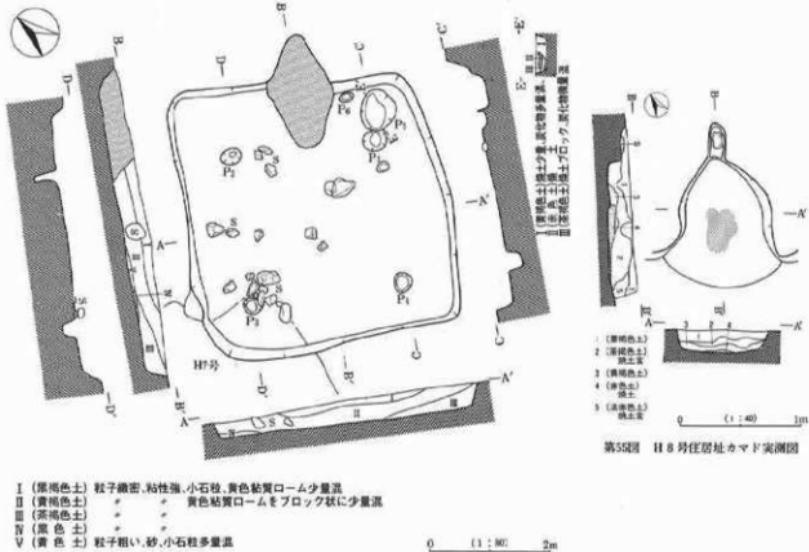
第49図 H6母性住居カマド実測図



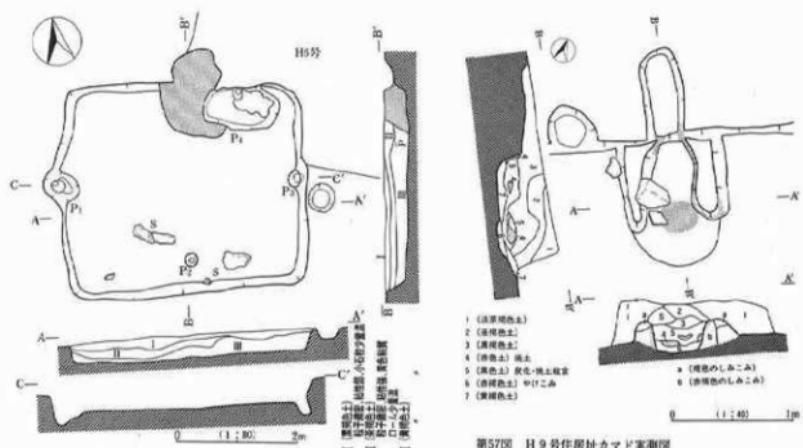
第50図 H7母性住居カマド実測図



第49図 H8母性住居カマド実測図

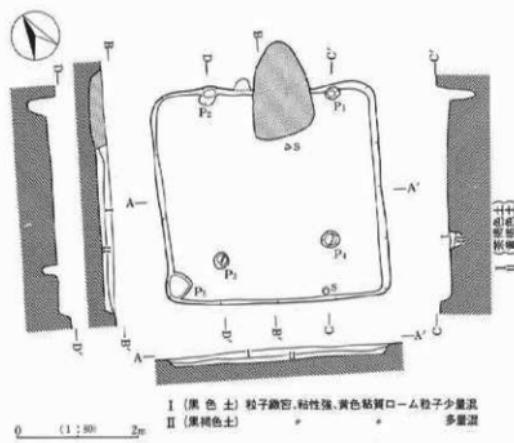


第54図 H 6号住居址カマド実測図

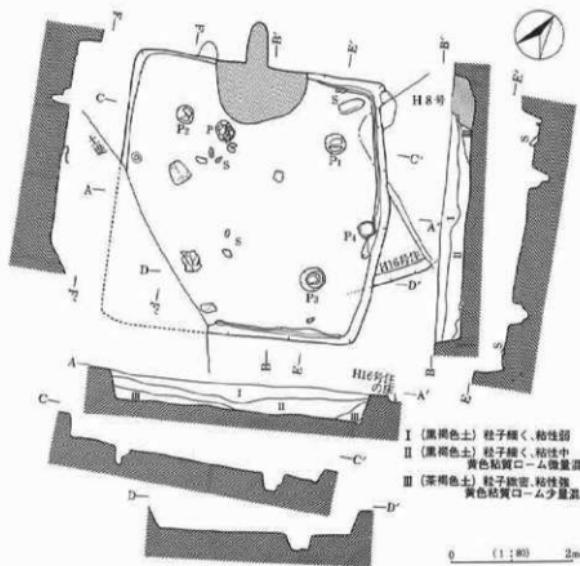


第55図 H 7号住居址カマド実測図

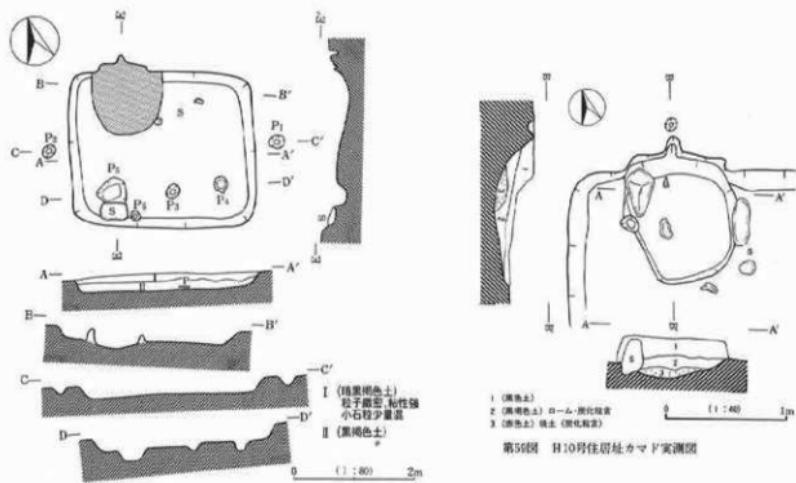
第54図 H 6号住居址実測図



第54図 H 8号住居址実測図

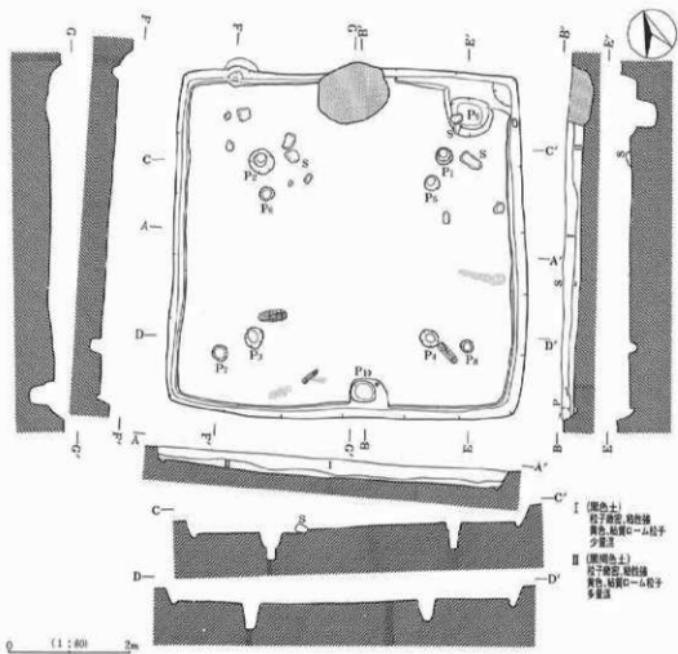


第55図 H 9号・16号住居址実測図

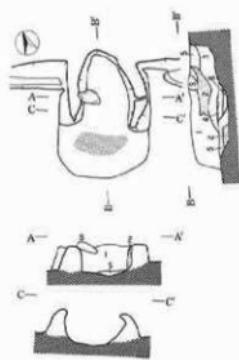


第59図 H10号住居址カマド実測図

第58図 H10号住居址案測図



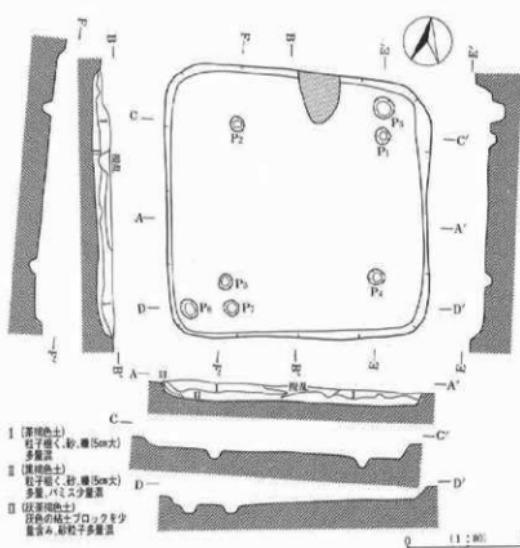
第60図 H11号住居址案測図



1 (黒色土) 黒色粘土  
2 (褐色土) 褐色土  
3 (褐色土) 黄褐色土  
4 (褐色土) 黄褐色土  
5 (褐色土) 黄褐色土  
6 (灰褐色土) 灰褐色土

0 (1:40) 1m

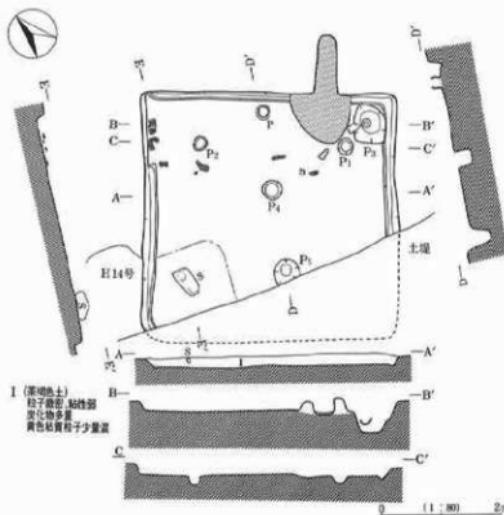
第61図 H11号住居址 カマド実測図



I (黒褐色土) 黒色粘土  
II (褐色土) 褐色土  
III (褐色土) 黄褐色土  
IV (灰褐色土) 灰褐色土

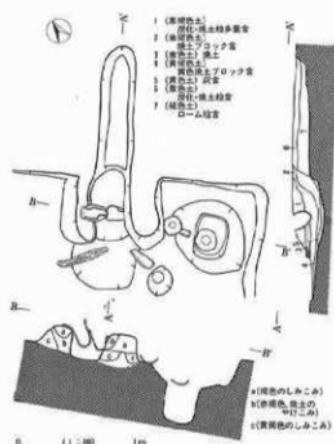
0 (1:80) 2m

第62図 H12号住居址 実測図

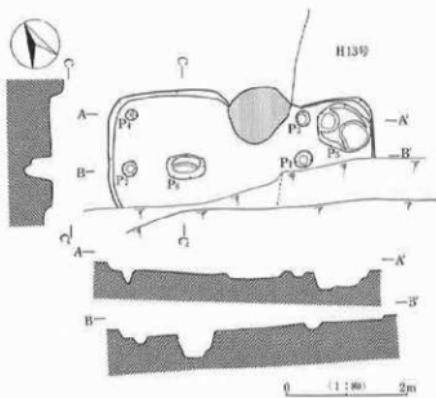


I (褐色土) 黃褐色土  
II (褐色土) 黄褐色土  
III (褐色土) 黄褐色土  
IV (褐色土) 黄褐色土  
V (褐色土) 黄褐色土  
VI (褐色土) 黄褐色土  
VII (褐色土) 黄褐色土

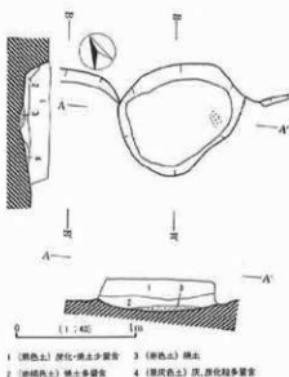
第63図 H13号住居址 実測図



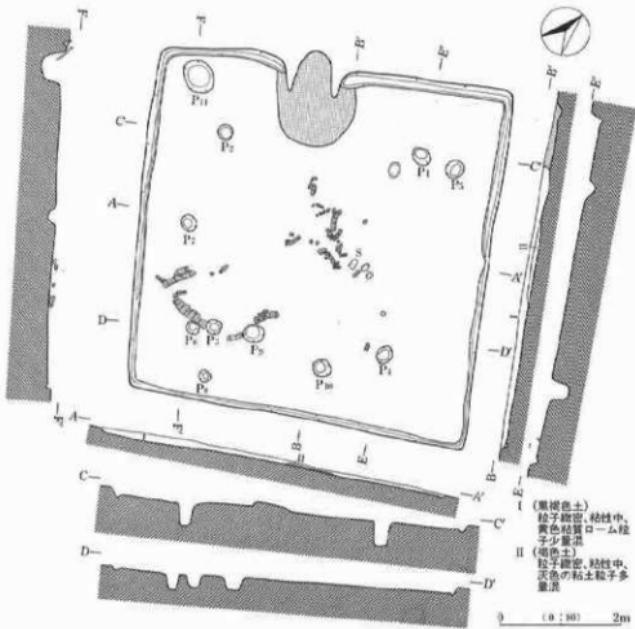
第64図 H13号住居址 カマド実測図



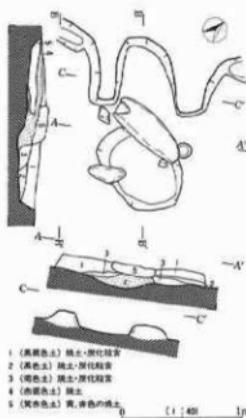
第65図 H14号住居址実測図



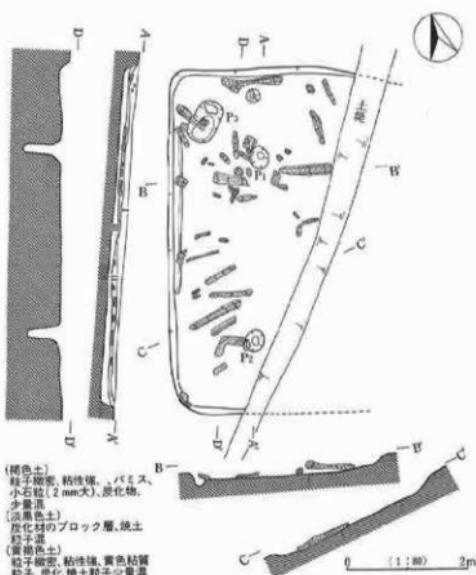
第66図 H14号住居址カマド実測図



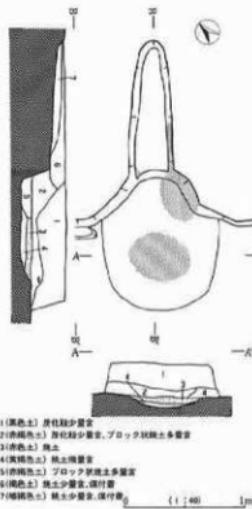
第67図 H15号住居址実測図



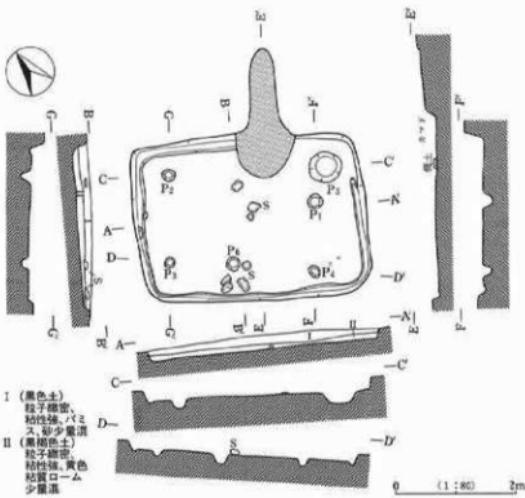
第68図 H15号住居址カマド実測図



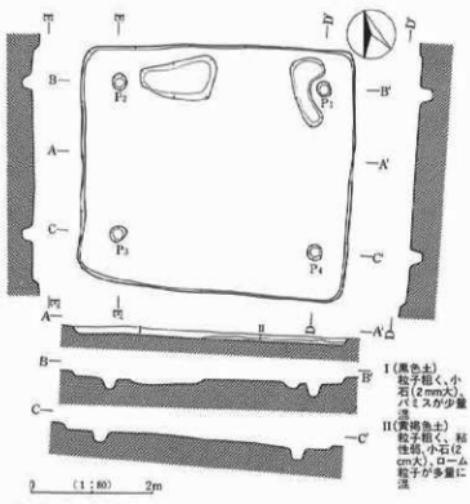
第69図 H17号住居址実測図



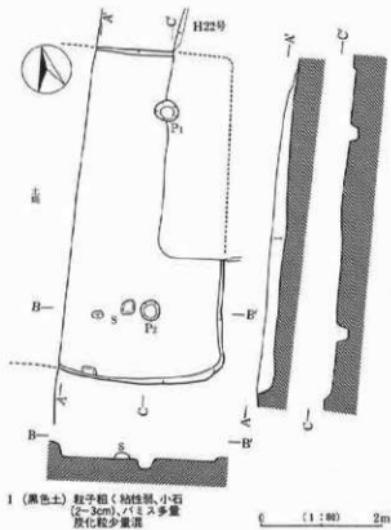
第70図 H18号住居址カマド実測図



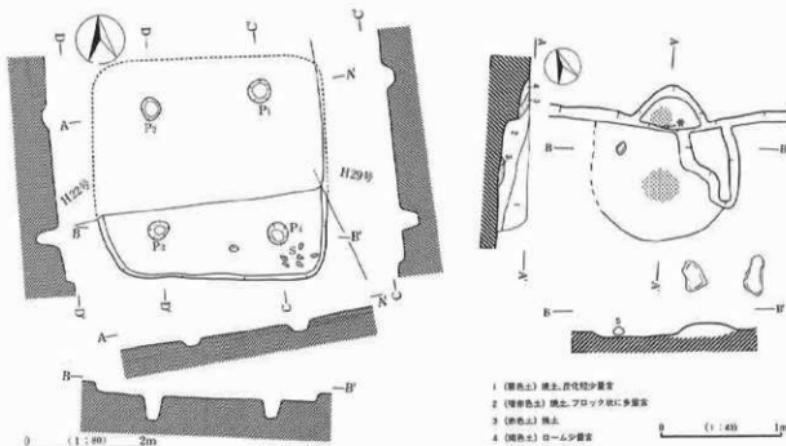
第71図 H19号住居址実測図



第72図 H 19号住居址実測図



第73図 H 20号住居址実測図

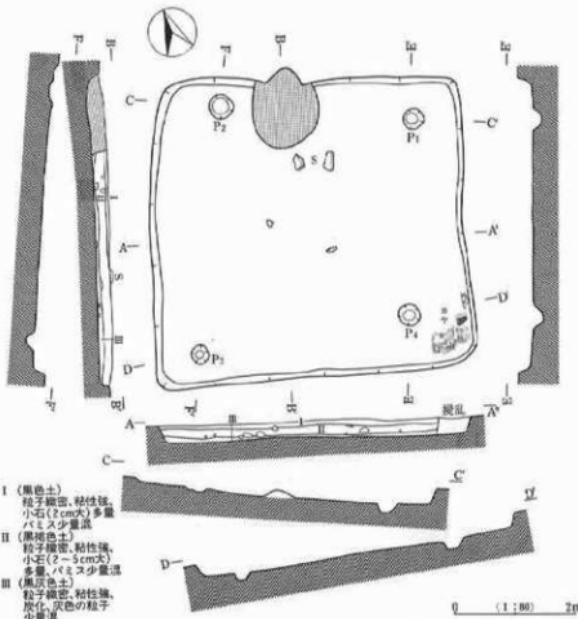


第74図 H21号住居址実測図

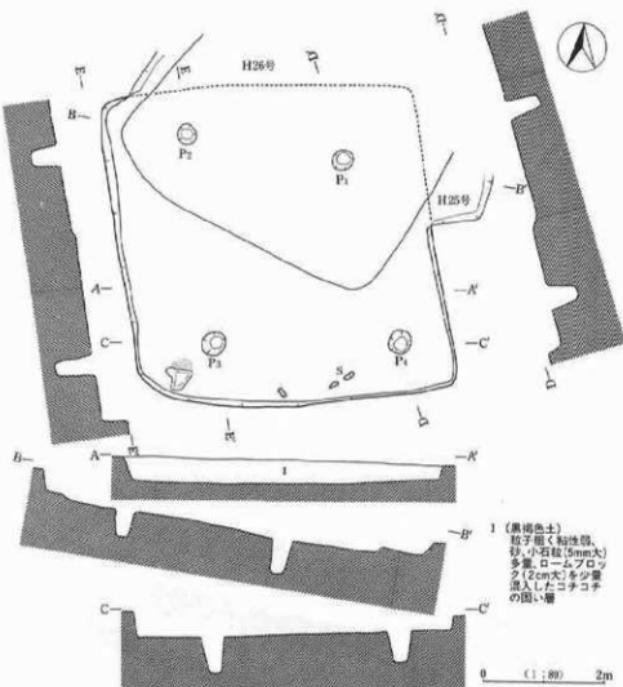
I (黒色土) 地土、粘化物少量  
II (褐色色土) 地土、ブロック状に多量  
III (褐色色土) 地土  
IV (褐色色土) ロームシ混合

0 (1 : 40) 1m

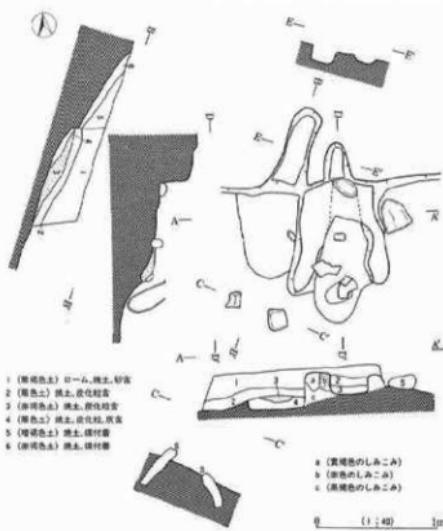
第75図 H22号住居址カマド実測図



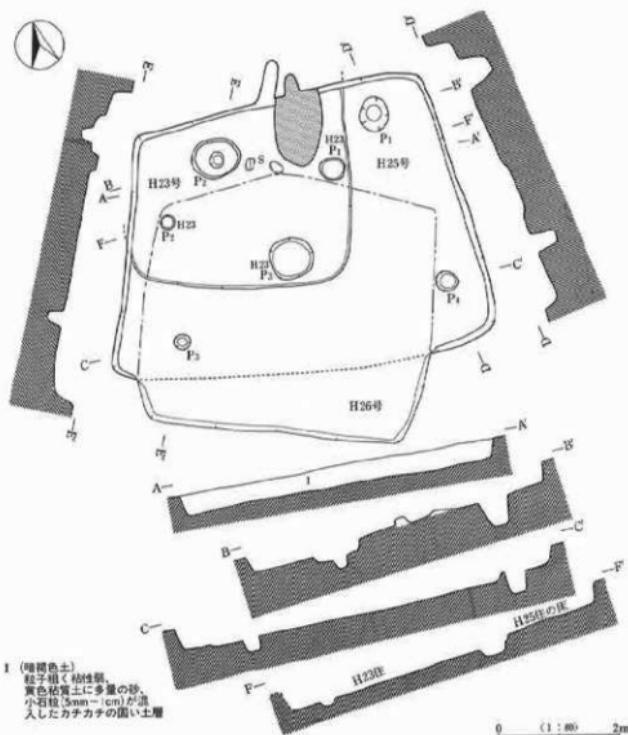
第75図 H22号住居址実測図



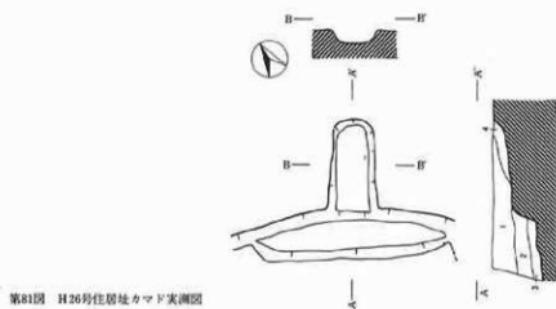
第77図 H24号住居址実測図



第78図 H25号住居址カマド実測図



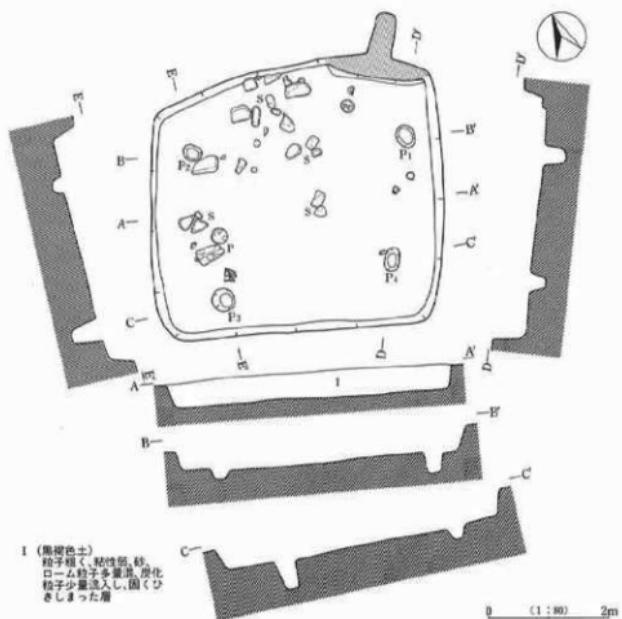
第78図 H23・25号住居址実測図



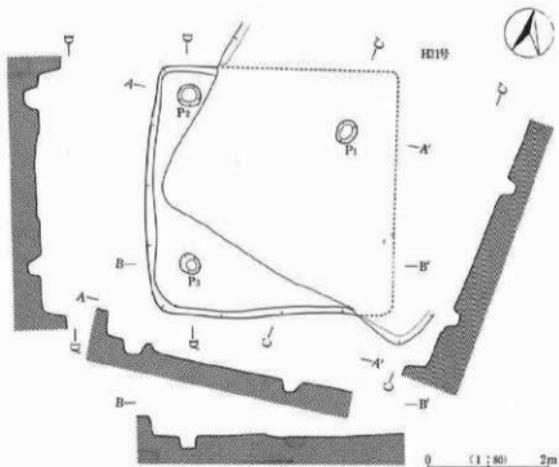
第81図 H26号住居址カマド実測図

- Legend:
- (暗褐色土) 砂土ブロック、砂、小石粒少數含む
  - (黒褐色土) 砂少數、炭化、焼土微混含む
  - (褐褐色土) 砂少數、炭化、焼土微混含む
  - (暗褐色土) 砂、焼土微混含む

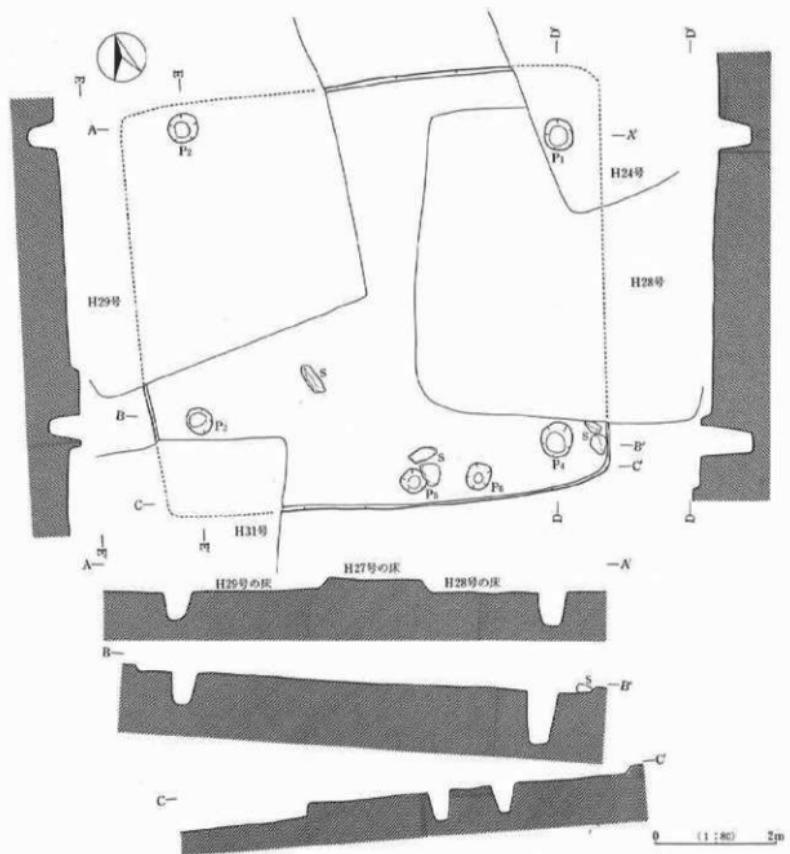
0 (1:40) 1m



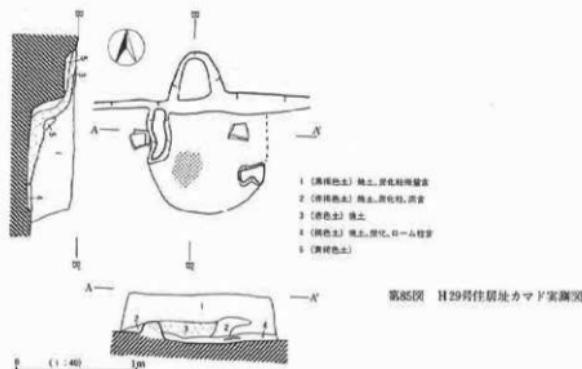
第80図 H26号住居址実測図



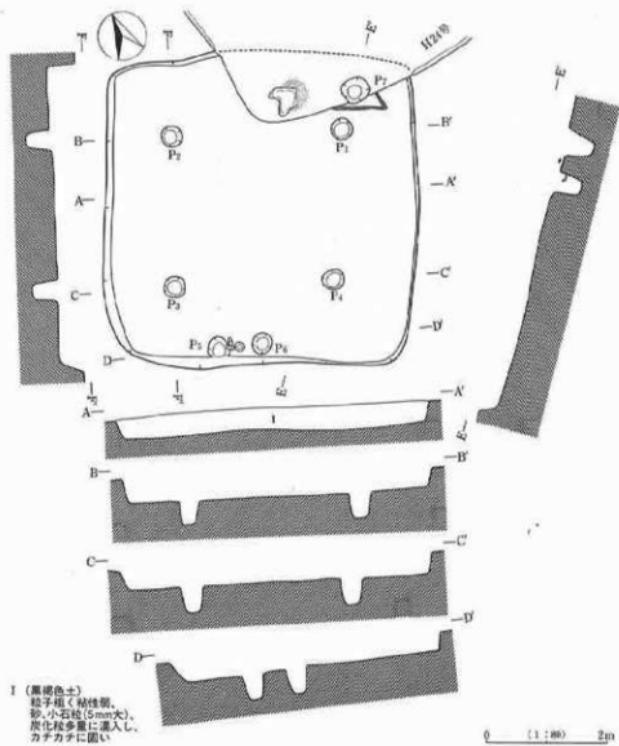
第86図 H30号住居址実測図



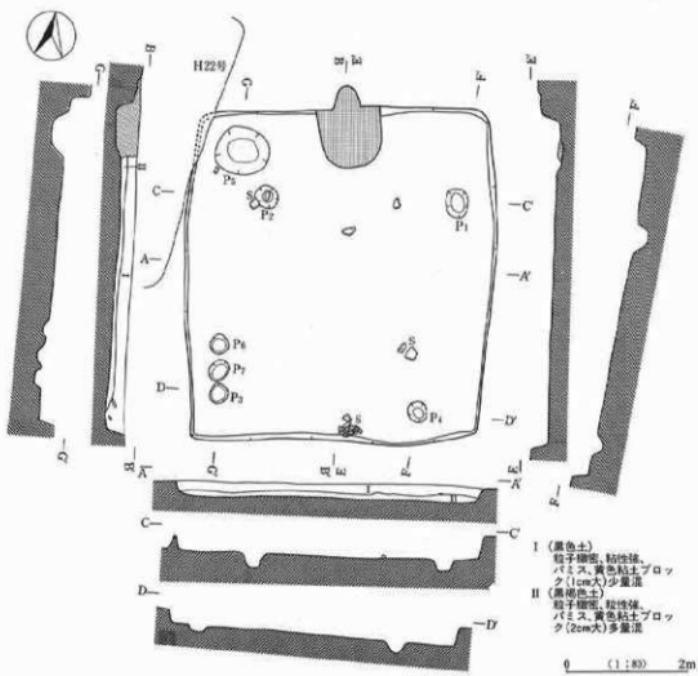
第82図 H27号住居址実測図



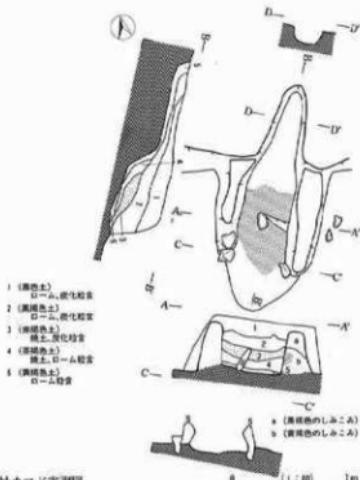
第83図 H29号住居址カマド実測図



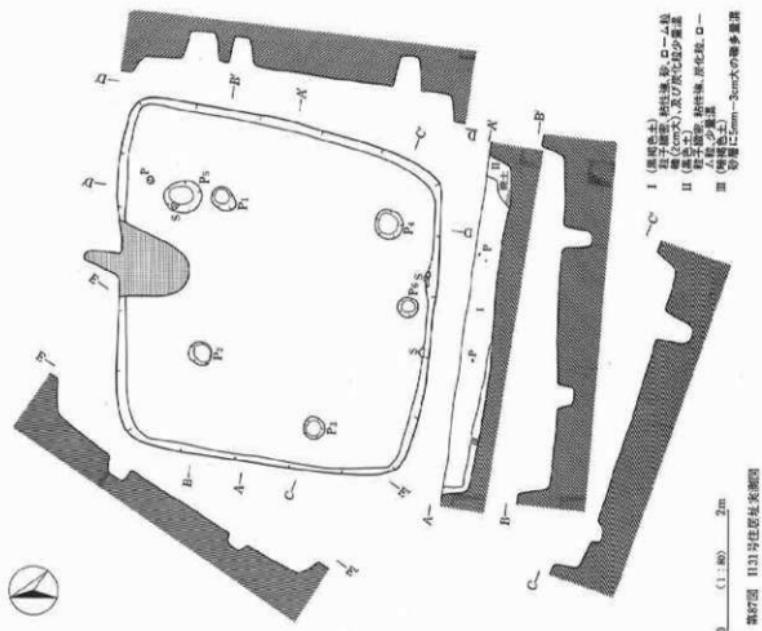
第84図 H28号住居址実測図



第84図 H29号住居址実測図



第88図 H31号住居址カマド実測図



第87図 H31号坟(実測図)

0 (1:40) 2m

- I (透明色土) 砂利地盤、砂、ローム粘土  
I' (透明色土) ローム地盤、砂、ローム粘土
- II (透明色土) 沈没土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
II' (透明色土) 沈没土、砂利地盤、砂、ローム粘土
- III (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
III' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- IV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
IV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土
- V (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
V' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- VI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
VI' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- VII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
VII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- VIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
VIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- IX (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
IX' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- X (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
X' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XI' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XIV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XIV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XVI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XVI' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XVII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XVII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XVIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XVIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XIX (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XIX' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXX (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXX' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXI' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXIV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXIV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXVI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXVI' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXVII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXVII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXVIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXVIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XXXIX (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XXXIX' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XL (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XL' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XLI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XL' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XLII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XLIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XLIV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLIV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

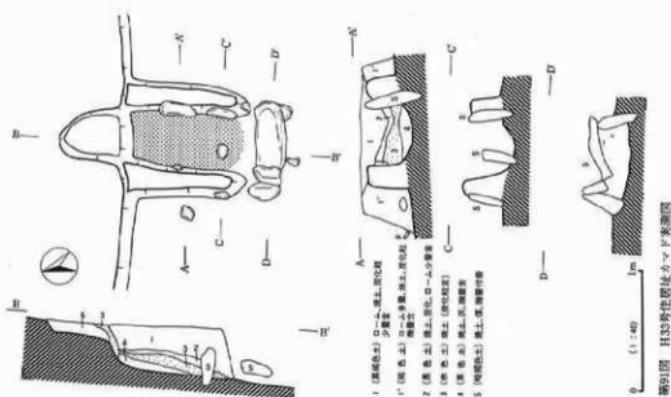
- XLV (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLV' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XLVI (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLVI' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

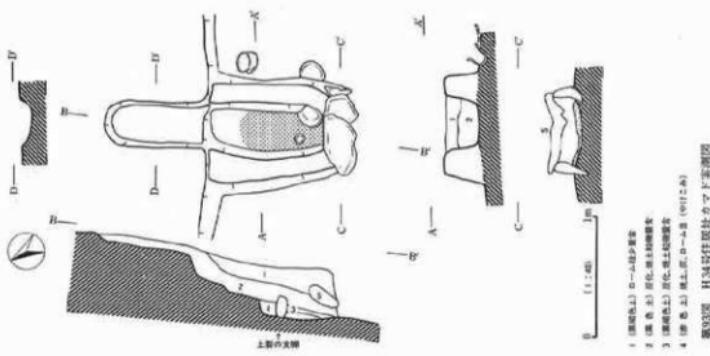
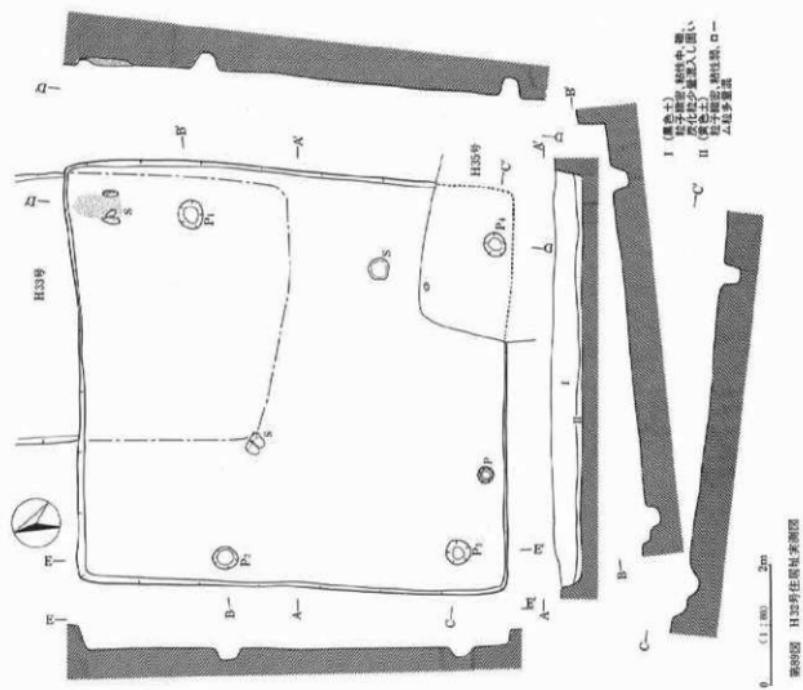
- XLVII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLVII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

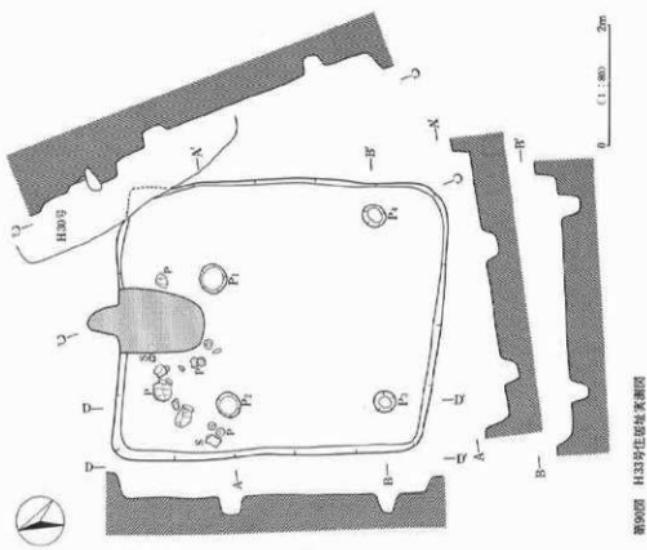
- XLVIII (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLVIII' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

- XLIX (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土  
XLIX' (透明色土) 黄土、砂利地盤、砂、ローム粘土

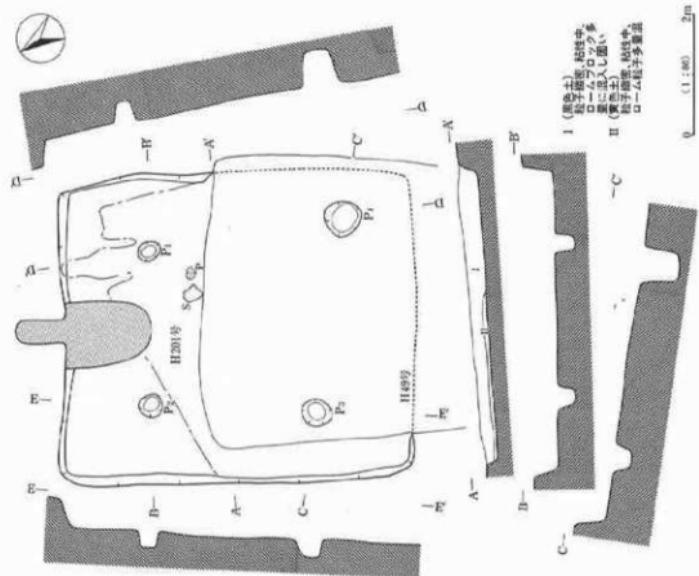


第89図 H31号坟(実測図)

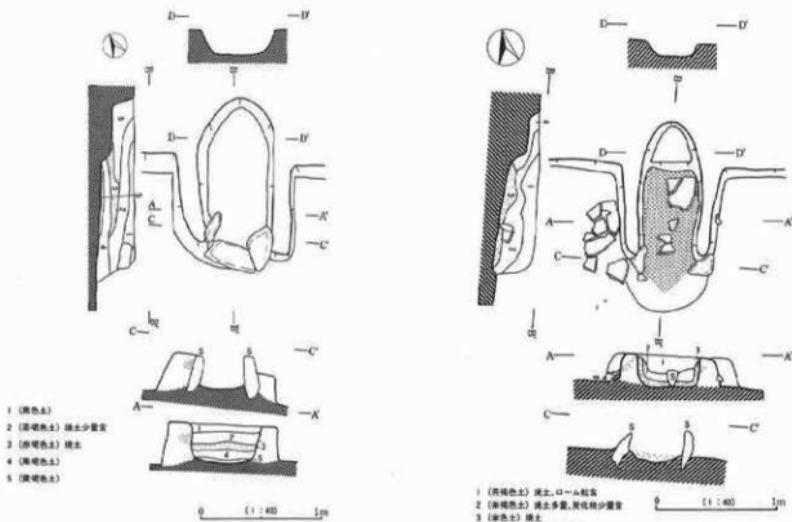
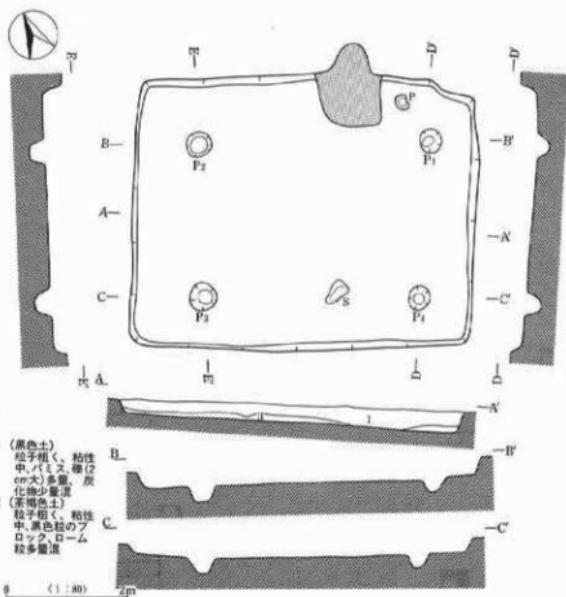




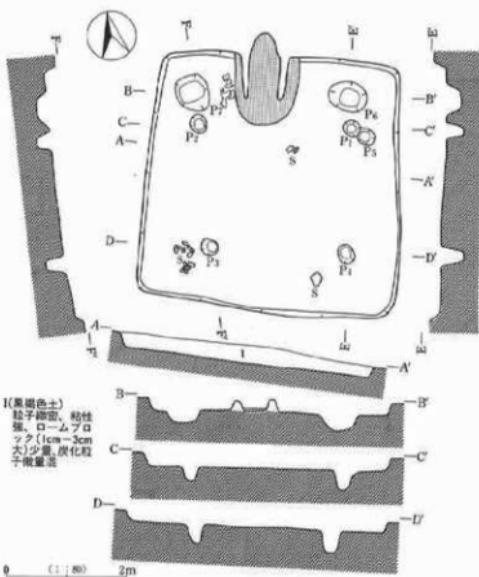
第90图 H33号住宅平面图



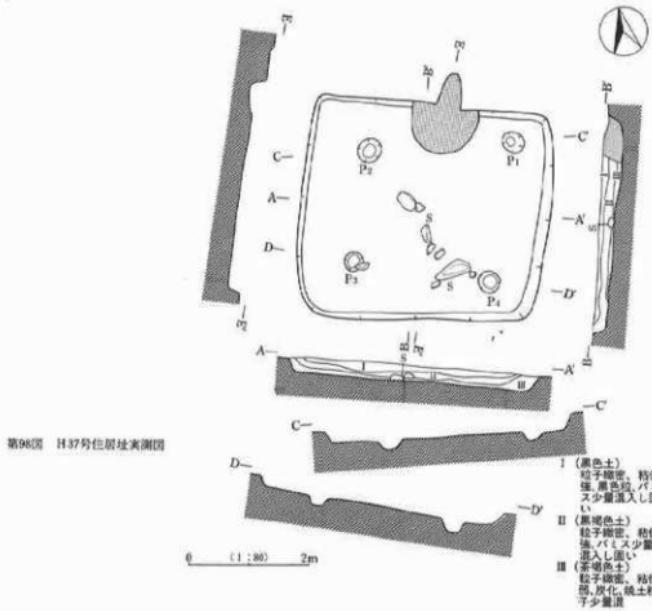
第91图 H34号住宅平面图



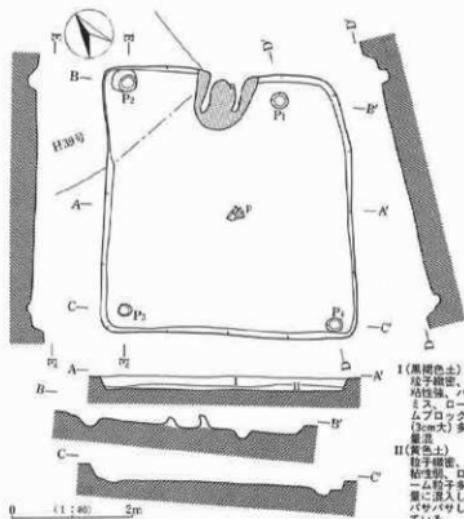
第97図 H36号住居址カマド実測図



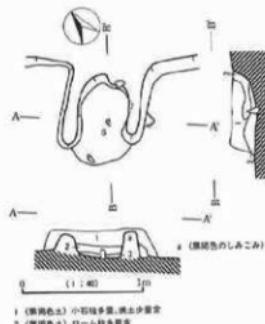
第96図 H36号住居址実測図



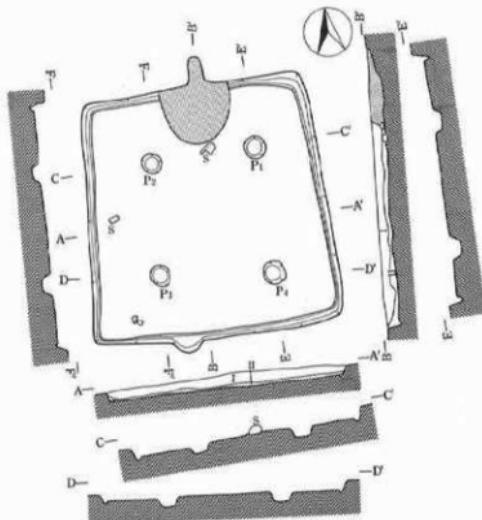
第96図 H37号住居址実測図



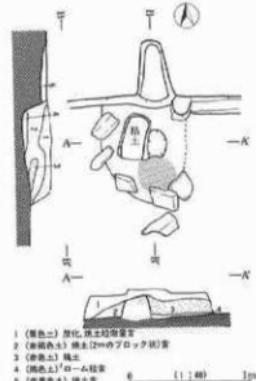
第59図 H38号住居址実測図



第100図 H38号住居址カマド実測図

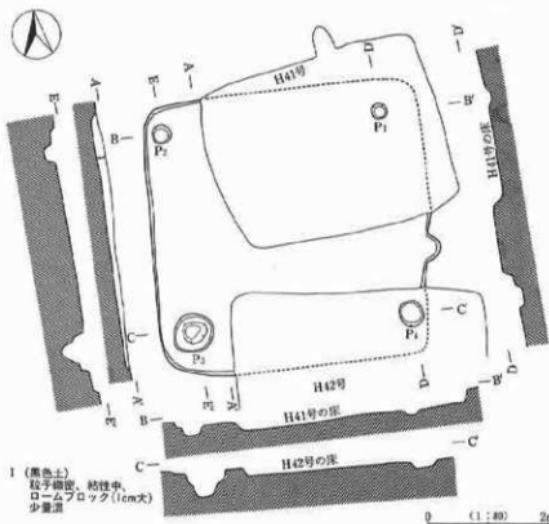


0 (1:40) 2m

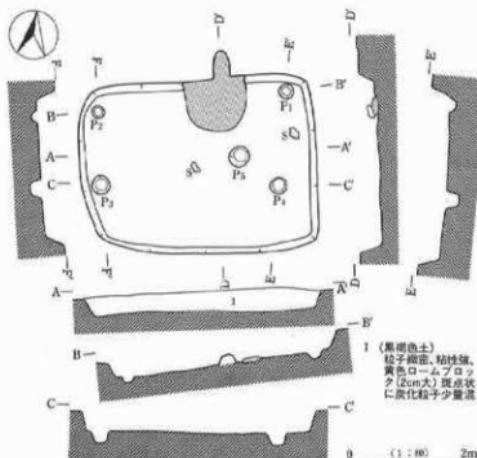


第102図 H39号住居址カマド実測図

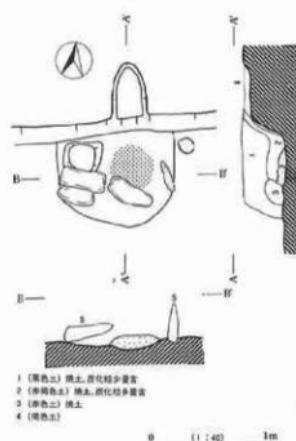
第101図 H39号住居址実測図



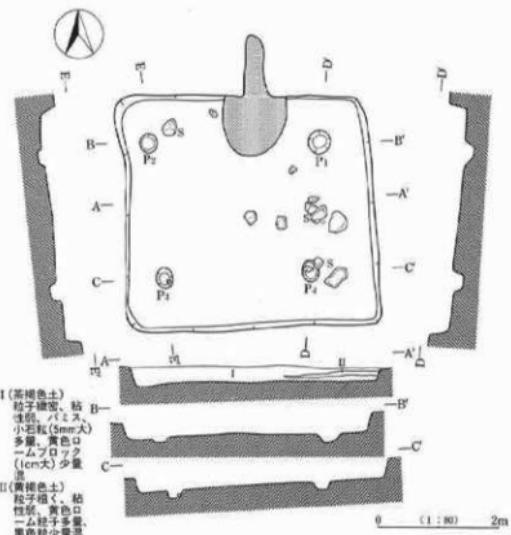
第103図 H40号住居址実測図



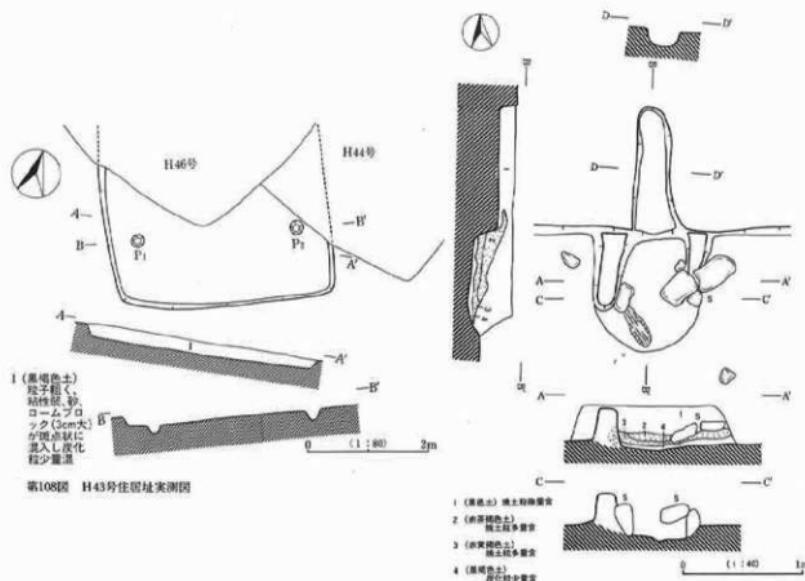
第104図 H41号住居址実測図



第105図 H41号住居址カマド実測図

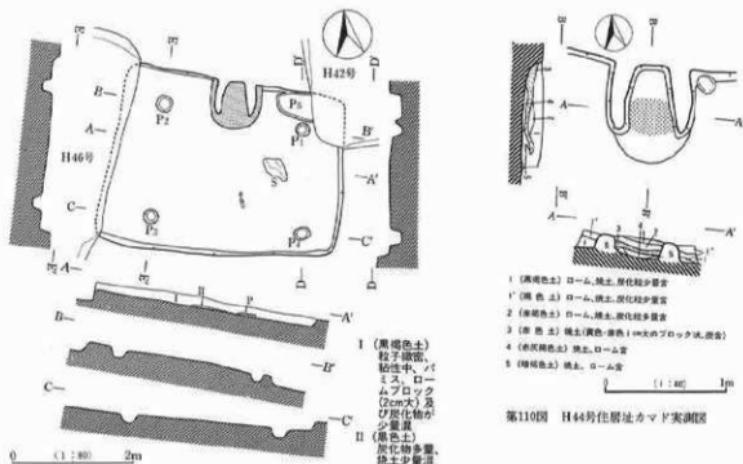


第106図 H42号住居址実測図

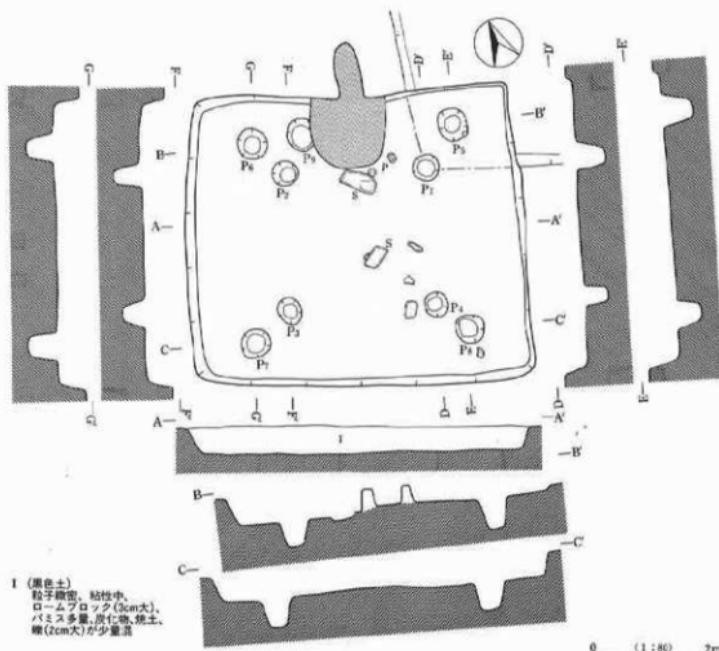


第108図 H43号住居址実測図

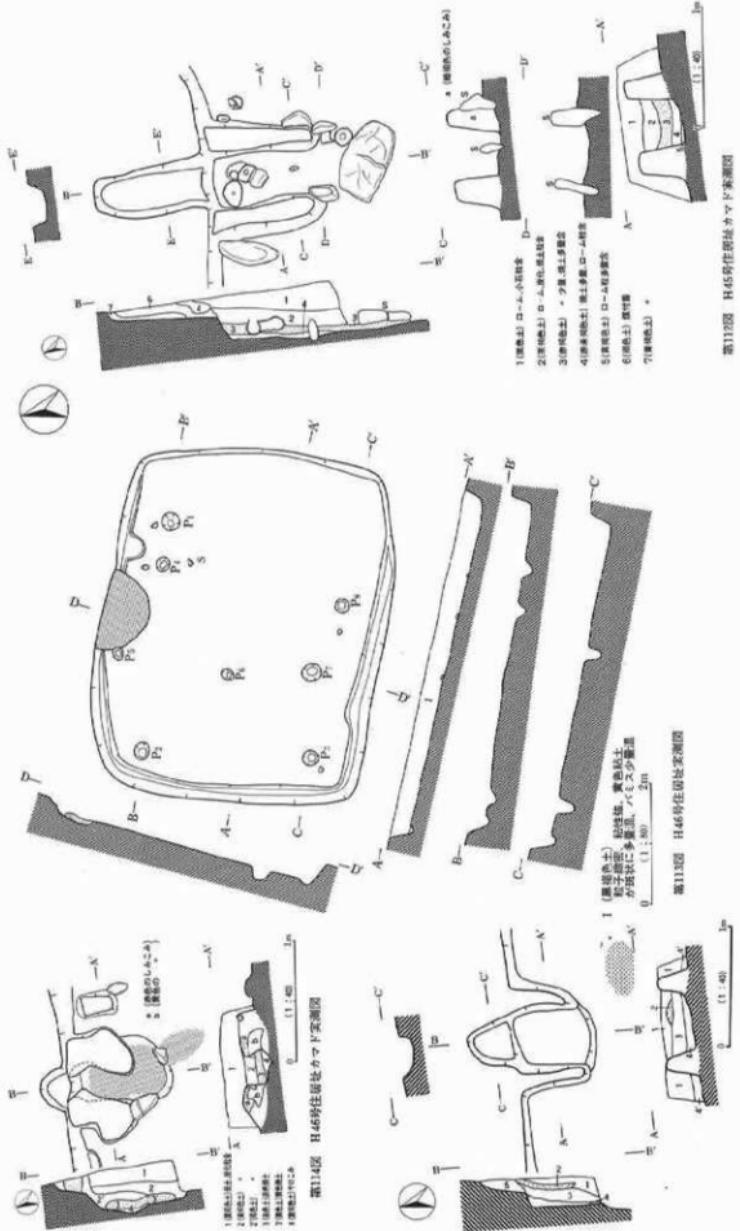
第107図 H42号住居址カマド実測図

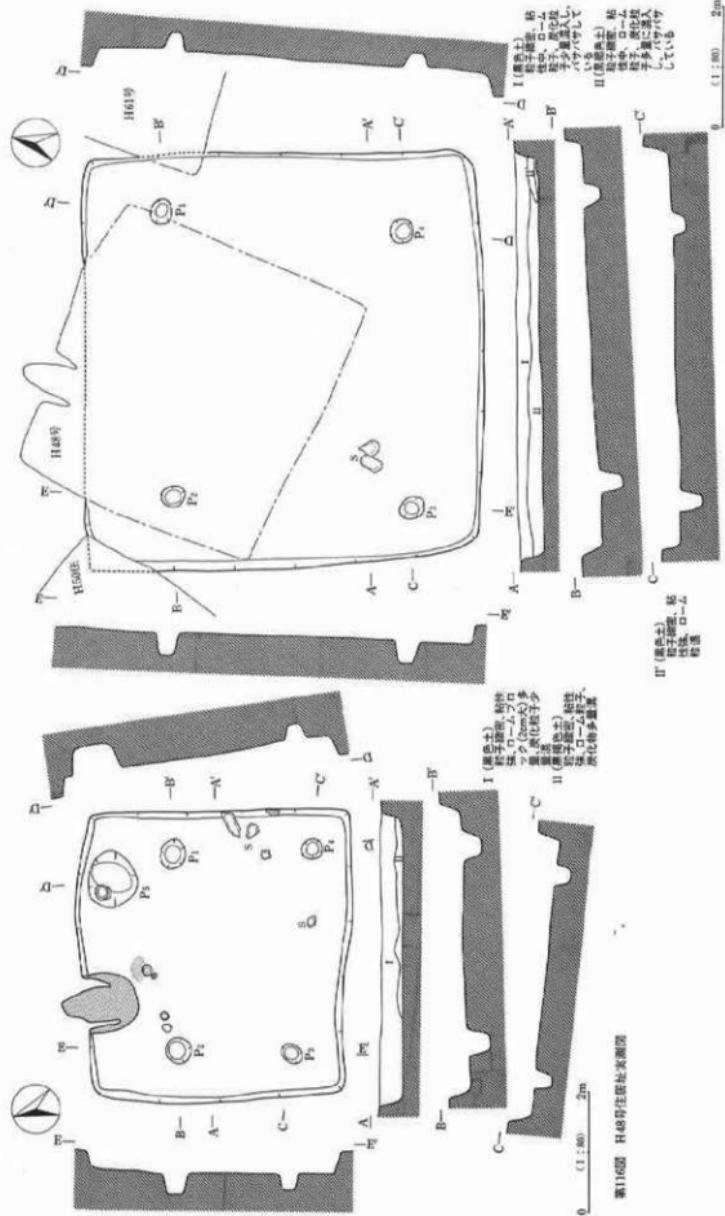


第109図 H44号住居址実測図

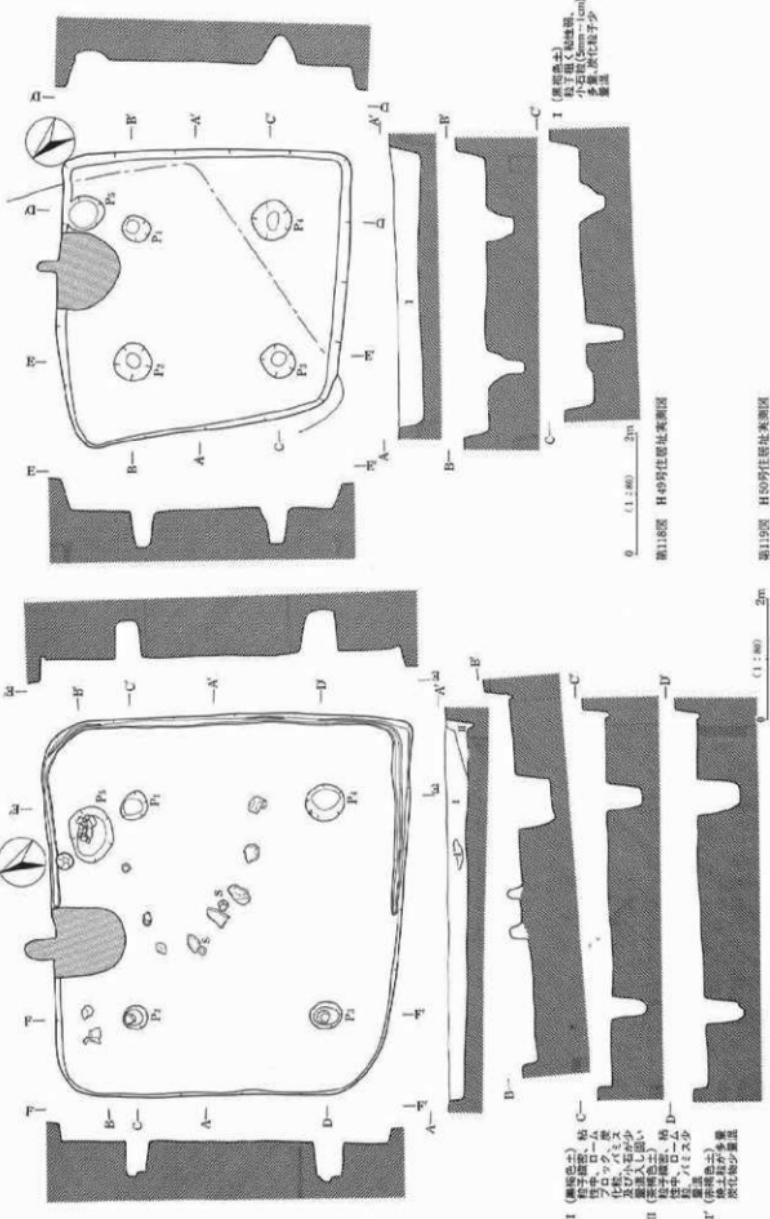


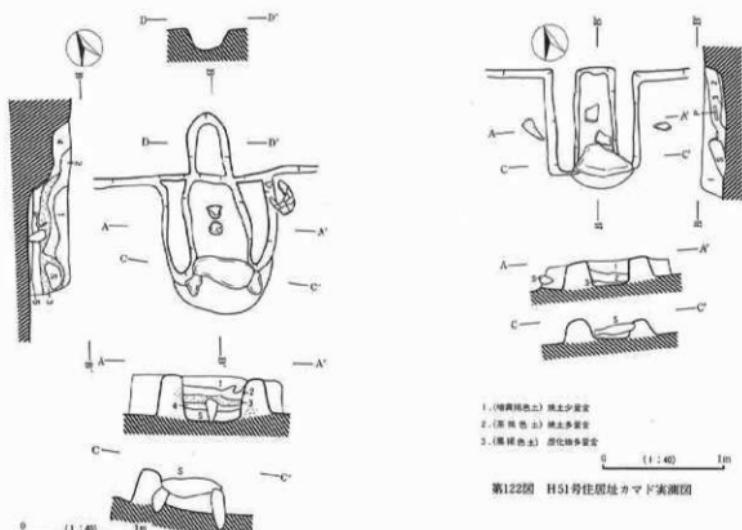
第111図 H45号住居址実測図





第115図 H47号・H48号断面図



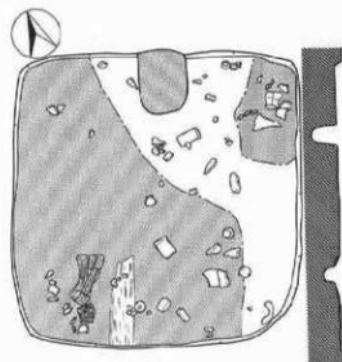


1. 黑褐色土  
2. 黄褐色土  
3. 青褐色土  
4. 灰白色土  
5. 黄褐色土

第122図 H51号住居址カマド実測図

1. (暗褐色土) 地土少量  
2. (灰褐色土) 地土多量  
3. (青褐色土) 淀化物多量

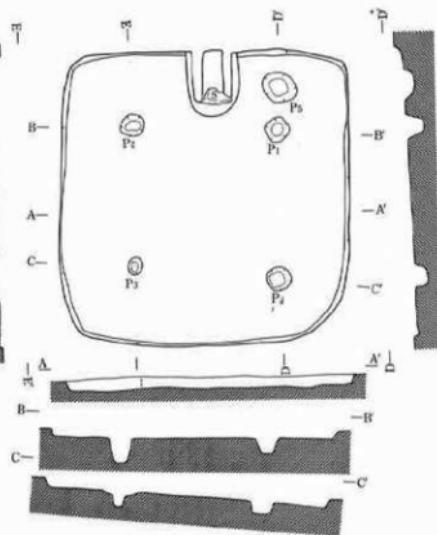
0 (1:40) 1m



- I. (暗褐色土) 粒子緻密、粘性強、炭化物多量、C-ムブロック(2cm×6cm)小量混入

0 (1:80) 2m

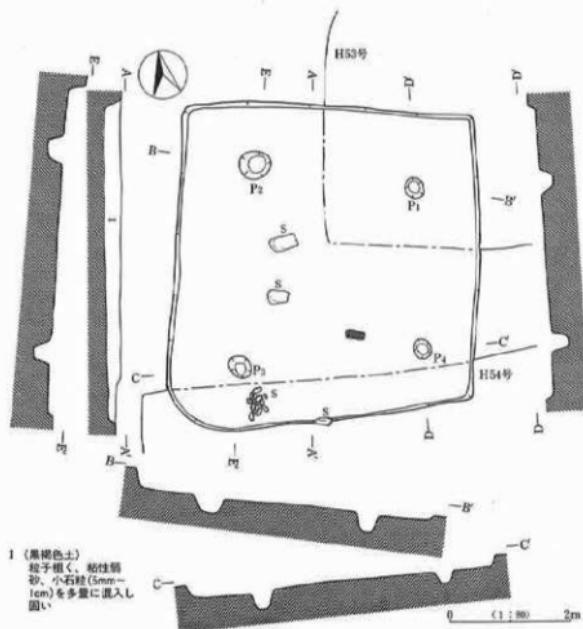
第121図 H51号住居址実測図



第120図 H50号住居址カマド実測図

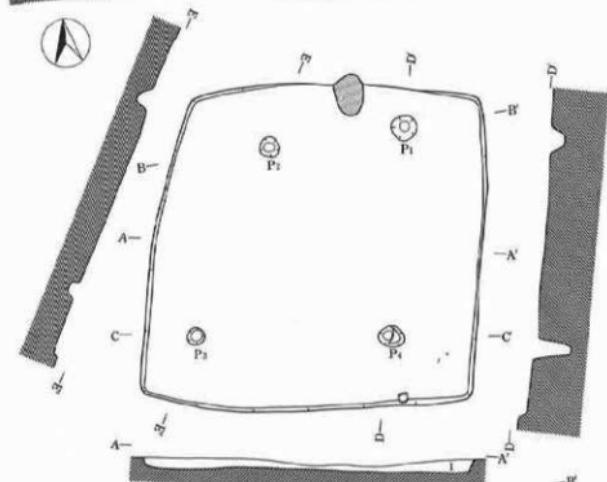
1. (暗褐色土) 地土少量  
2. (灰褐色土) 地土多量  
3. (青褐色土) 淀化物多量

0 (1:40) 1m



第123図 H52号住居址実測図

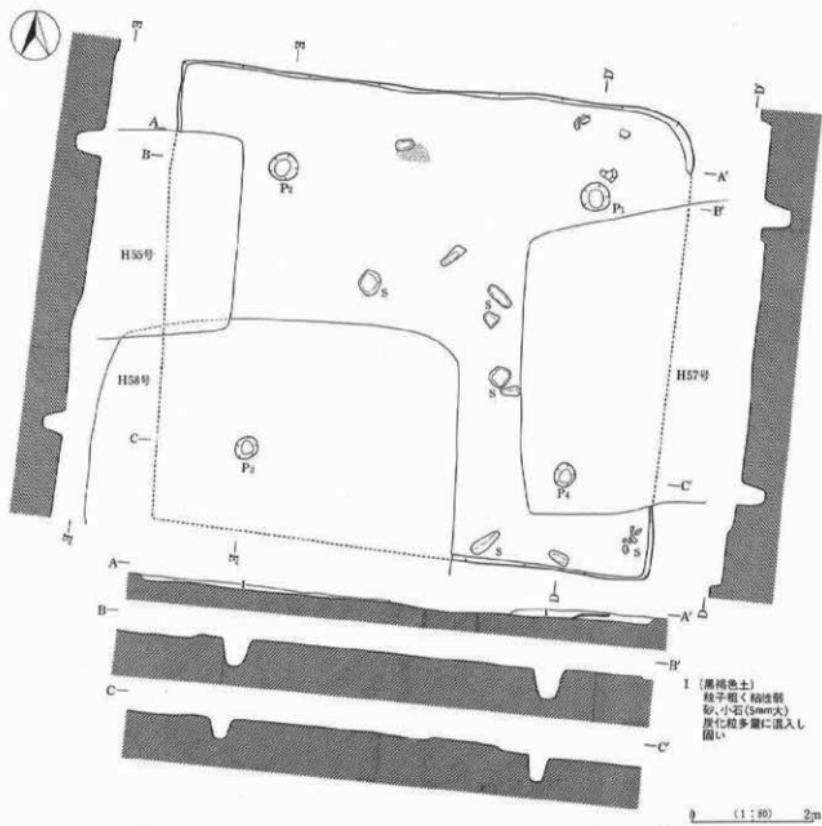
1 (黒褐色土)  
粒子粗く、粘性弱  
砂、小石粒(5mm—  
1cm)を多量に混入し  
固い。



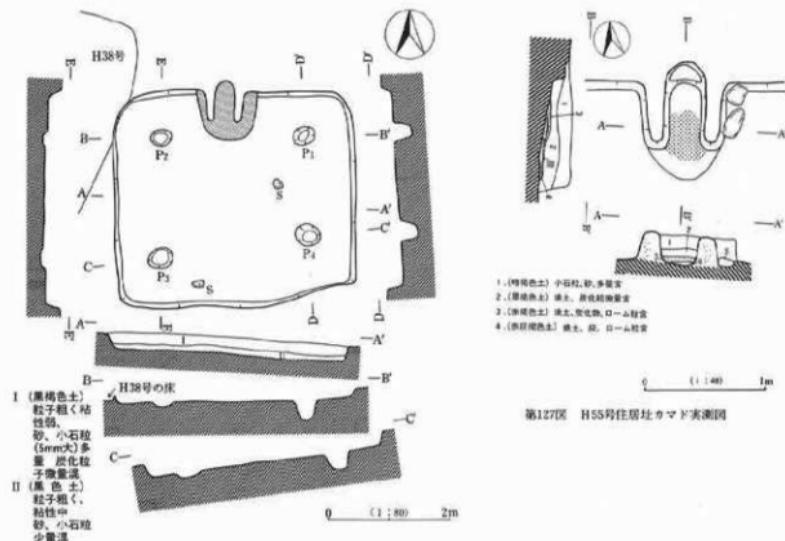
第124図 H53号住居址実測図

1 (黒褐色土)  
粒子粗く粘性弱  
砂、小石粒(1mm—  
1cm)多量  
炭化粒子少量混

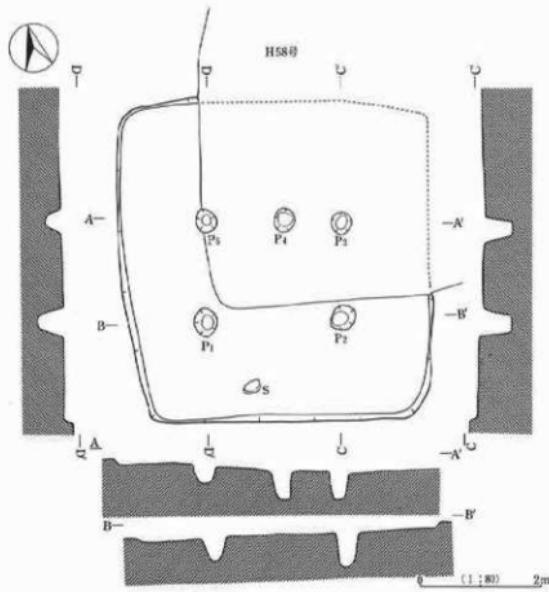




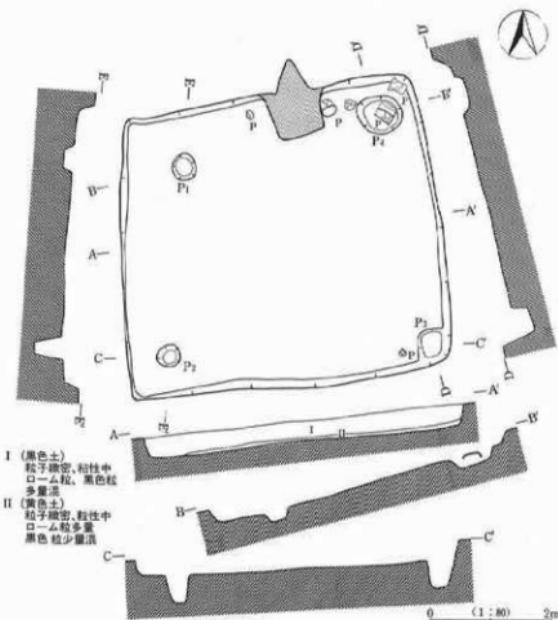
第125図 H54号住居址実測図



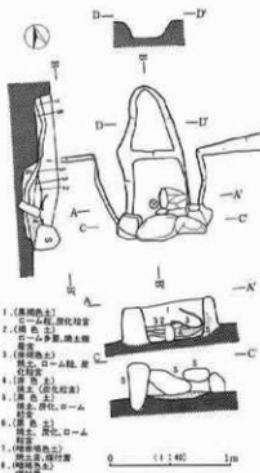
第126図 H38号住居址実測図



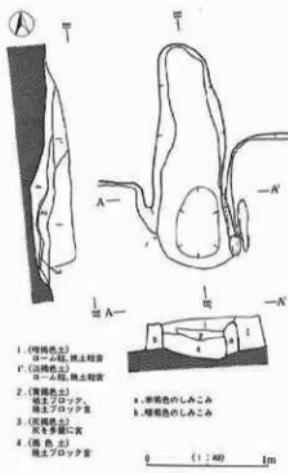
第128図 H56号住居址実測図



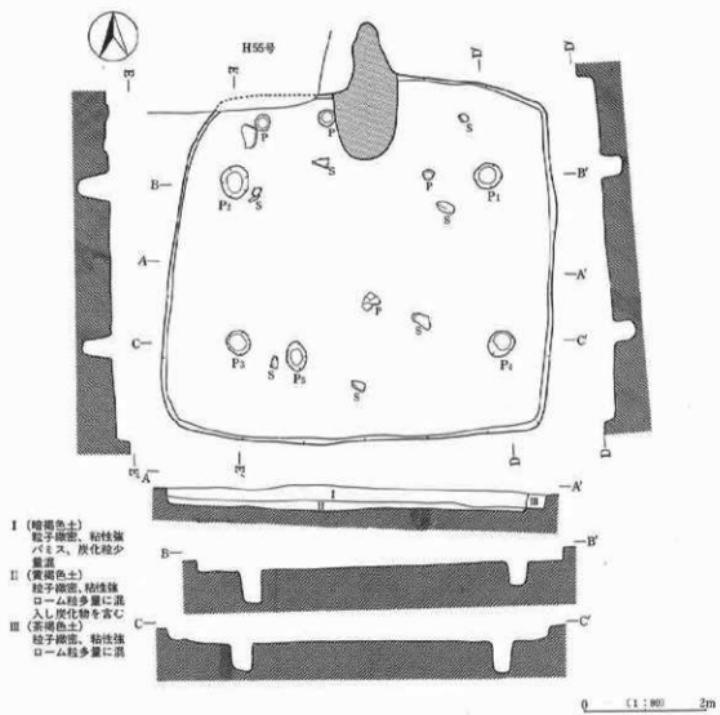
第129図 H57号住居址実測図



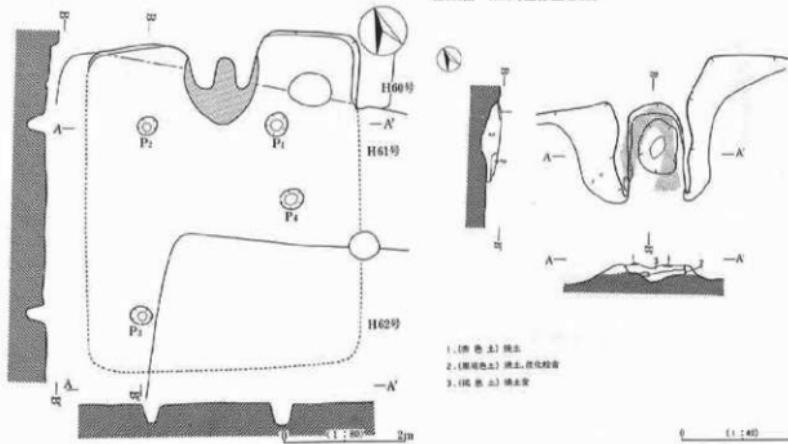
第130図 H57号住居址カマド実測図



第132図 H58号住居址カマド実測図

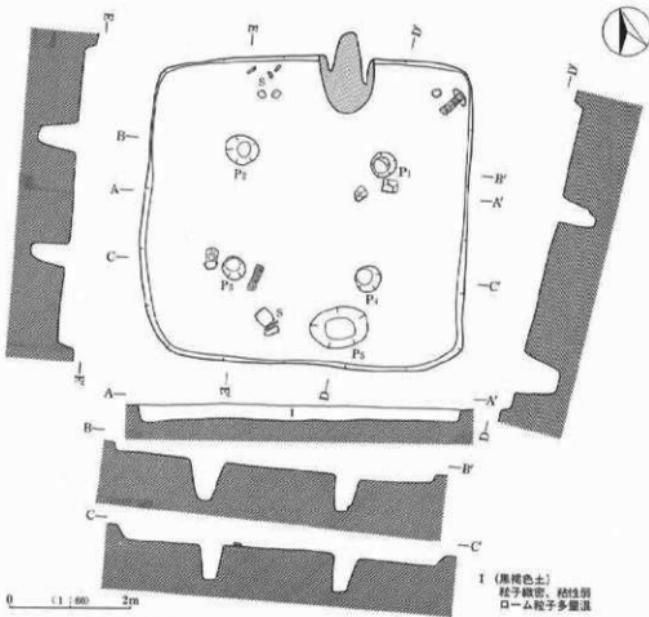


第131図 H58号住居址実測図

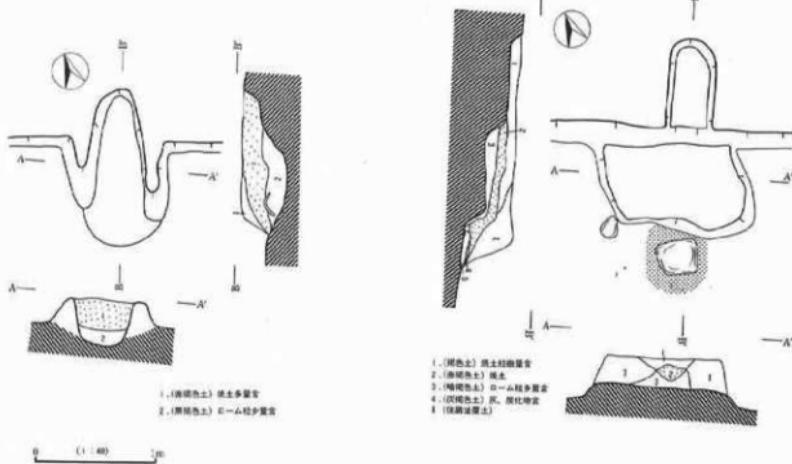


第132図 H59号住居址カマド実測図

第133図 H59号住居址実測図

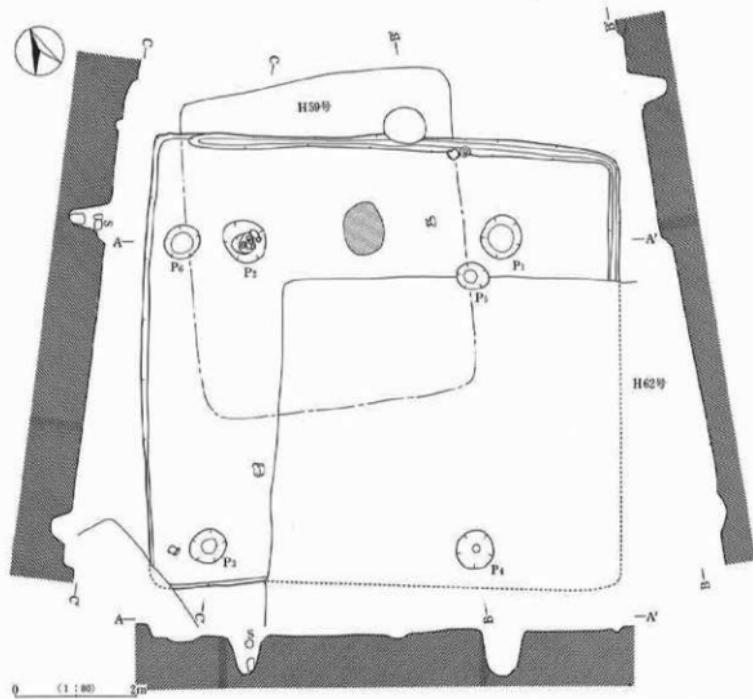


第135図 H-60号住居址実測図

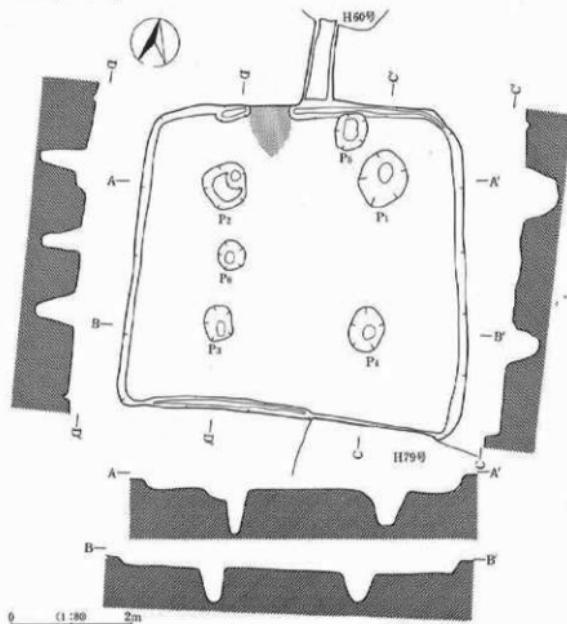


第136図 H-60号住居址カマド実測図

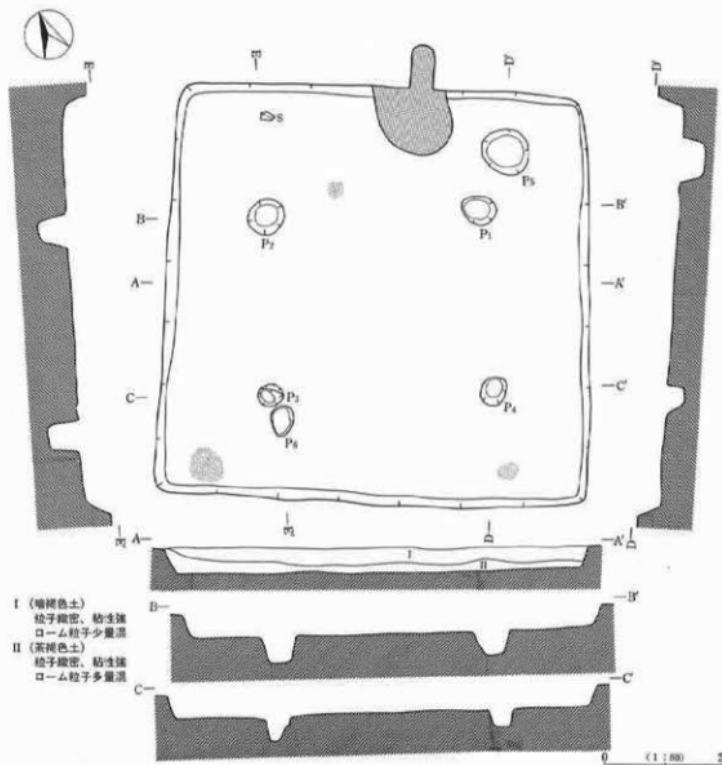
第139図 H-62号住居址カマド実測図



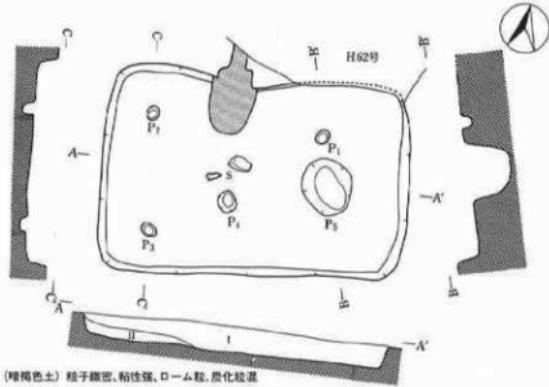
第137图 H61号住居址实测图



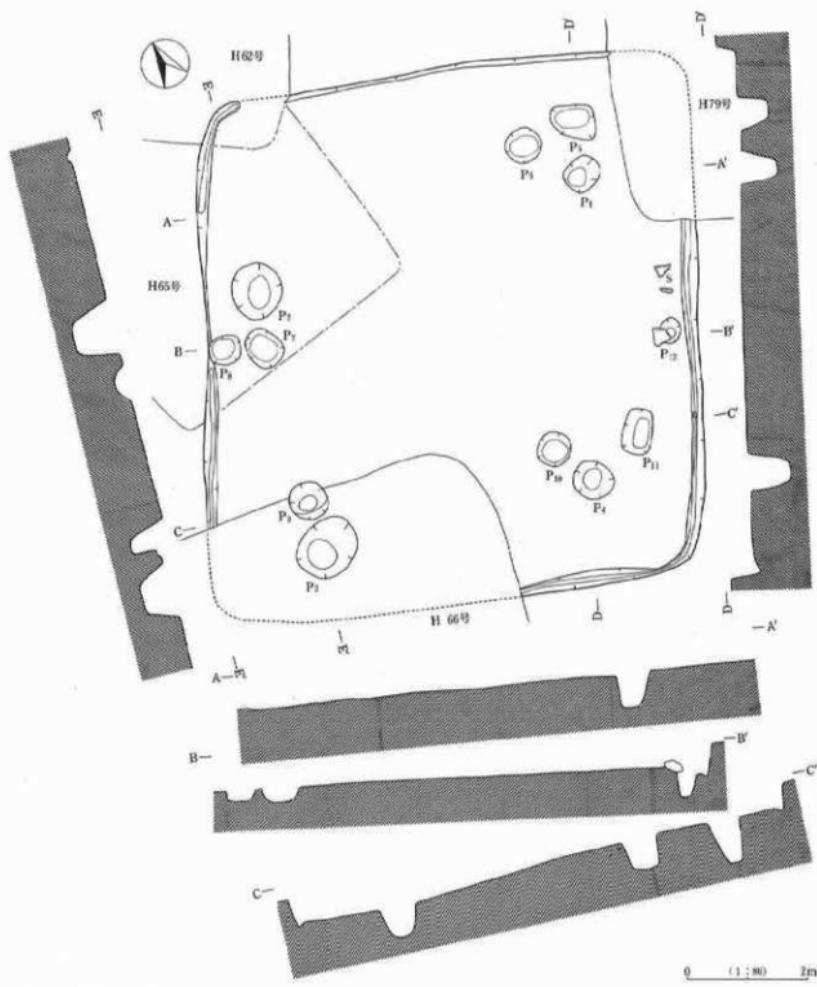
第140图 H63号住居址实测图



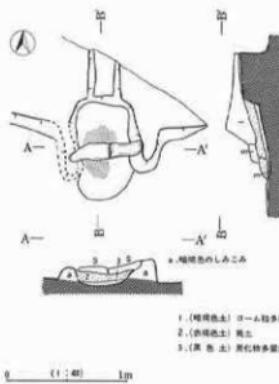
第138図 H62号住居址実測図



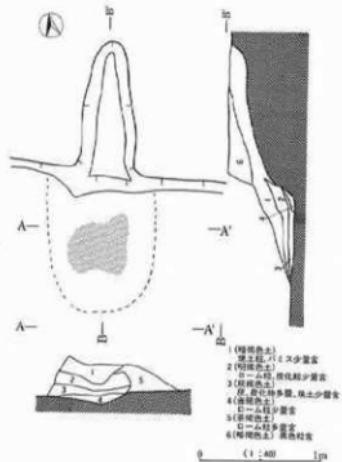
第142図 H65号住居址実測図



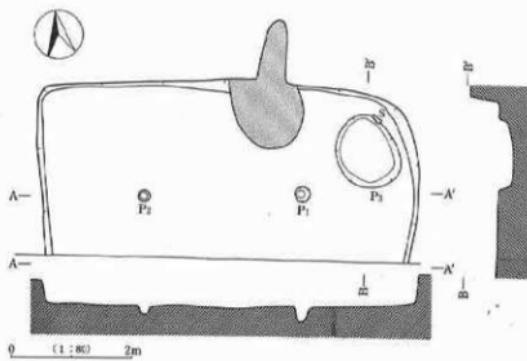
第141图 H64号住房量测图



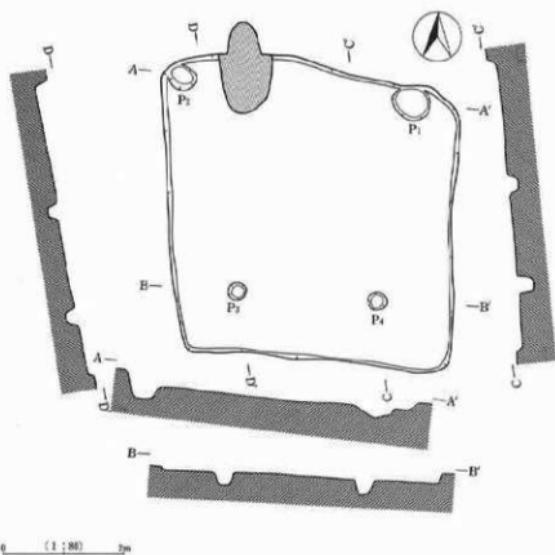
第143図 H-65号住居址カマド実測図



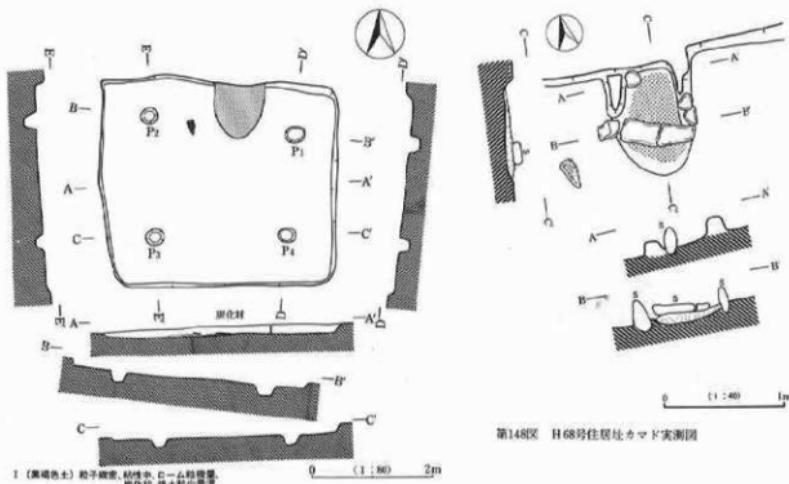
第145図 H-66号住居址カマド実測図



第144図 H-66号住居址実測図



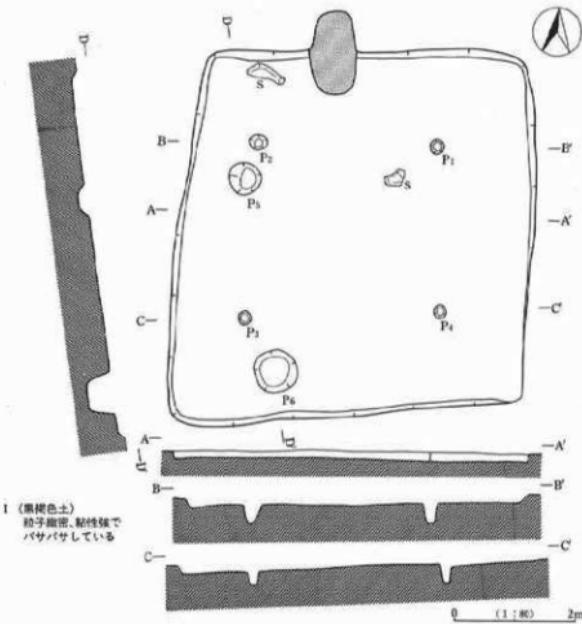
第146図 H67号住居址実測図



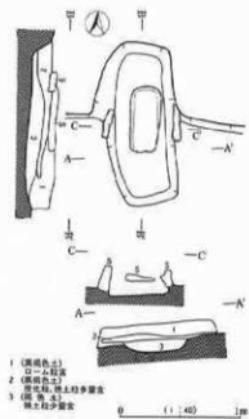
第148図 H68号住居址カマド実測図

I (黒褐色土) 粒子密度、砂率中、C-ム粒径  
炭化粒、灰土粒少量混入

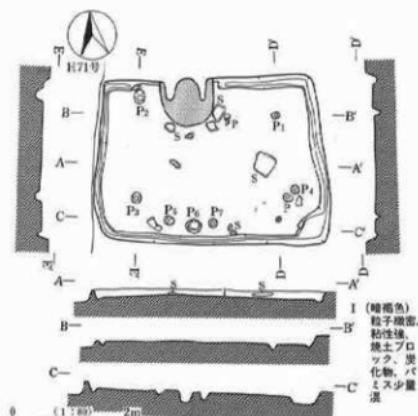
第147図 H68号住居址実測図



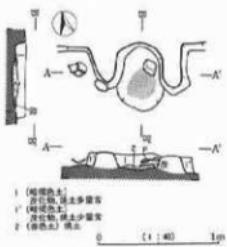
第149図 H69号住居址実測図



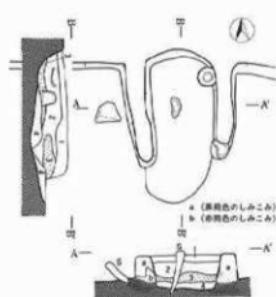
第150図 H69号住居址 カマド実測図



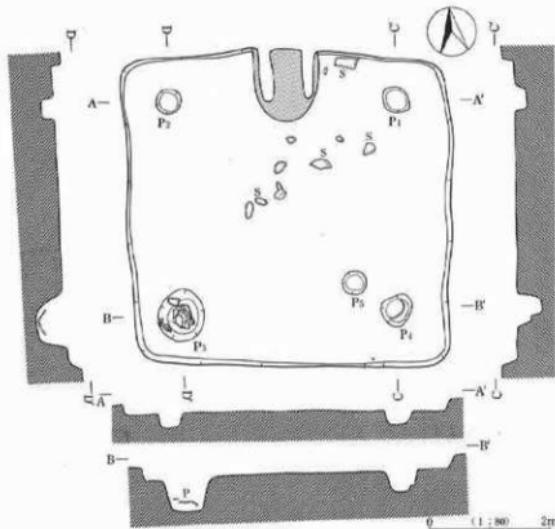
第151図 H70号住居址実測図



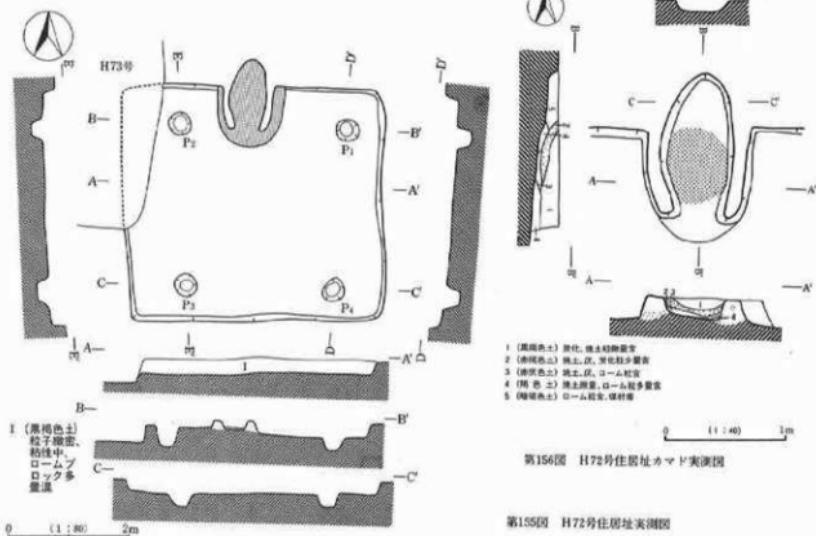
第152図 H70号住居址カマド実測図



第154図 H71号住居址カマド実測図

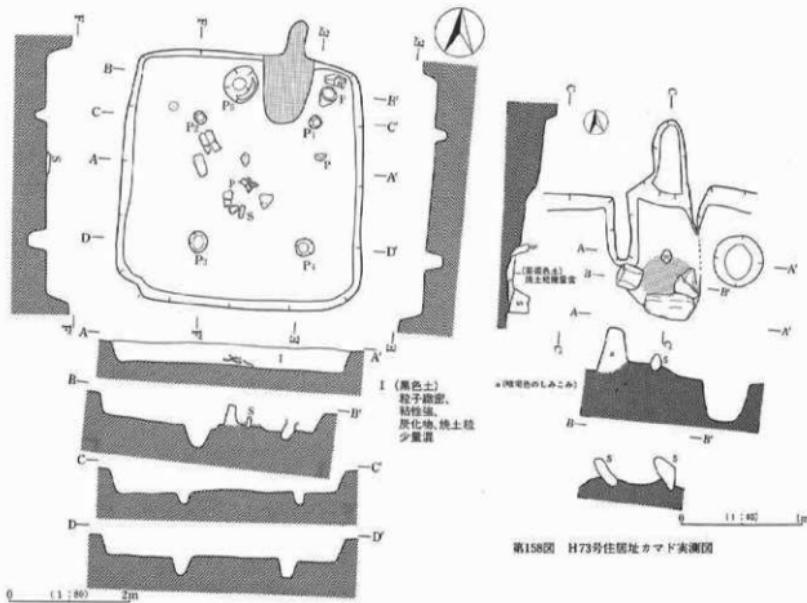


第153図 H71号住居址実測図

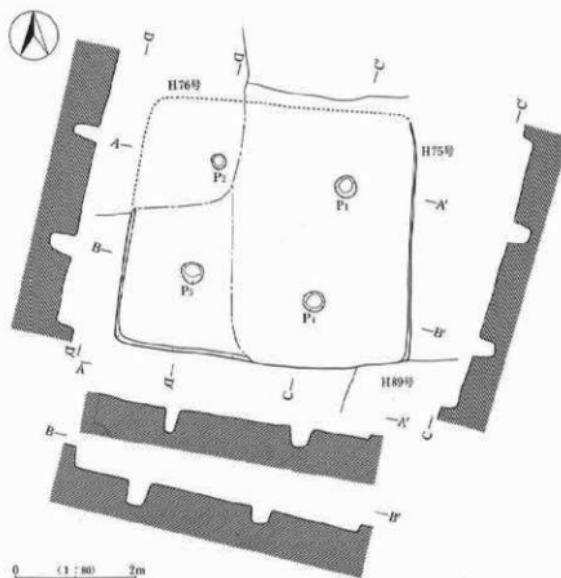


第156図 H72号住居址カマド実測図

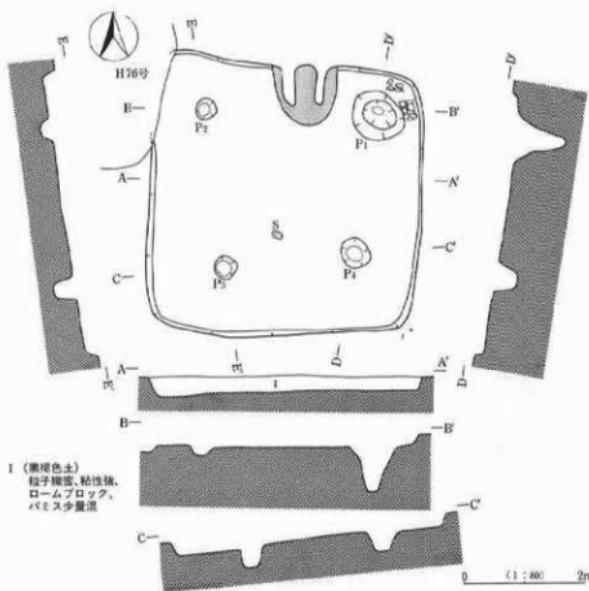
第155図 H72号住居址実測図



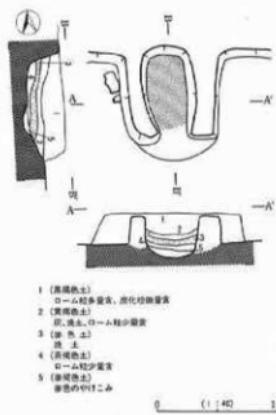
第157図 H73号住居址実測図



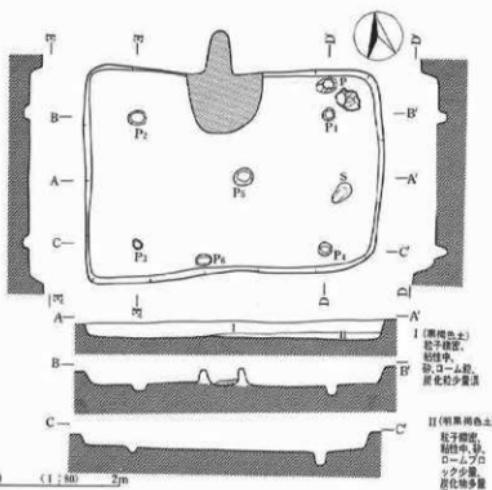
第159図 H74号住居址実測図



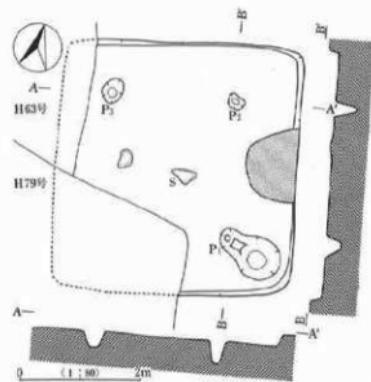
第160図 H75号住居址実測図



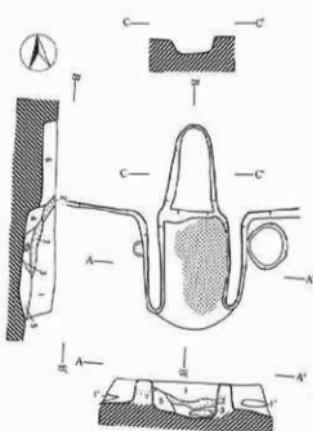
第161図 H75号住居址カマド実測図



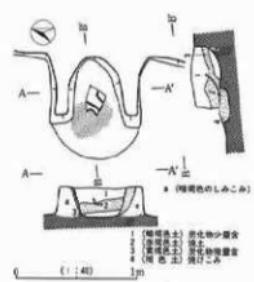
第162図 H76号住居址実測図



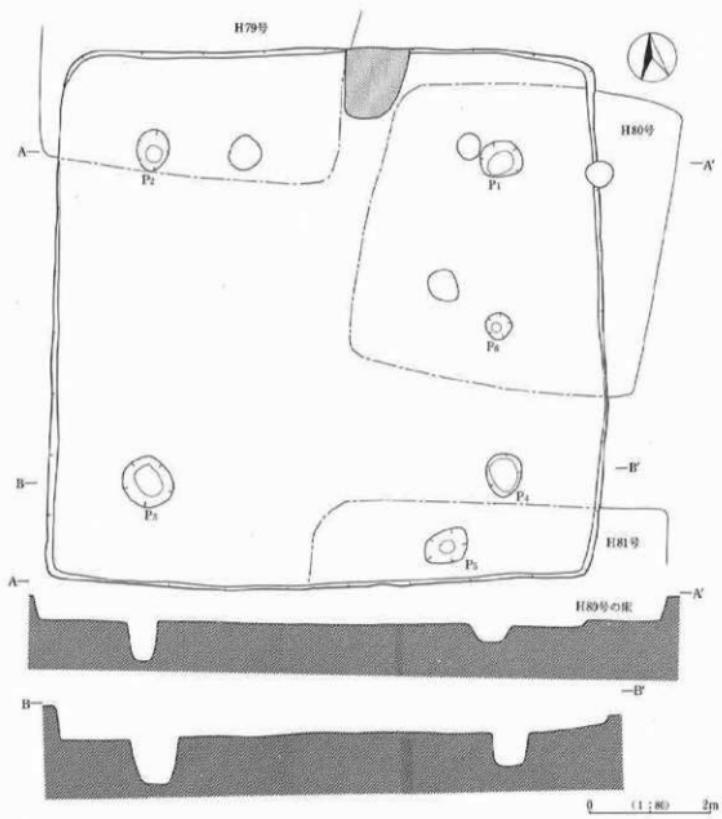
第164図 H77号住居址実測図



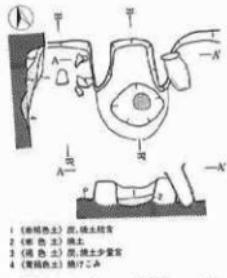
第165図 H77号住居址カマド実測図



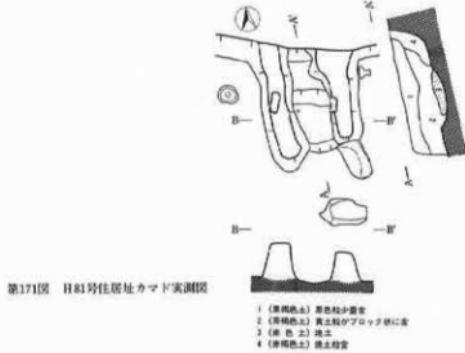
第166図 H77号住居址カマド実測図



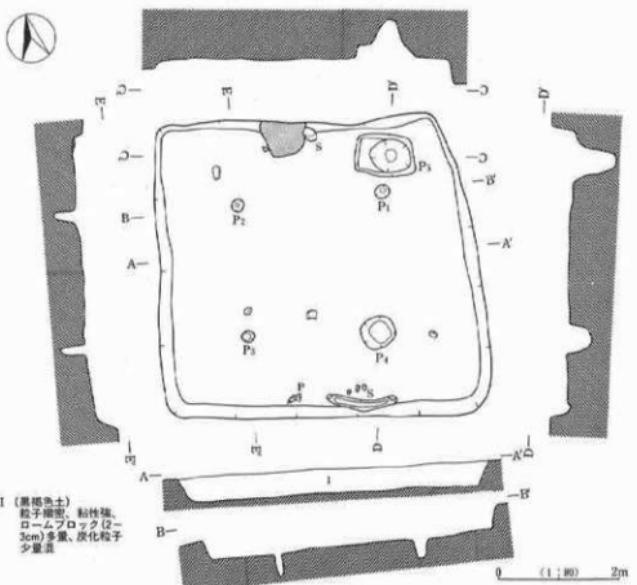
第156圖 H78號住處址實測圖



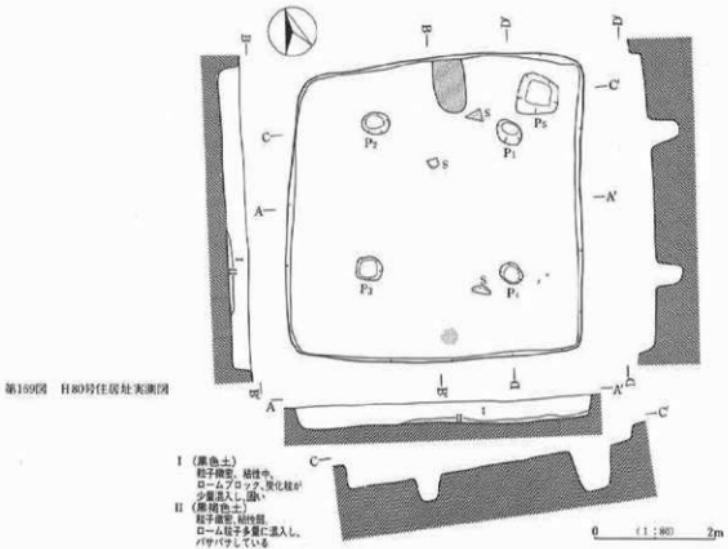
第168回 H79号住居址カマド寅淵

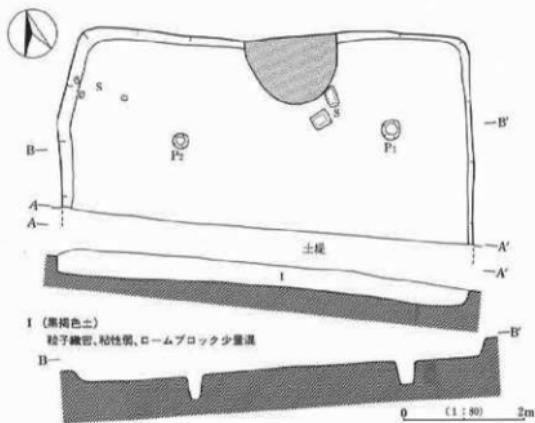


第171図 月船号住居址 カマド窓測図

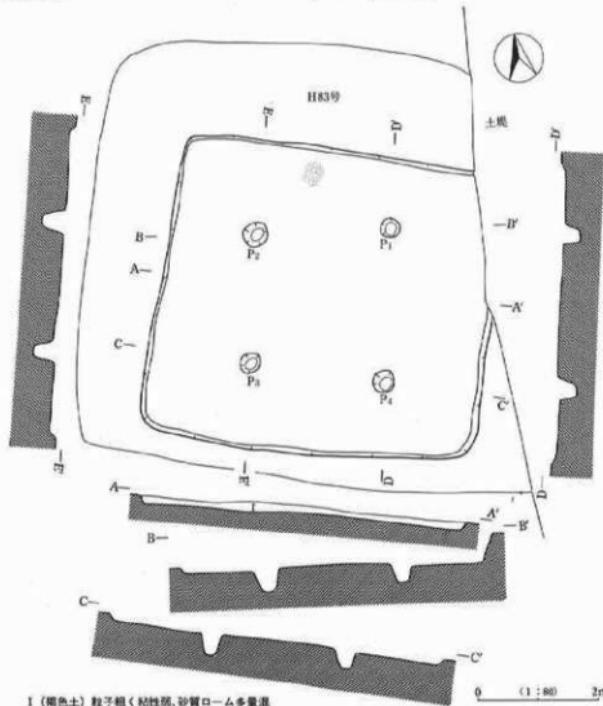


第167図 H79号住居址実測図

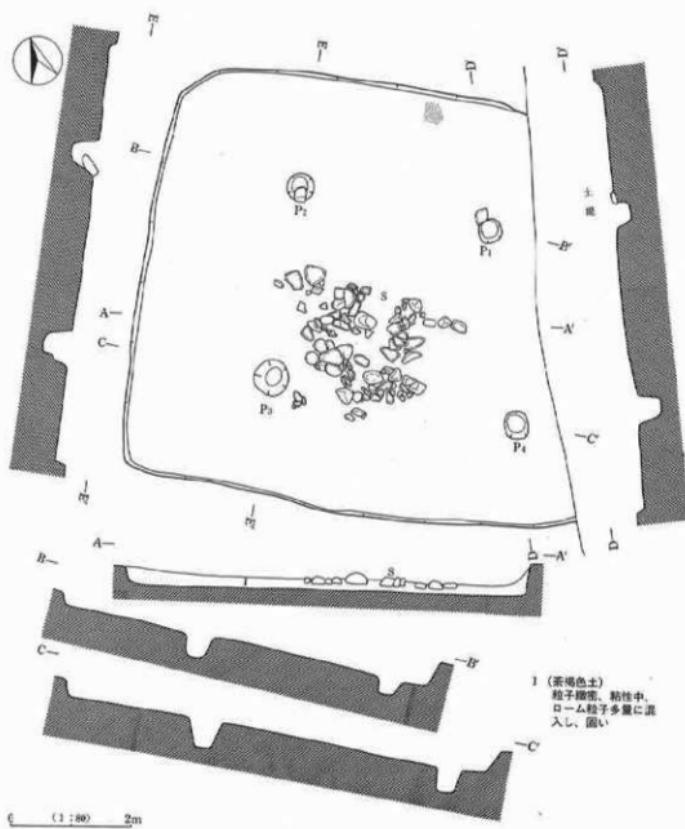




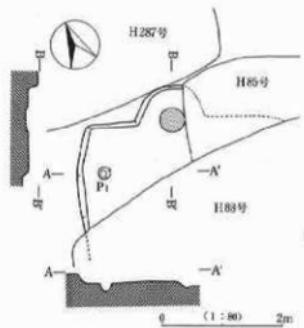
第170図 H81号住居址実測図



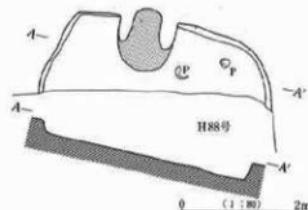
第171図 H82号住居址実測図



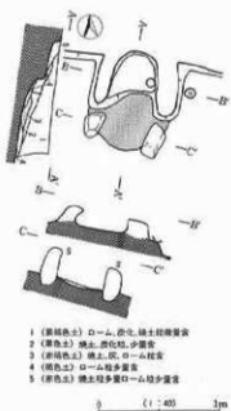
第173図 H83号住居址実測図



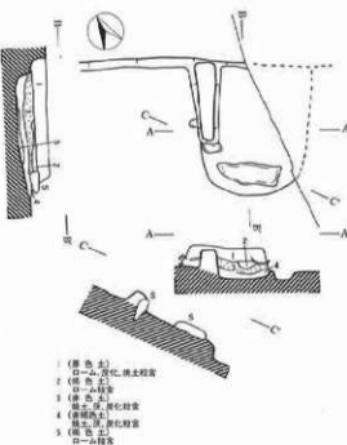
第174図 H84号住居址実測図



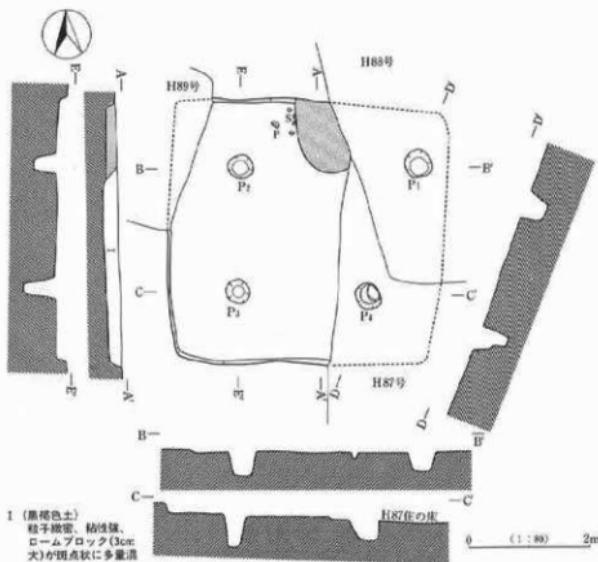
第175図 H85号住居址実測図



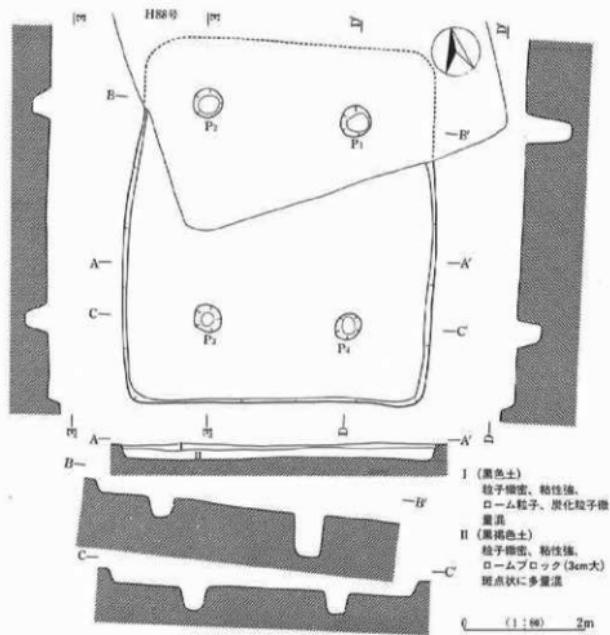
第176図 H85号住居址カマド実測図



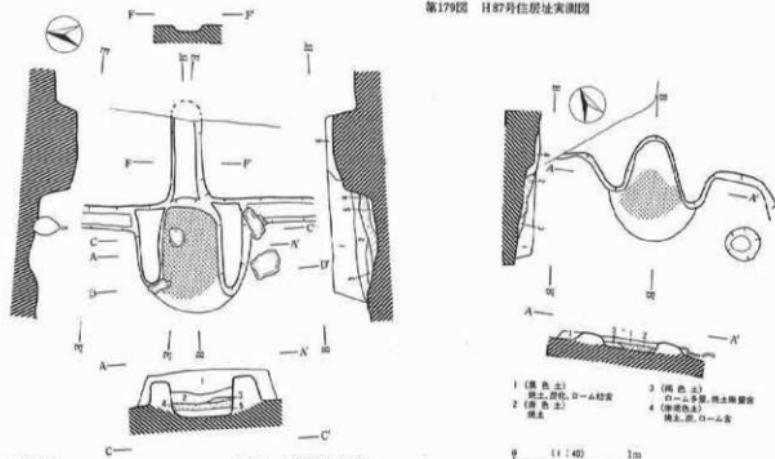
第178図 H86号住居址カマド実測図



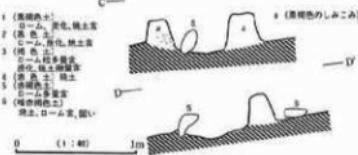
第177図 H86号住居址実測図



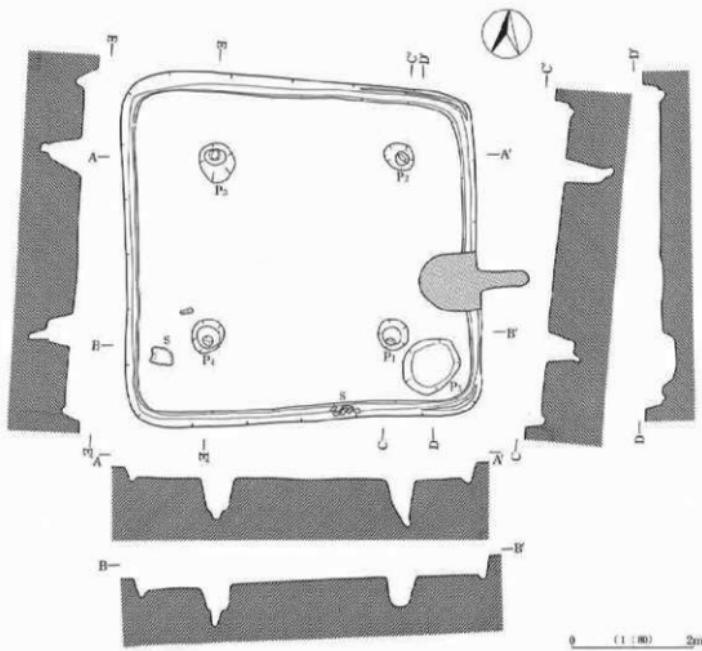
第179図 H87号住居址実測図



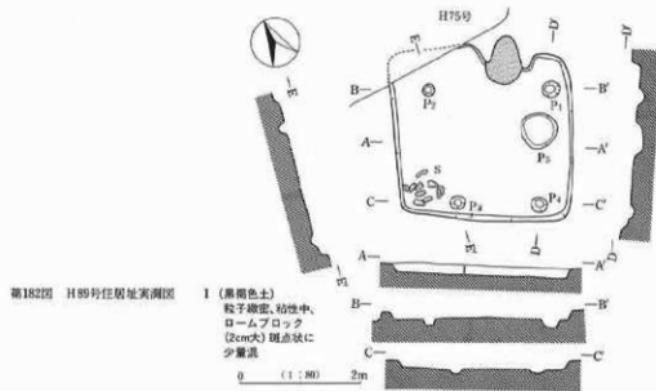
第183図 H89号住居址カマド実測図

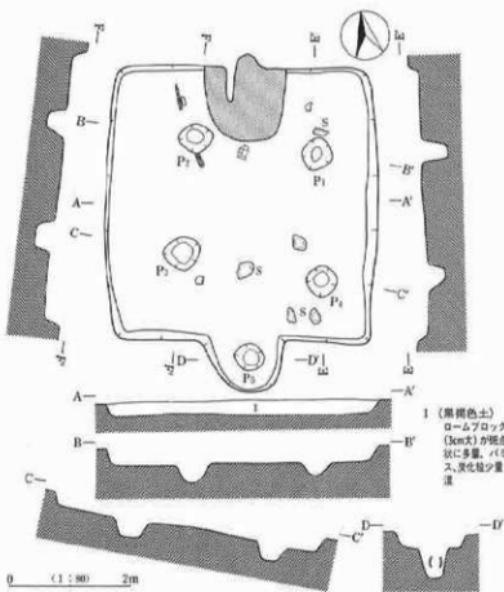


第181図 H88号住居址カマド実測図

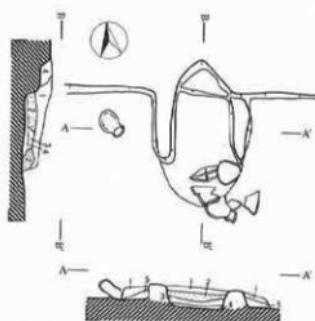


第180図 H88号住居址実測図



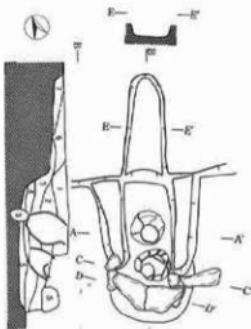


第184図 H90号住居址実測図



- 1 (黒褐色土) ローム粘、粘土ブロック室
- 2 (黒褐色土) 滅土
- 3 (黒褐色土) 粘、粘土少量含
- 4 (黒褐色土) ローム粘少量含
- 5 (黒褐色土) 腐化物少量含

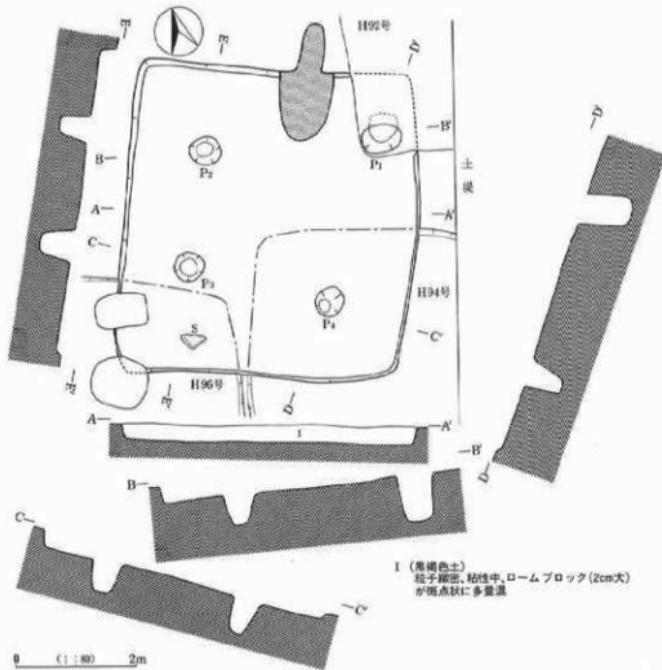
第185図 H90号住居址カマド実測図



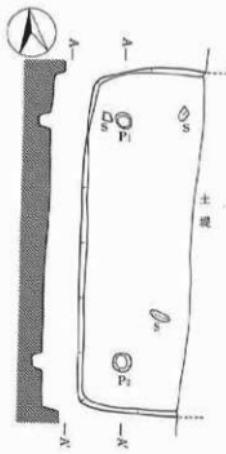
- 1 (黒褐色土) ローム粘多量含
- 2 (黒褐色土) ローム粘、灰土粘少量含
- 3 (黒褐色土) 粘土、腐化物少量含
- 4 (黒褐色土) 粘土、灰、腐化物含
- 5 (黒褐色土) 粘土、灰、ローム含
- 6 (黒褐色土) 粘土、腐化物少量含
- 7 (黒褐色土) 粘土層

第187図 H91号住居址カマド実測図

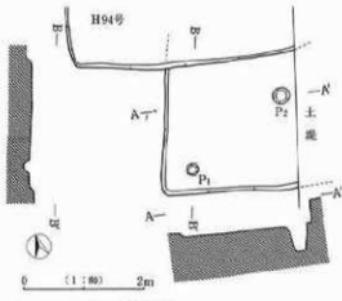
0 (1 : 40) 1m



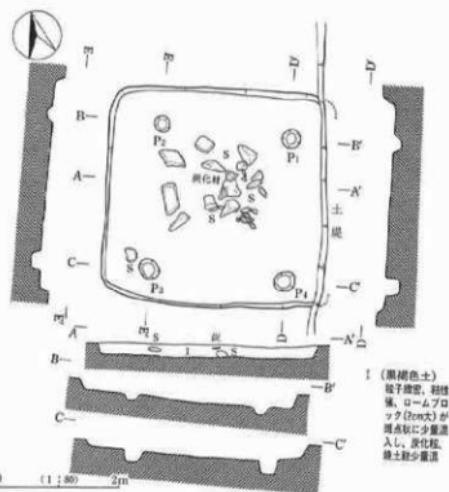
第186図 H91号住居址実測図



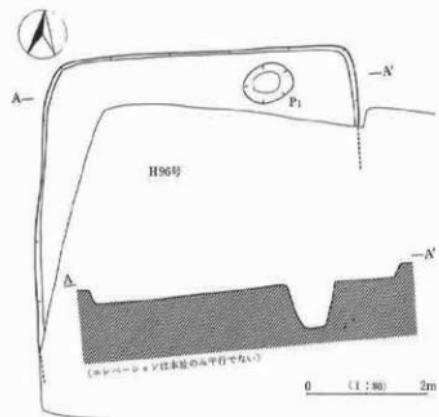
第188図 H92号住居址実測図



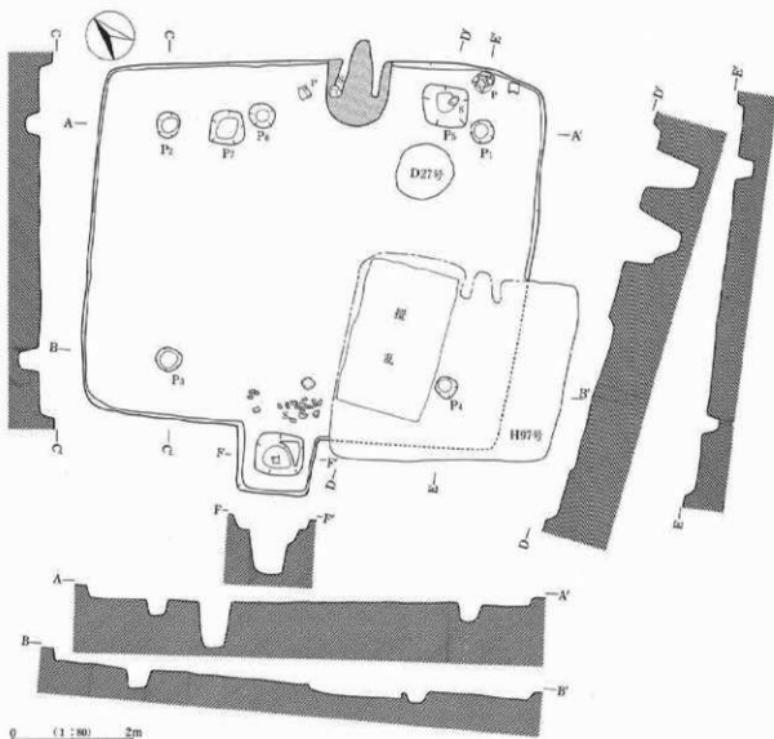
第189図 H93号住居址実測図



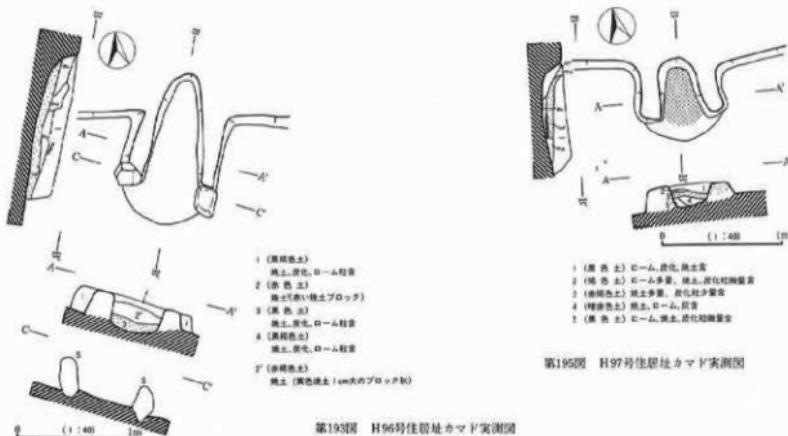
第190図 H94号住居址実測図



第191図 H95号住居址実測図

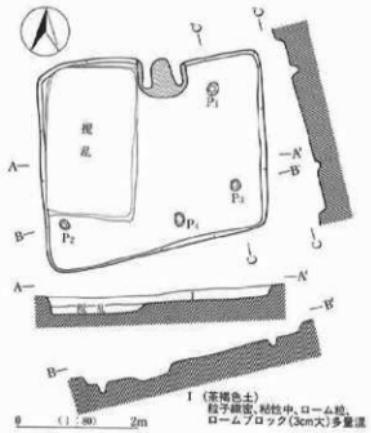


第192図 H96号住居址実測図

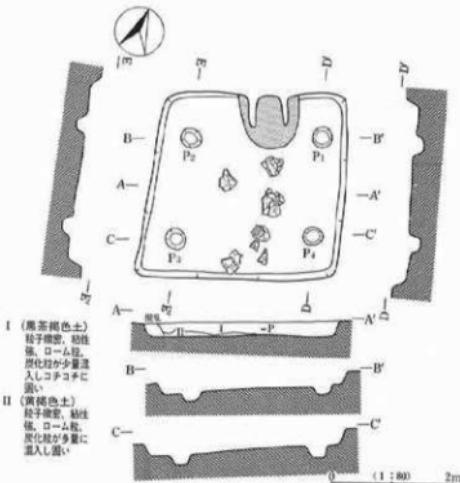


第195図 H97号住居址カマド実測図

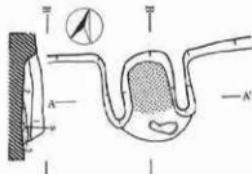
第193図 H96号住居址カマド実測図



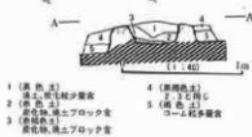
第194図 H97号居住址実測図



第195図 H98号居住址実測図

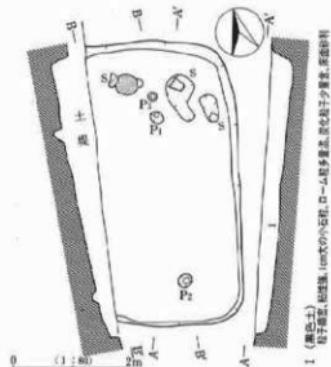


第196図 H98号居住址 Kamado 実測図

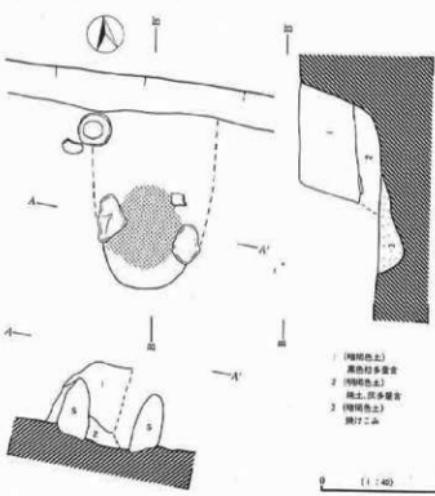


1 (黒茶色土) 粒子細密  
2 (黒茶色土) 粒子粗密  
3 (黒茶褐色土) 炭化物、粘土ブロック含  
4 (黒褐色土) 粒子粗密、ローム質

第197図 H98号居住址 Kamado 実測図

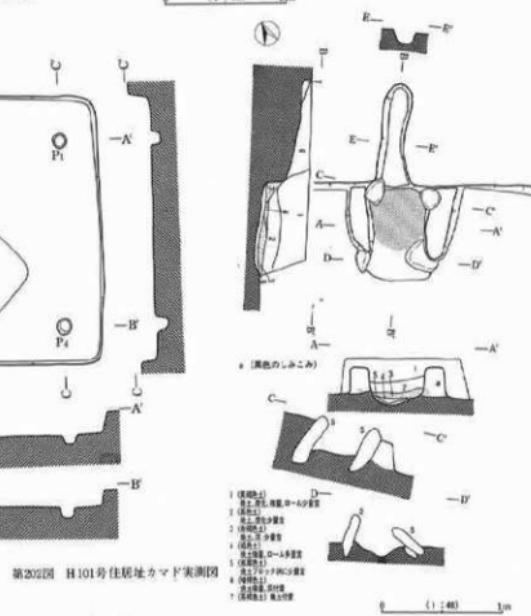
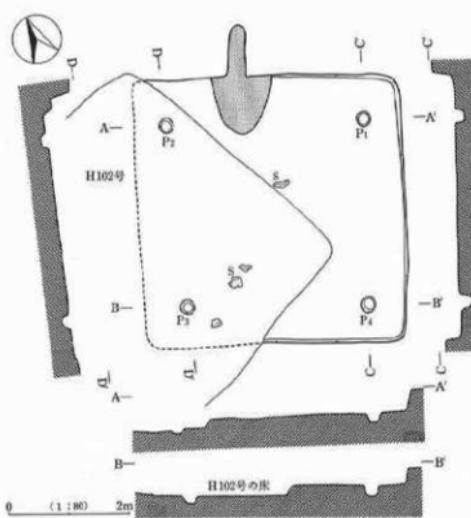
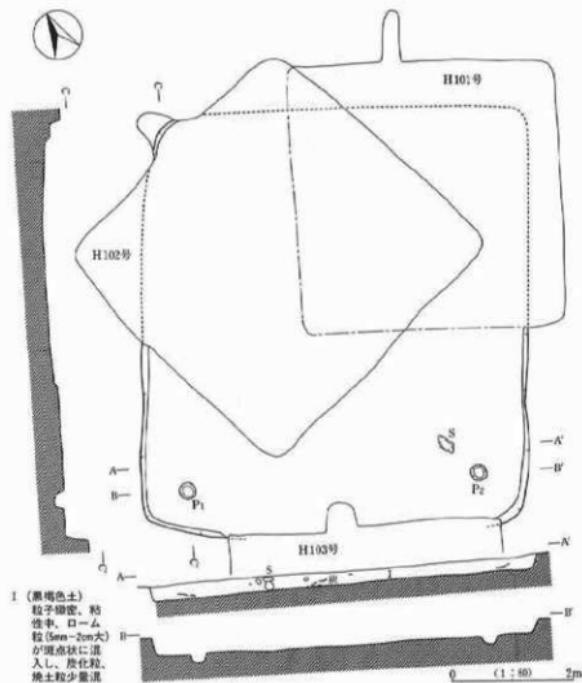


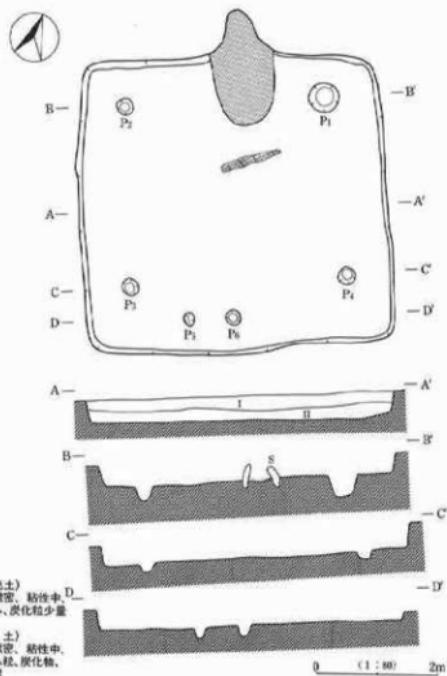
第198図 H99号居住址実測図



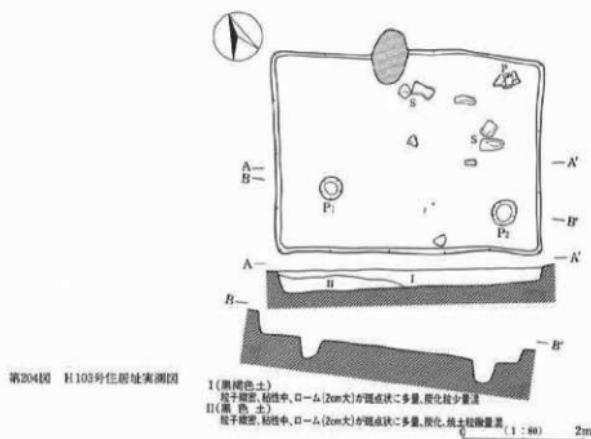
1 (黒褐色土) 黒茶色多量含  
2 (黒褐色土) 粘土、粘土多量含  
3 (黒褐色土) 焼けこみ

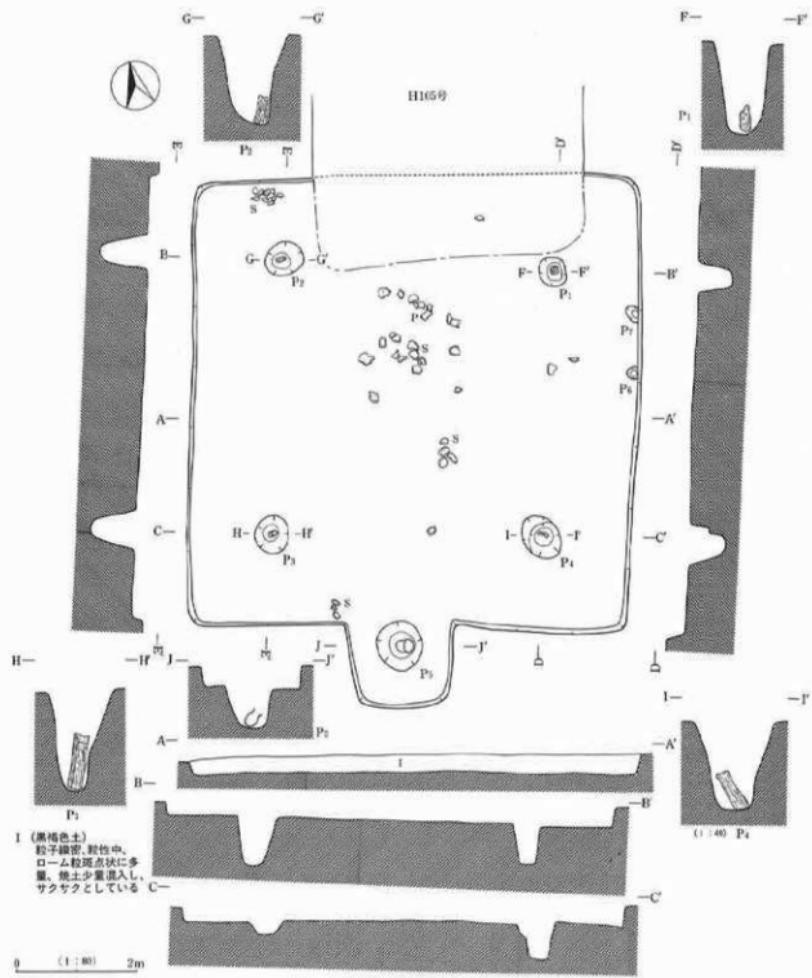
第199図 H99号居住址 Kamado 実測図



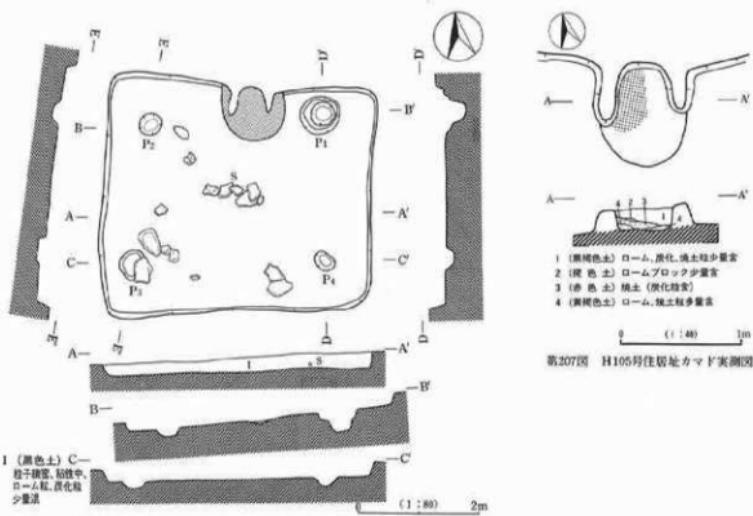


第203図 H 102号住居址実測図

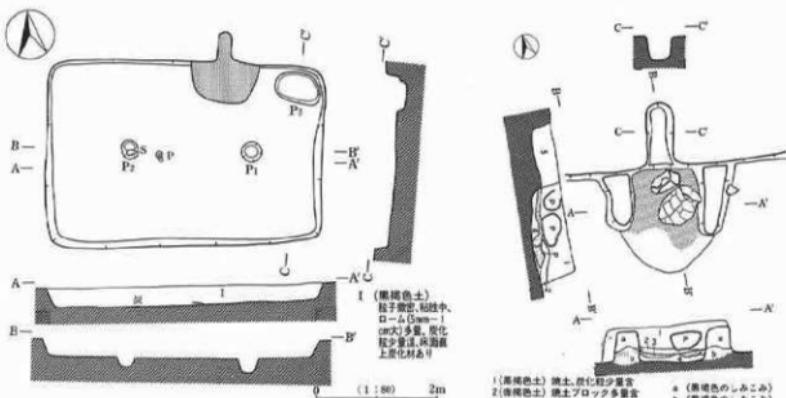




第205区 H104号住居址実測図



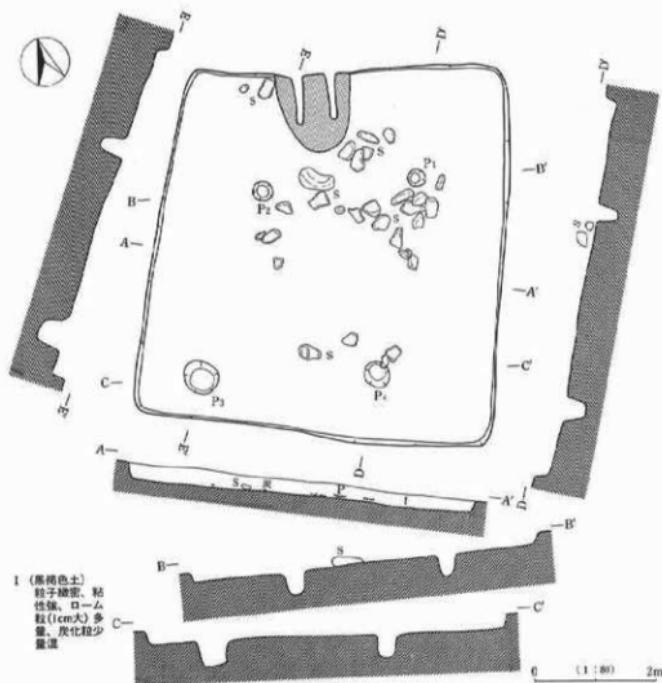
第206図 H105号住居址実測図



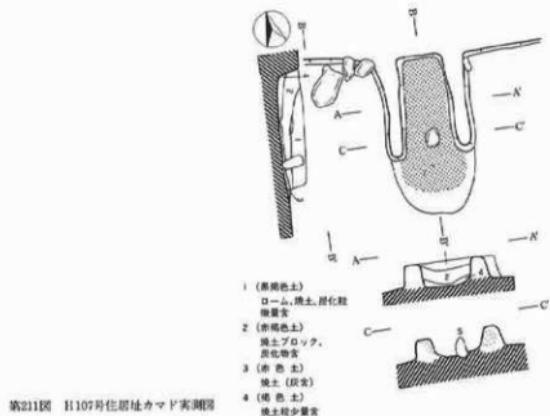
第208図 H106号住居址実測図

1 (黒褐色土) 塗土、炭化粒少量含  
2 (深色土) ブロック多量含  
3 (赤色土) 塗土  
4 (赤色土) ローム多量含、埴土粒少量含  
5 (黄褐色土) 塗土、埴土層

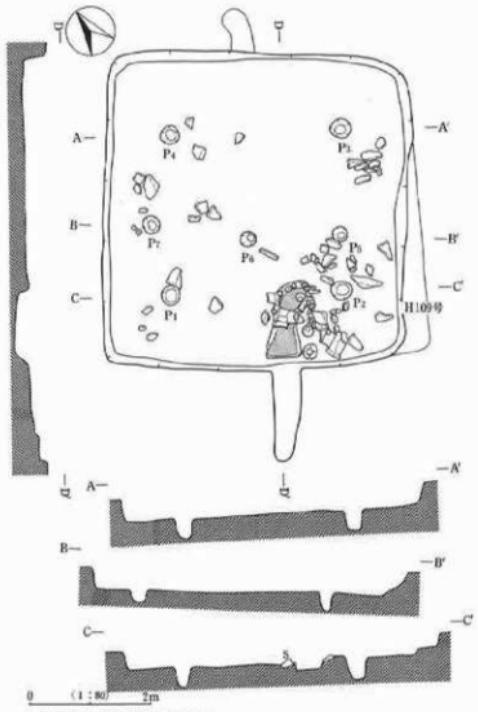
第209図 H106号住居址カマド実測図



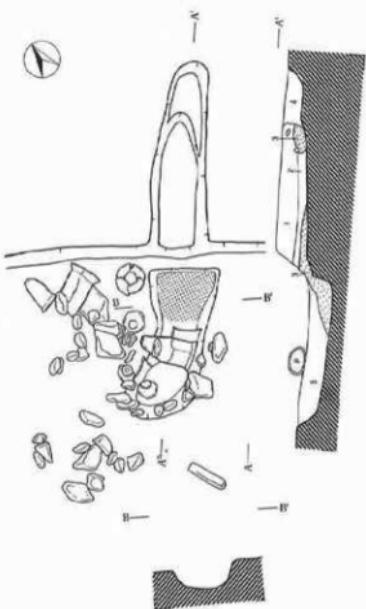
第210図 H107号住居址実測図



第211図 H107号住居址カマド実測図



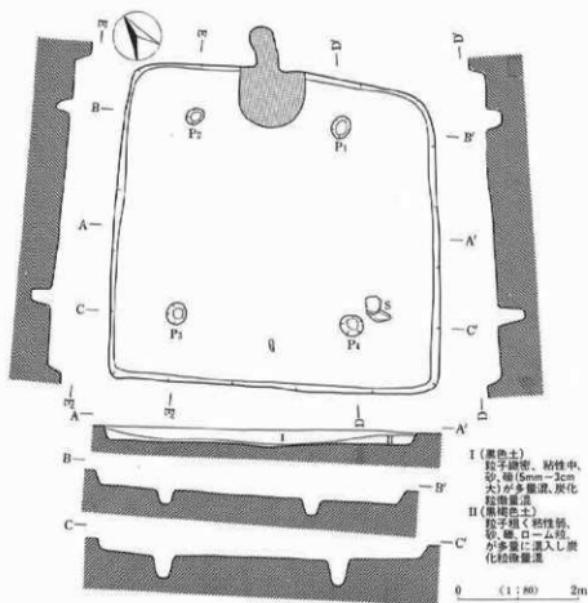
第212図 H108号住居址実測図



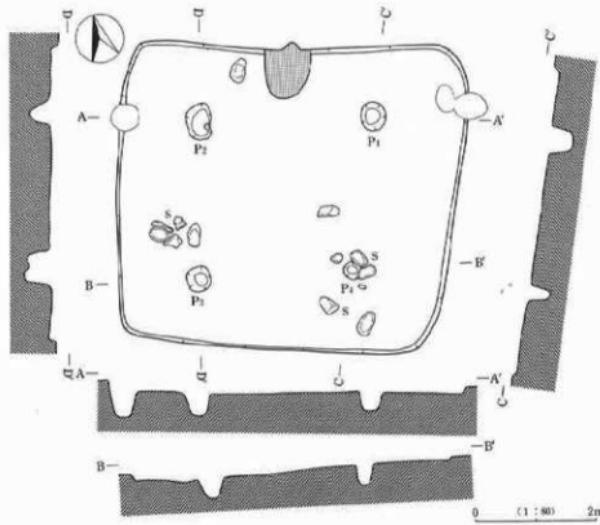
第213図 H108号住居址カマド実測図

- 1 (褐色土) 小石、炭化、焼土粒度
- 2 (赤褐色土) 烧土、炭化粒度
- 3 (赤色土) 烧土、土
- 4 (褐褐色土) 烧土、砾のしみ込み
- 5 (褐色土) 小石粒度

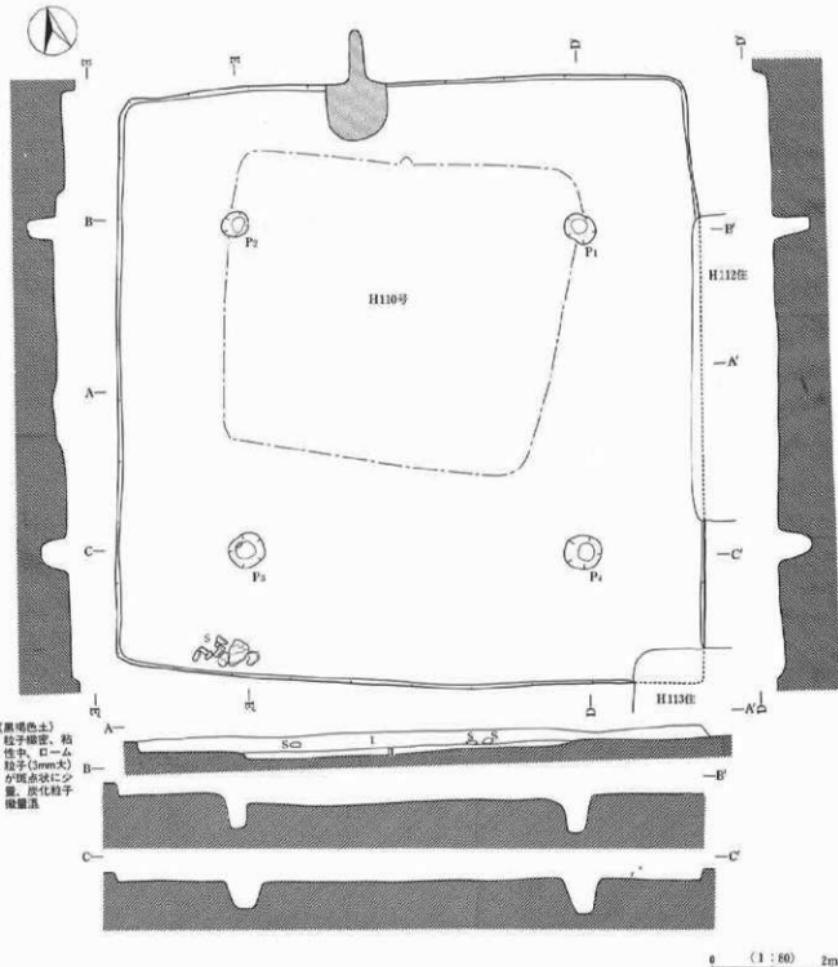
0 (1:40) 1m



第214図 H109号住居址実測図

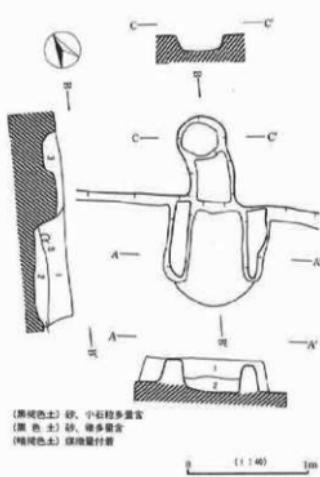


第216図 H110号住居址実測図

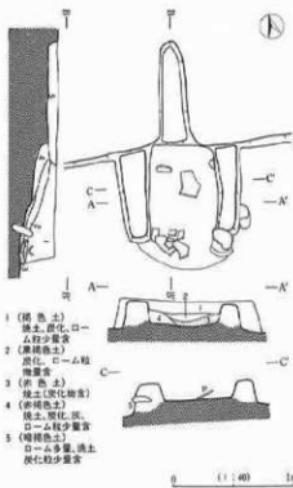


1 (高層土)  
粘土層、粘  
性土  
○—ム  
粘土(3mm大)  
△—点状に少  
量、厚化粧子  
微量

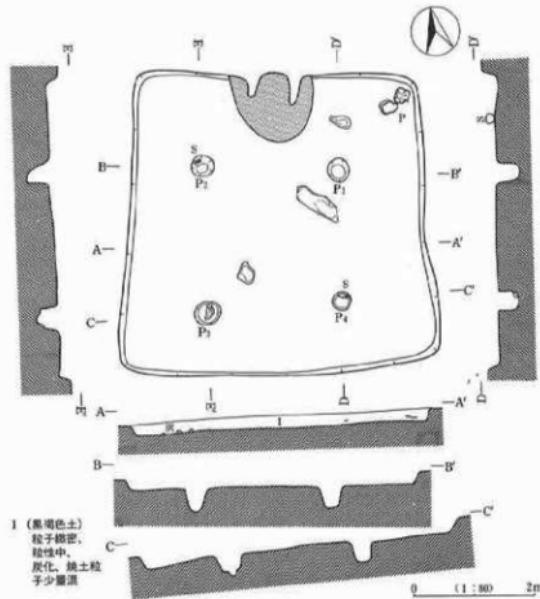
第217図 H111号住居址実測図



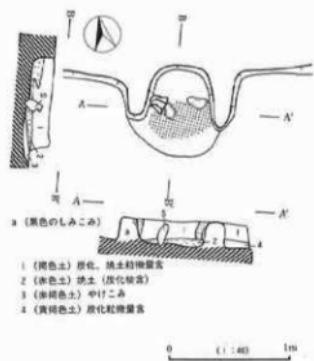
第218図 H109号住居址カマド実測図



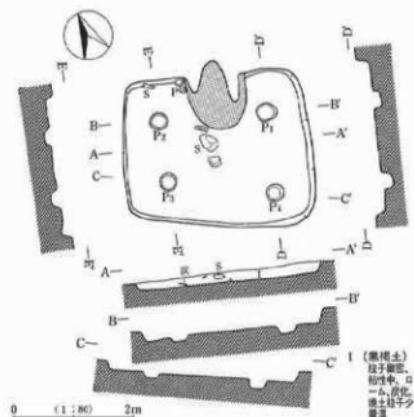
第219図 H111号住居址カマド実測図



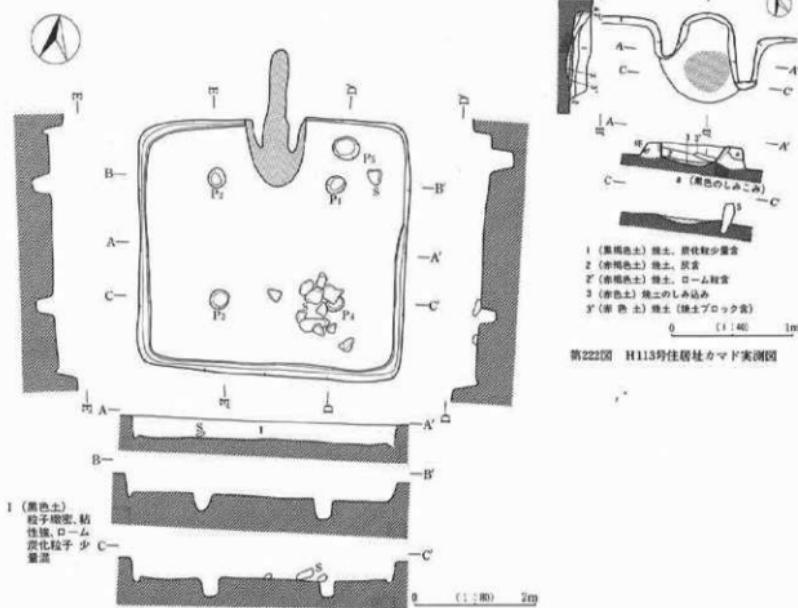
第219図 H112号住居址実測図



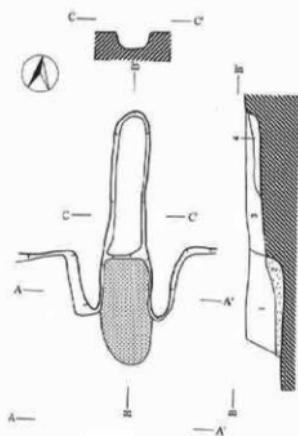
第220図 H112号住居址カマド実測図



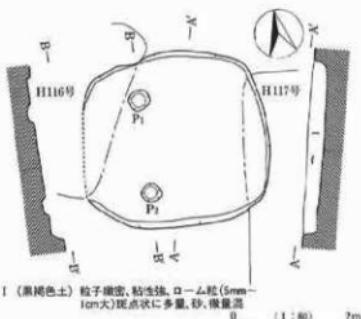
第221図 H113号住居址カマド実測図



第222図 H114号住居址カマド実測図

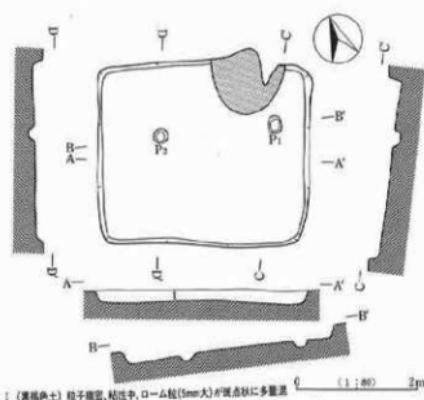


第224図 H115号住居址カマド実測図

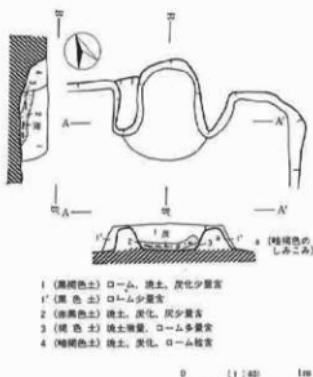


第225図 H115号住居址実測図

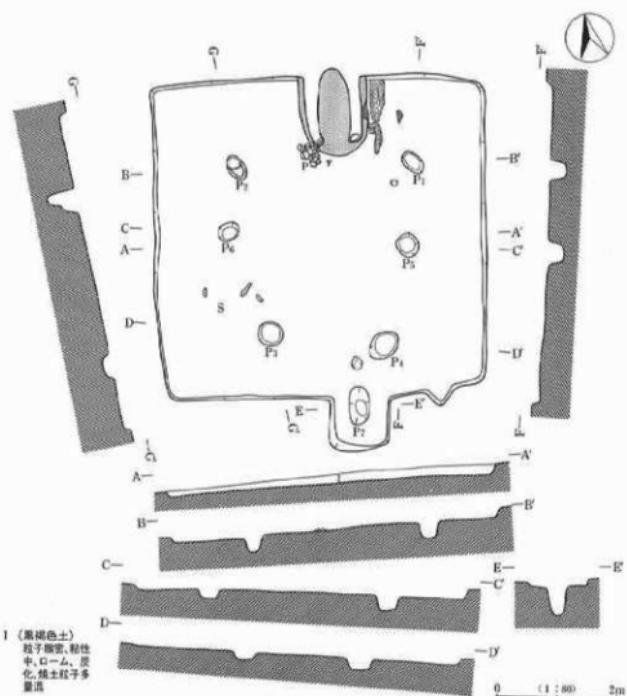
第226図 H116号住居址カマド実測図



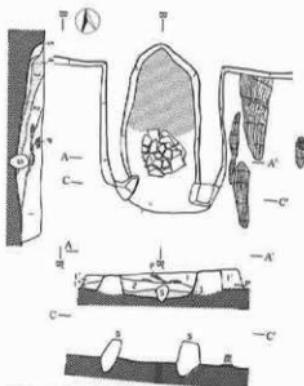
第226図 H116号住居址実測図



第227図 H116号住居址カマド実測図

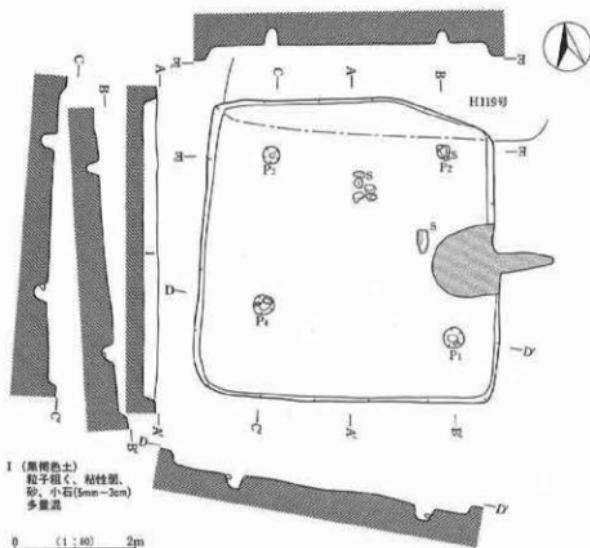


第228図 H117号住居址実測図

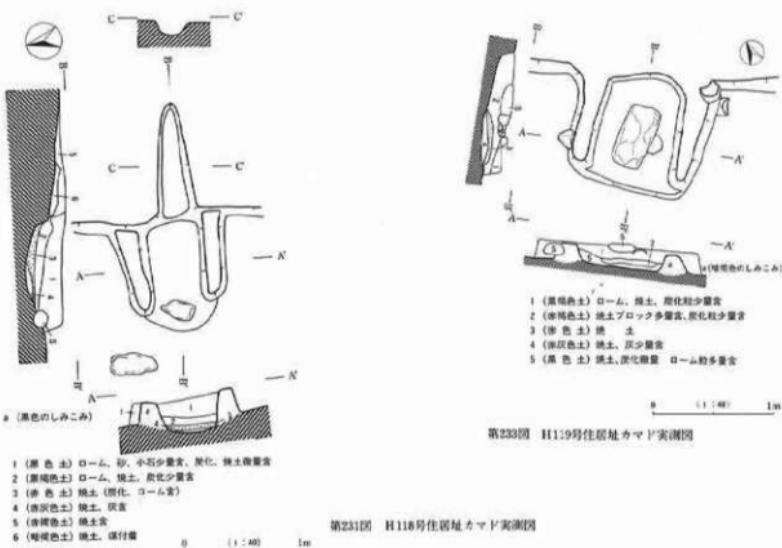


第229図 H117号住居址カマツ実測図

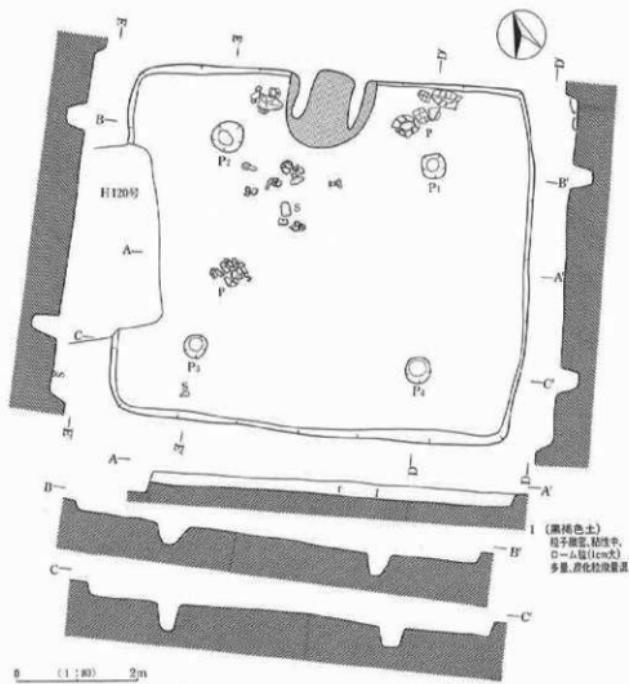
- 1(黒色土) 燃土、炭化灰、少量骨
  - 2(黒褐色土) 燃土多量、炭化粒微量
  - 3(赤色土) 燃土
  - 4(黒褐色土) 燃土、ローム粒少量含  
微量骨
  - 5(黒色土) ローム多量含  
微量骨
- 0 (1 : 40) 1mm



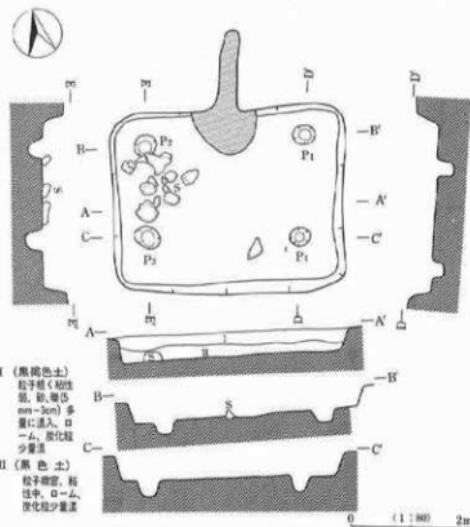
第230図 H118号住居址実測図



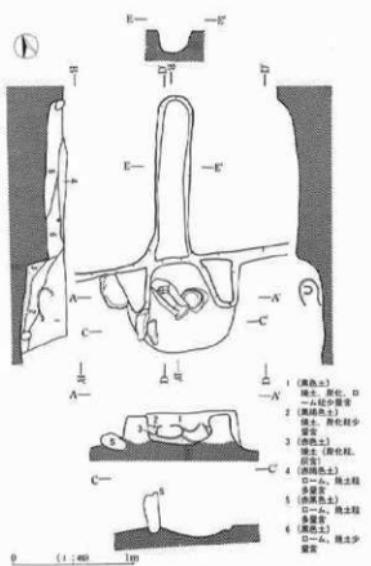
第231図 H118号住居址 カマド実測図



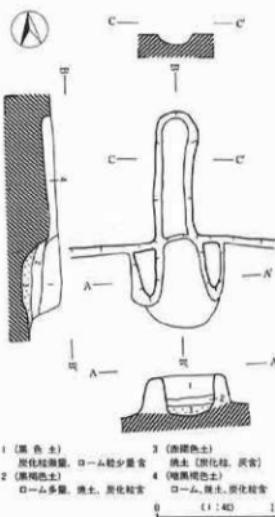
第232図 H119号住居址実測図



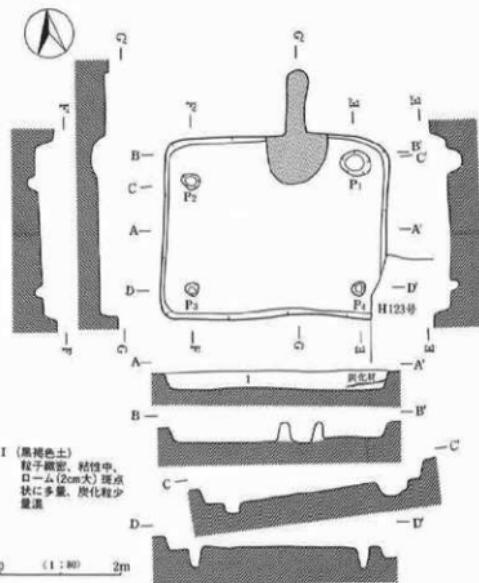
第234図 H120号住居址実測図



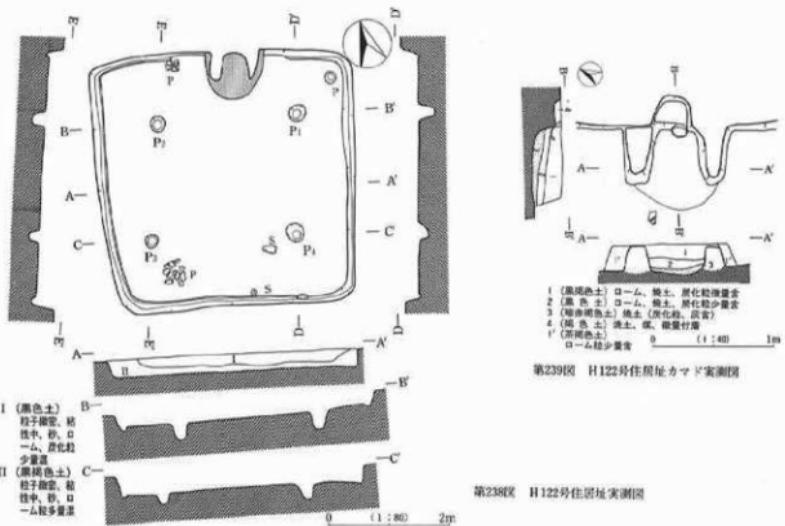
第235図 H120号住居址カマド実測図



第237図 H121号住居址カマド実測図

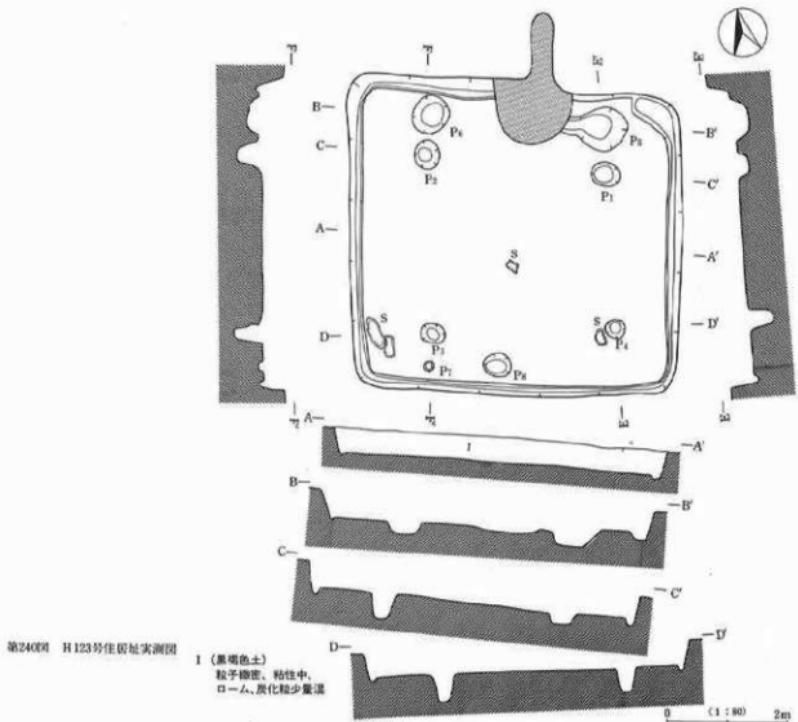


第236図 H121号住居址実測図

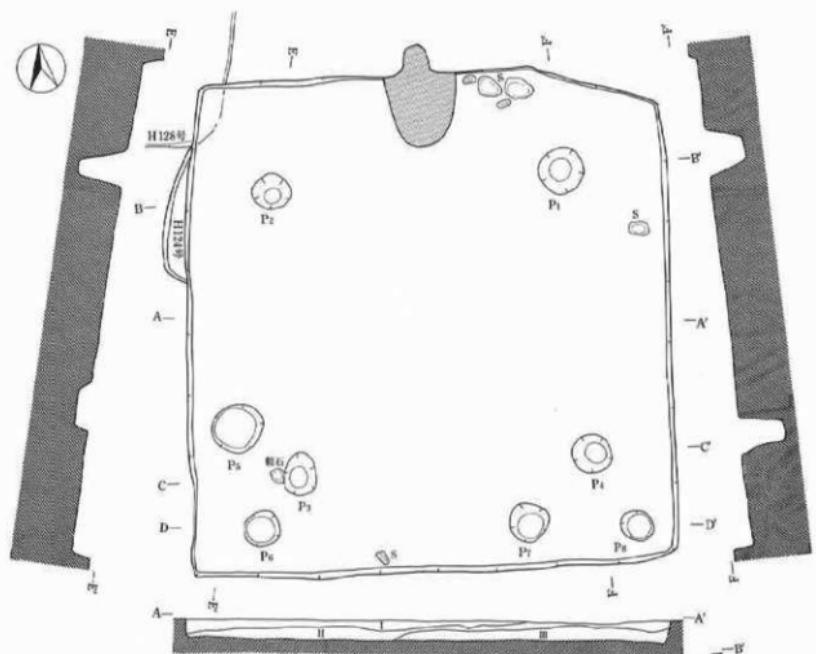


第239図 H122号住居址カマド実測図

第238図 H122号住居址実測図



第240図 H123号住居址実測図

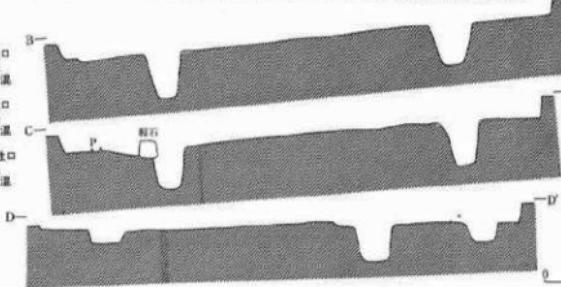


I (黒褐色土)

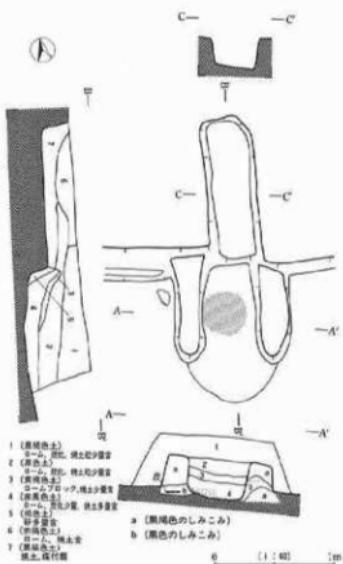
粘子細密、粘性中、砂質性口  
ーム粒が斑点状に多量混  
成化、鐵土、ローム粒少量混  
(黑色土)

粘子細密、粘性中、砂質性口  
ーム粒が斑点状に多量混  
成化、鐵土、ローム粒少量混  
(褐色土)

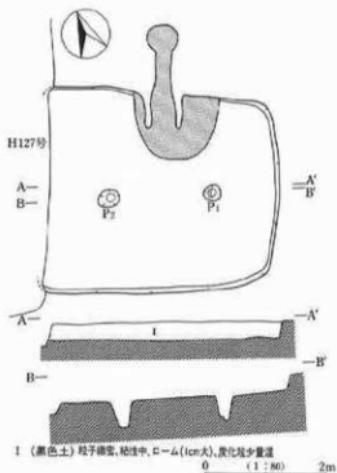
粘子細密、粘性中、砂質性口  
ーム粒が斑点状に多量混  
成化、鐵土、ローム粒少量混



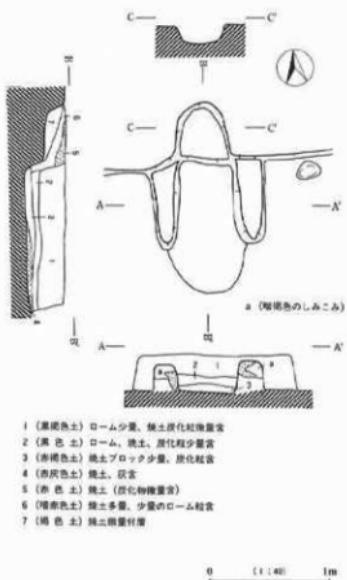
第242図 H124号・125号住居址実測図



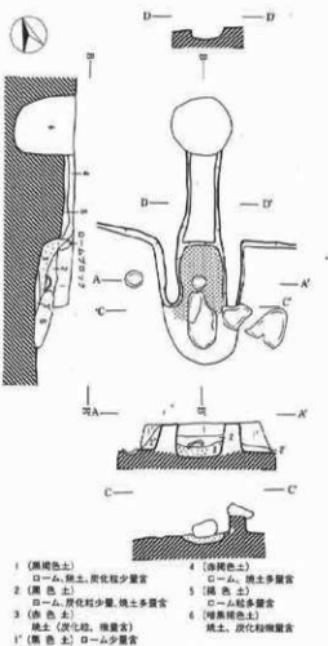
第241図 H123号住居址カマド実測図



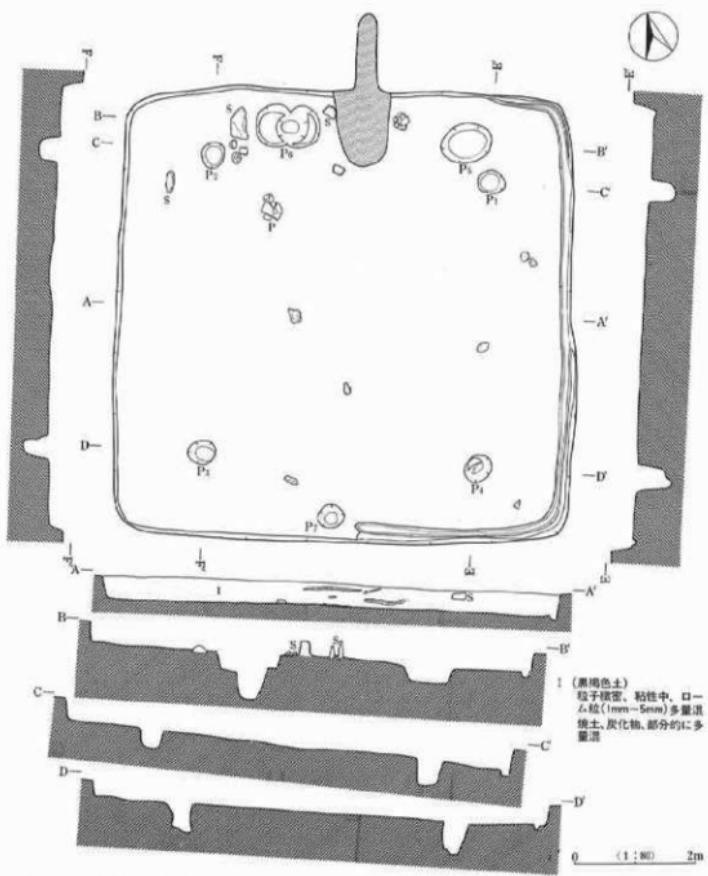
第244図 H126号住居址実測図



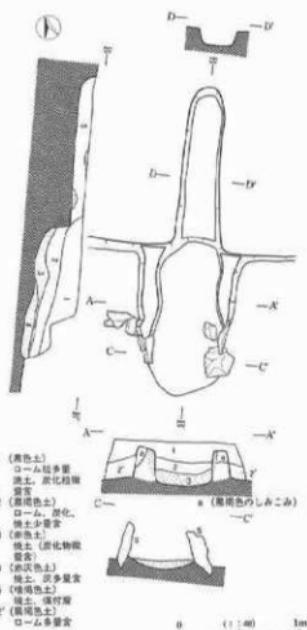
第243図 H125号住居址カマド実測図



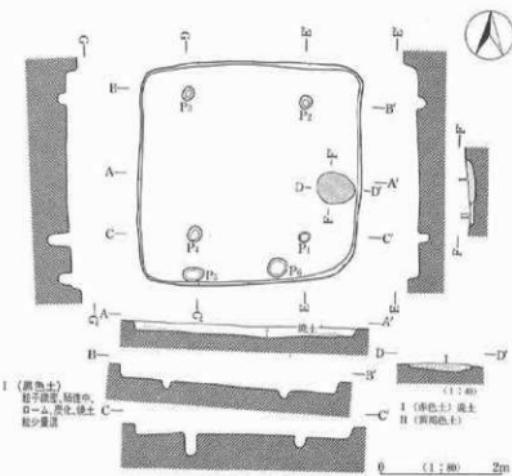
第245図 H126号住居址カマド実測図



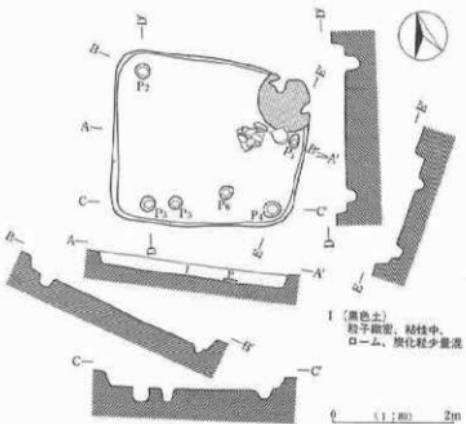
第246图 H127号住宅址平面图



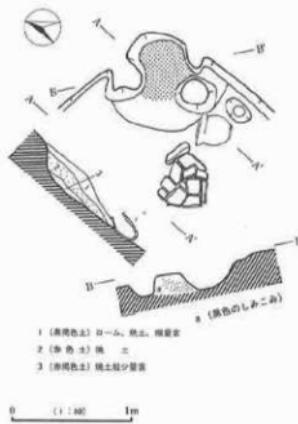
第247図 H127号住居址カマド実測図



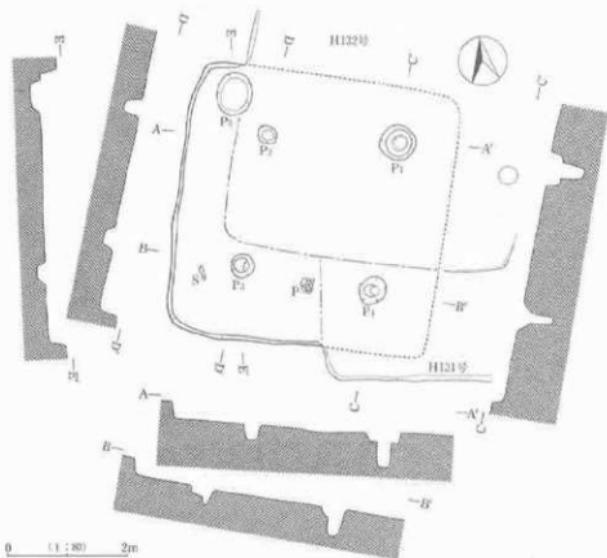
第248図 H128号住居址実測図



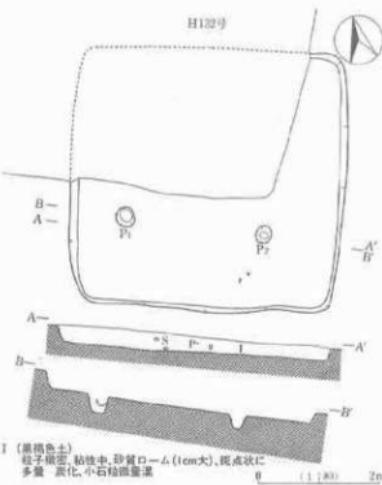
第249図 H129号住居址実測図



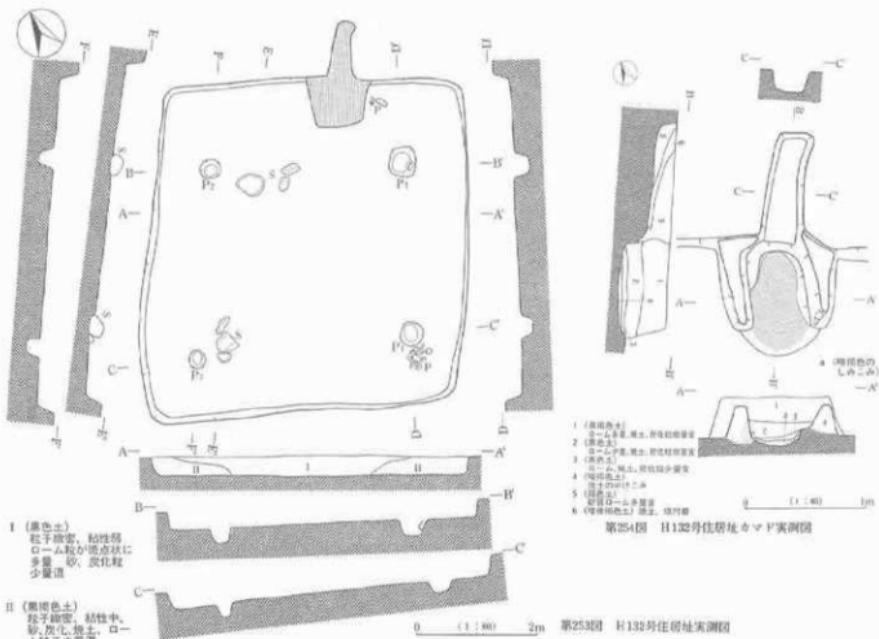
第250図 H129号住居址カマド実測図



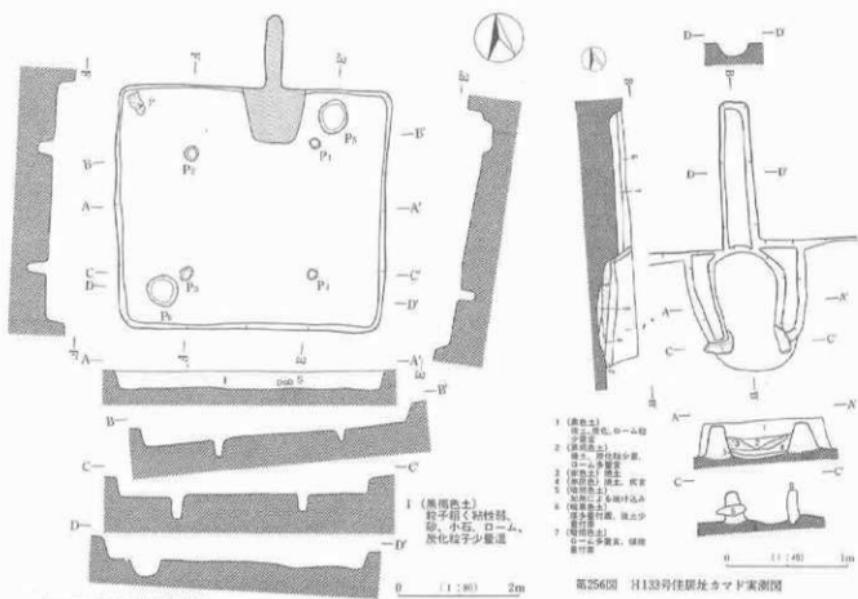
第251图 H130号住居址実測図



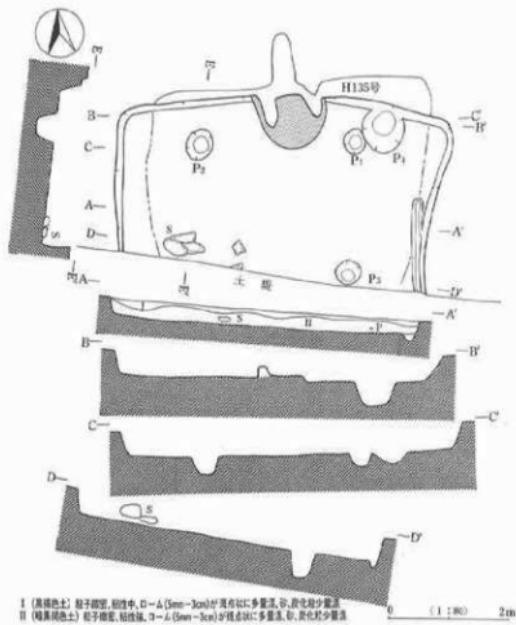
第252图 H131号住居址実測図



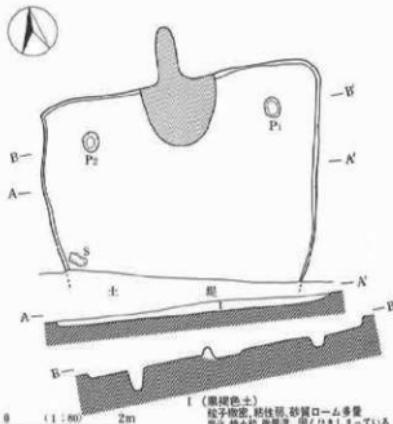
第254図 H132号住居址カマド実測図



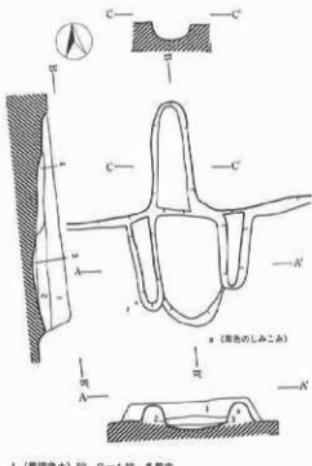
第255図 H133号住居址カマド実測図



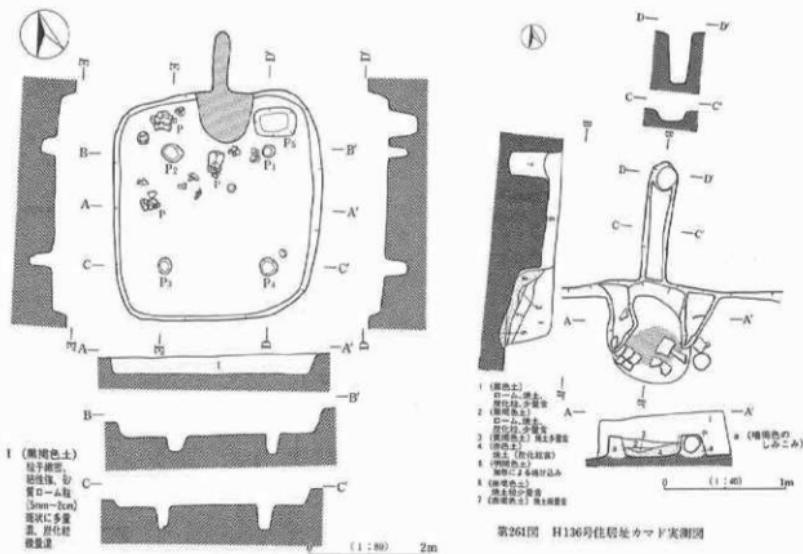
第257図 H134居住址実測図



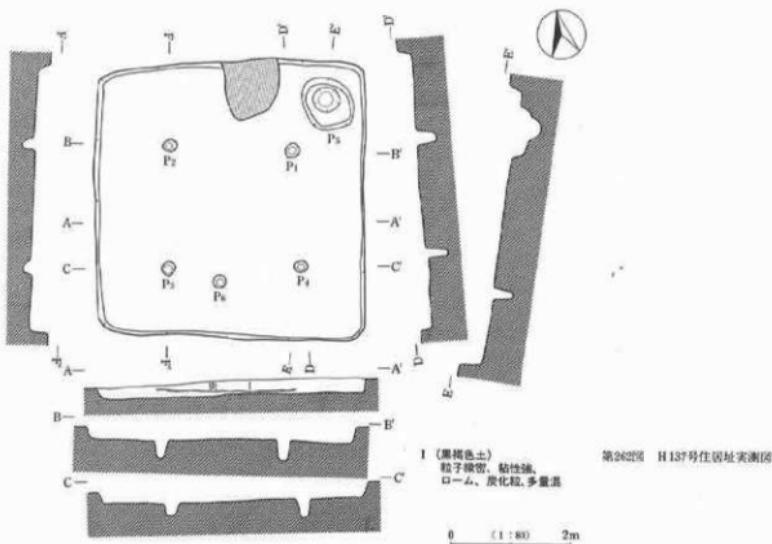
第258図 H135居住址実測図



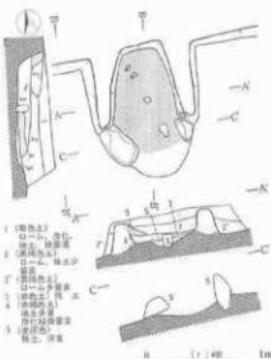
第259図 H135号居住址カマド実測図



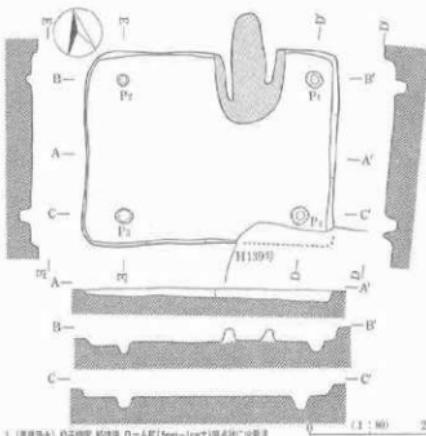
第260図 H136号住居址実測図



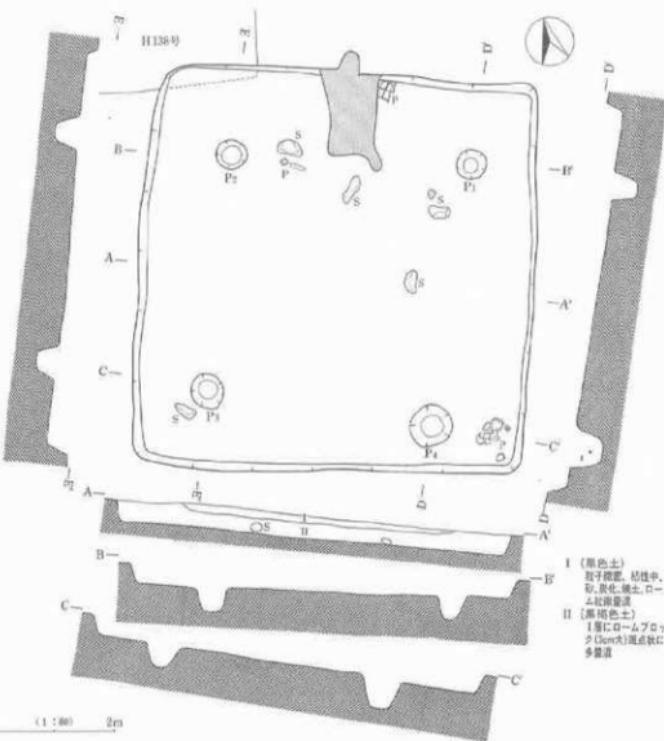
第262図 H137号住居址実測図



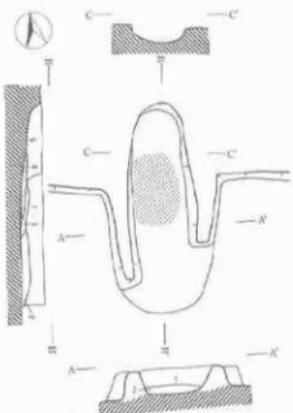
第263図 H137号住居址カマド実測図



第264図 H138号住居址実測図



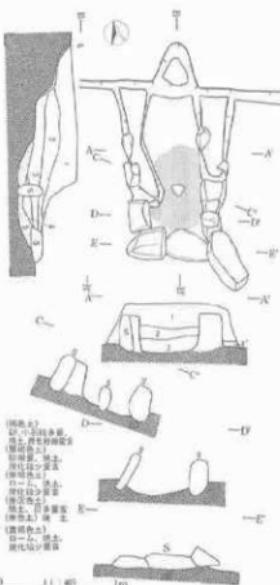
第265図  
H139号住居址  
実測図



- 1 (黒褐色土) ローム、砂、小石粒少量、炭化物微量
- 2 (黒色土) ローム、砂、小石粒少量、炭化物微量
- 3 (褐色土) 砂土、炭化物、油膜
- 4 (褐色土) 砂土 (炭化物微量)
- 5 (褐色土) 砂土、砂、砂・粘多量土、蝶伴虫。

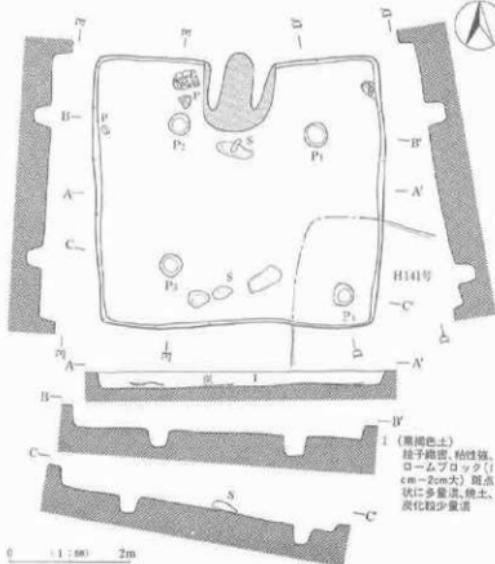
0 : 1 : 100 1m

第265図 H138号住居址カマド実測図

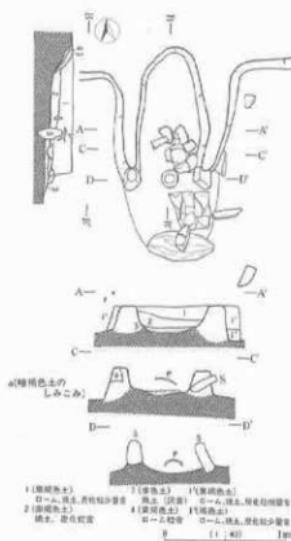


- 1 (黒褐色土) 砂、小石粒少量、炭化物微量
- 2 (黒褐色土) 砂、小石粒少量、炭化物微量
- 3 (黒褐色土) 砂土、炭化物微量
- 4 (褐色土) 砂土、炭化物微量
- 5 (褐色土) 砂土、炭化物微量
- 6 (黒褐色土) 砂土、炭化物微量

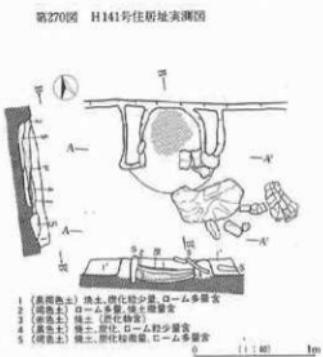
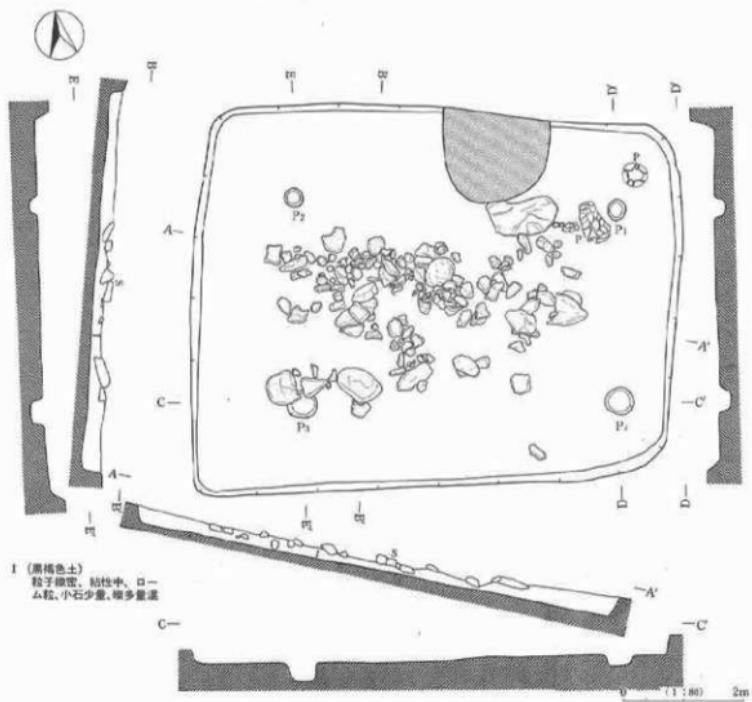
第267図 H139号住居址カマド実測図



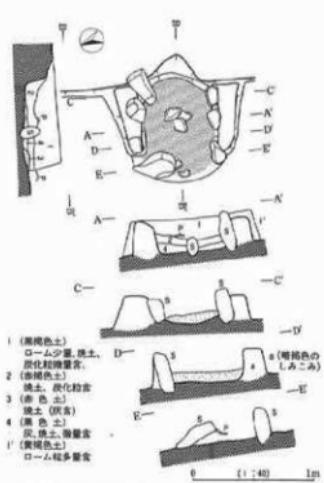
第268図 H140号住居址実測図



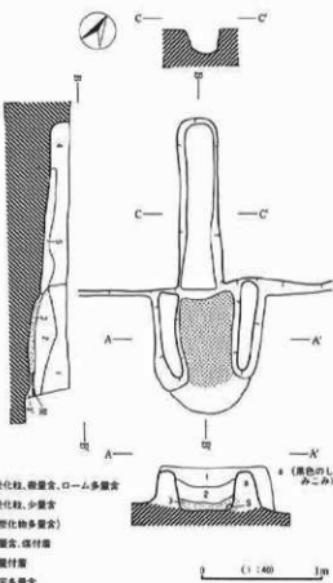
第269図 H140号住居址カマド実測図



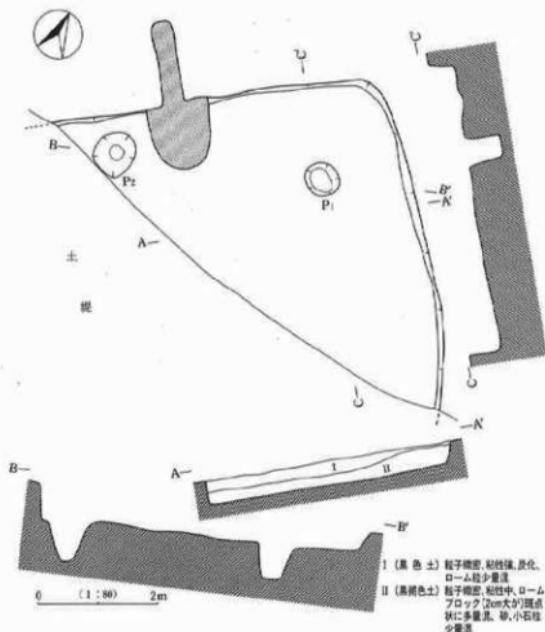
第272図 H142号住居址実測図 0 (1:80) 2m I (黒褐色土) 粒子緻密、粘性強、ローム粒、斑点状に多量混



第273図 H142号住居址カマド実測図

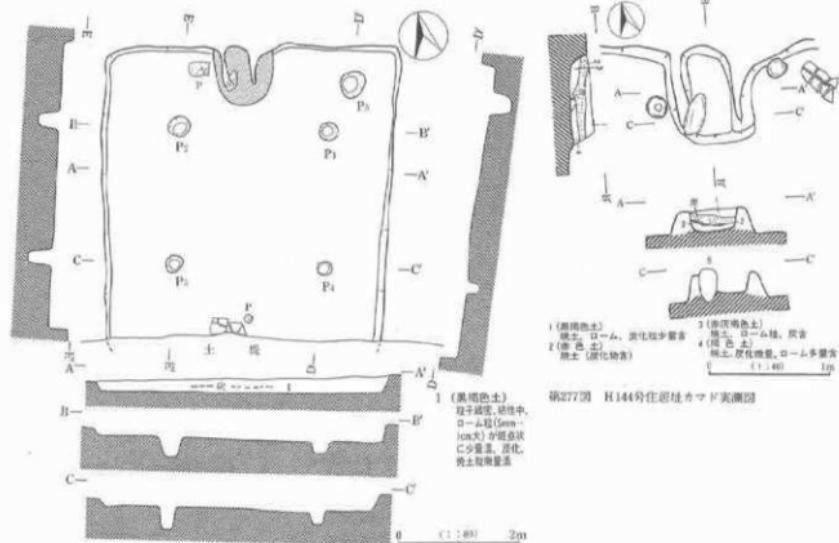


第275図 H143号住居址カマド実測図

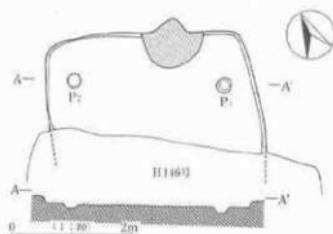


第274図 H143号住居址実測図

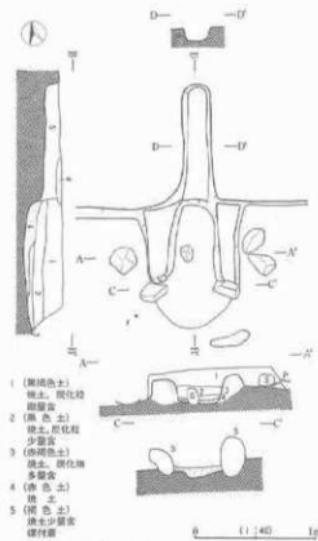
- I (褐色土) 粒子緻密、粘性強、炭化、ローム少量化  
II (深褐色土) 粒子緻密、粘性中、ローム  
フロック (2mm大粒) 褐化、少量化  
灰分多量、砂、小石斑  
少量化



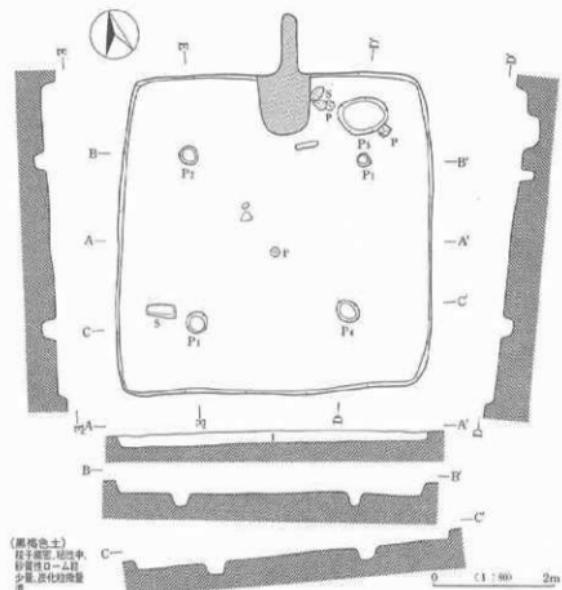
第277図 H144号住居址実測図



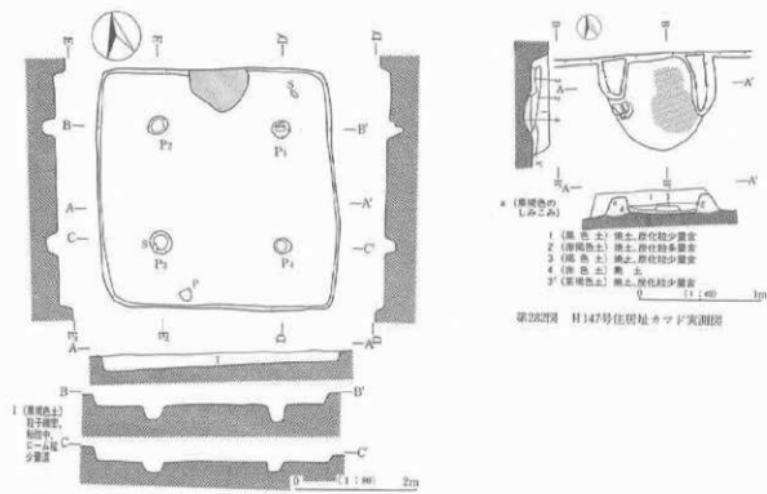
第278図 H145号住居址実測図



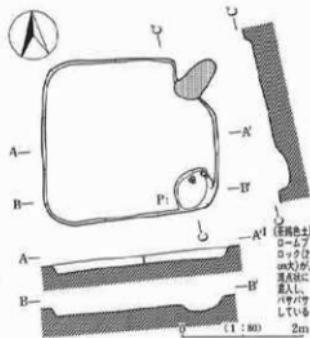
第279図 H146号住居址カマド実測図



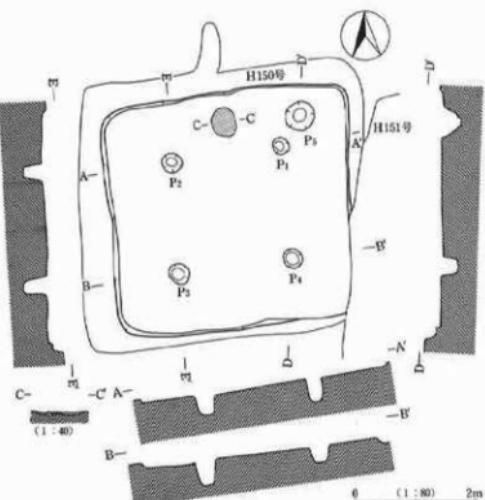
第279図 H146号住居址実測図



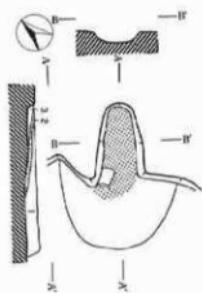
第281図 H147号住居址実測図



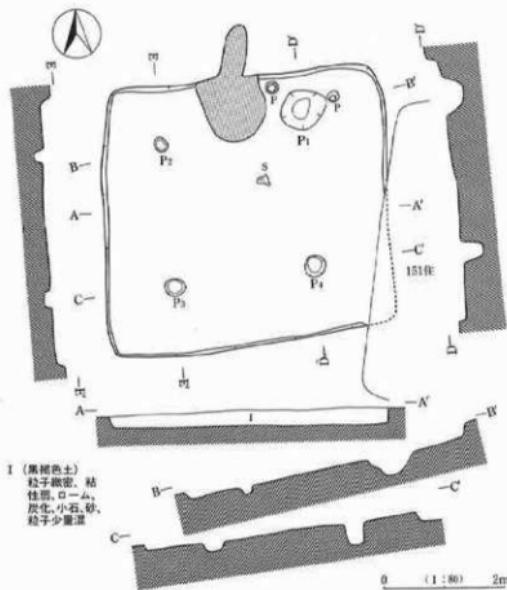
第283図 H148号住居址実測図



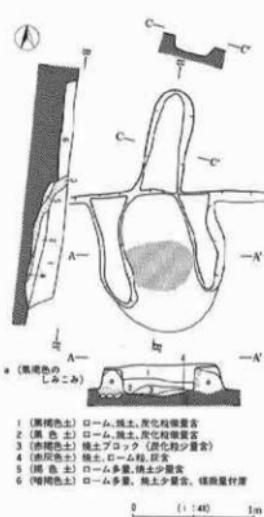
第284図 H149号住居址実測図



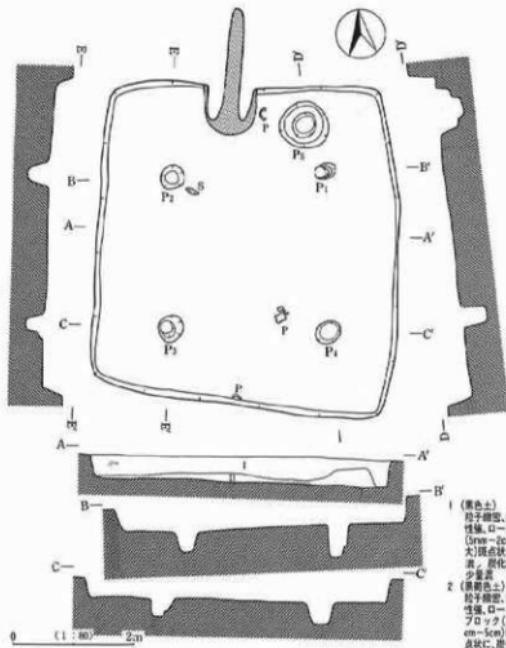
第285図  
H148号住居址 カマド実測図



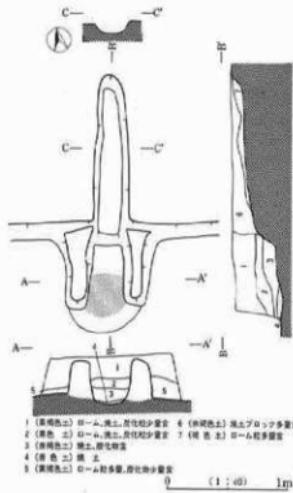
第286図 H150号住居址実測図



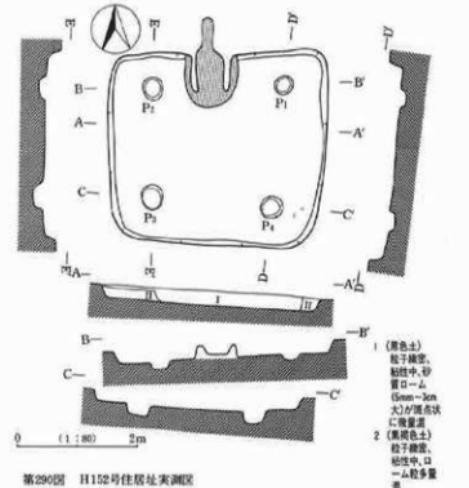
第287図 H150号住居址カマド実測図



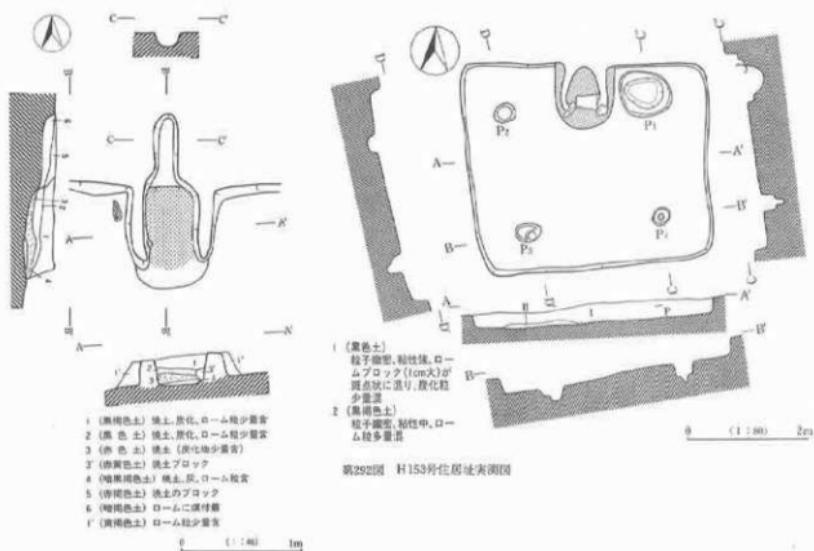
第288図 H151号住居址実測図



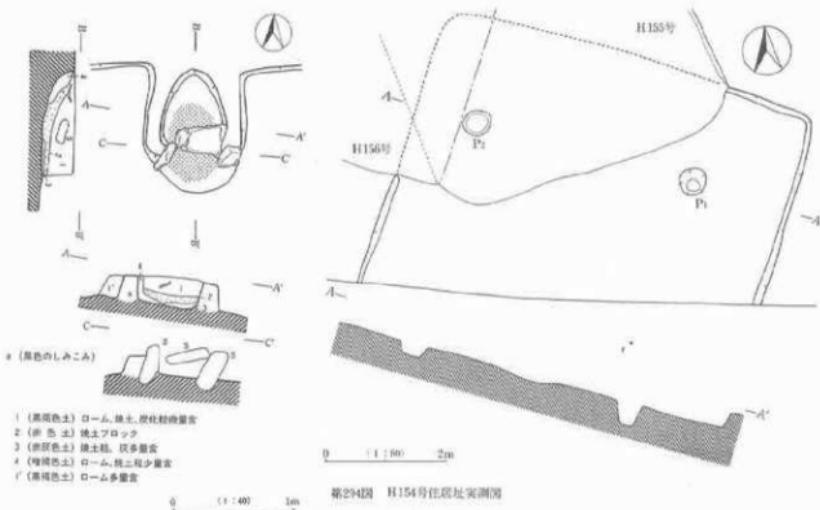
第289図 H151号住居址カマド実測図



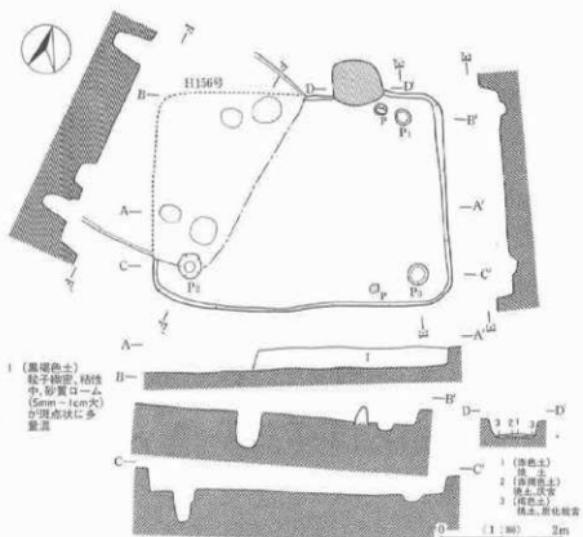
第290図 H152号住居址実測図



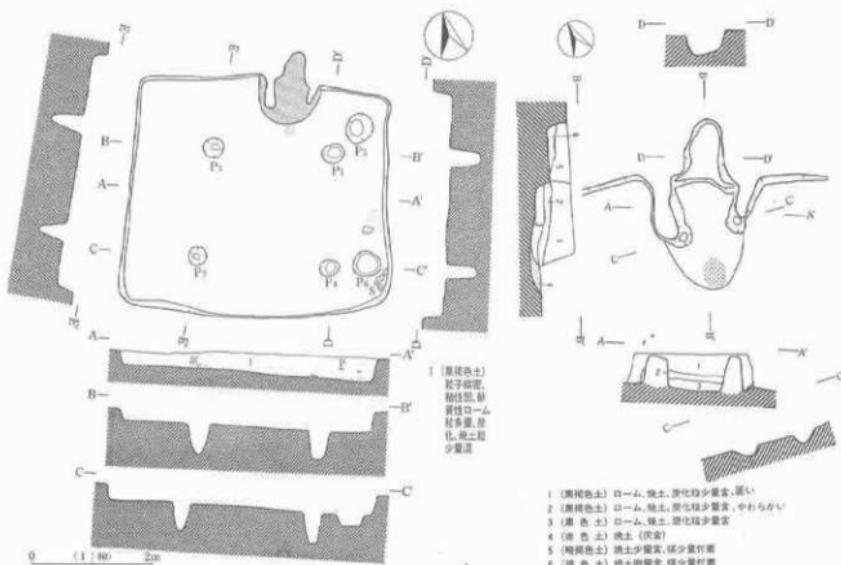
第291図 H152号住居址カマド実測図



第293図 H153号住居址カマド実測図

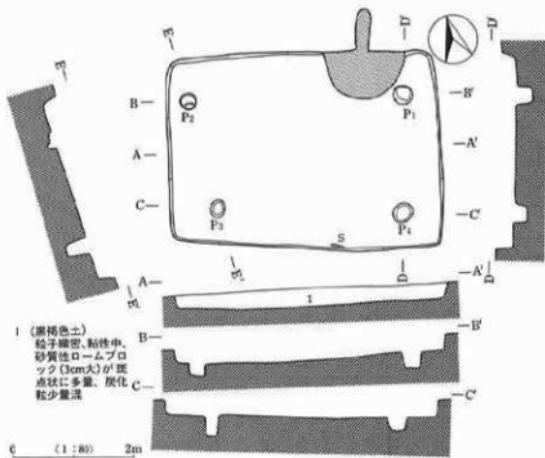


第294図 H155号住居址実測図

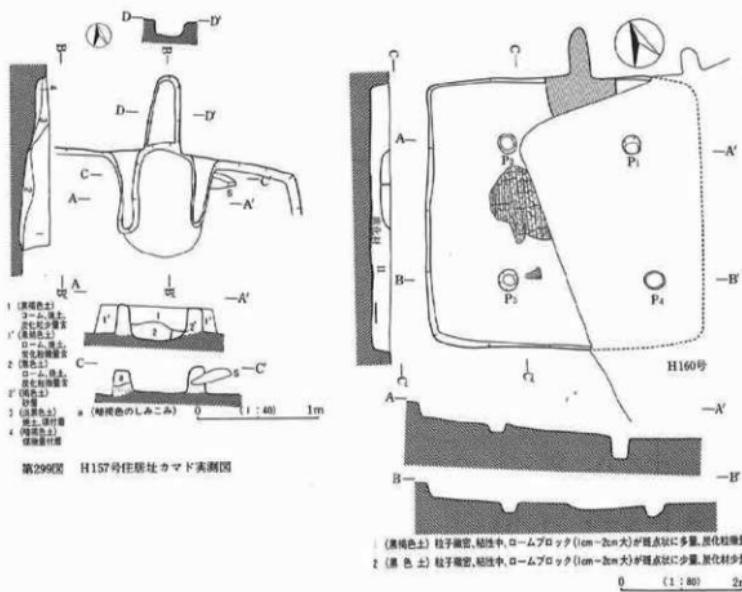


第295図 H156号住居址実測図

第297図 H156号住居址カマフ実測図



第298図 H157号住居址実測図



第299図 H157号住居址カマド実測図

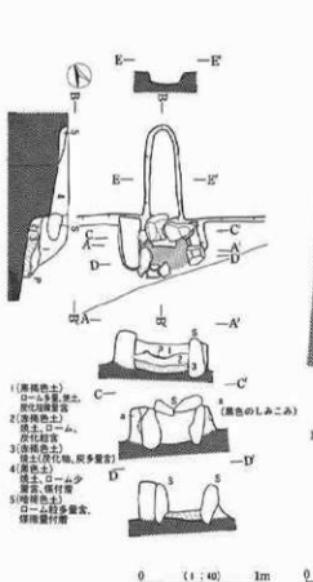
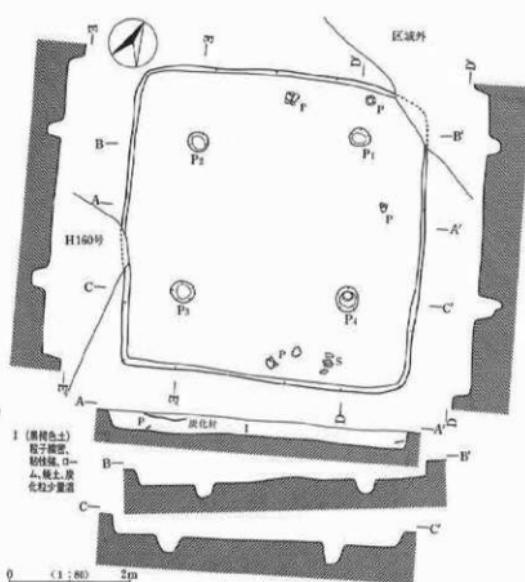
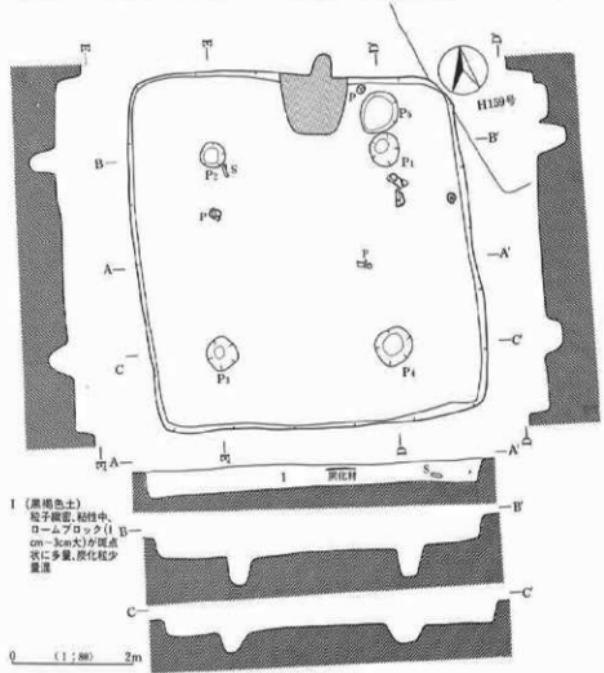


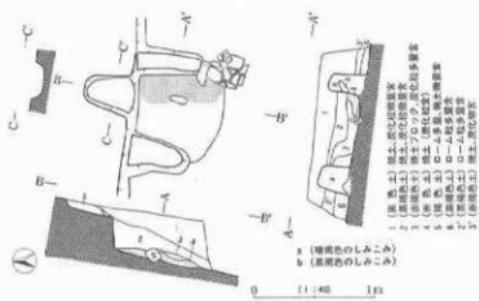
図301 H158号住居址カマド実測図



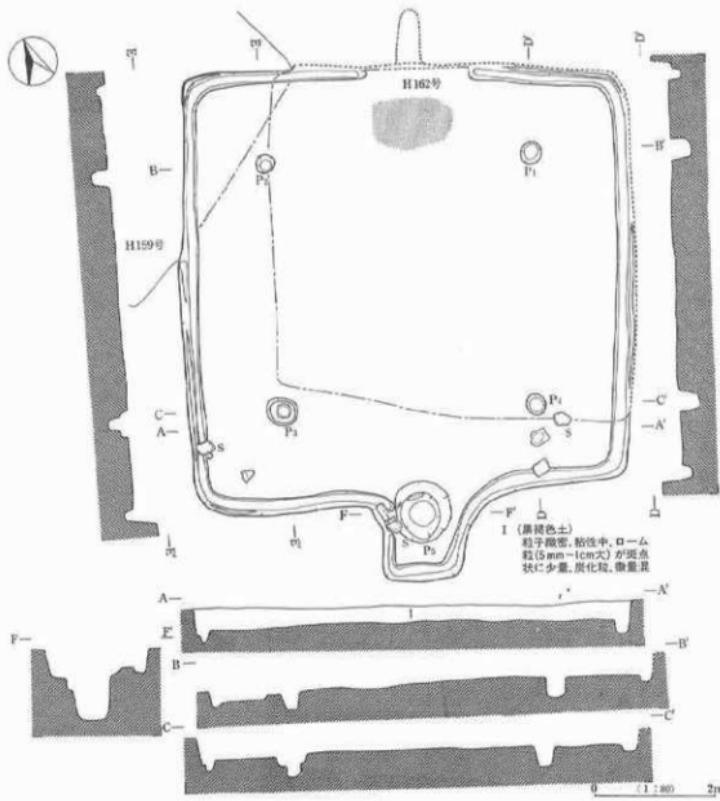
第302页 H 159号住居址実測図



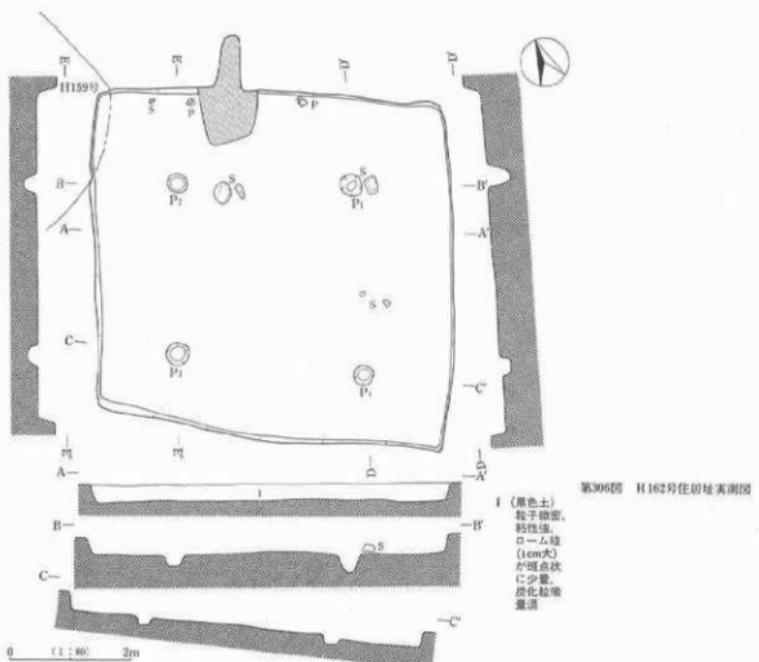
第3C3图 H160号住居址 宋源图



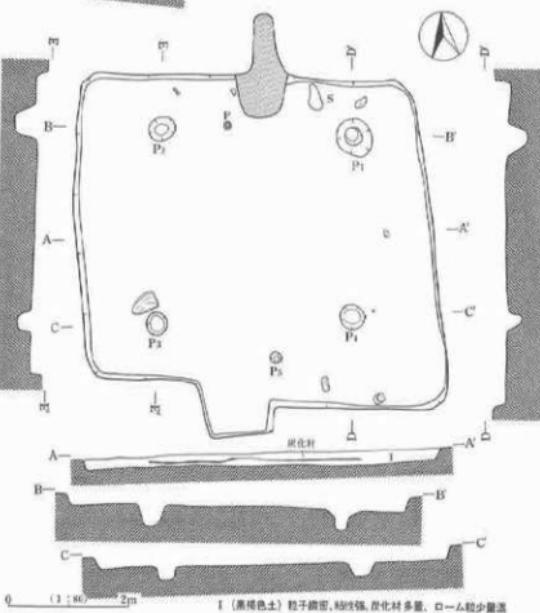
第304図 H160号住宅跡カマド実測図

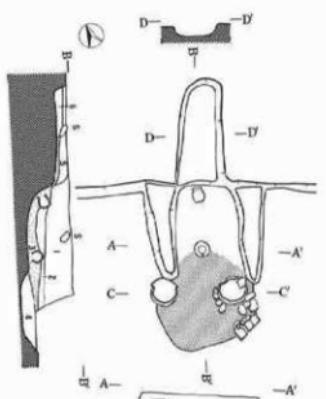


第305図 H161号住宅跡実測図

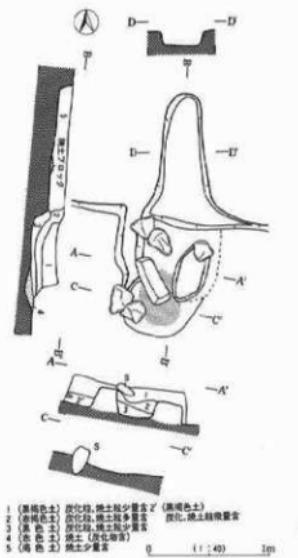


第306図 H162号住居址実測図

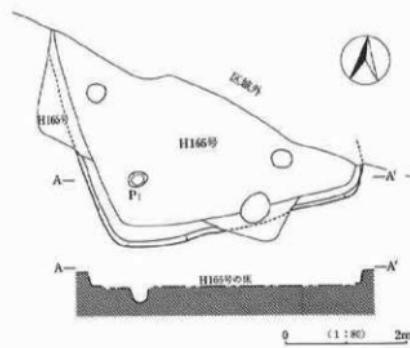




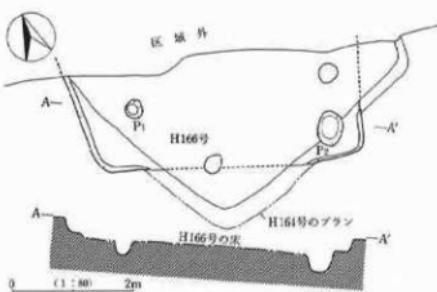
第307図 H162号住居址カマド実測図



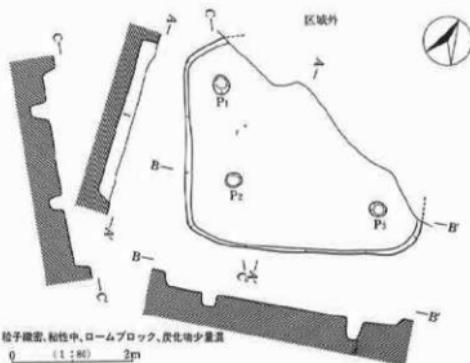
第309図 H163号住居址カマド実測図



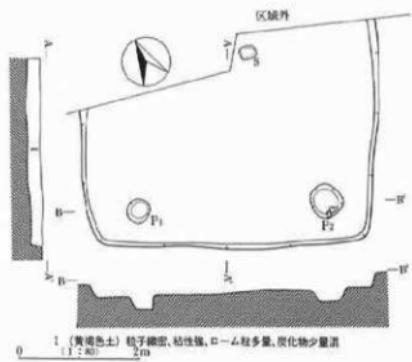
第310図 H164号住居址実測図



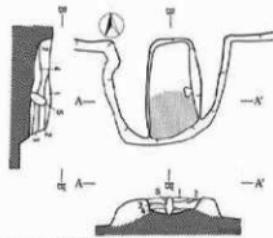
第311図 H165号住居址実測図



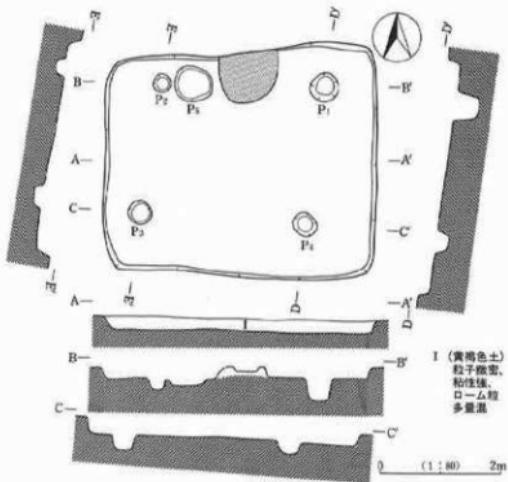
第312図 H166号住居址実測図



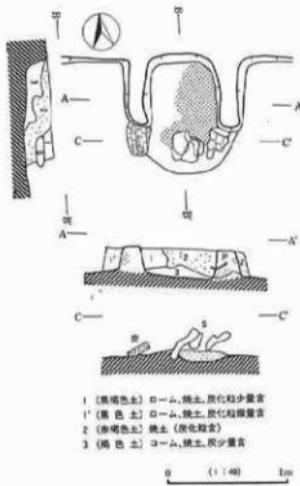
第313図 H167号住居址実測図



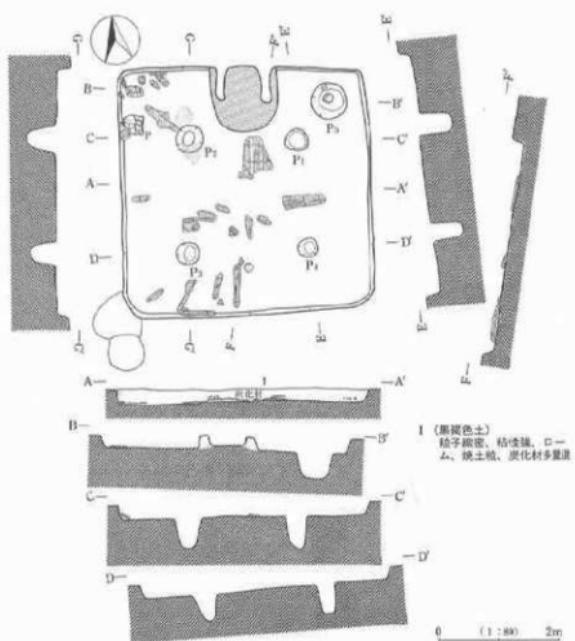
第315図 H168号住居址カマド実測図



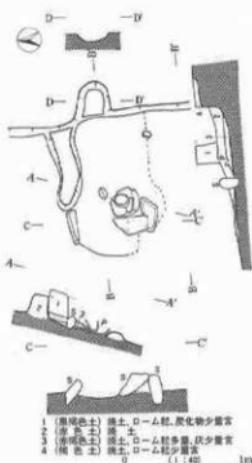
第314図 H168号住居址実測図



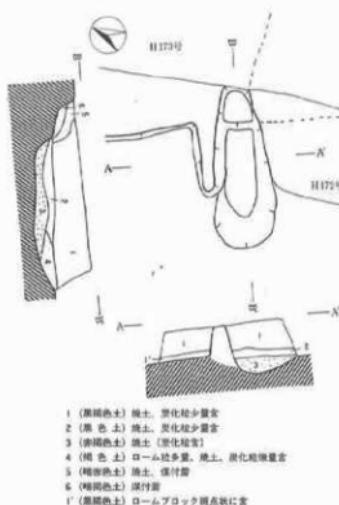
第317図 H169号住居址カマド実測図



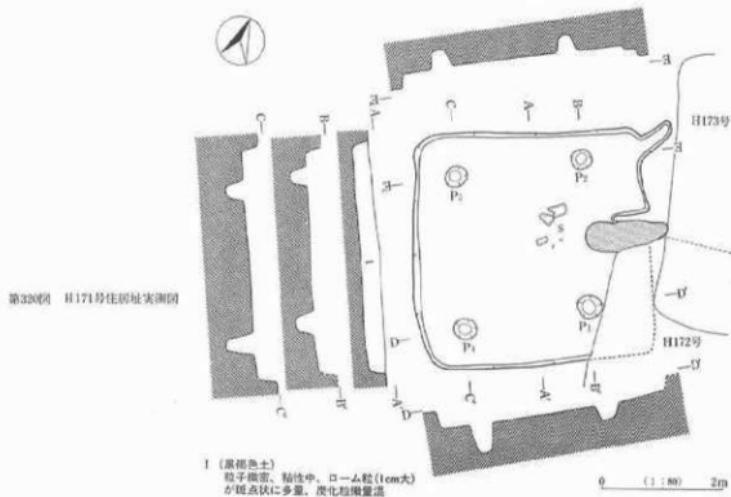
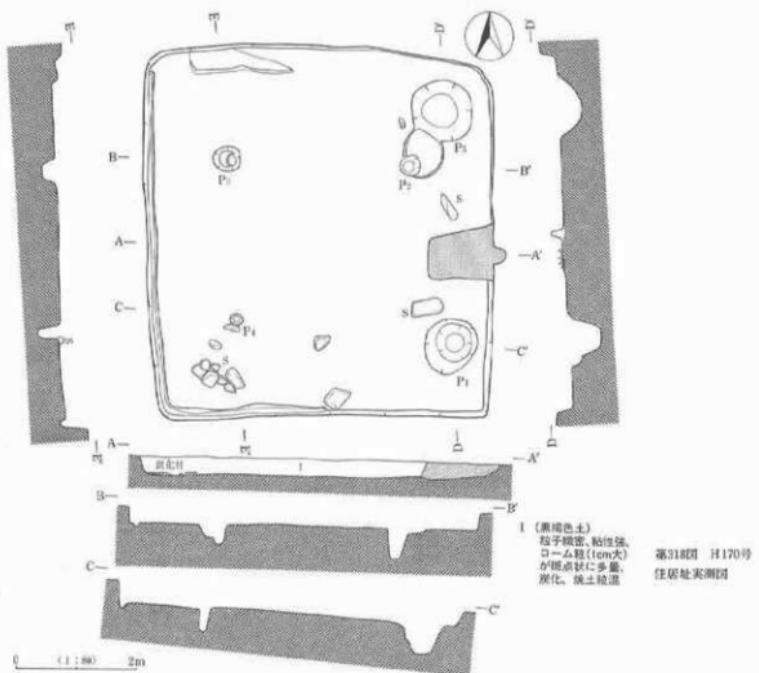
第316図 H169号住居址実測図

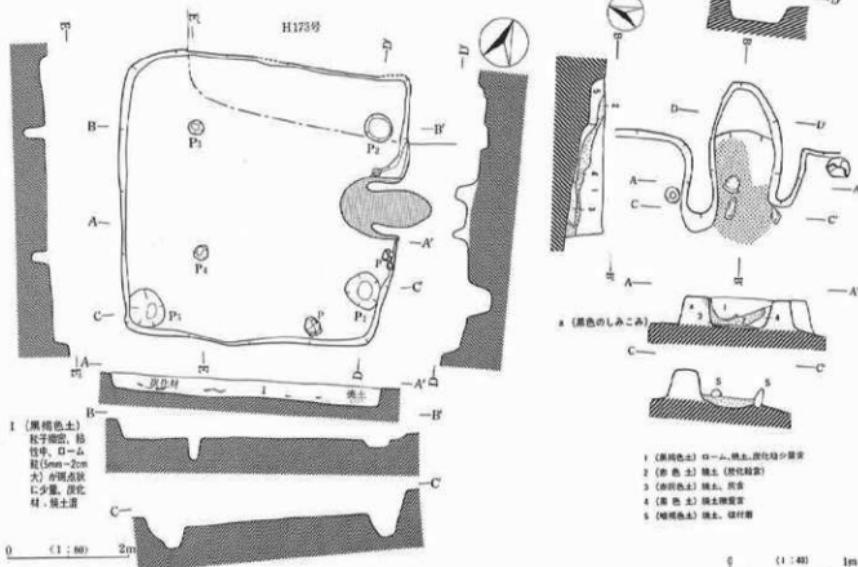


第319図 H170号住居址カマド実測図



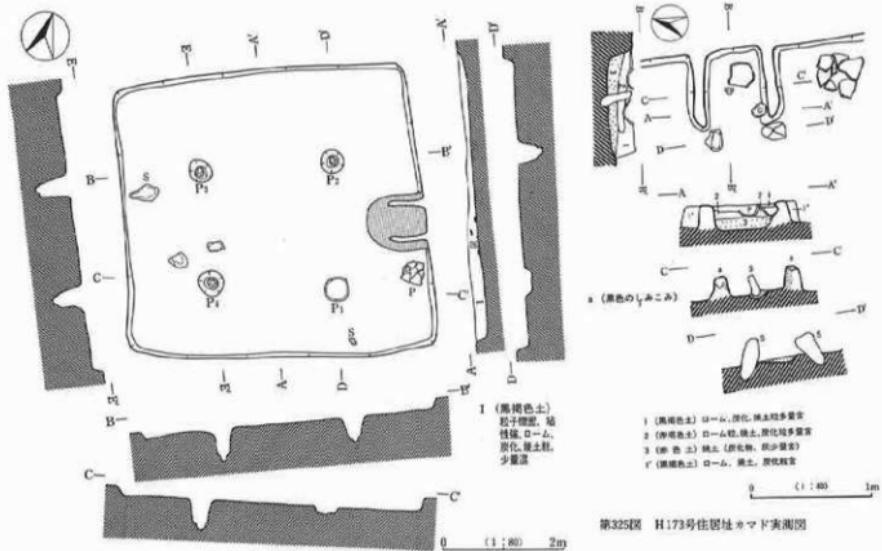
第321図 H171号住居址カマド実測図





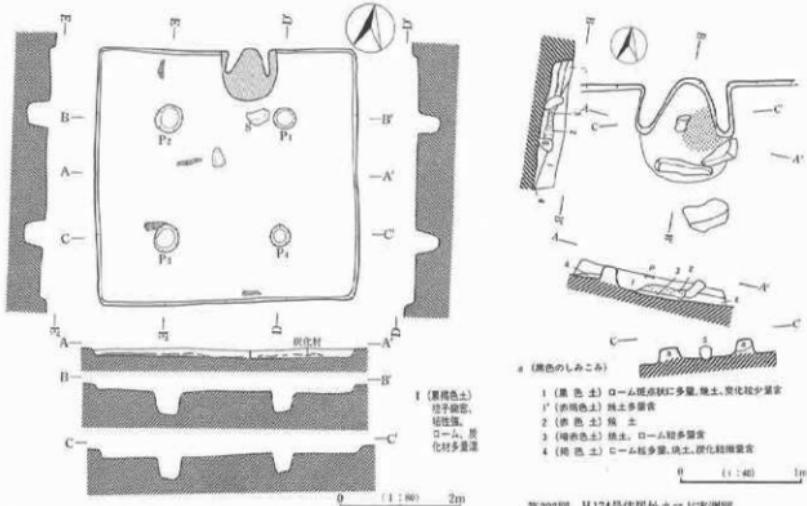
第322図 H172号住居址実測図

第323図 H172号住居址カマド実測図



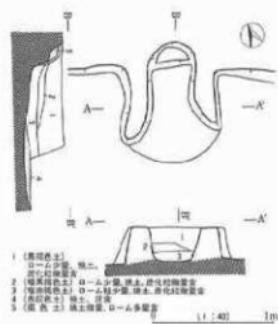
第324図 H173号住居址実測図

第325図 H173号住居址カマド実測図

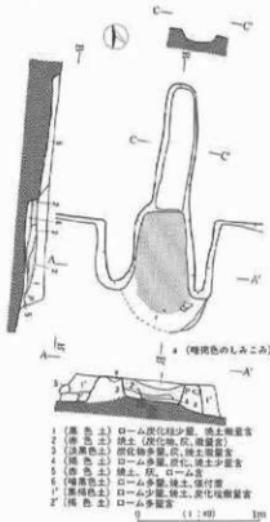


第326図 H174号住居址実測図

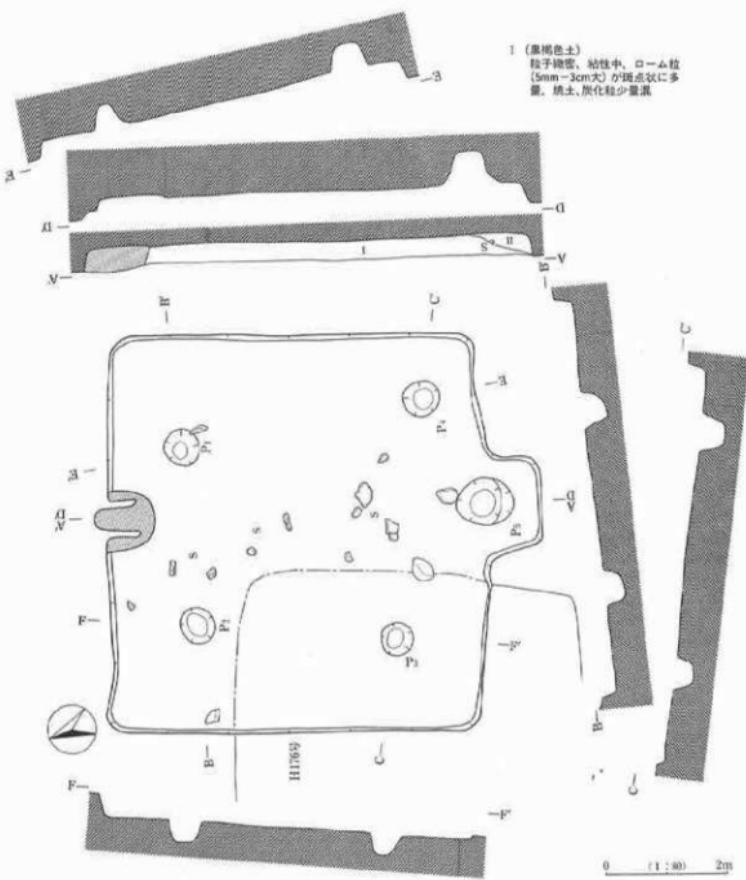
第327図 H174号住居址カマド実測図



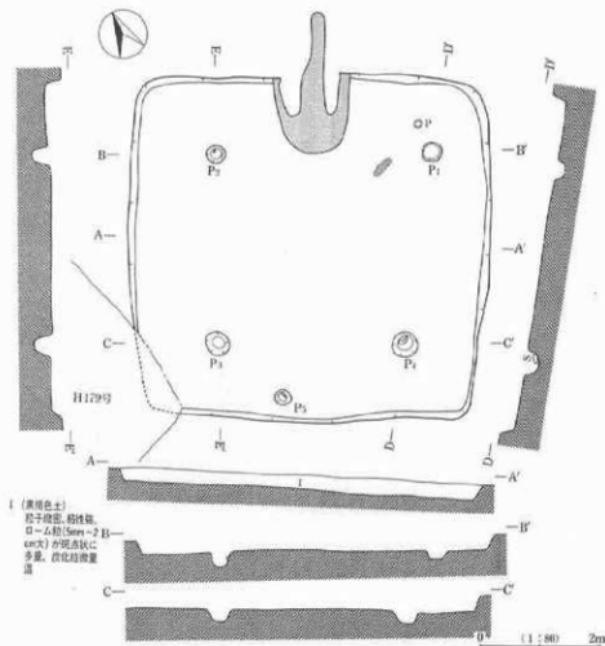
第329図 H175号住居址カマド実測図



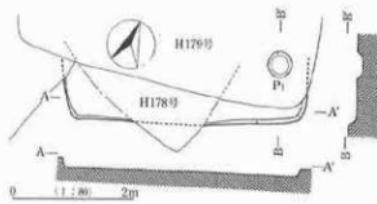
第331図 H176号住居址カマド実測図



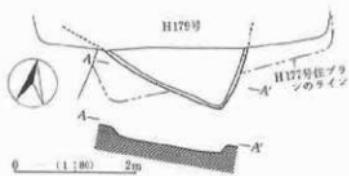
第328页 共175页 住处实测图



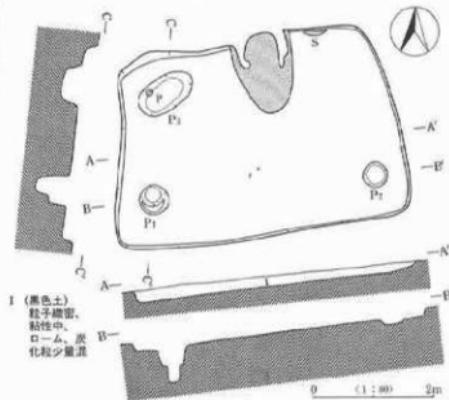
第330圖 H176号住居址実測図



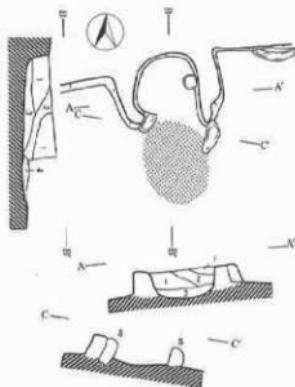
第332页 H177号住居址実測図



第333圖 H178号住居址実測図

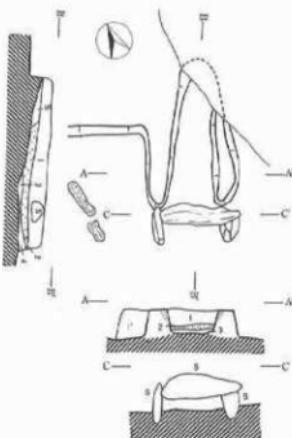


第334図 H179号住居址実測図



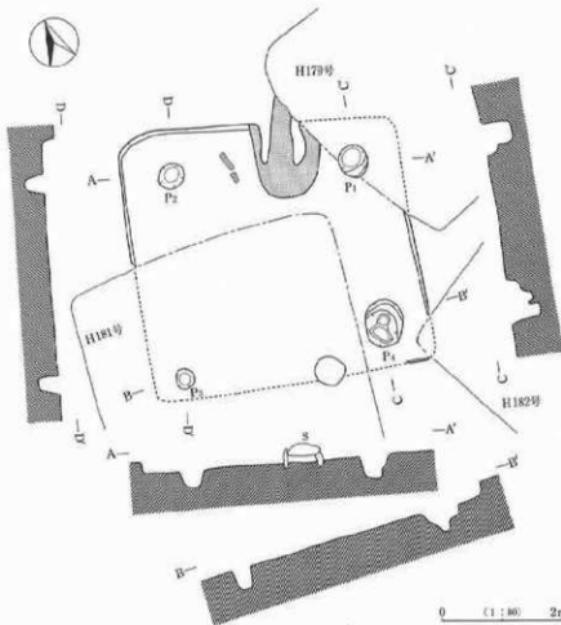
1 (黒色土) 砂土、炭化、ローム粒、少量食  
2 (赤褐色土) 砂土、炭化、ローム粒、少量食  
3 (黒褐色土) 砂土少量、ローム多量食  
4 (赤色土) 砂土、灰分

第335図 H179号住居址カマド実測図

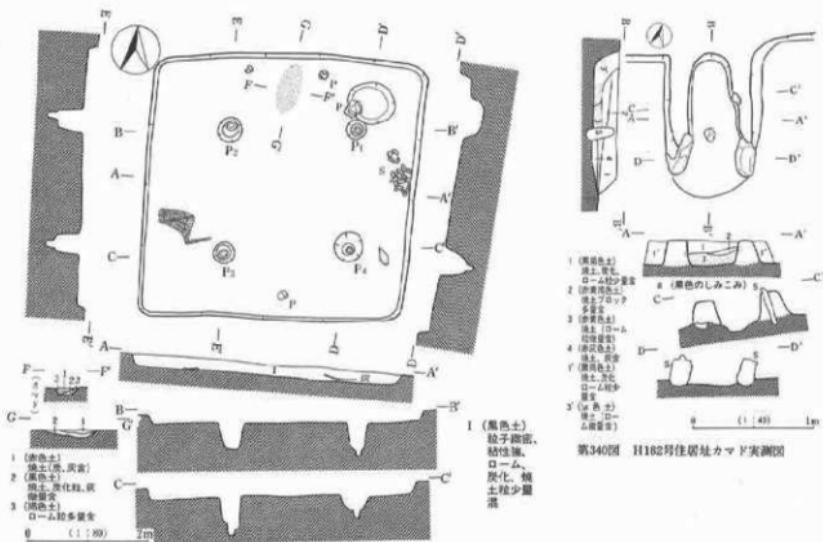


1 (黄褐色土) ローム、砂土、炭化多量食  
1' (黄褐色土) ローム、砂土、炭化粒少量食  
2 (赤色土) 砂土 (炭化粒食)  
3 (赤褐色土) 砂土、灰、ローム食  
4 (褐色土) 砂土少量、ローム多量食  
5 (褐色土) 砂土少量、ローム多量食

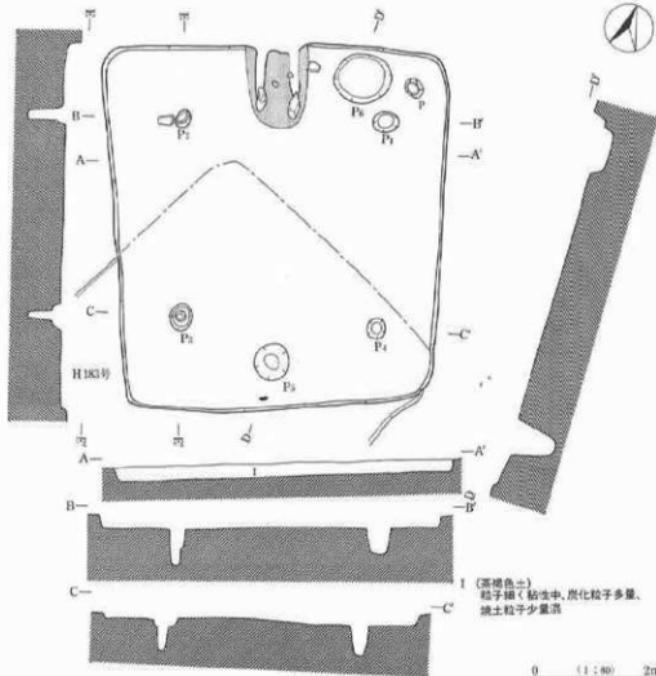
第336図 H180号住居址カマド実測図



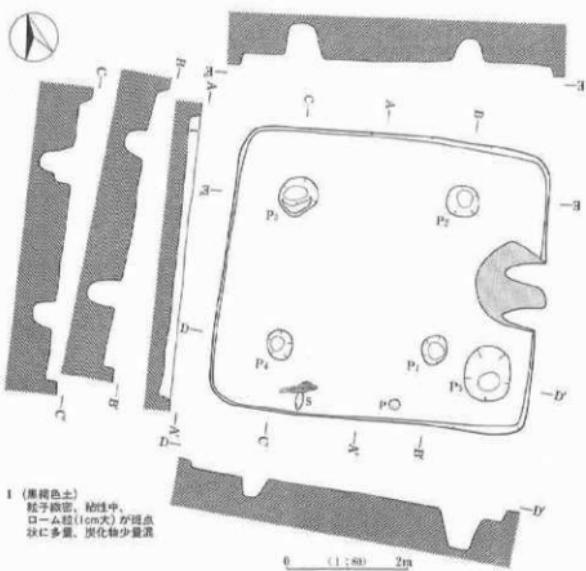
第336図 H180号住居址実測図



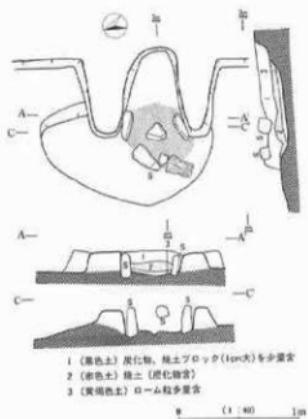
第338図 H181号  
住居址実測図



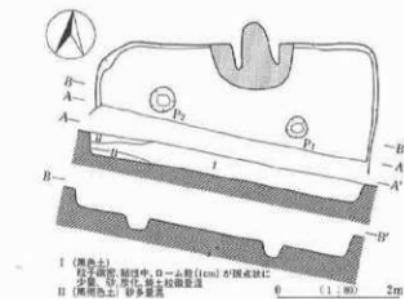
第339図 H182号  
住居址実測図



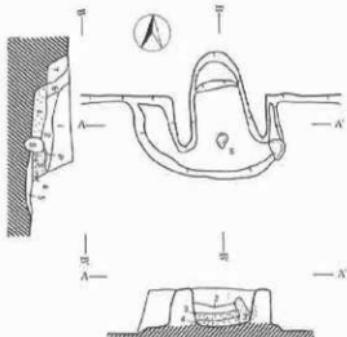
第341図 H183号住居址実測図



第342図 H183号住居址 カマド実測図



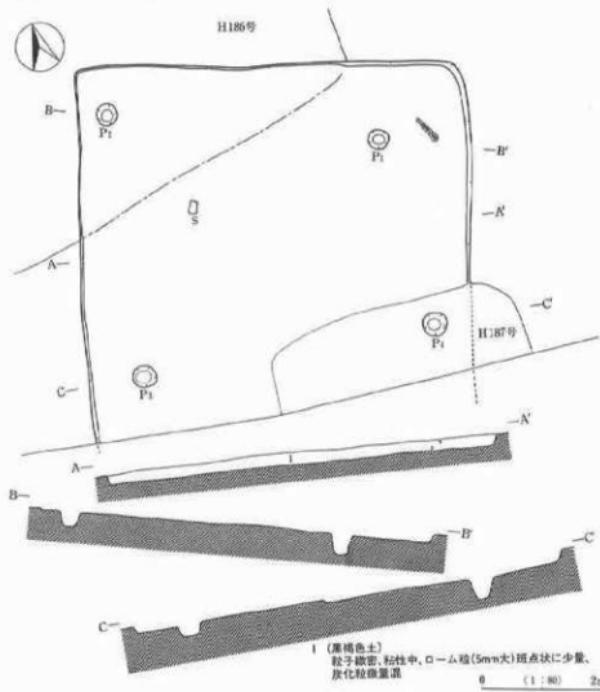
第343図 H184号住居址実測図



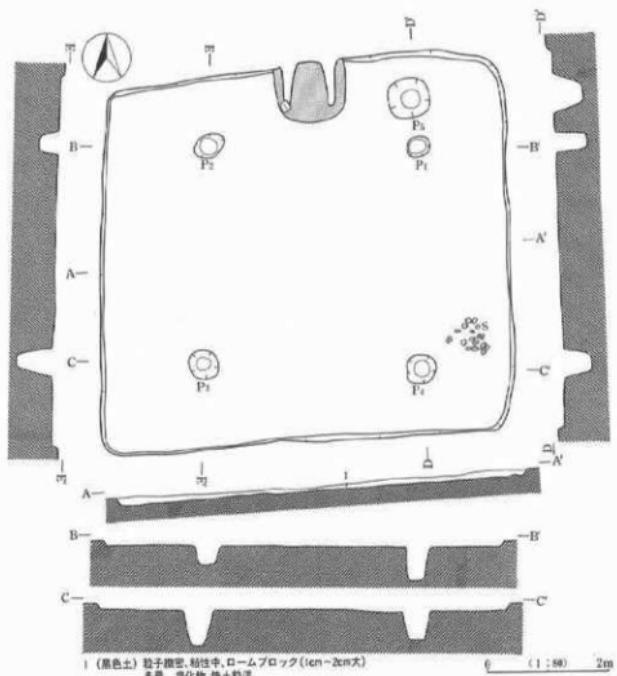
- 1 (黒褐色土) ローム、堆土、灰、灰量多
- 2 (褐色土) ローム多量、堆土、灰、灰量少
- 3 (赤色土) 堆土 (灰量)
- 4 (赤褐色土) 堆土 (赤と黄のブロック)
- 5 (赤褐色土) 堆土、灰量少
- 6 (堆赤褐色土) 堆土、柱付層面ココチ
- 7 (堆褐色土) 堆土、柱付層面ココチ

0 (1 : 40) 1m

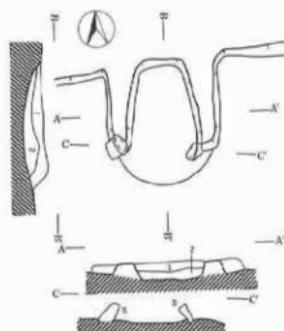
第344図 H184号住居址カマド実測図



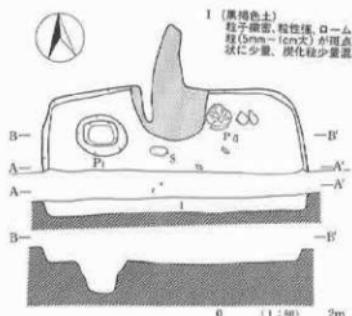
第345図 H185号住居址実測図



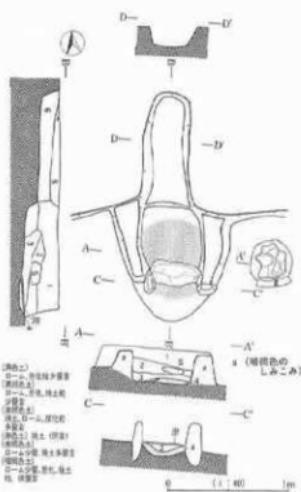
第346図 H186号住居址実測図



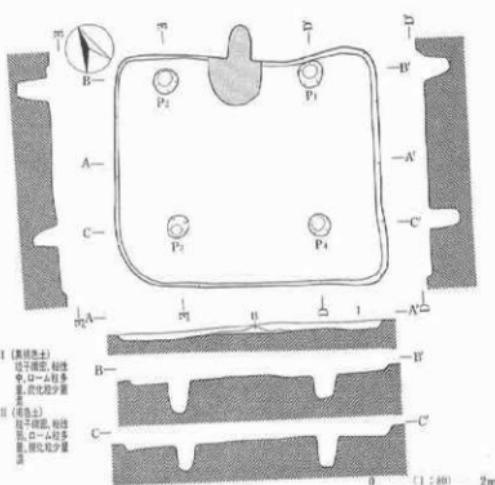
第347図 H186号住居址カマド実測図



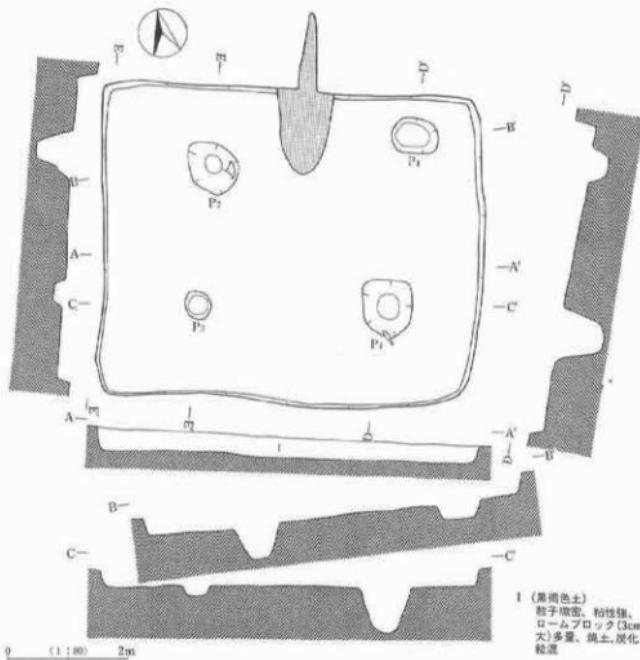
第348図 H187号住居址実測図



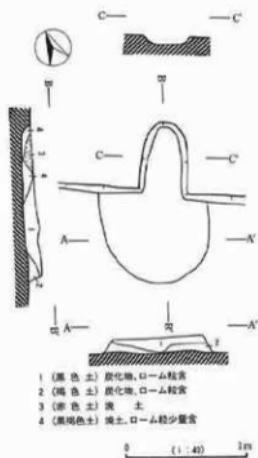
第349図 H187号住居址カマド実測図



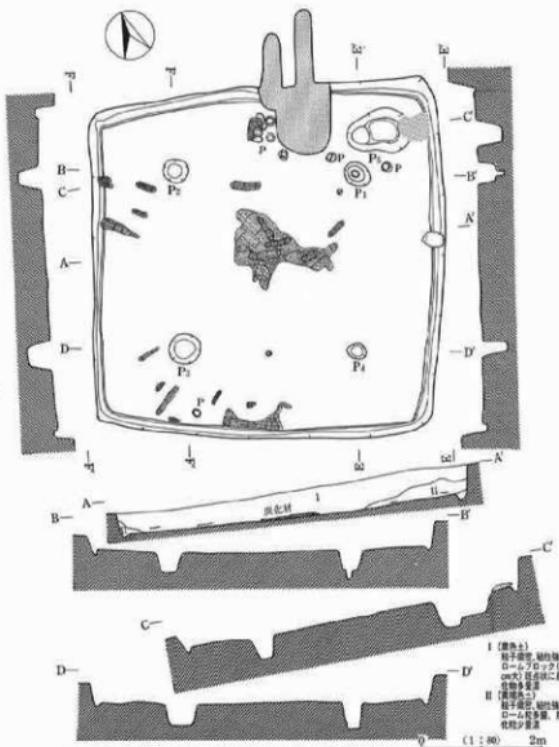
第350図 H188号住居址実測図



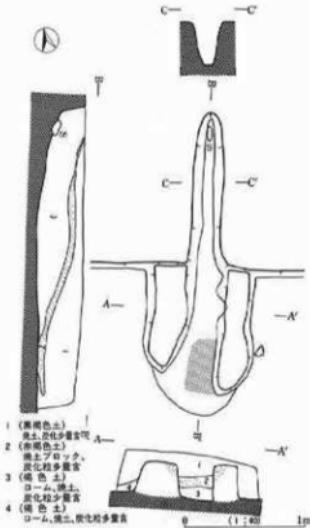
第352図 H189号住居址実測図



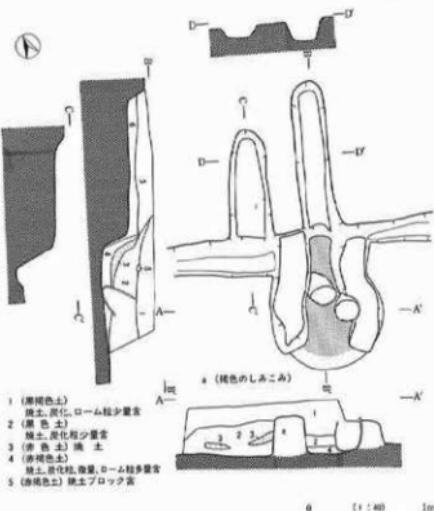
第351図 H188号住居址カマド実測図



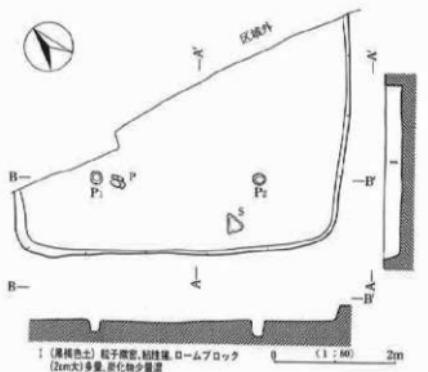
第354図 H190号住居址実測図



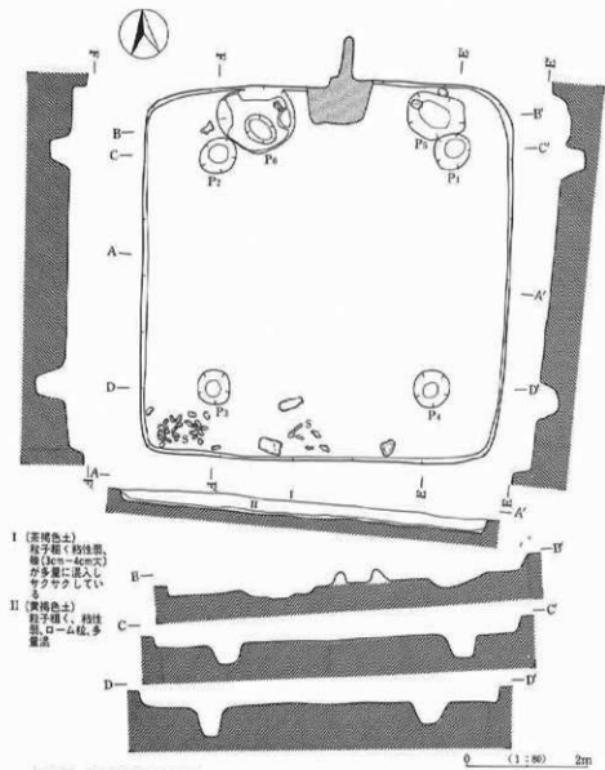
第353図 H189号住居址カマド実測図



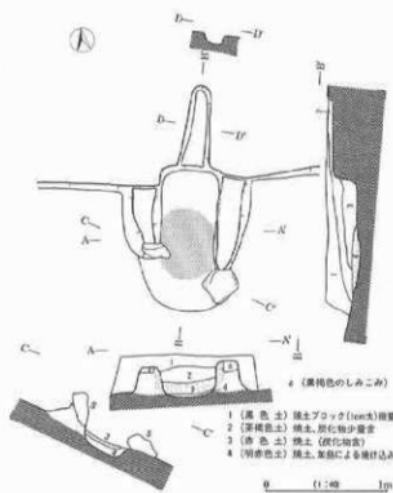
第355図 H190号住居址カマド実測図



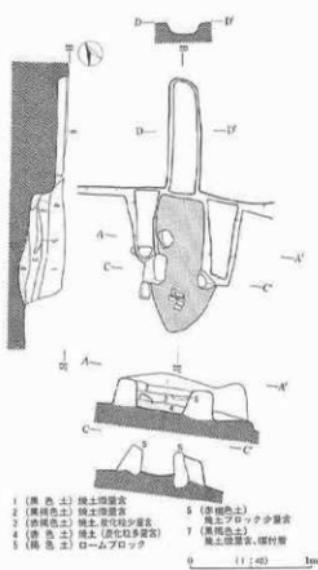
第356図 H191号住居址実測図



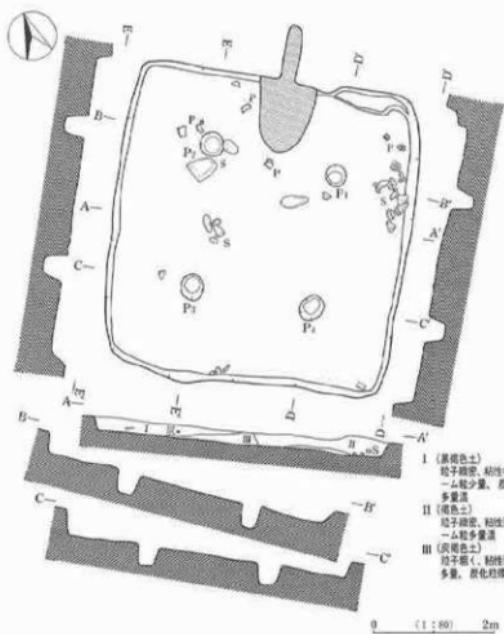
第357図 H192号住居址実測図



第358図 H192号住居址カマド実測図

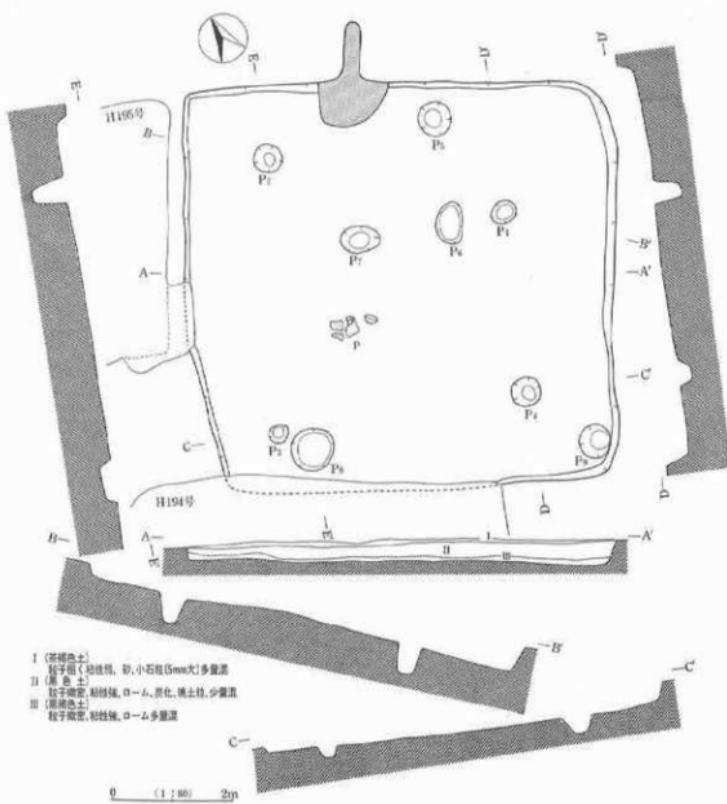


第360図 H193号住居址カマド実測図

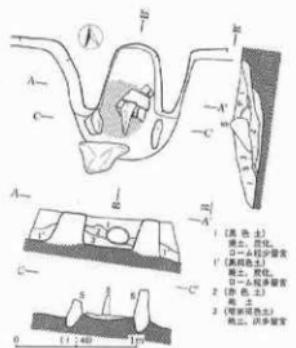


第362図 H194号住居址カマド実測図

第359図 H193号住居址実測図

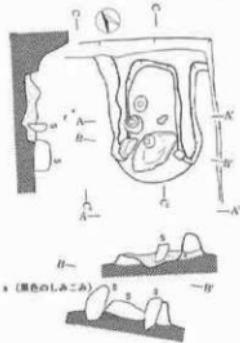


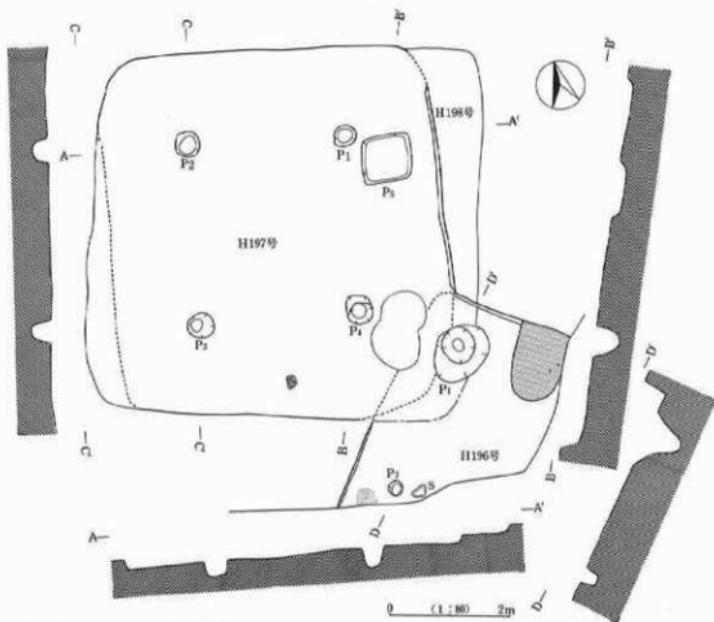
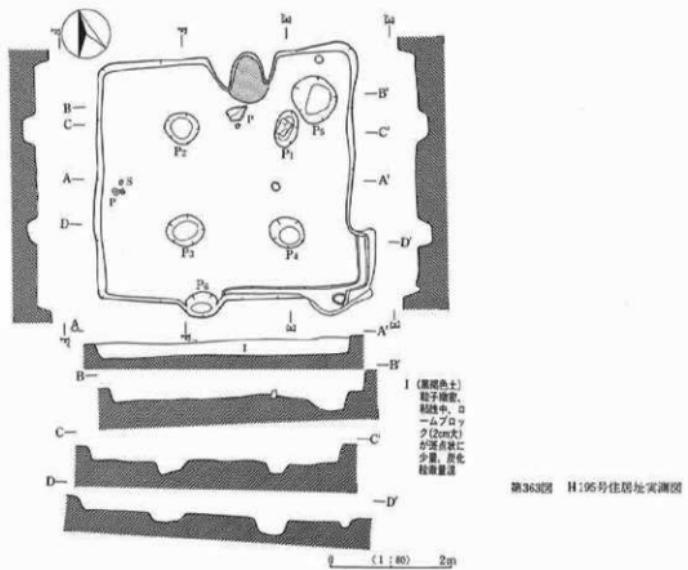
第361図 H194号住居址実測図

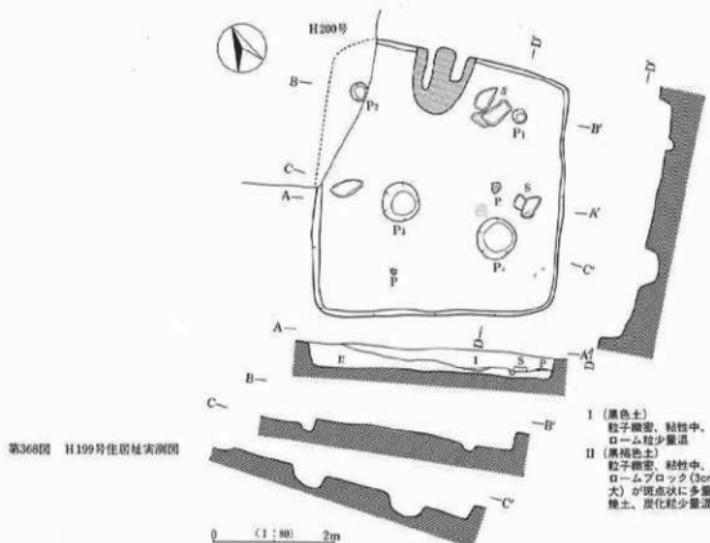
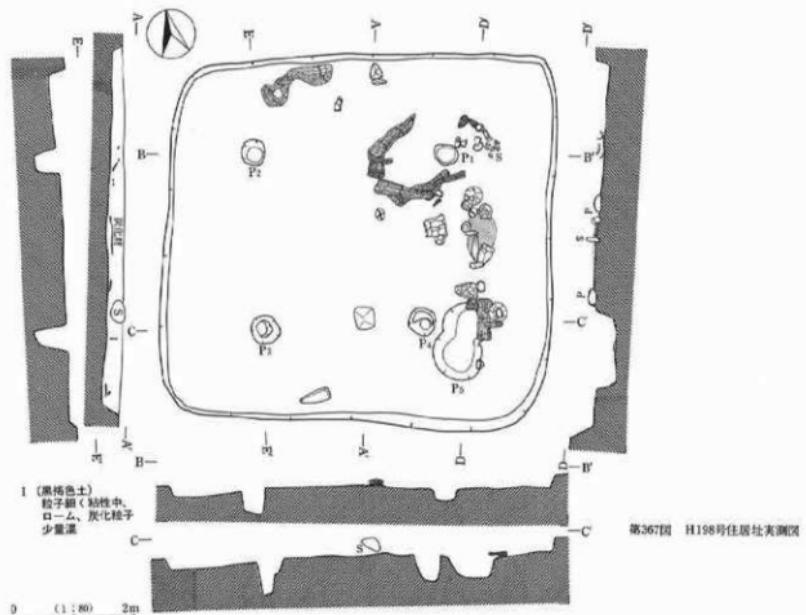


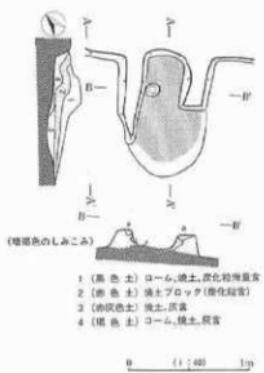
第364図 H195号住居址  
カマド実測図

第366図 H196号住居址  
カマド実測図

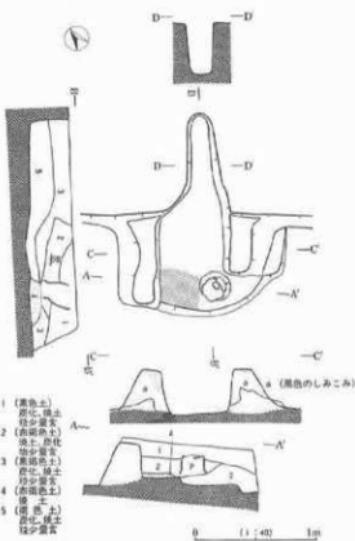




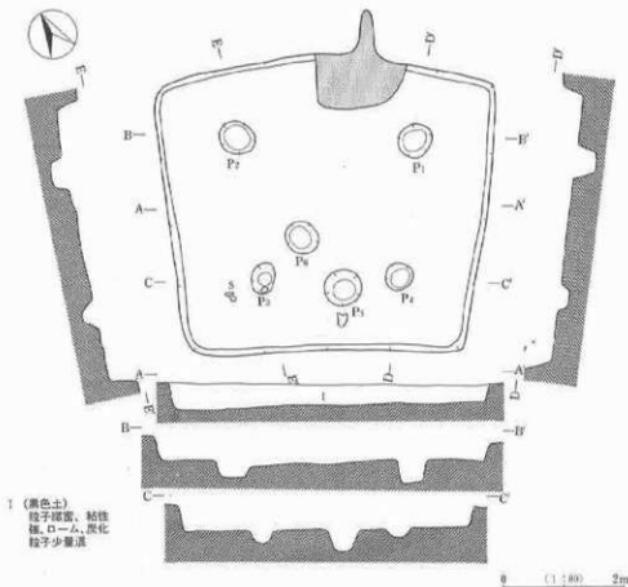




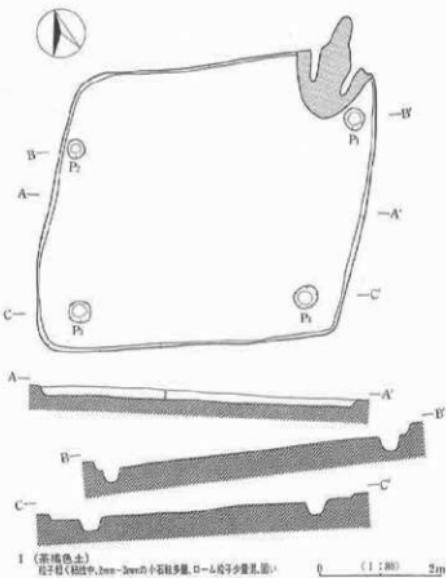
第369図 H199号住居址カマド実測図



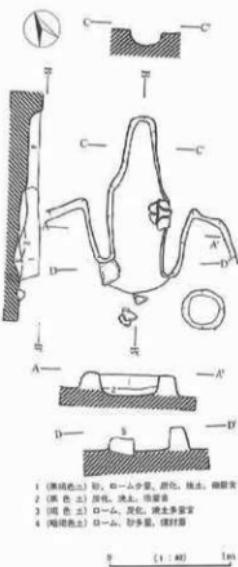
第371図 H200号住居址カマド実測図



第370図 H200号住居址実測図

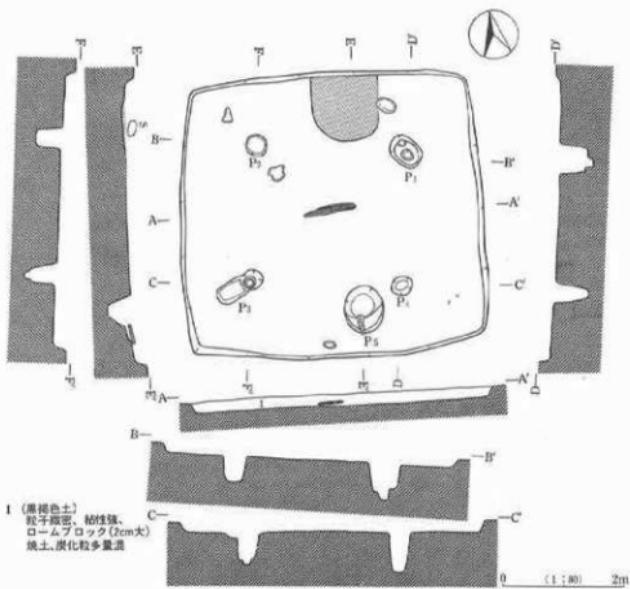


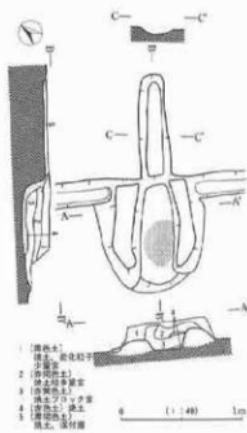
第372図 H 201号住居址実測図



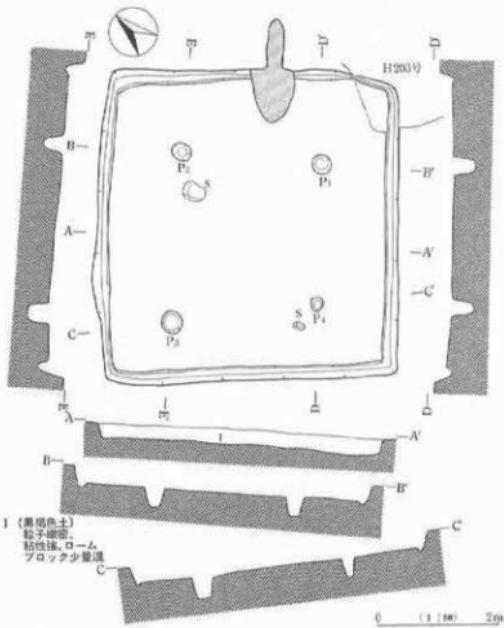
第373図 H 201号住居址カマド実測図

第374図  
H 202号住居址実測図

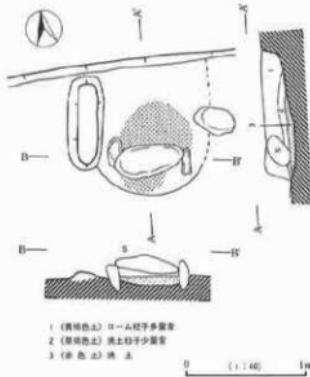




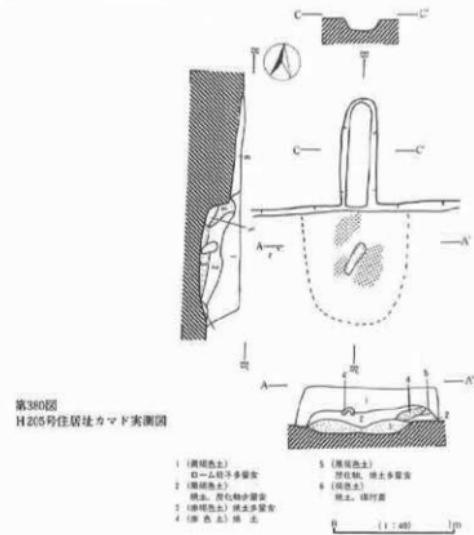
第377図 H203号住居址カマド実測図



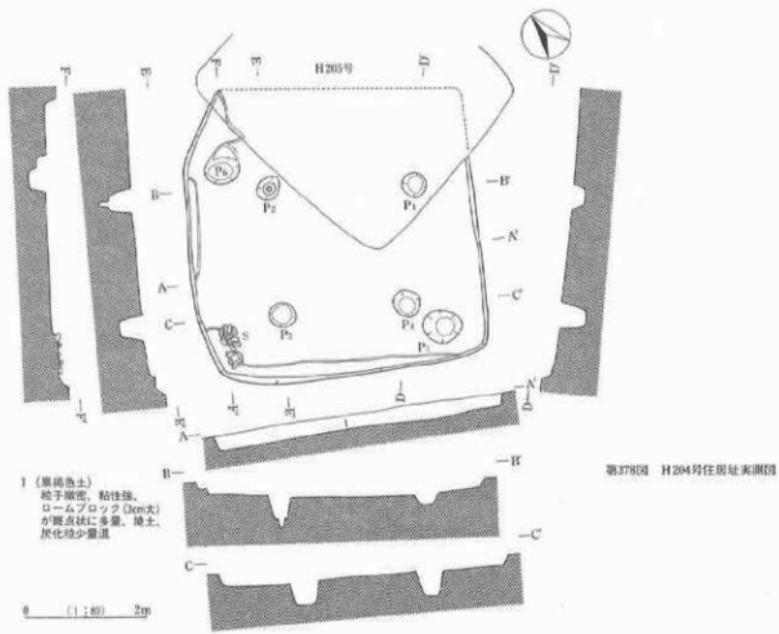
第378図 H203号住居址実測図



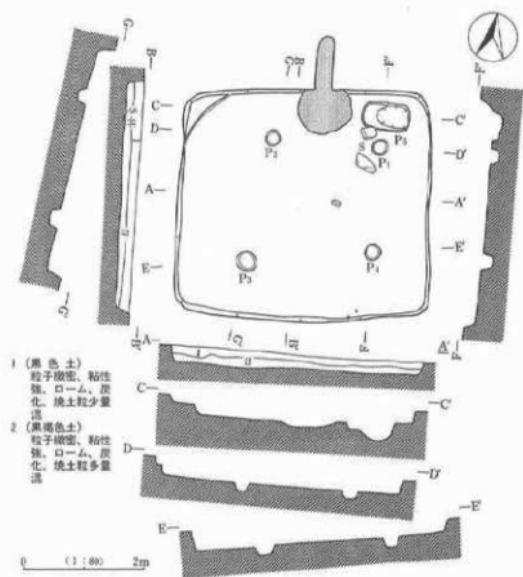
第379図 H202号住居址カマド実測図

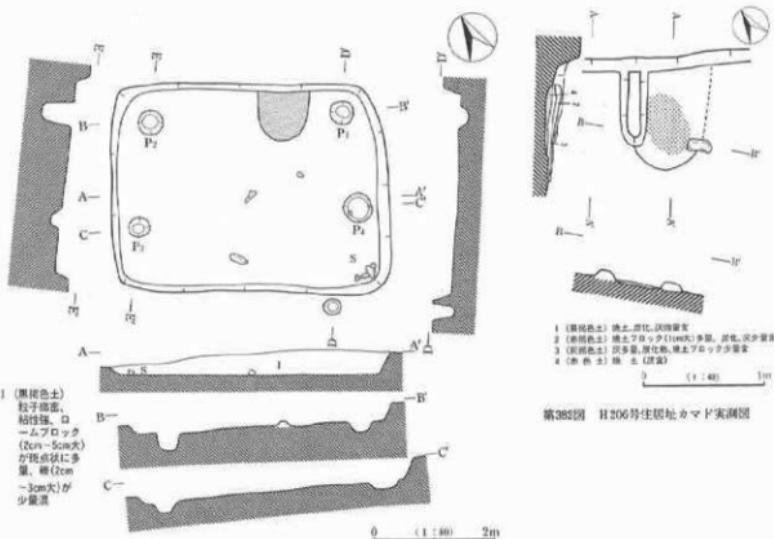


第380図 H205号住居址カマド実測図



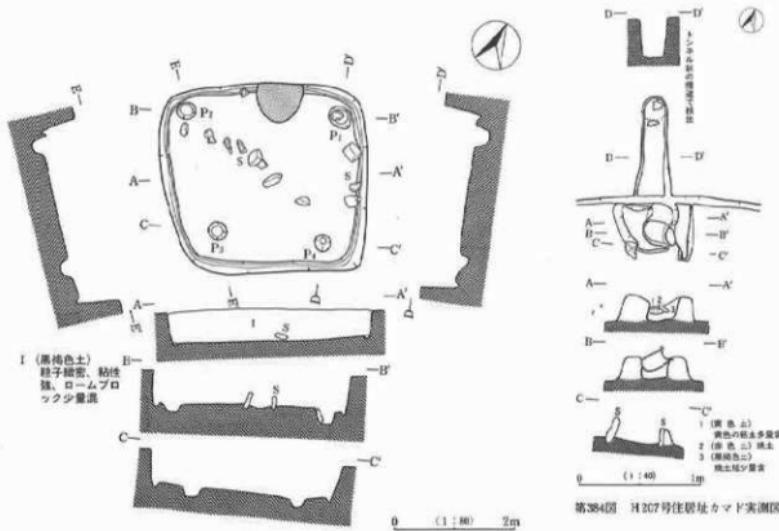
第378図 H 204号住宅址実測図



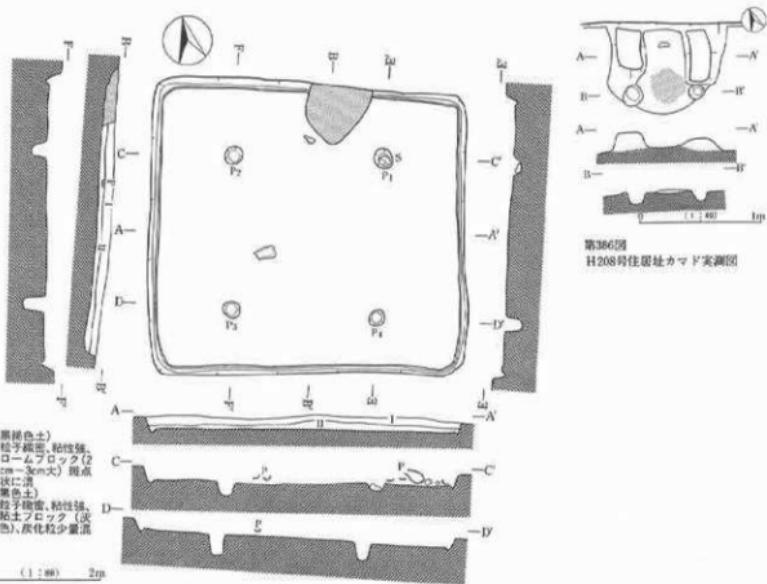


第381図 H 206号住居址実測図

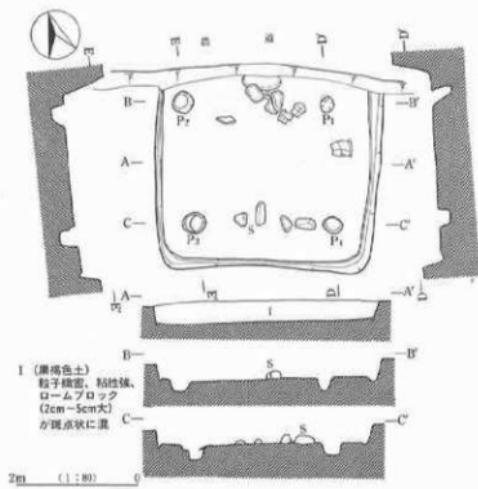
第382図 H 206号住居址実測図



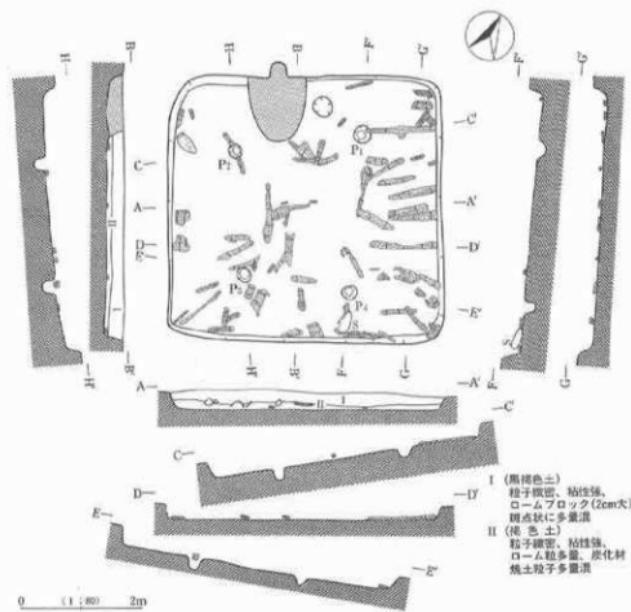
第383図 H 207号住居址実測図



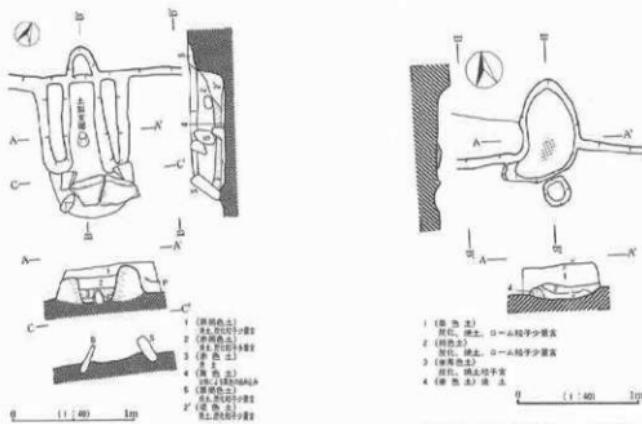
第386図 H208号住居址実測図



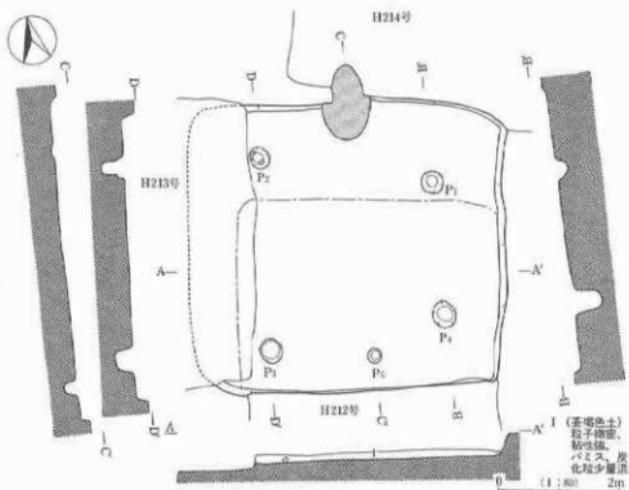
第387図 H209号住居址実測図



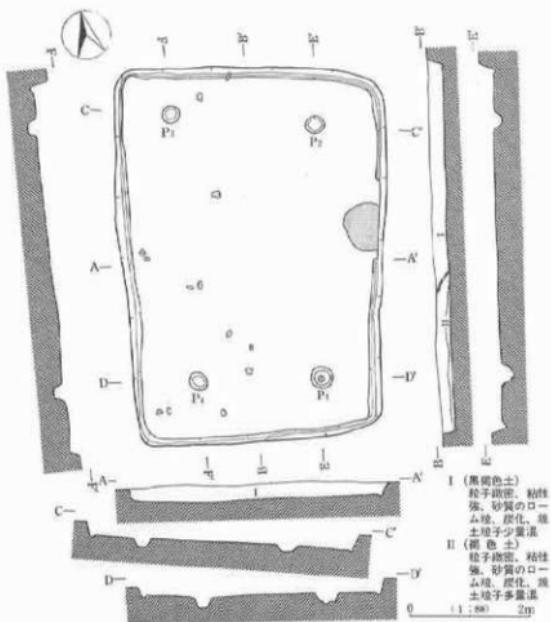
第388図 H210号住居址実測図



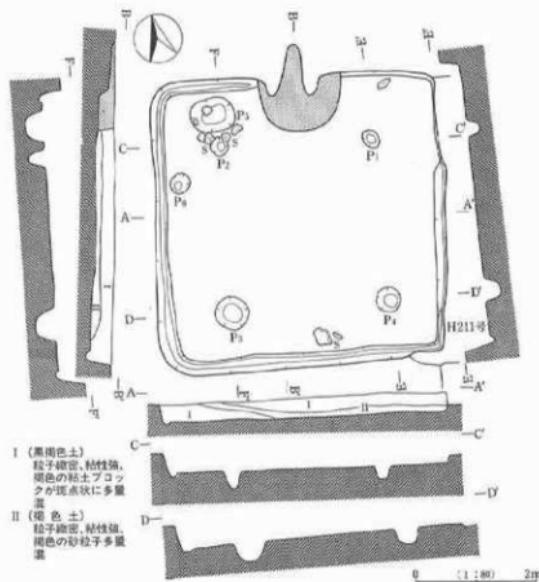
第389図 H211号住居址カマド実測図



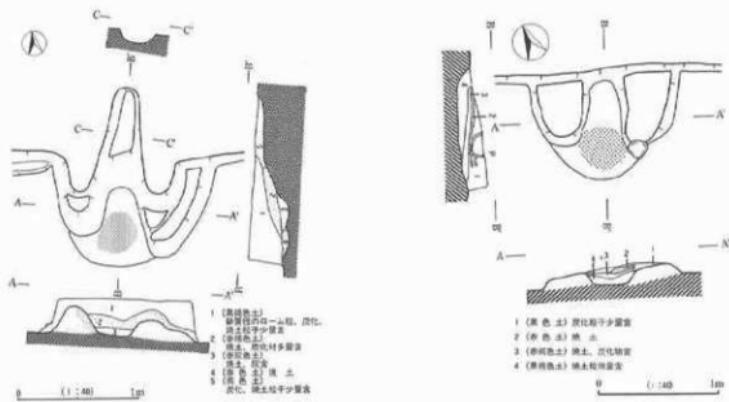
第390図 H211号住居址実測図



第392図 H212号住居址実測図

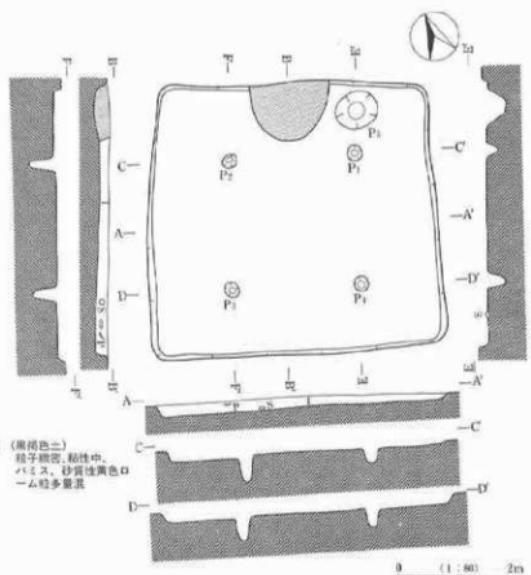


第393页 H213号住居址実測図

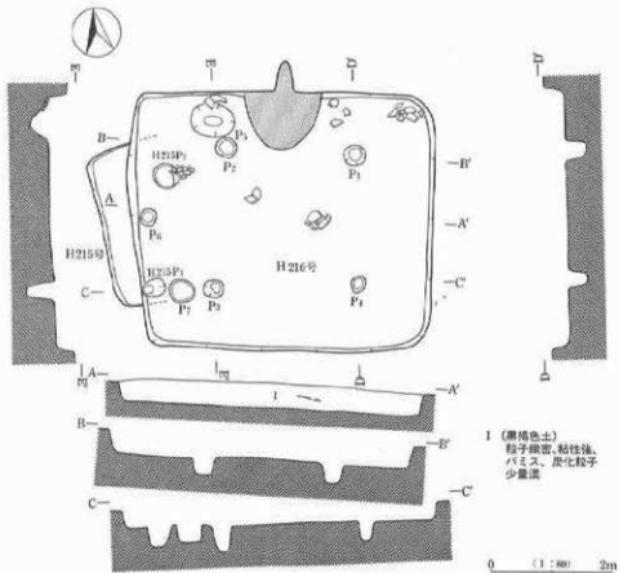


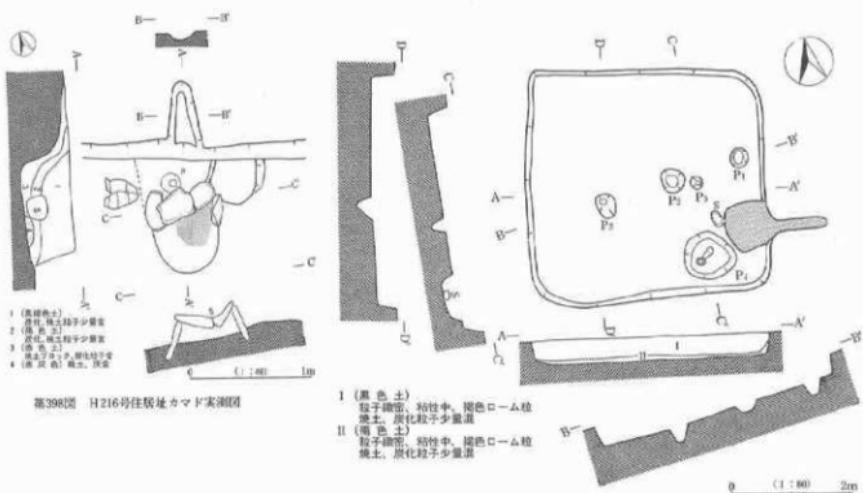
第394図 H213号住居址カマド実測図

第396回 H214号住居址カマド実測図



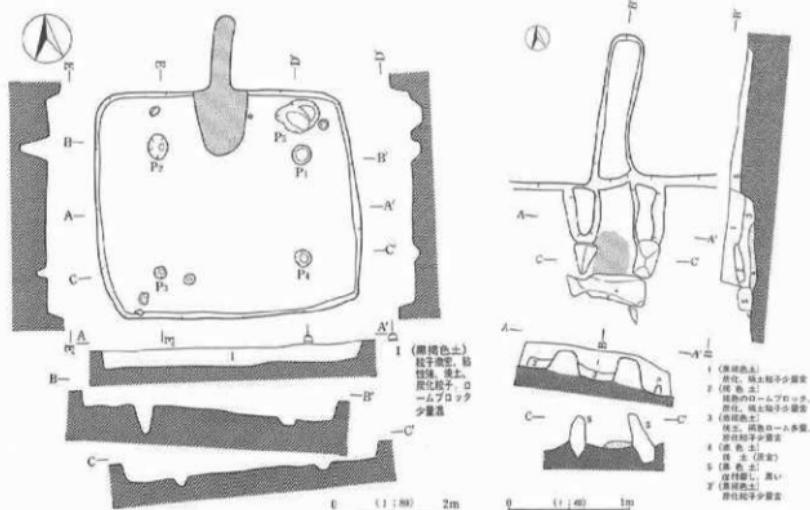
第397図 H215号・216号  
住居址実測図





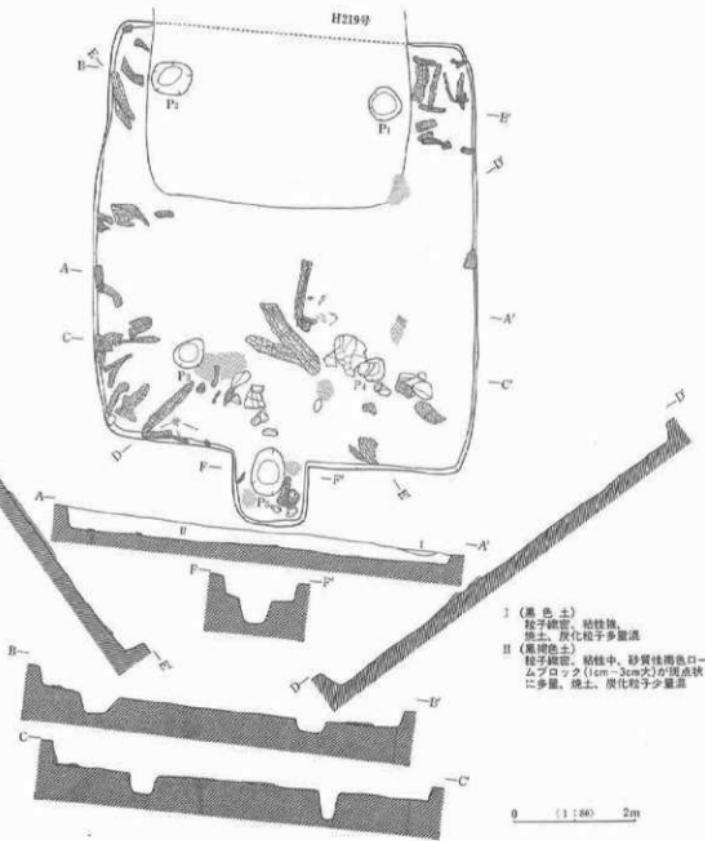
第398図 H216号住居址カマド実測図

第399図 H217号住居址実測図

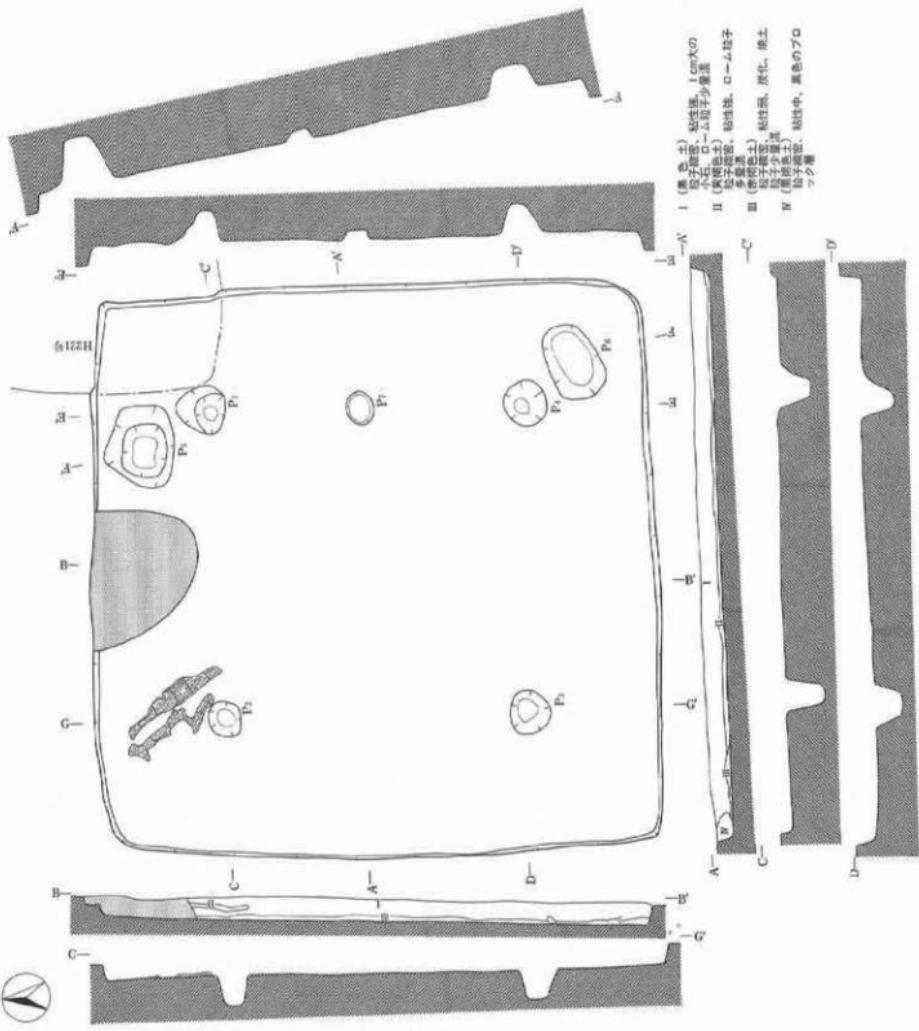


第401図 H219号住居址実測図

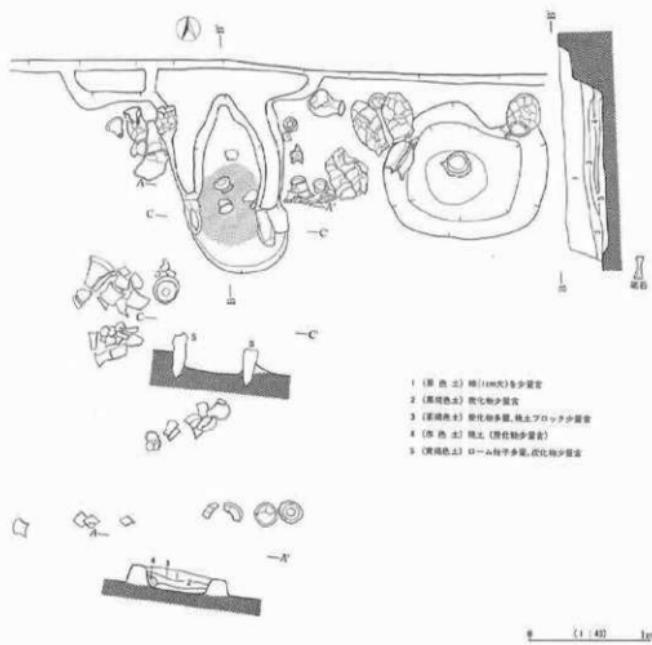
第402図 H219号住居址カマド実測図



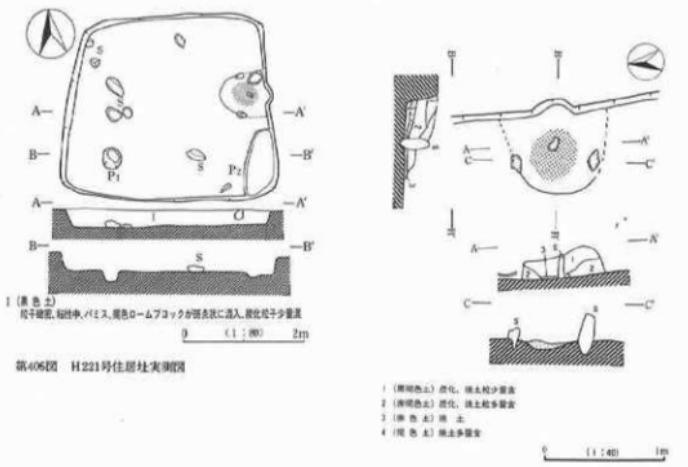
第400图 H218号居住址实测图



第403図 H220号住居址実測図

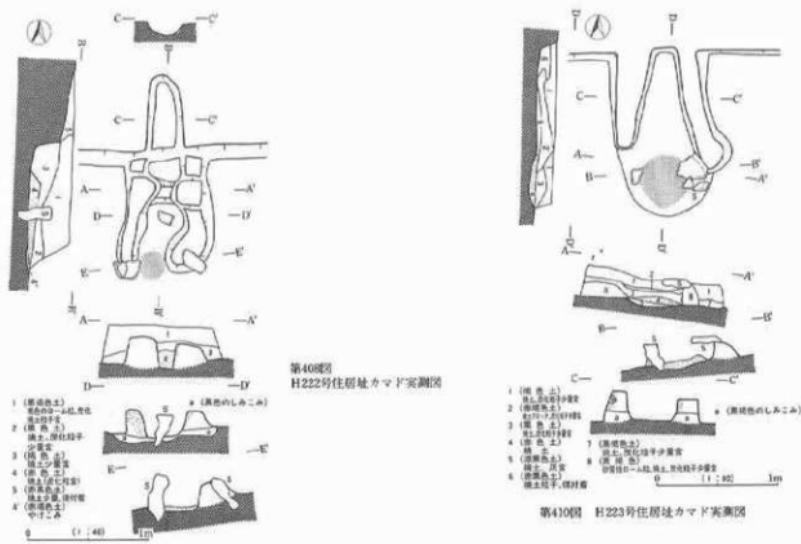
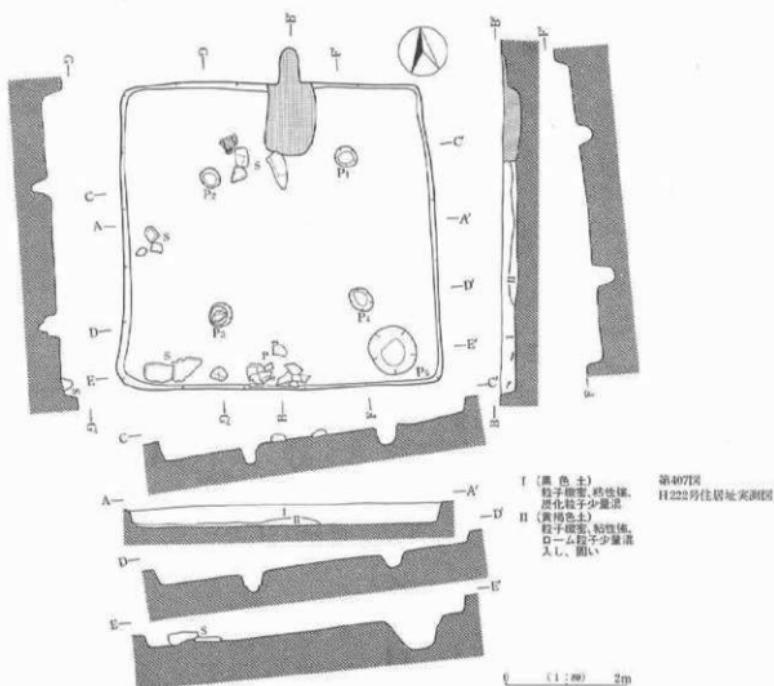


第404図 H220号住居址カマド実測図

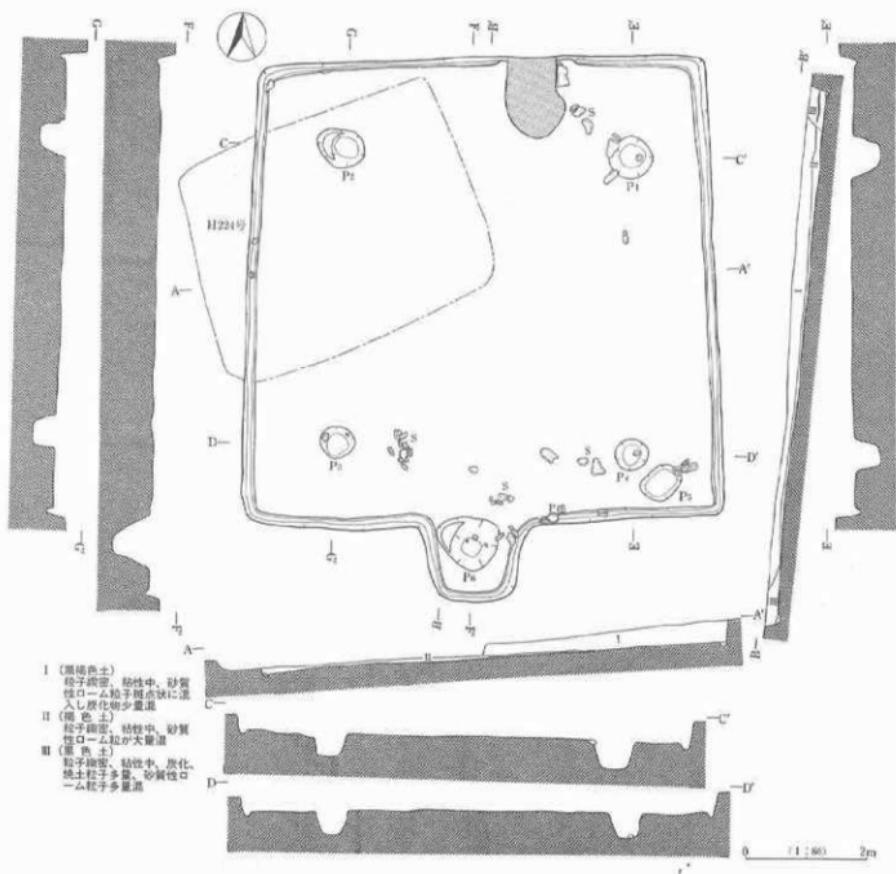


第405図 H221号住居址実測図

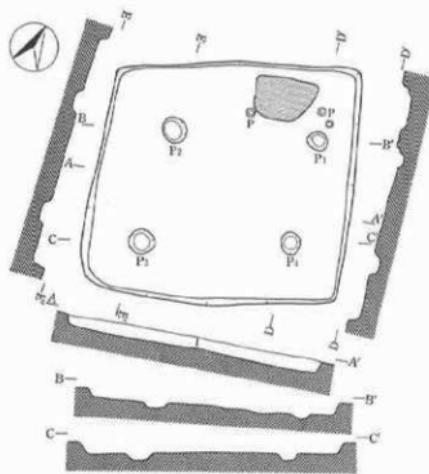
第406図 H221号住居址カマド実測図



第410回 H223号住居址カマド実測図

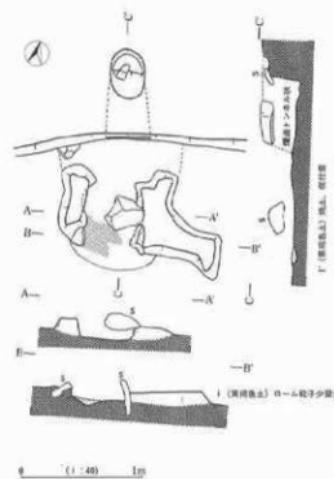


第409図 H223号住居址実測図

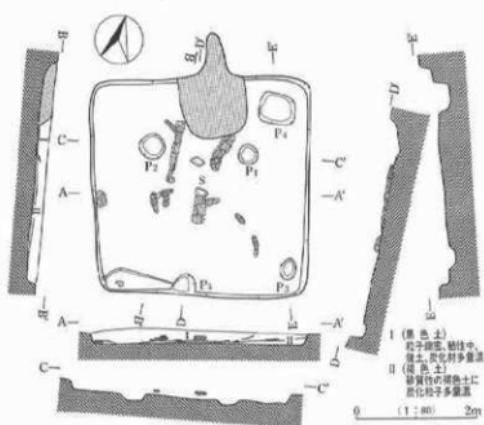


1 (漆黒色土) 粒子緻密、粘性油、褐色ローム粒(5mm大)が斑点状に混  
0 (1:40) 2m

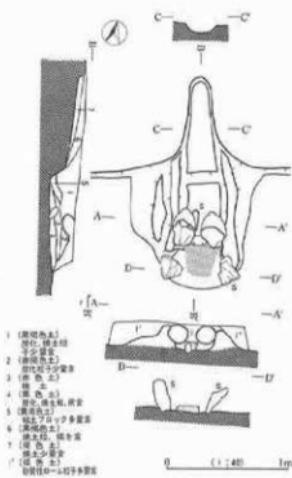
第411页 H 224号住居址実測図



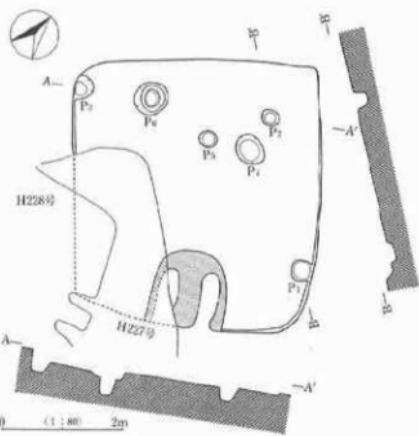
第412回 H224著作権法アドバイザリ



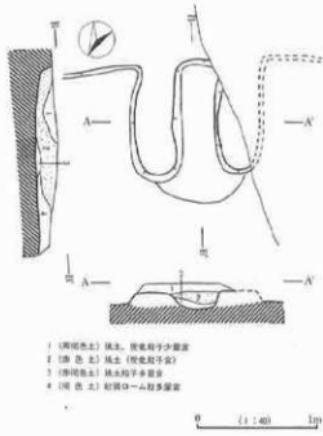
第413圖 H225号住居址実測図



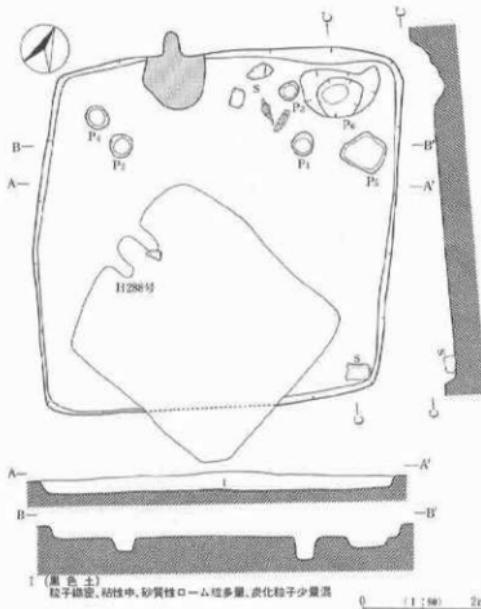
第414回 H22.5新住居地カマド実業園



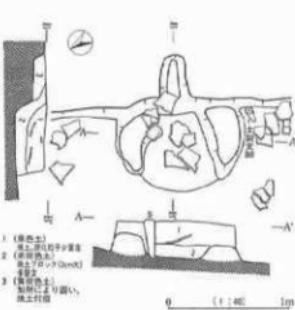
第415図 H226号住居址実測図



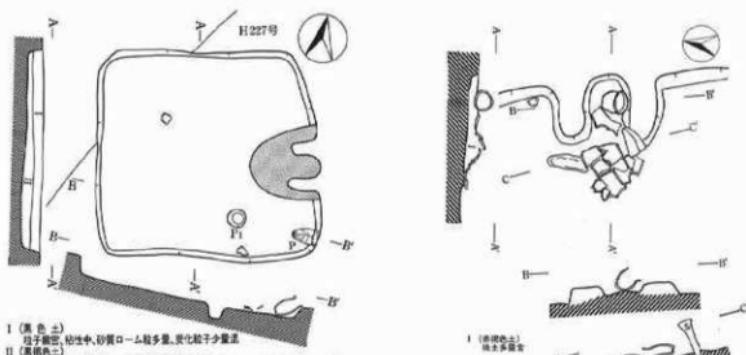
第416図 H226号住居址カマド実測図



第417図 H227号住居址実測図

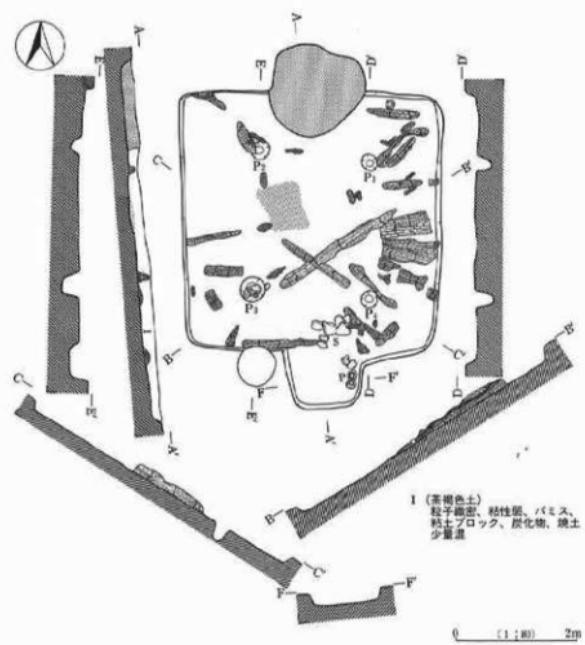


第418図 H227号住居址カマド実測図

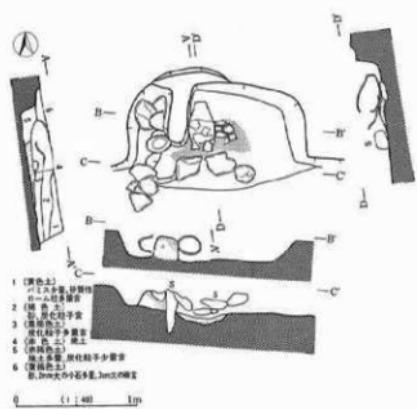


第419図 H228号住居址実測図

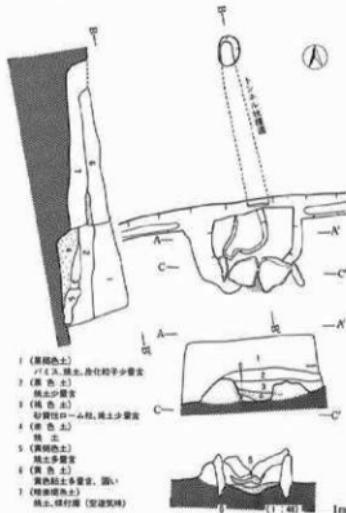
第420図 H228号住居址カマド実測図



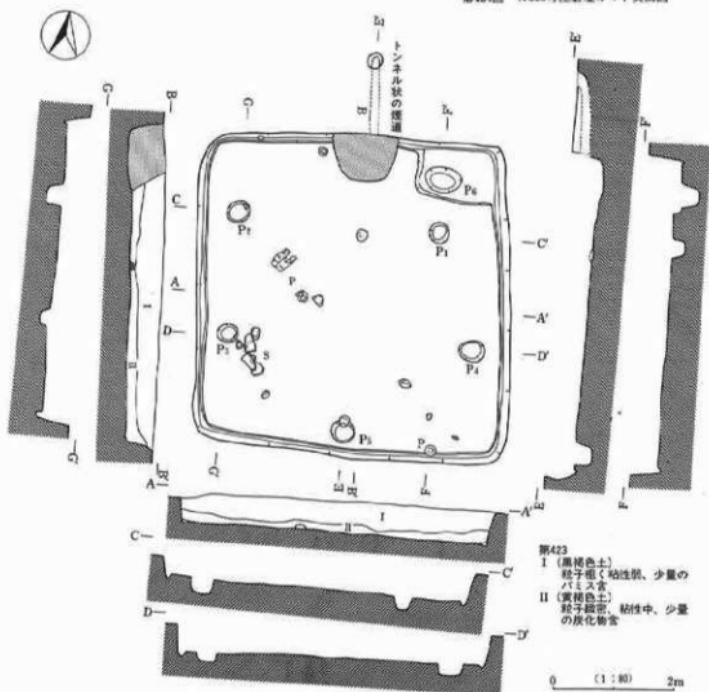
第421図 H229号住居址実測図



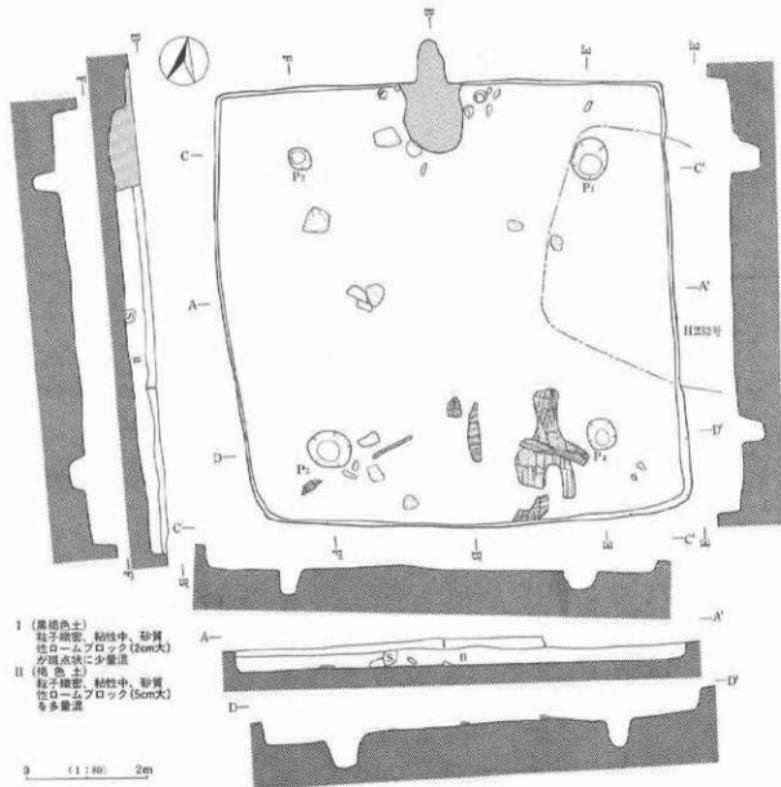
第422図 H229号住居址カマド実測図



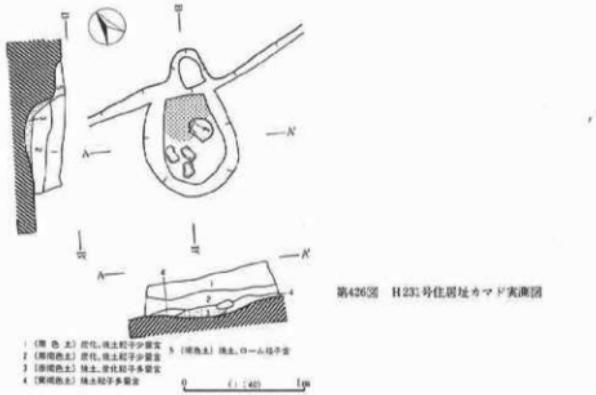
第424図 H230号住居址カマド実測図

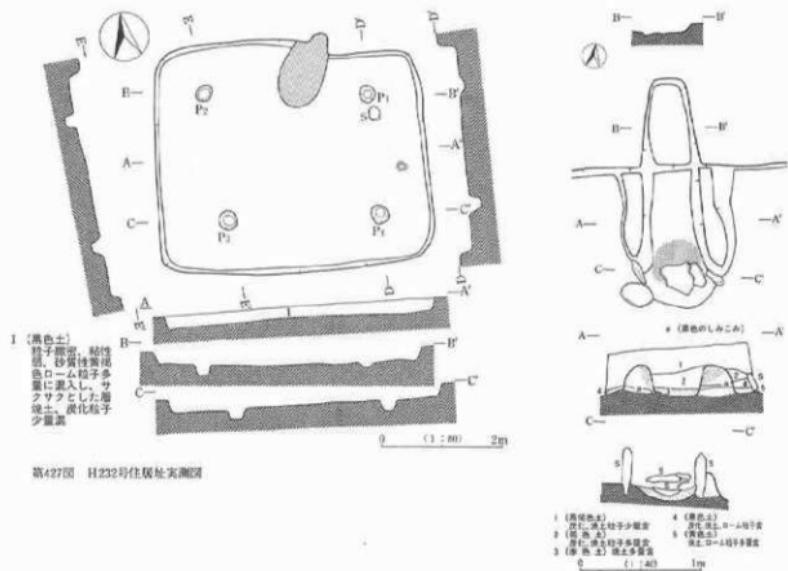


第423図  
H230号住居  
址実測図



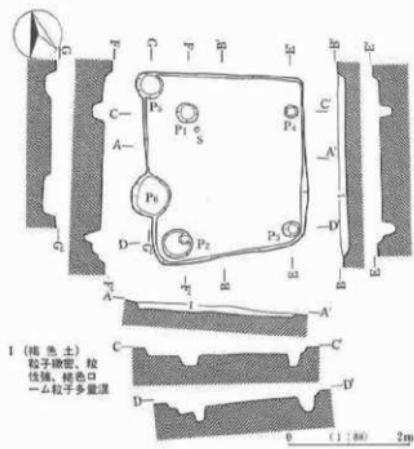
第425図 H231号住居址実測図



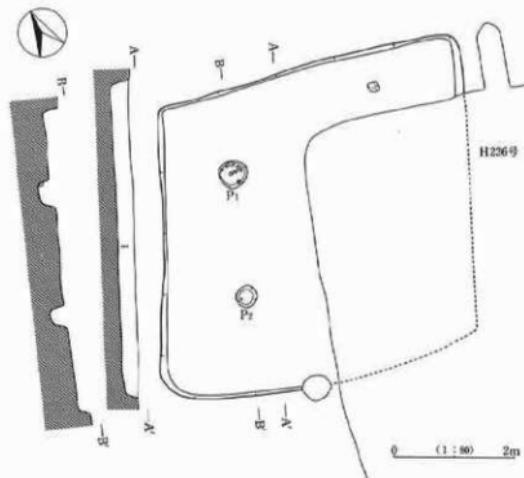


第427図 H232号住居址実測図

第428図 H232号住居址カマド実測図

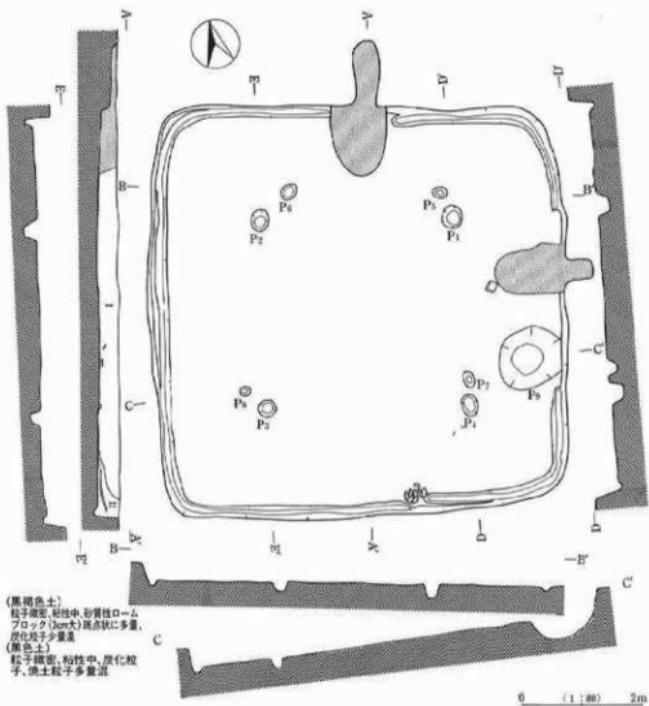


第429図 H234号住居址実測図



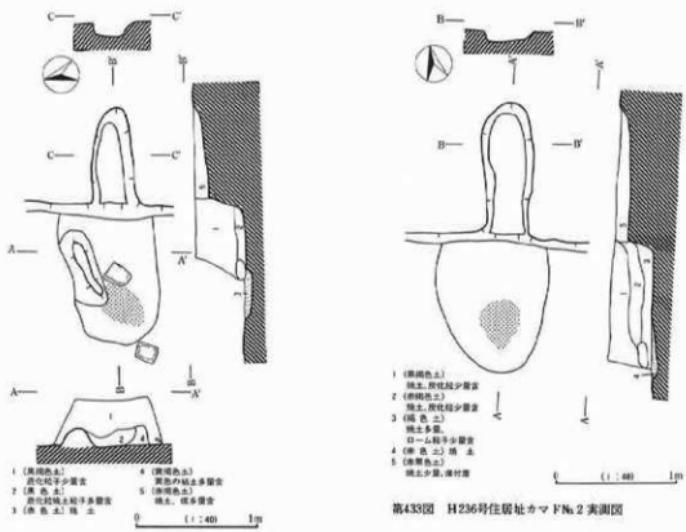
第43C図 H235号住居址実測図

I (褐色土)  
粒子密度、粘性中、砂質性ローム粒子多量

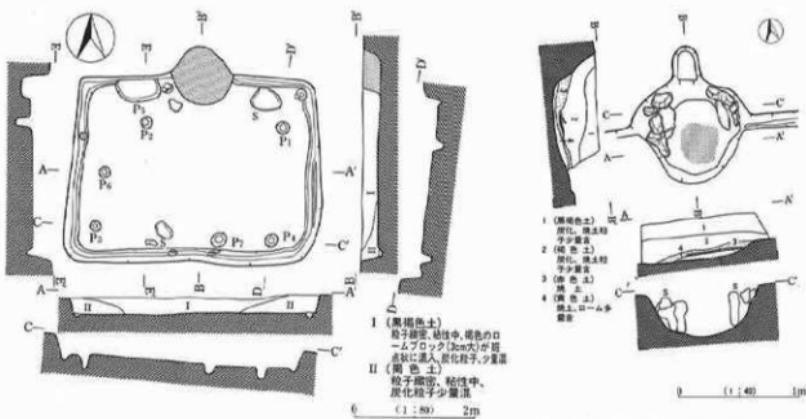


第43D図  
H236号住居址実測図

I (黒褐色土)  
粒子密度、粘性中、砂質性ローム ブロック (3cm大) 断点状に多量、  
炭化粒子少量混入  
II (黒褐色土)  
粒子密度、粘性中、炭化粒  
子、流土粒子多量混入

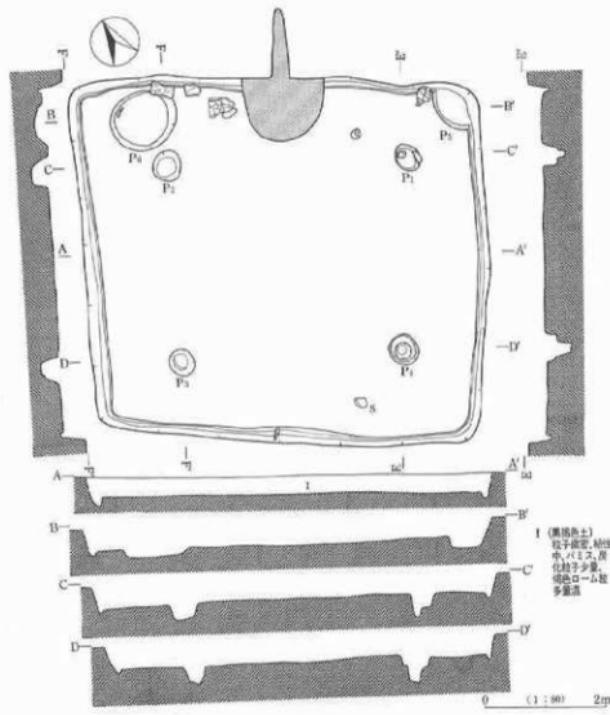


第432図 H236号住居址カマドNo.1実測図

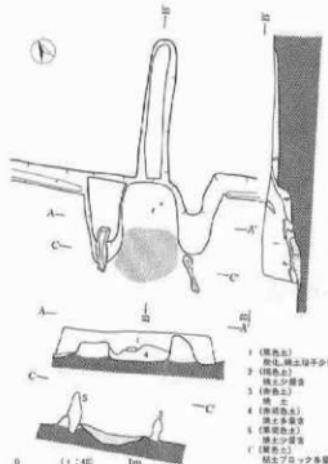


第434図 H237号住居址実測図

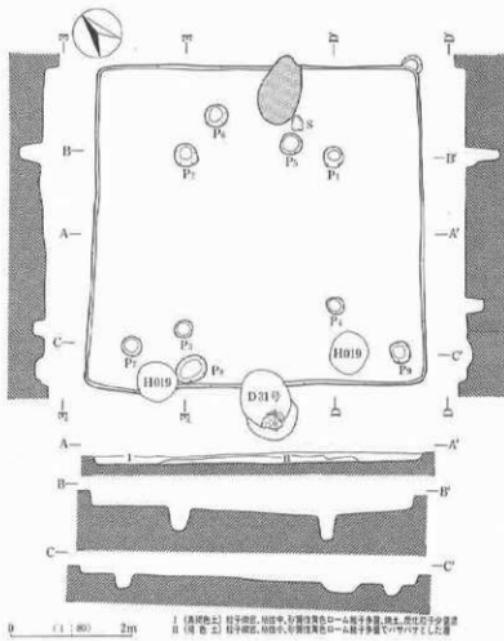
第435図 H236号住居址カマド実測図



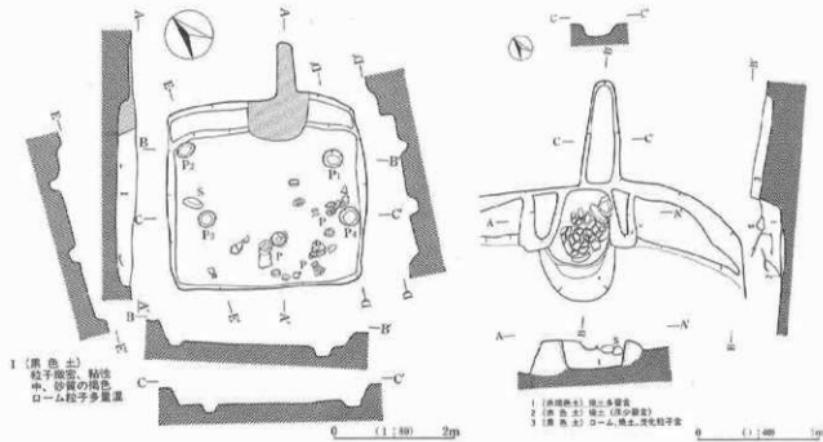
第435図 H238号住居址実測図



第437図 H238号住居址カマド実測図

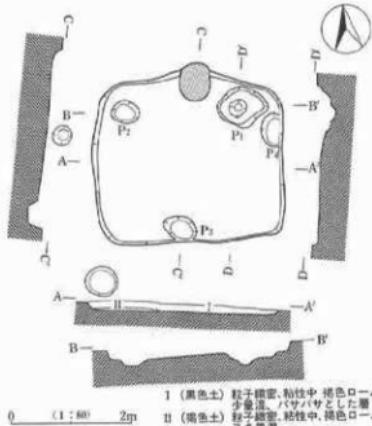


第438図 H239号住居址実測図



第439図 H240号住居址実測図

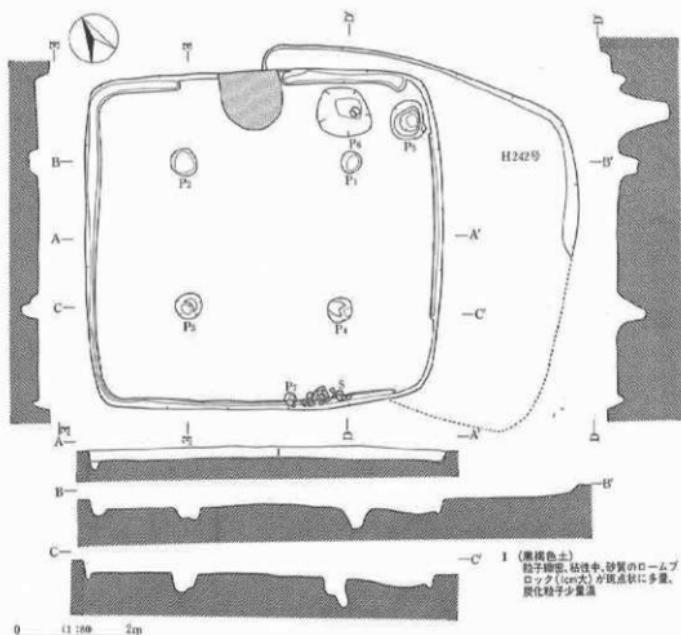
第440図 H240号住居址カマド実測図



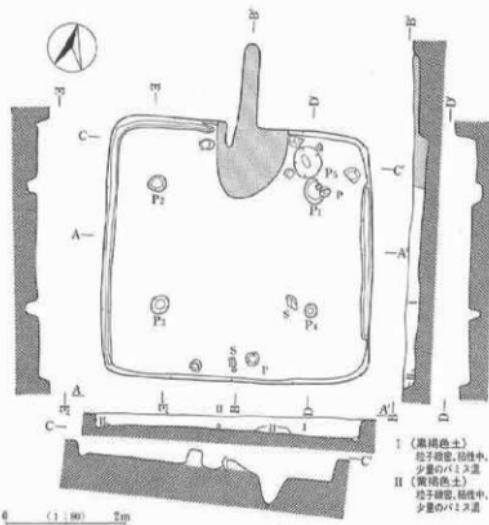
第441図 H241号住居址実測図



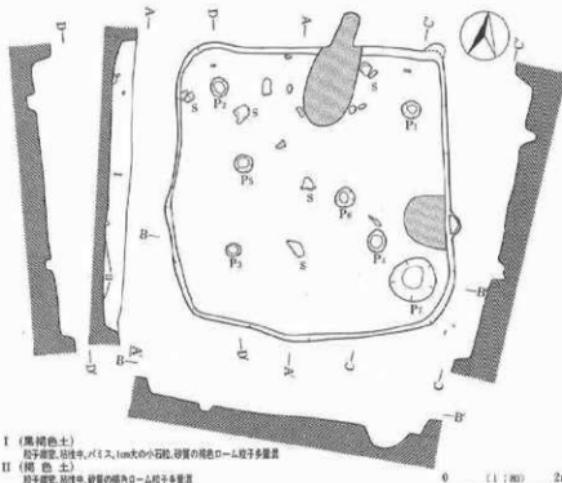
第443図 H243号住居址カマド実測図



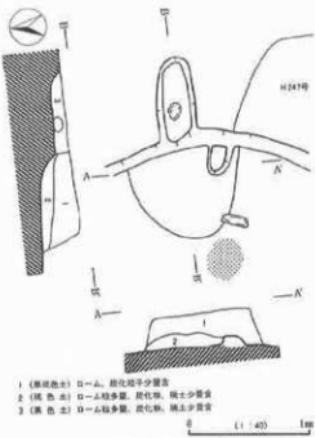
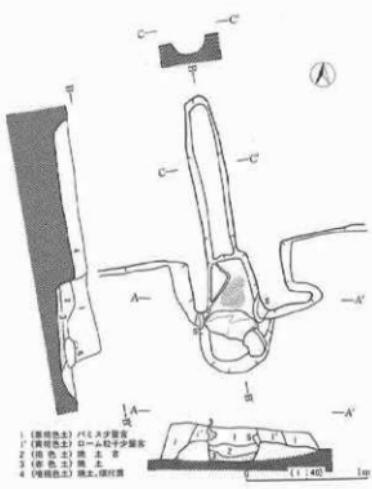
第442図 H242号・243号住居址実測図



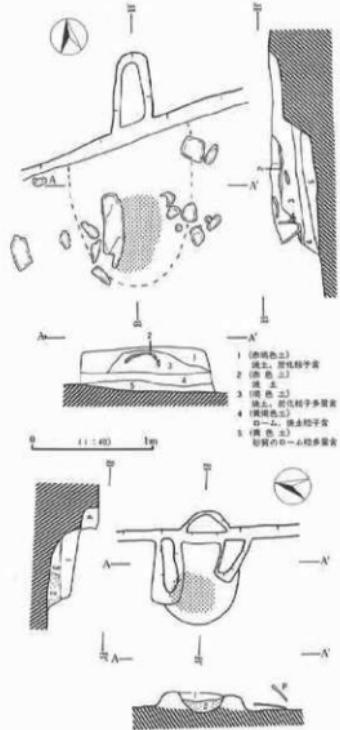
第44490 11244号住居址実測図



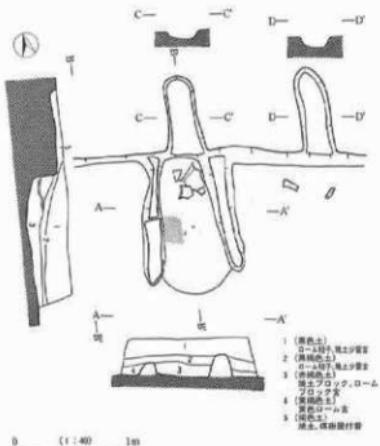
第446回 H245号住居址実測図



第451図 H247号住居址カマド実測図

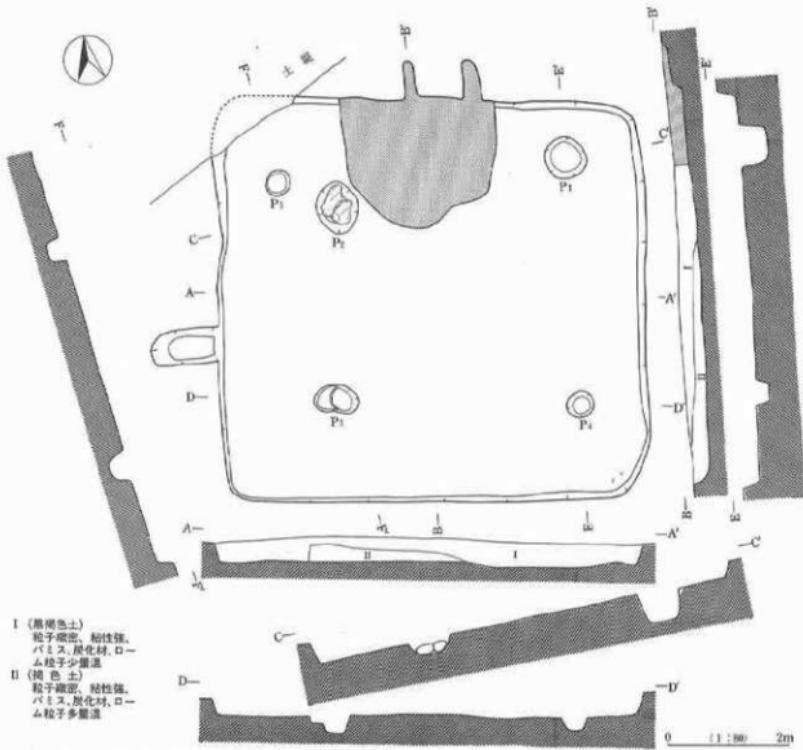
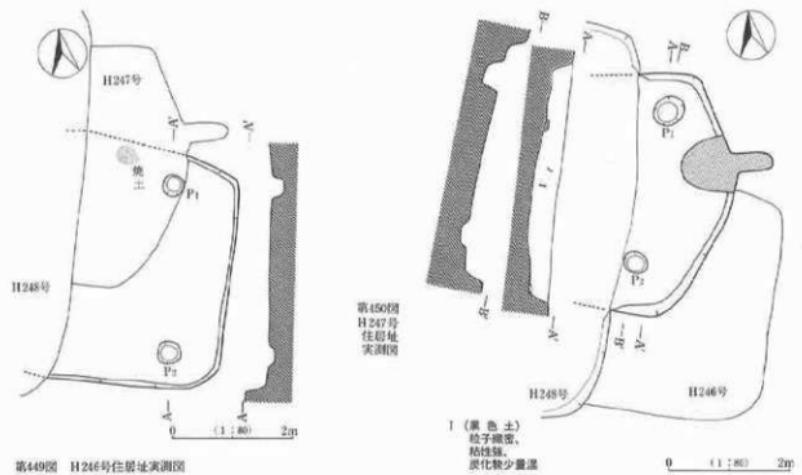


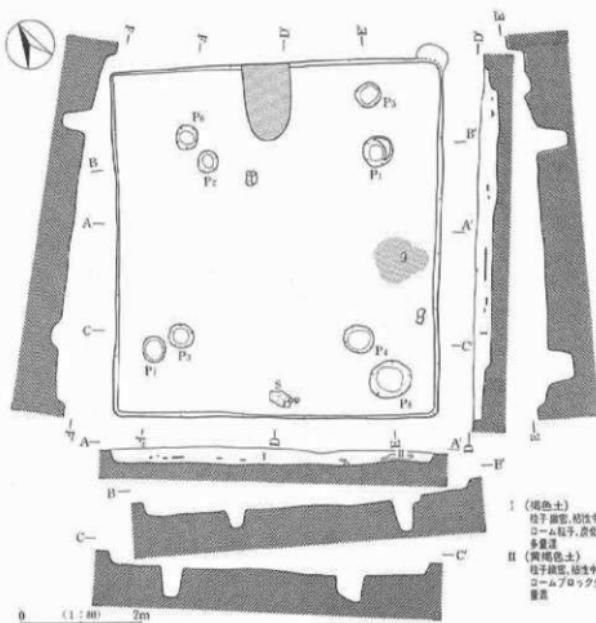
第445図 H245号住居址カマドN.1実測図



第453図 H245号住居址カマド実測図

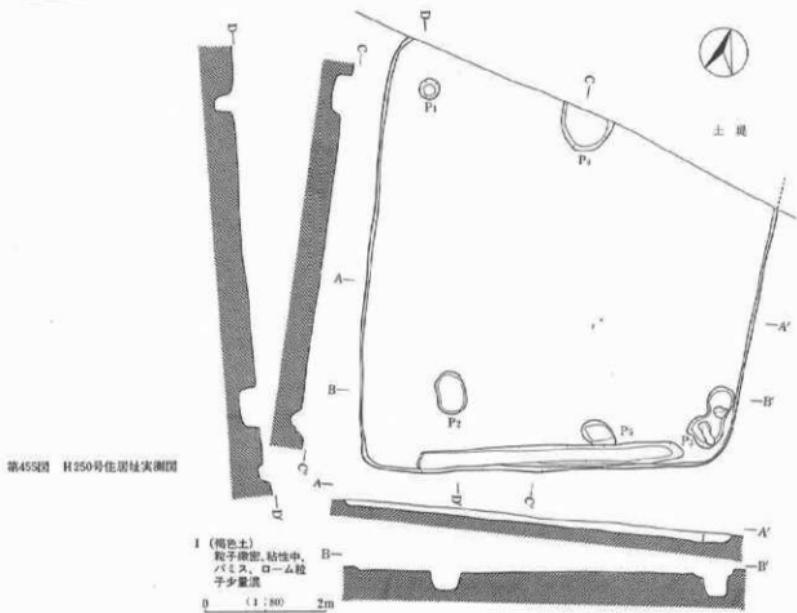
第446図 H245号住居址カマドN.2実測図



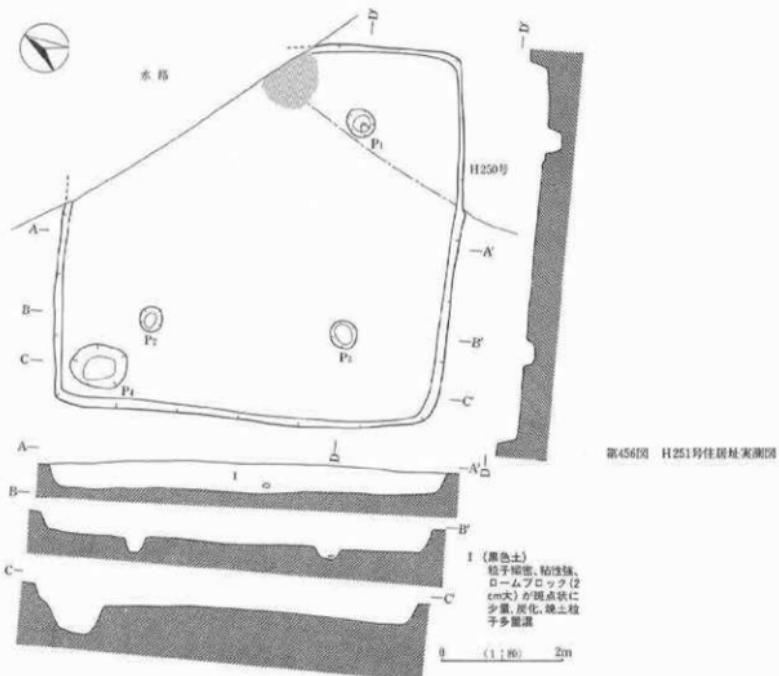


第454図 H249号住居址実測図

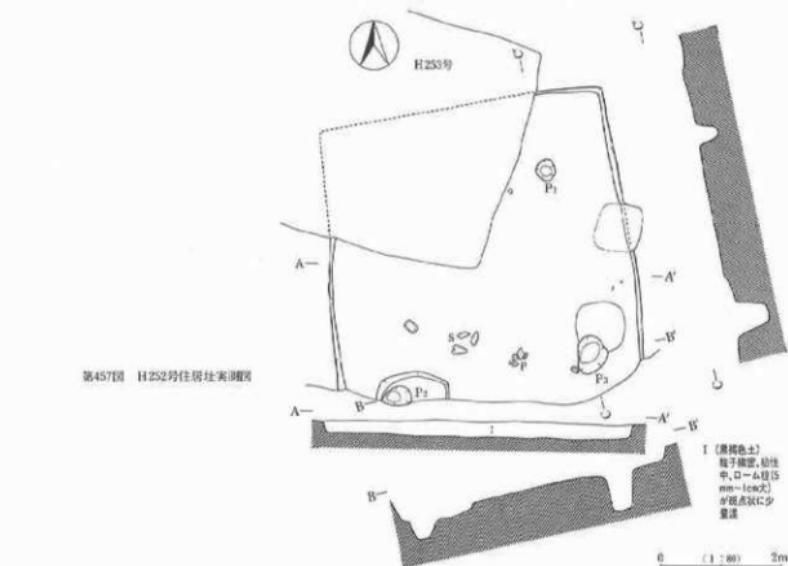
- I (褐色土)  
柱子・窓枠、粘性中、  
コーム柱子、炭化物  
多量混入
- II (黄褐色土)  
柱子・窓枠、粘性中、  
コームブロック  
多量混入



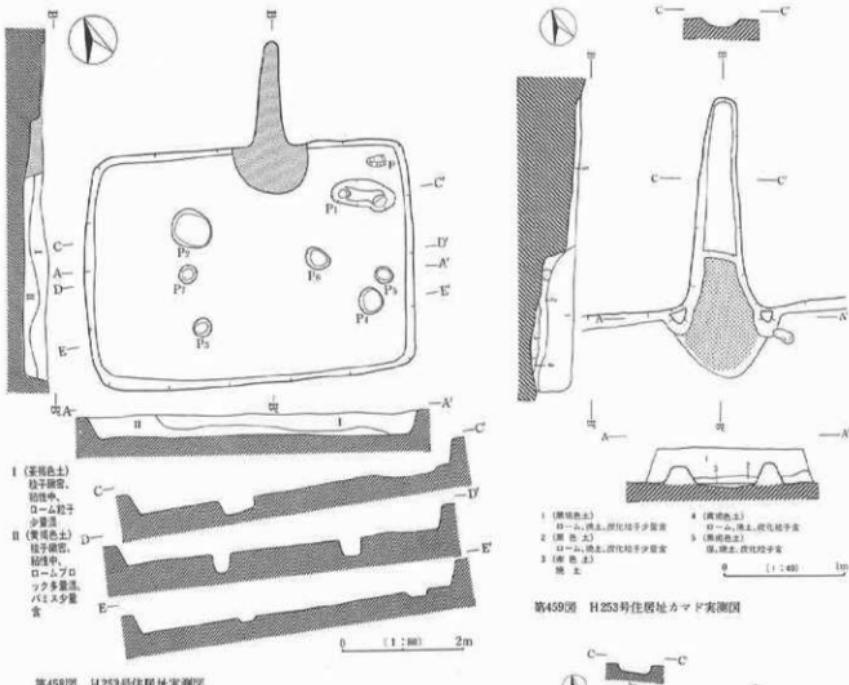
第455図 H250号住居址実測図



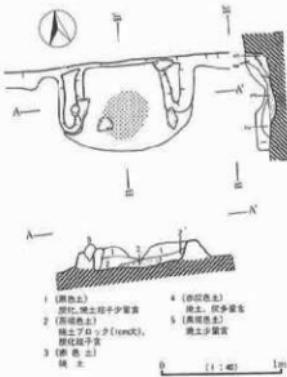
第456図 H251号住居址実測図



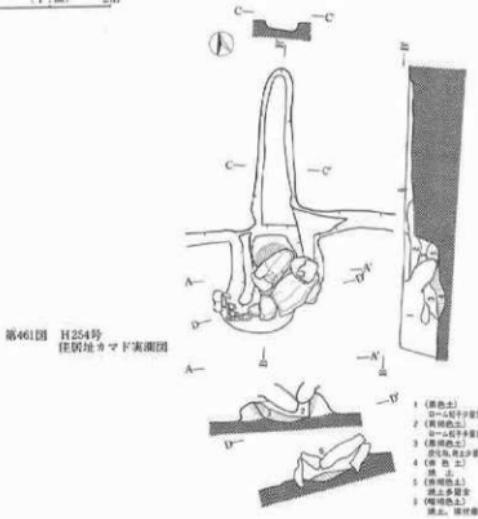
第457図 H252号住居址実測図

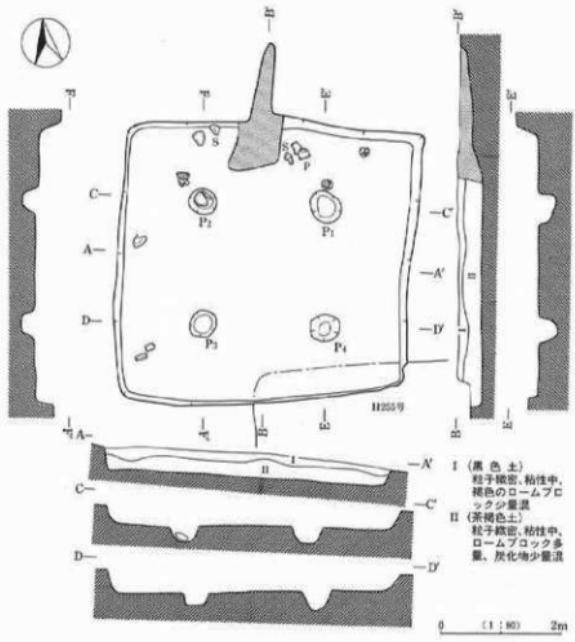


第459図 H253号住居址カマド実測図

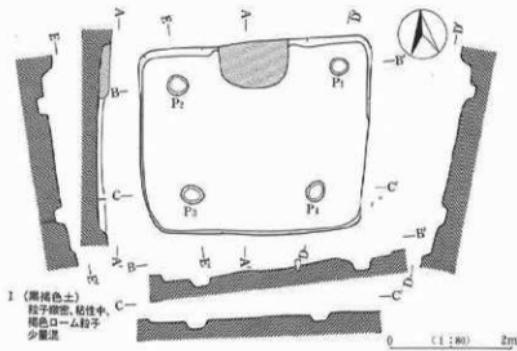


第463図 H255号住居址カマド実測図

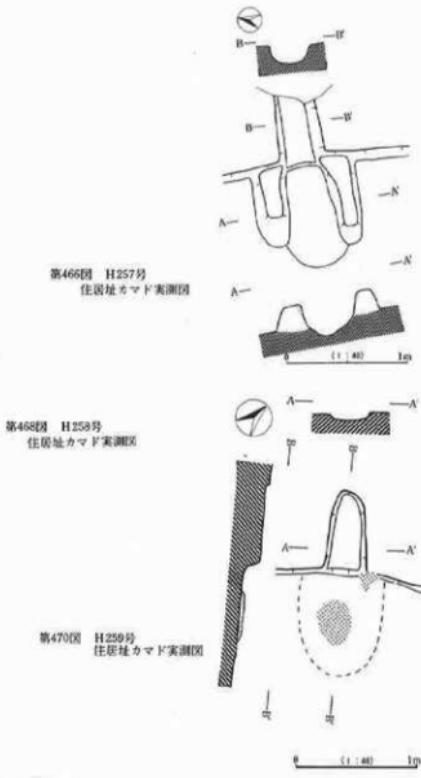
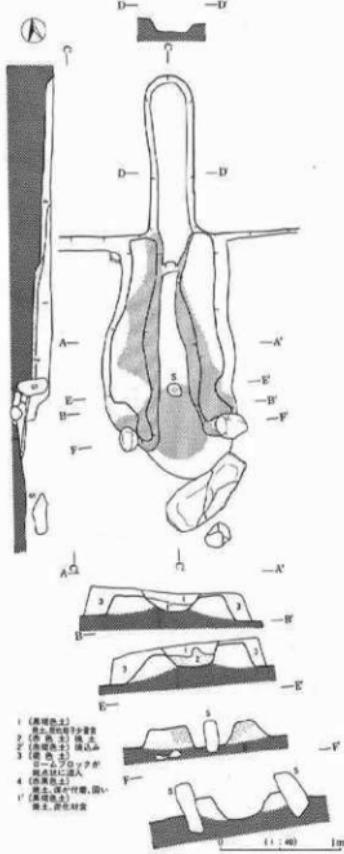
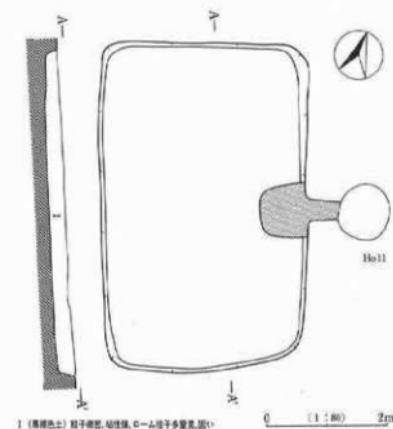
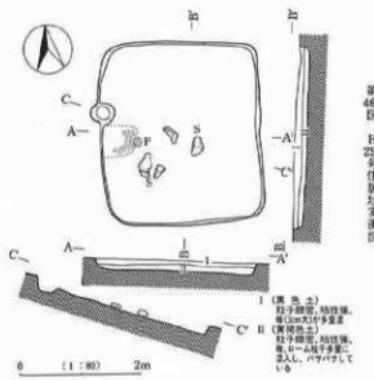


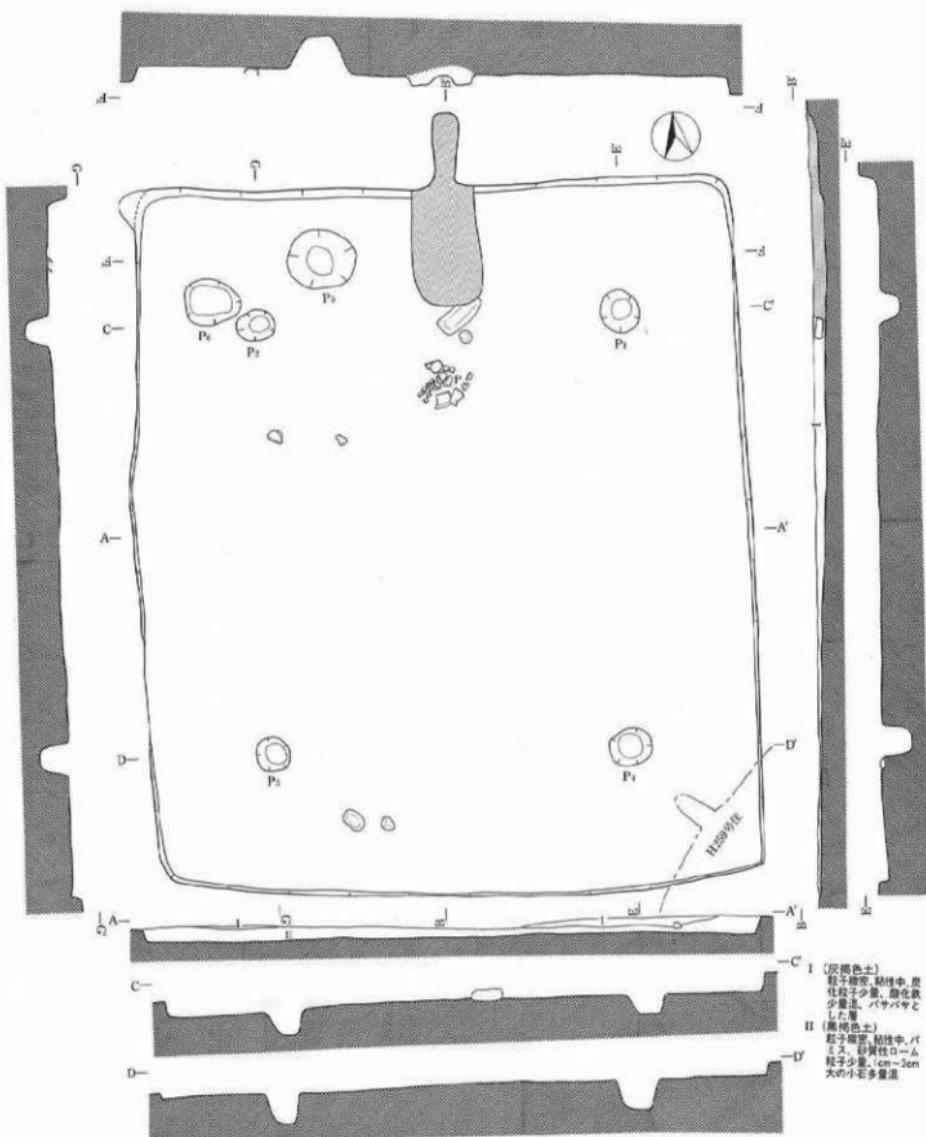


第460図 H254号住居址実測図

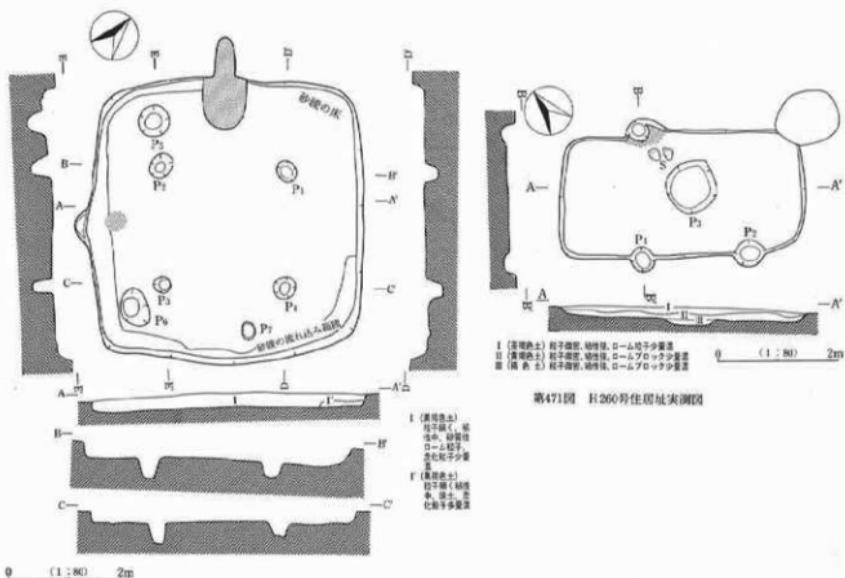


第462図 H255号住居址実測図



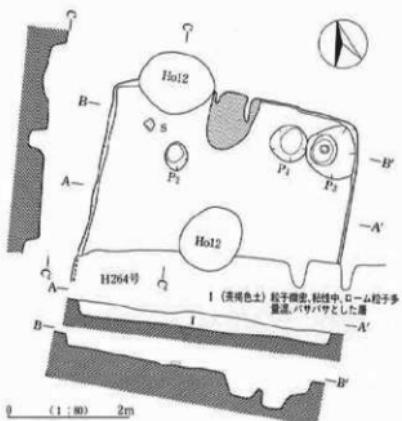


I [灰褐色土]  
 粒子細密、粘性中、炭化粒少量、陶化鉄少量、バサバサと  
 し、土質は、  
 II [褐褐色土]  
 粒子細密、粘性中、ミス、砂質性ローム  
 粒子少量、1cm-2cm  
 大の小石多量混

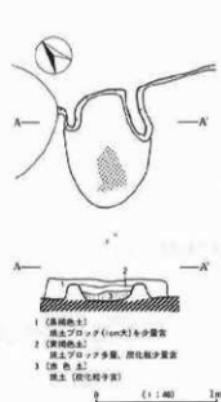


第471図 H260号住居址実測図

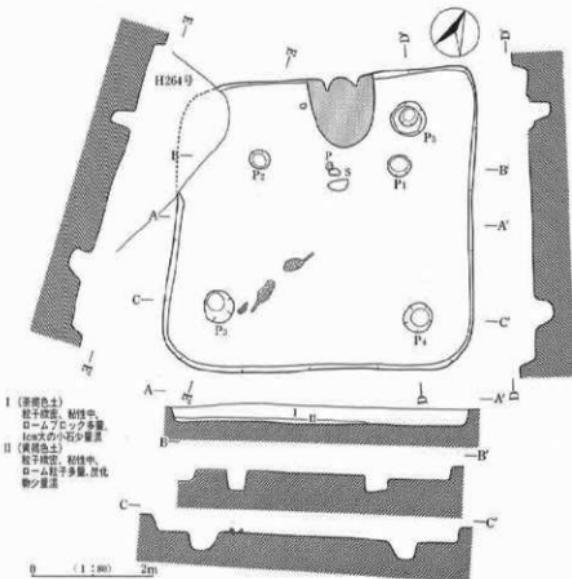
第469図 H259号住居址実測図



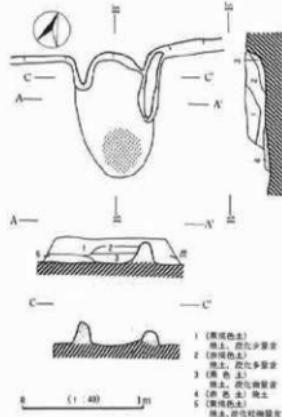
第472図 H261号住居址実測図



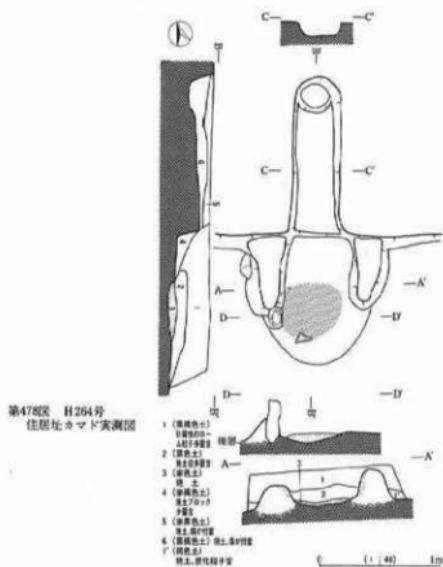
第473図 H261号住居址カマド実測図

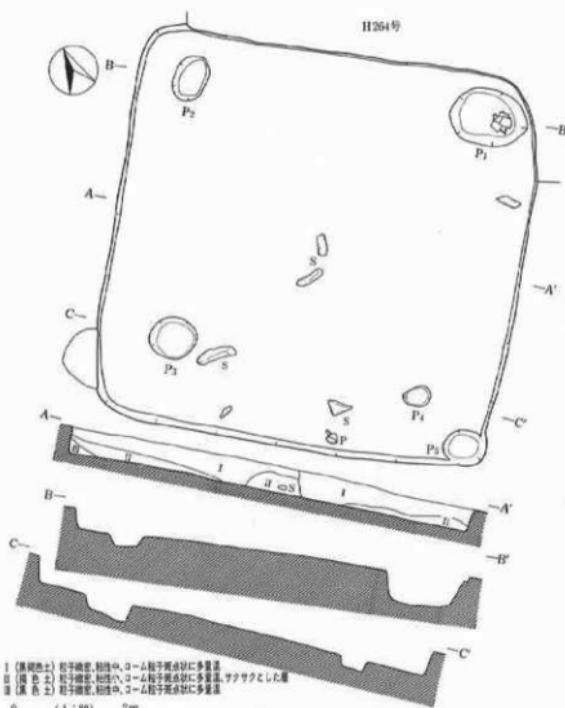


第474図 H262号住居址実測図



第475図 H262号住居址カマド実測図

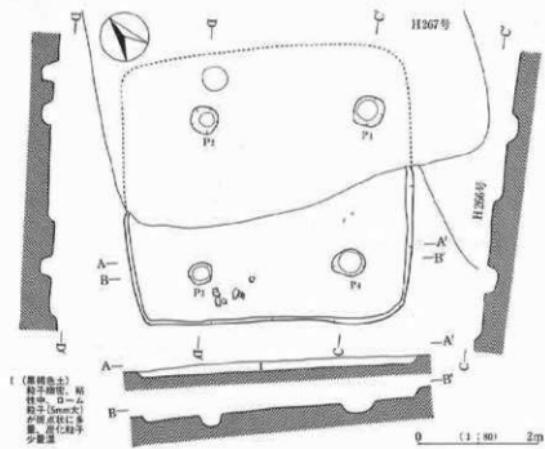




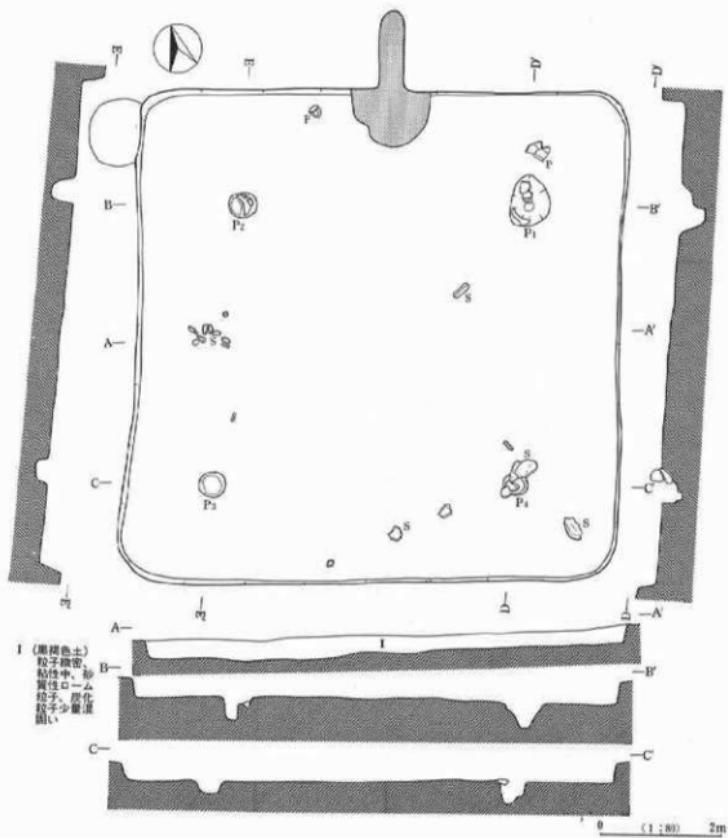
第476図 H263号住居址実測図

I (敷地土) 粘子地質、粘性土、3-m程粘子質地に多量  
II (底土) 粘子地質、粘性土、3-m程粘子質地に多量、ササクとした塊  
III (表土) 粘子地質、粘性土、3-m程粘子質地に多量

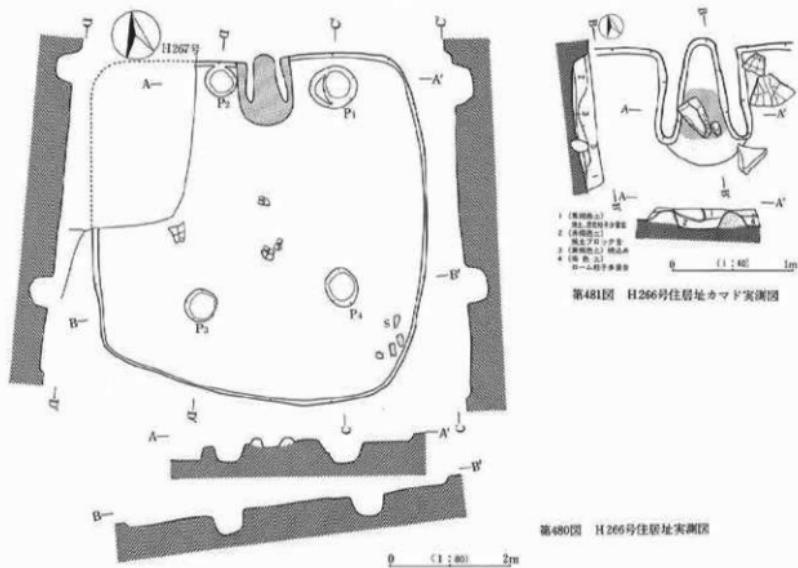
0 (1:80) 2m



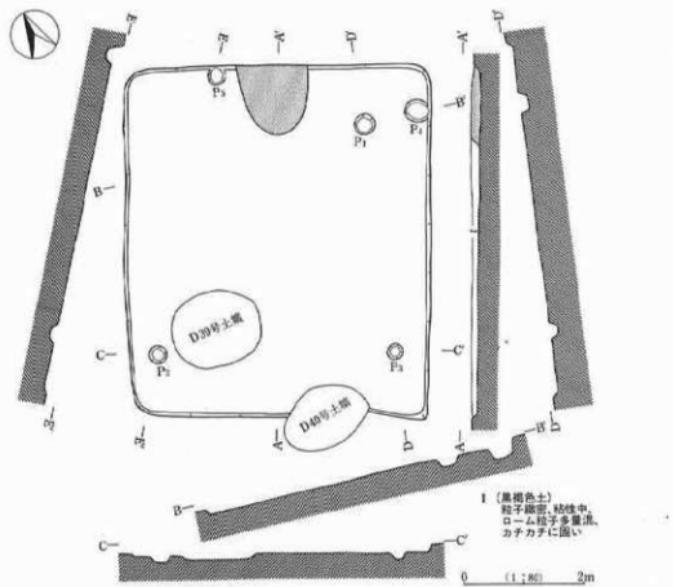
第479図 H265号住居址実測図



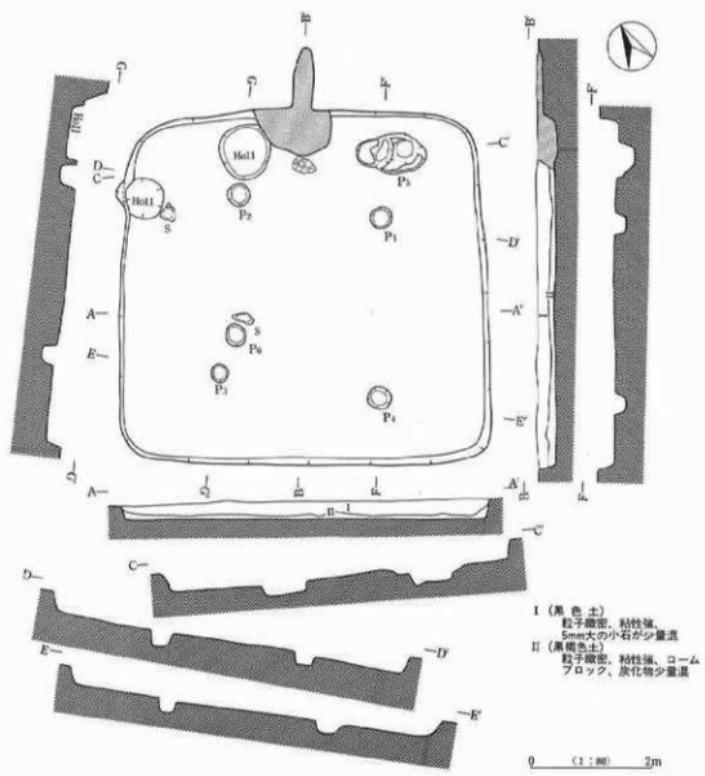
第477圖 H254号住居址実面図



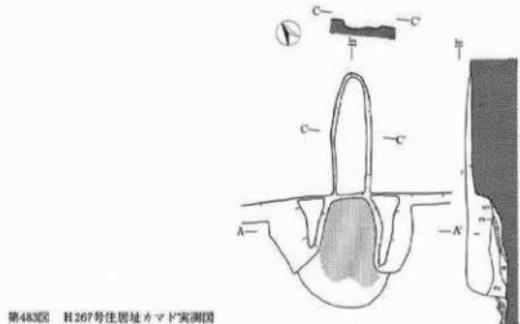
第481図 H266号住居址カマド実測図



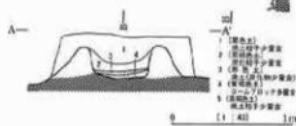
第482図 H268号住居址実測図

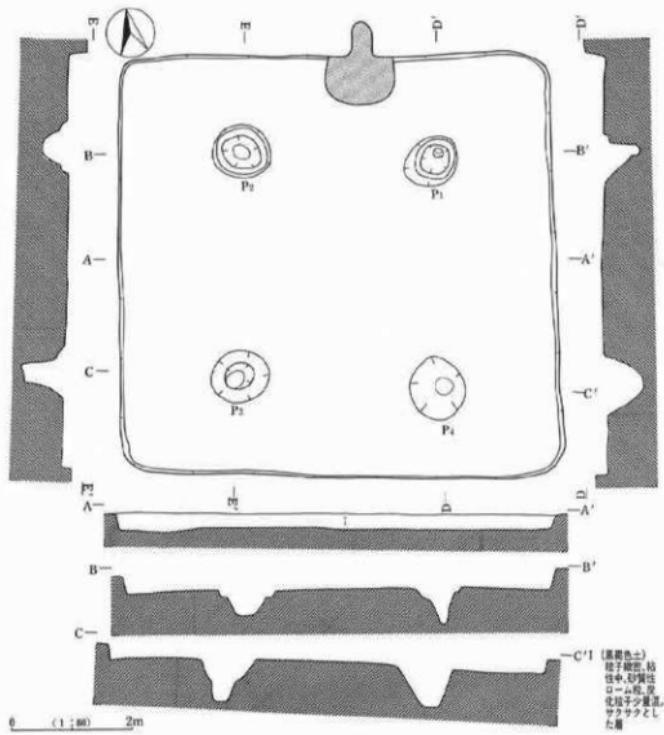


第482図 H267号居住址実測図

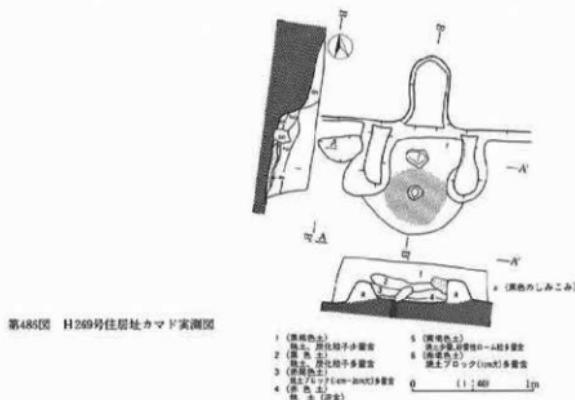


第483図 H267号居住址カマド実測図

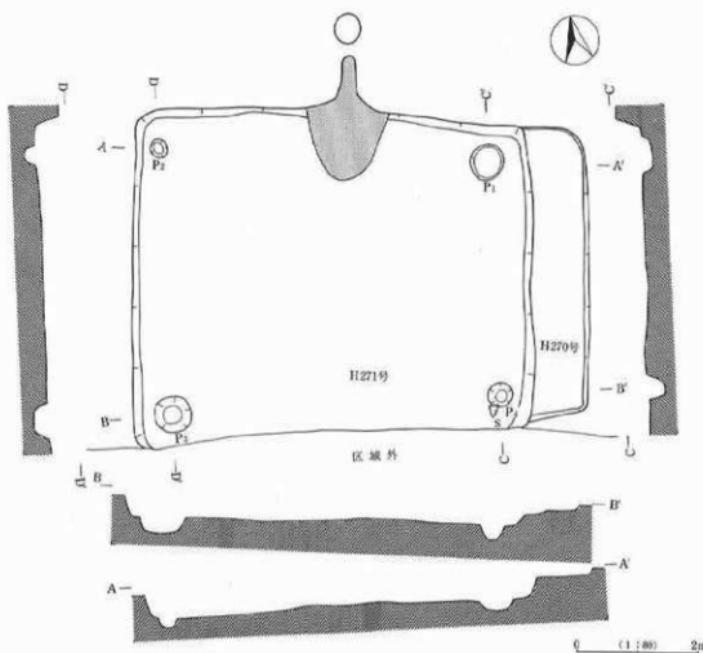




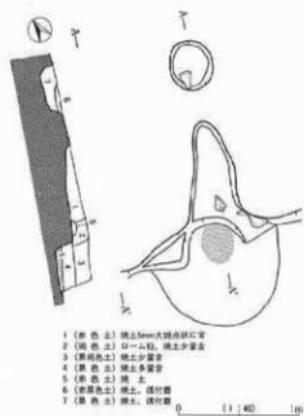
第485図 H269号住居址実測図



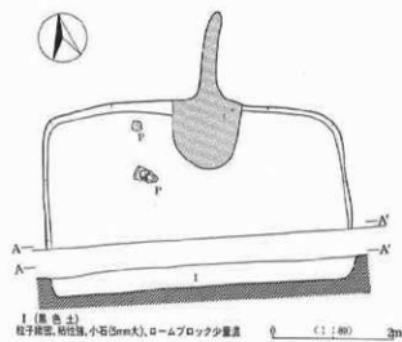
第486図 H269号住居址カマド実測図



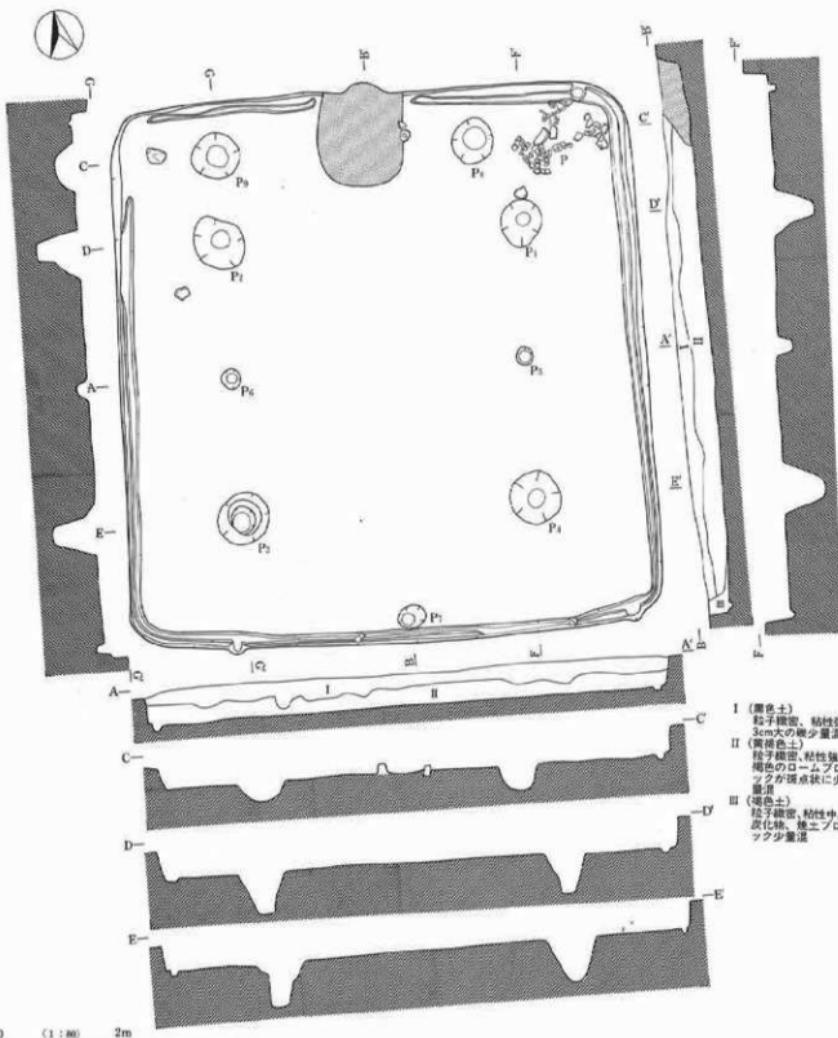
第487図 H270号・H271号住居址実測図



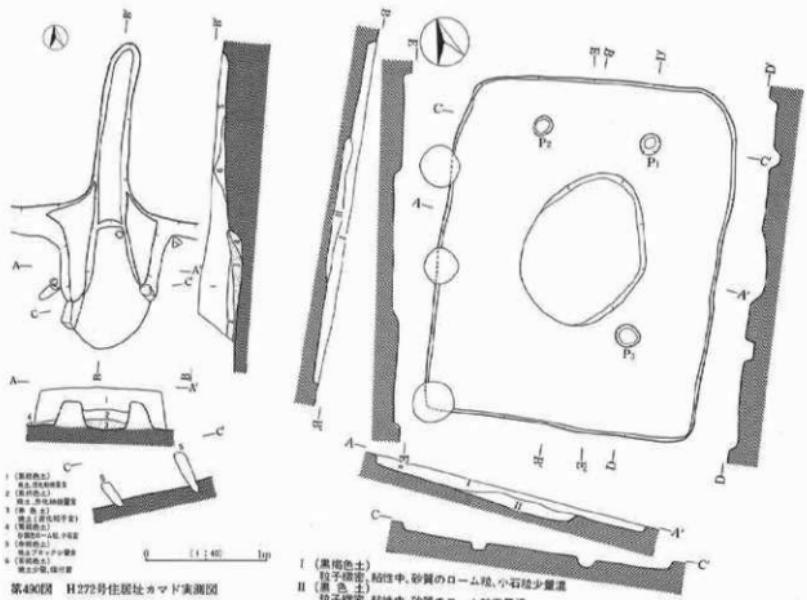
第488図 H271号住居址カマド実測図



第489図 H272号住居址実測図

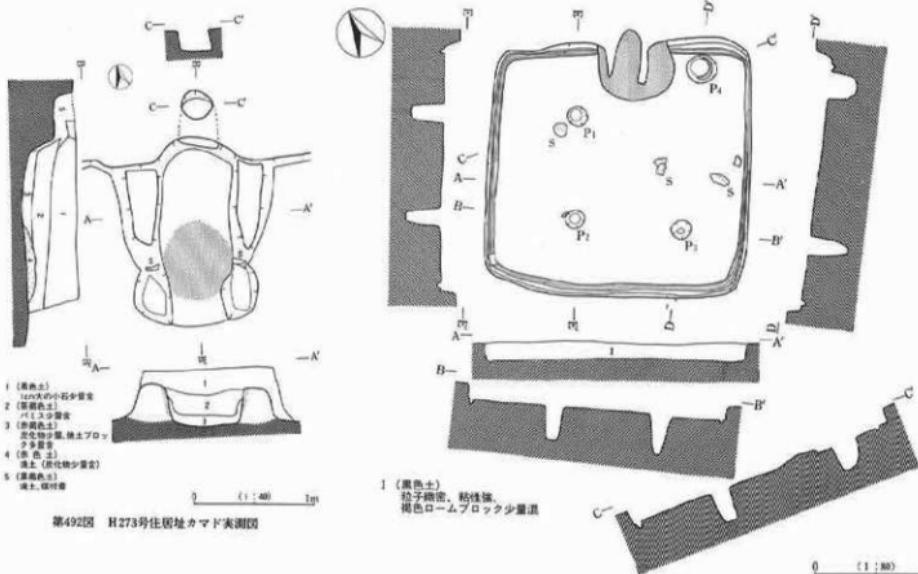


第491図 H273号住居址実測図



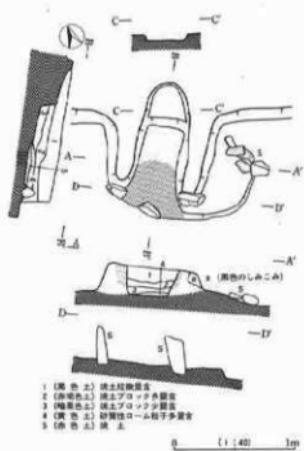
#### 第490回 H272号住居址カマド実測図

第49回 H274号住民紹介表

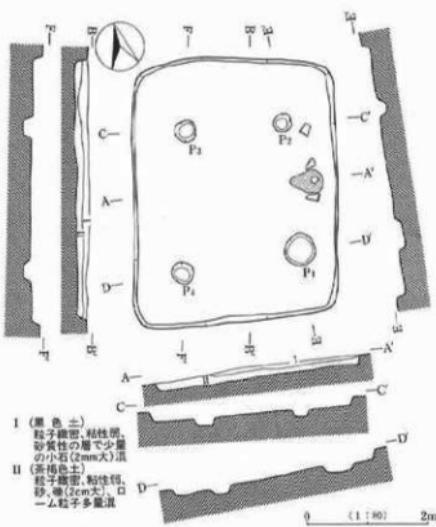


第492回 日273号住居地カヌド本源の

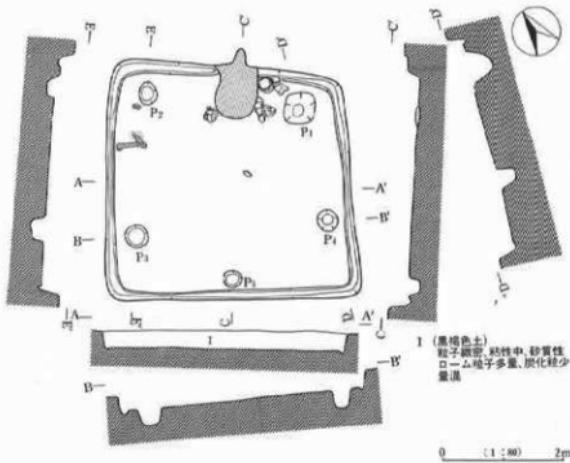
第494図 H275号住居址実測図



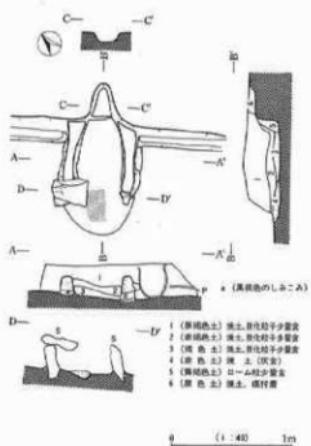
第495図 H275号住居址カマド実測図



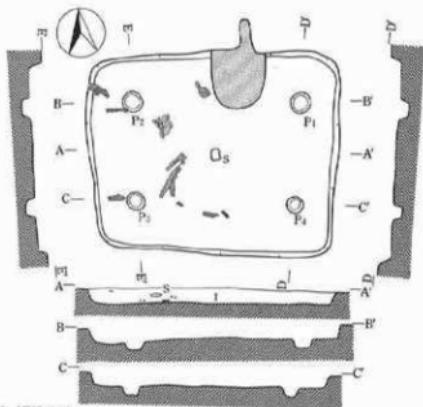
第496図 H275号住居址実測図



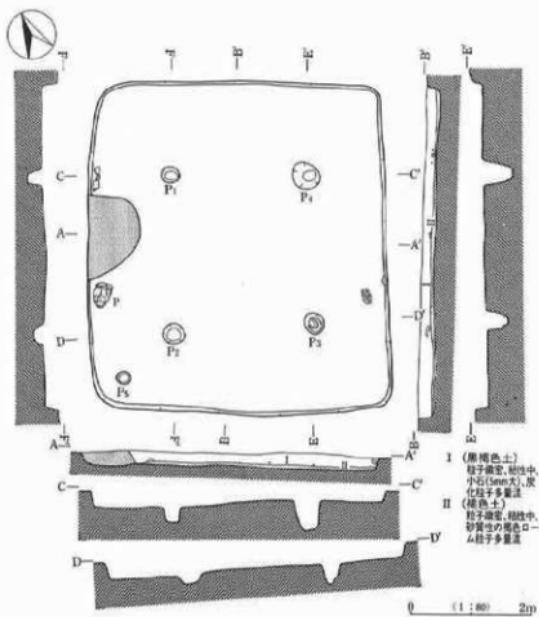
第497図 H277号住居址実測図



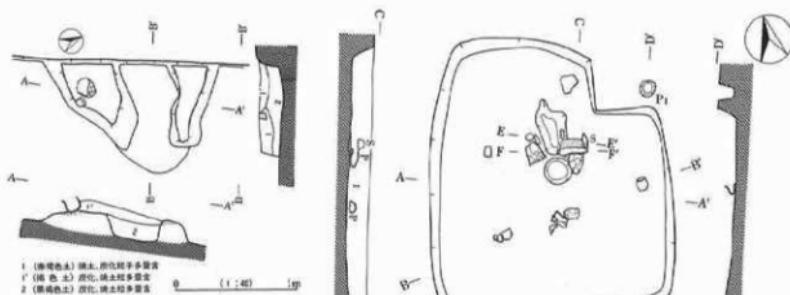
第498図 H277号住居址カマド実測図



第499図 H278号住居址実測図



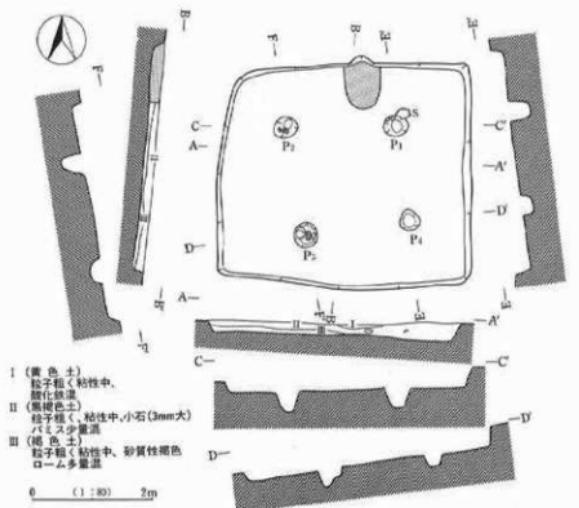
第500図 H279号住居址実測図



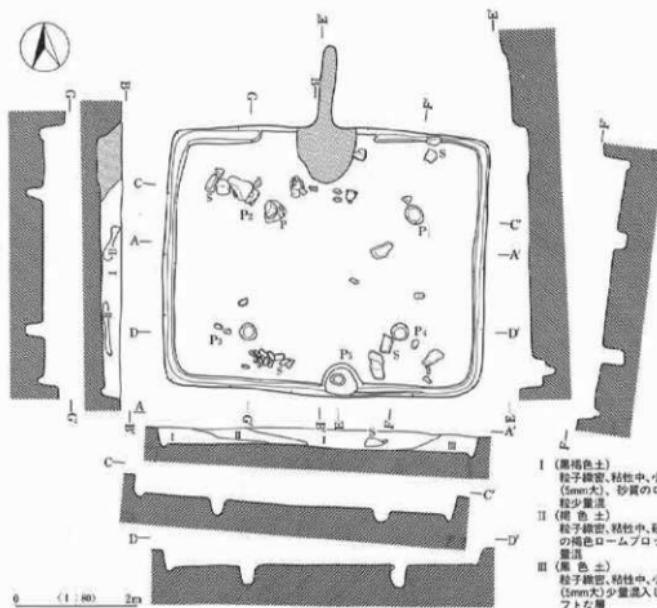
第501図 H279号住居址カマド実測図



第503図 H281号住居址実測図

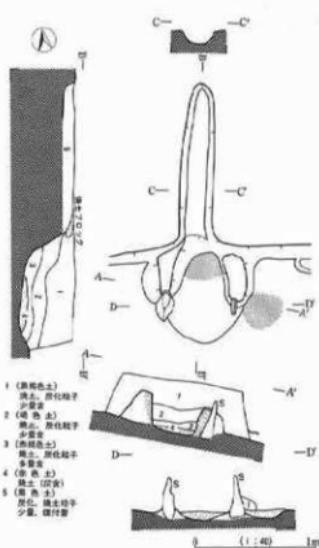


第502図 H280号住居址実測図

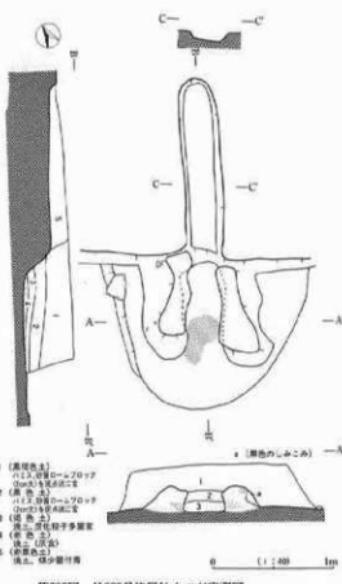


第504図 H282番  
住居址実測図

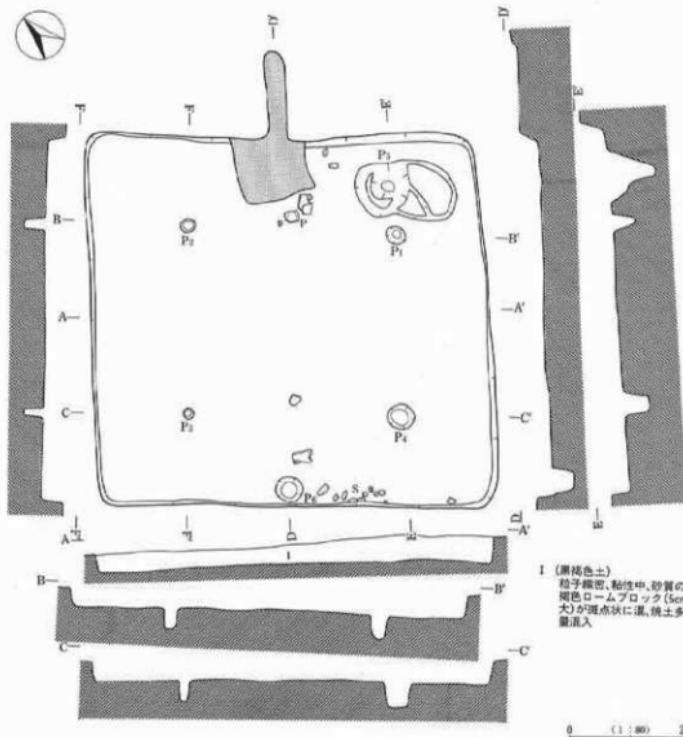
I (黒褐色土)  
粘子練窓、粘性中、小石粒  
(5mm大) 砂質のローム  
粘少量混入  
II (褐色土)  
粘子練窓、粘性中、砂質性  
の褐色ロームアロック  
III (褐色土)  
粘子練窓、粘性中、小石粒  
(5mm大) 少量混入し、ソ  
フトな層



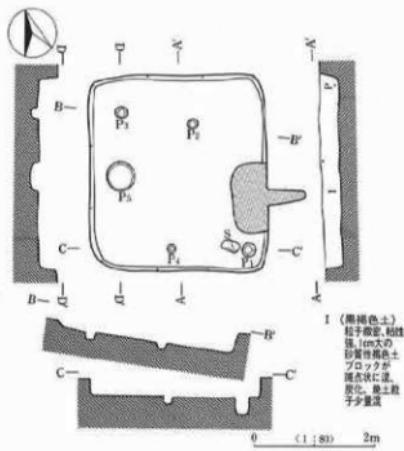
第505図 H282番  
住居址カマド実測図



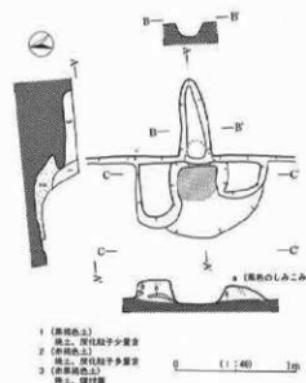
第507図 H283番住居址カマド実測図



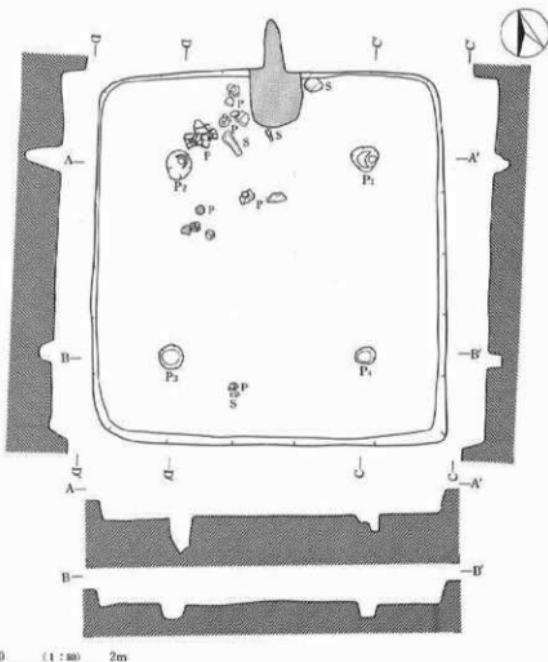
第506図 H 283号居住址実測図



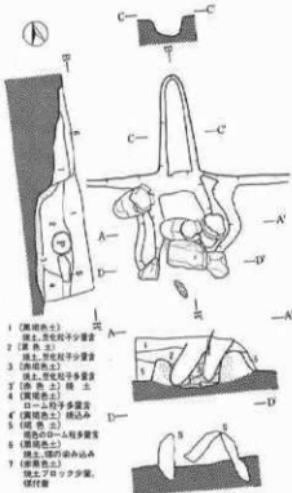
第510図 H 285号居住址実測図



第511図 H 285号居住址カマド実測図

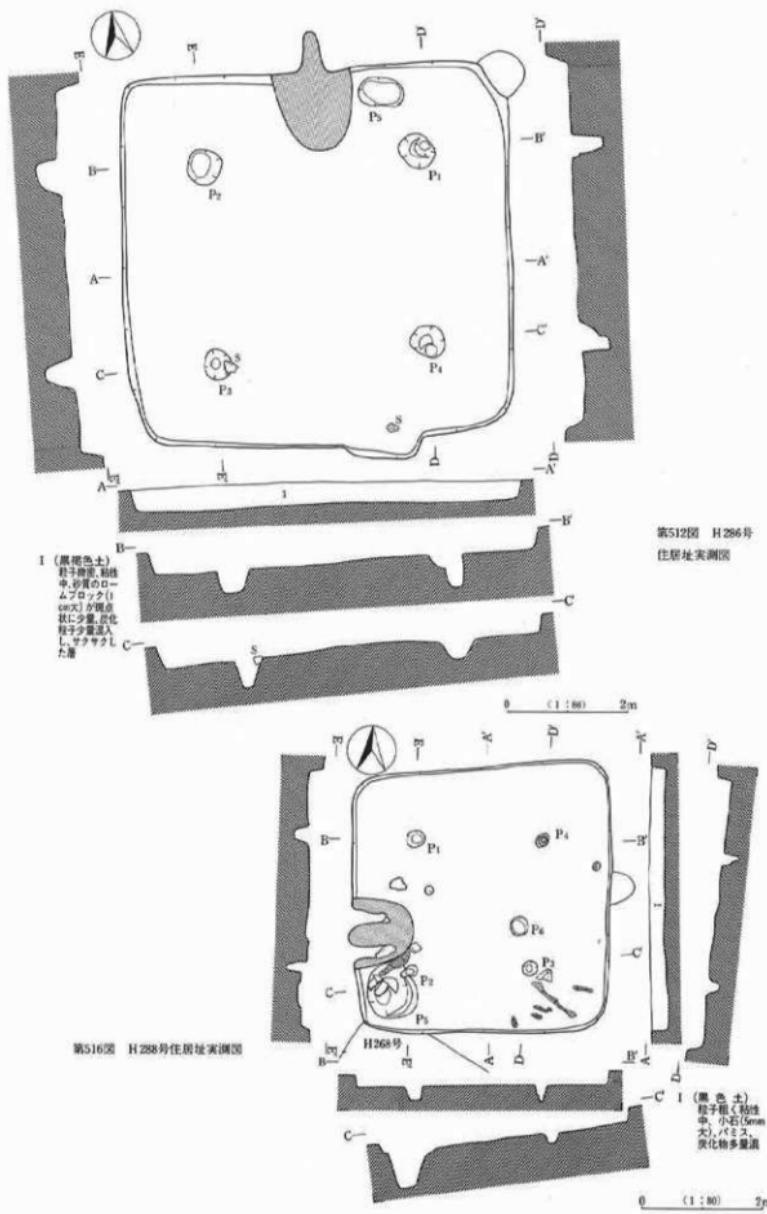


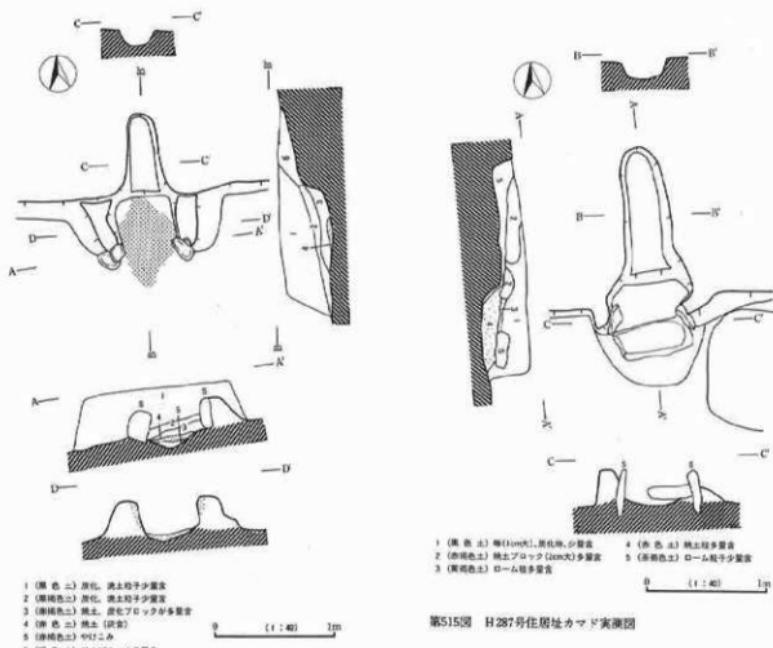
第508図 H284号住居址実測図



第509図 H284号住居址カマフ実測図

0 (1 : 80) 1m

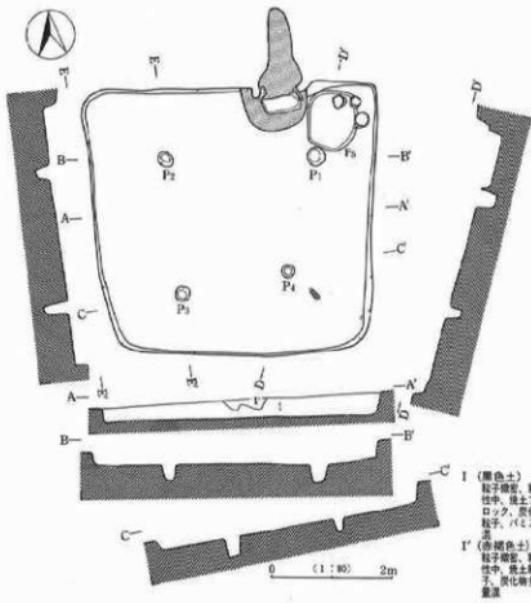




第513図 H286号住居址カマド実測図

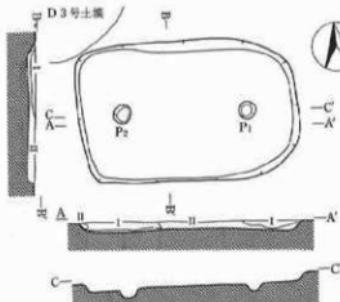
1 (黒色土) 黒粘土、泥化粘土、少量含  
2 (赤褐色土) 泥土ブロック (cm) 多量含  
3 (赤褐色土) ローム粘子少量含  
4 (赤色土) 黑土粘多量含  
5 (赤褐色土) ローム粘子少量含  
0 (1:40) 1m

第515図 H287号住居址カマド実測図

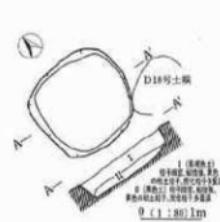


第514図 H287号住居址実測図

### 3 壓穴状造構



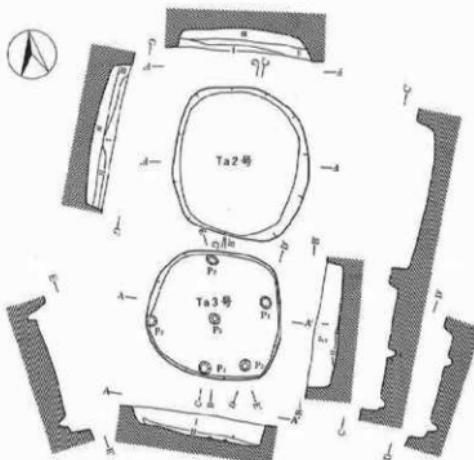
第517図 Ta 1 壓穴状造構実測図



第519図 Ta 4 壓穴状造構実測図

I (褐色土)  
粒子濃密、粘性中、ローム粒子少量混  
II (赤褐色土)  
I層より粒子粗く粘性中、1cm~2cm大小の小石混

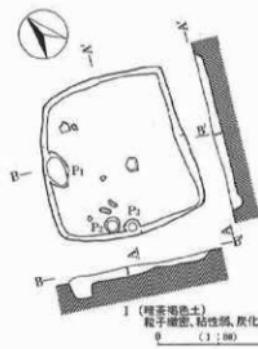
0 (1:80) 2m



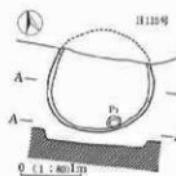
第518図 Ta 2-3 壓穴状造構実測図

I (褐色土) 粒子濃密、粘性中、ロームブロック多量混  
II (褐色土) 粒子濃密、粘性中、ロームブロック多量混  
III (赤褐色土) 粒子濃密、粘性中、炭化粒子多量混  
IV (赤褐色土) 粒子濃密、粘性中、漂化粒子少量混、黄色ローム多量混

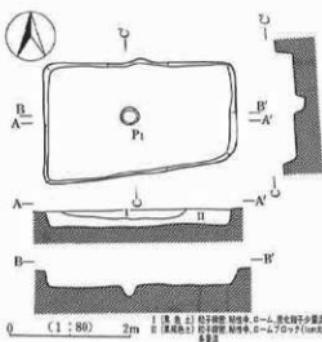
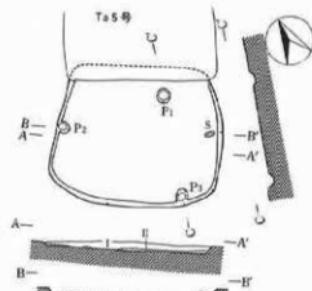
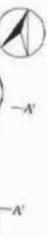
0 (1:80) 2m



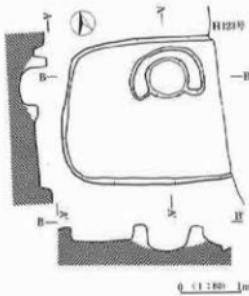
第522図 Ta 7 縦穴状遺構実測図



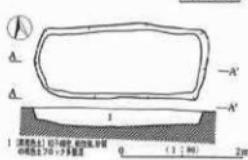
第523図 Ta 8 縦穴状遺構実測図



第526図 Ta 11 縦穴状遺構実測図



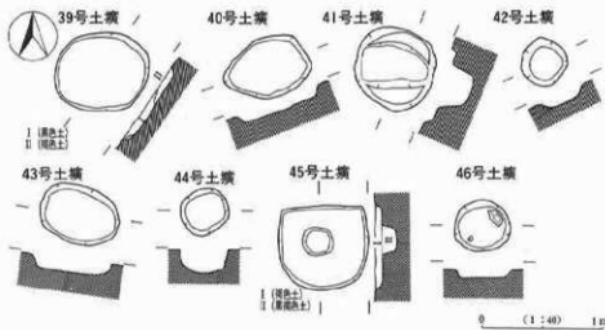
第527図 Ta 12 縦穴状遺構実測図



## 4 土壤

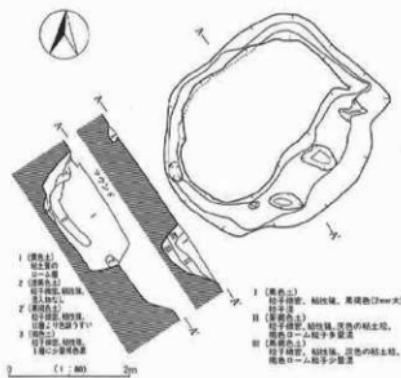


第528图 D1号土壤~D38号土壤实测图

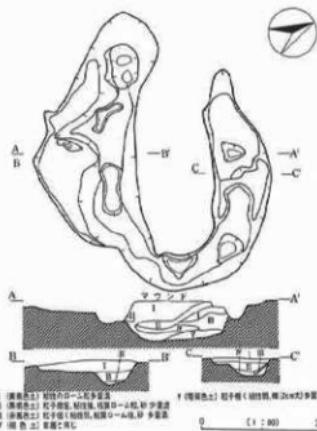


### 第529团 D39号土壤—D46号土壤实测团

5 特殊邊構



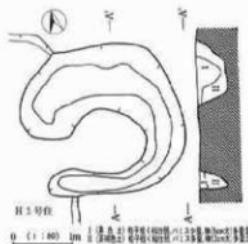
#### 第530回 T1特務逮捕大懸念



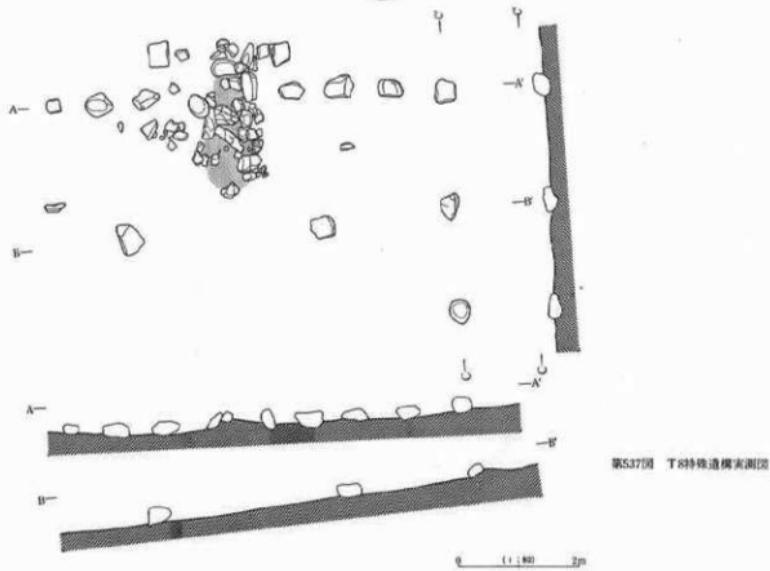
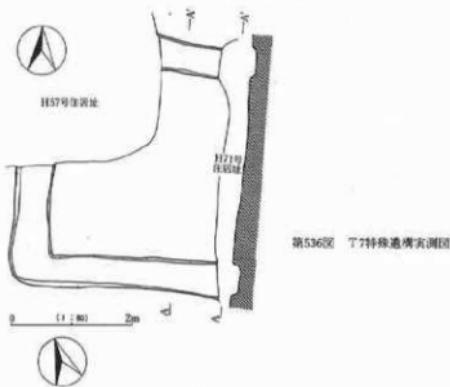
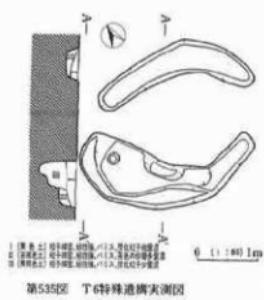
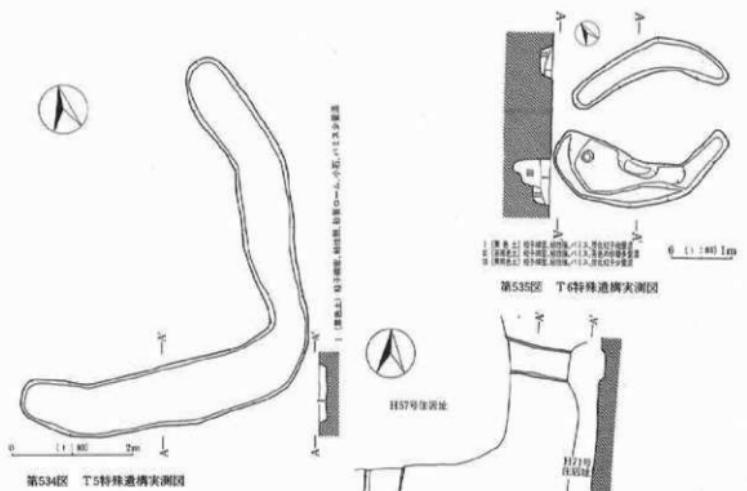
第531図 T2特殊遺傳実験図

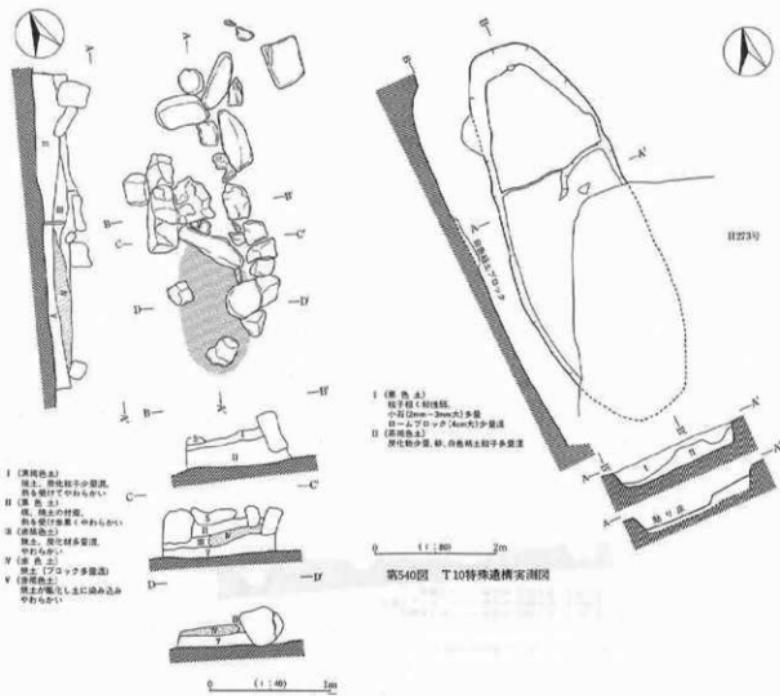


第533回

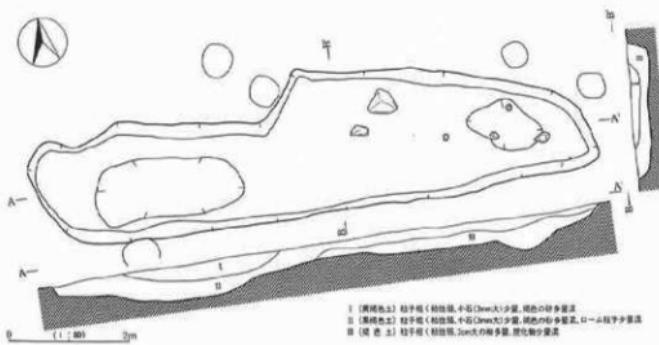


第532回  
丁3特殊構  
架測回



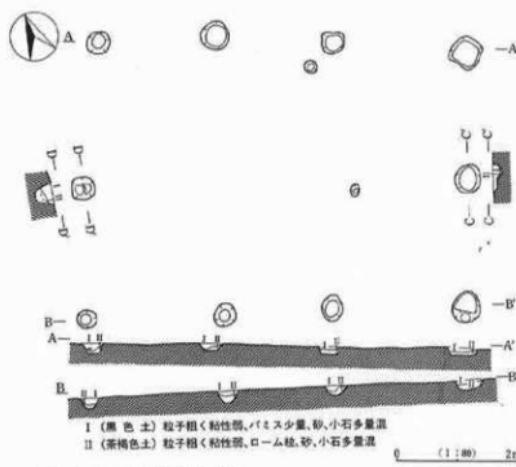
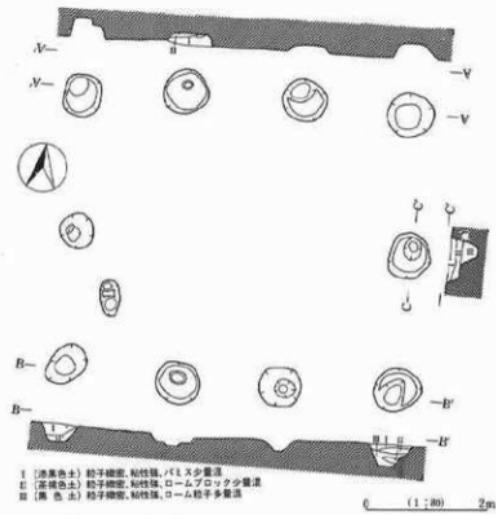


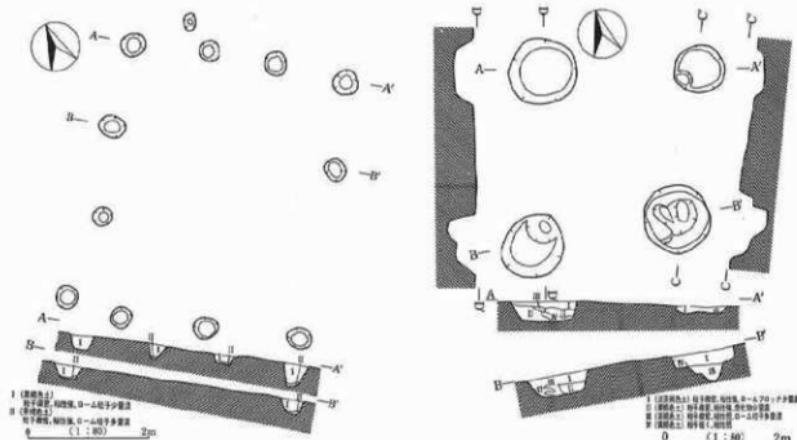
第538図 T8特殊透構カマド石組実測図



第539図 T9特殊透構実測図

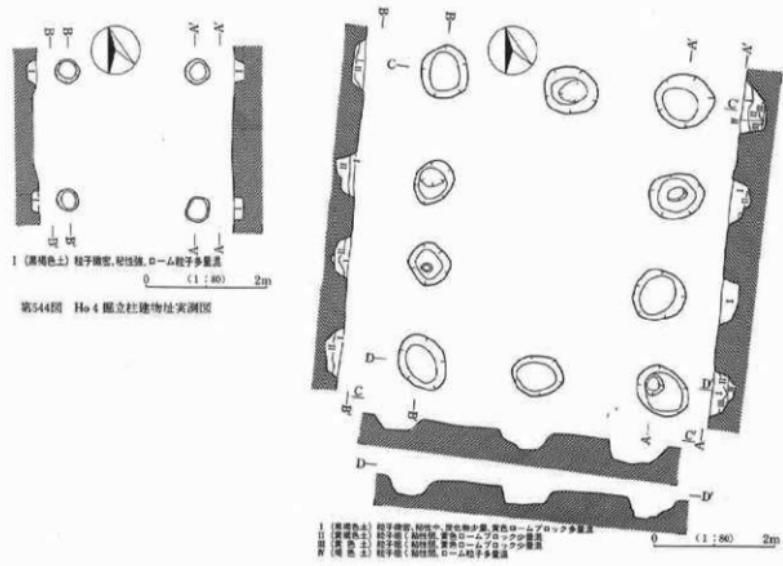
## 6 挖立柱建物址





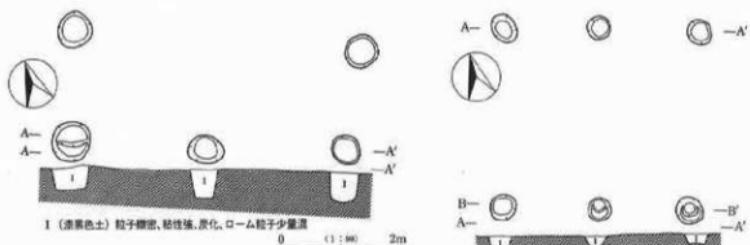
第543図 Ho 3 墨立柱建物址実測図

第546図 Ho 6 墨立柱建物址実測図

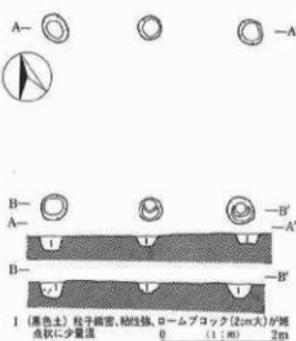


第544図 Ho 4 墨立柱建物址実測図

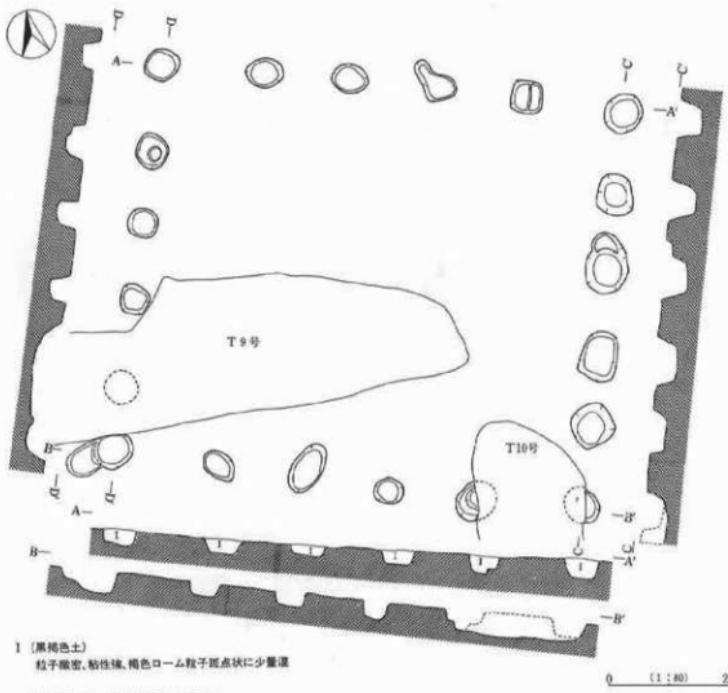
第545図 Ho 5 墨立柱建物址実測図



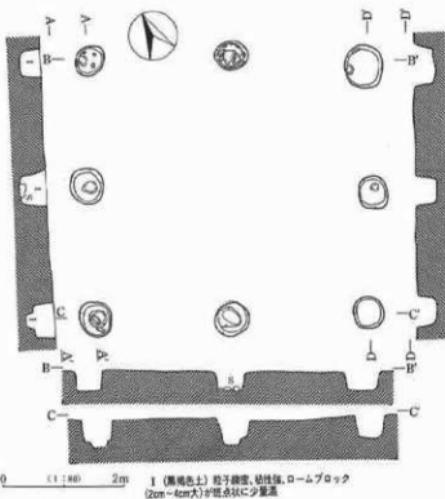
第547図 Ho 7 垂立柱建物址実測図



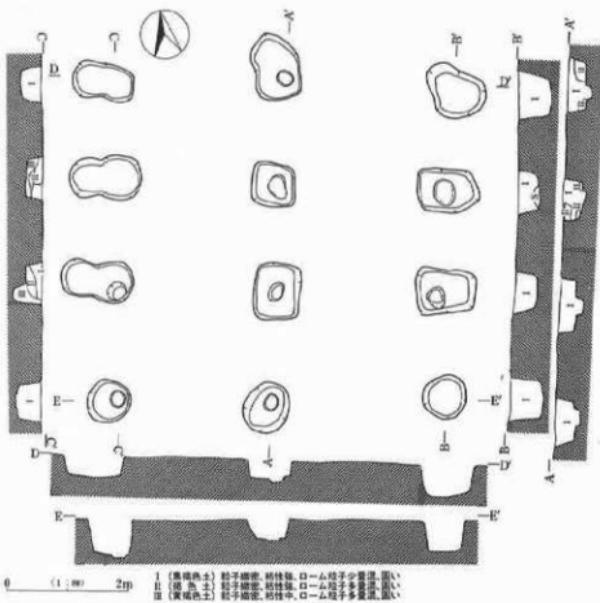
第548図 Ho 8 垂立柱建物址実測図



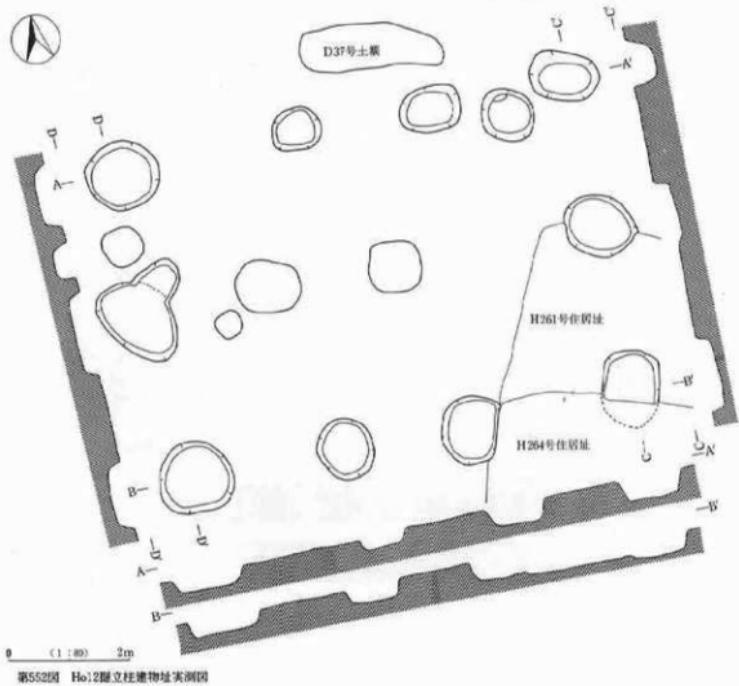
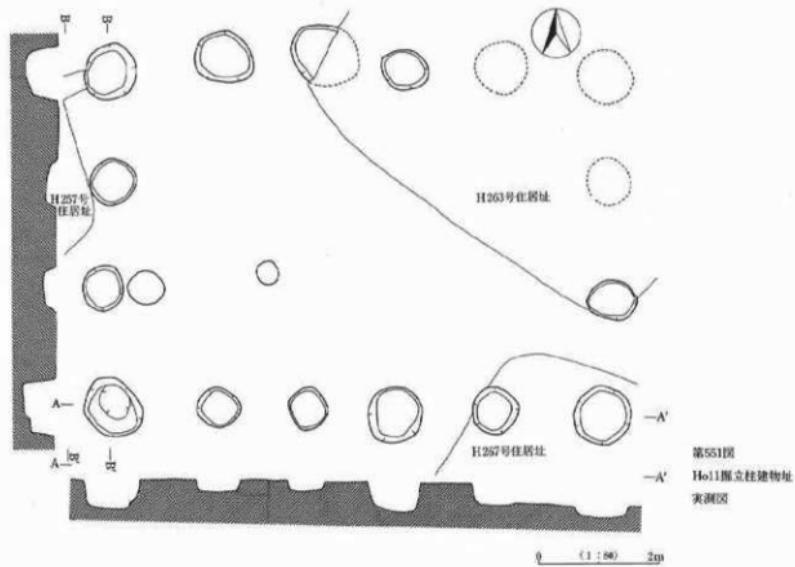
第553図 Ho 13 垂立柱建物址実測図

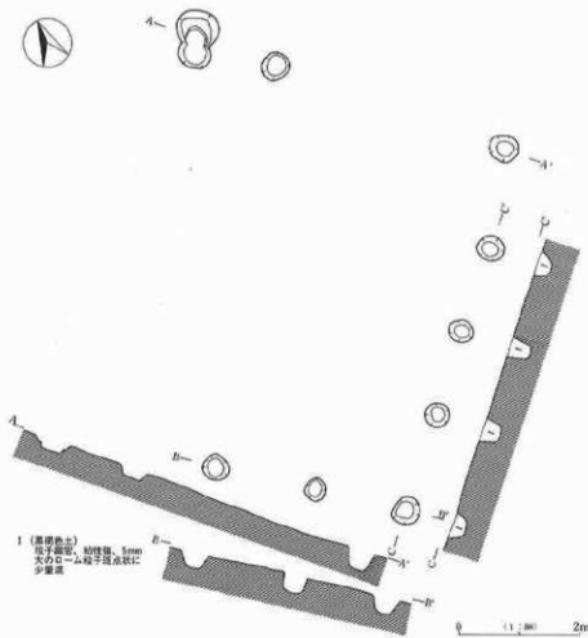


第549図 Ho 9 標立柱建物址実測図

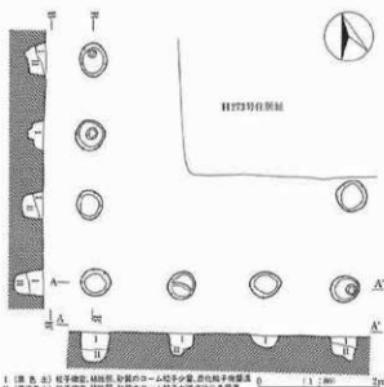


第550図 Ho 10 標立柱建物址実測図

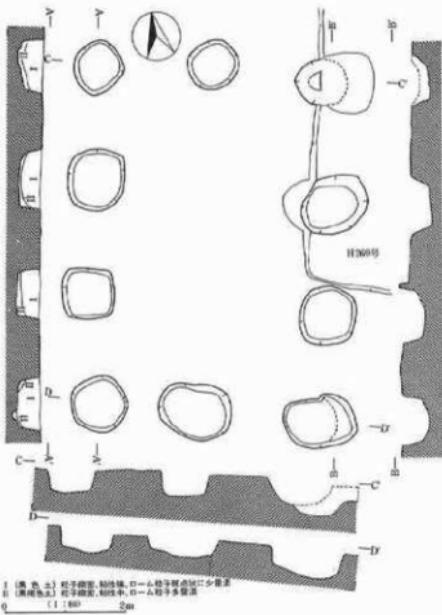




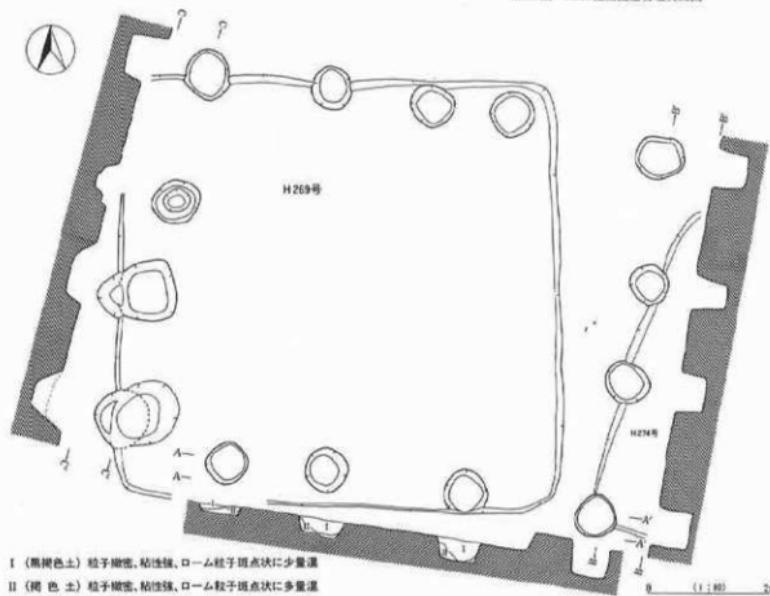
第554図 Hei4掘立柱建物址実測図



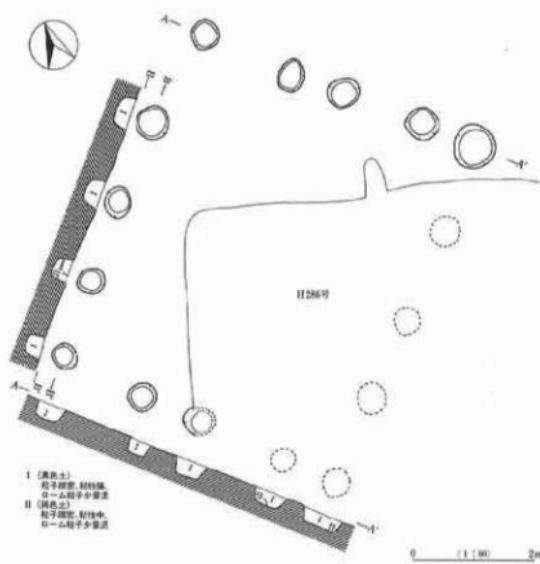
第555図 Hei5掘立柱建物址実測図



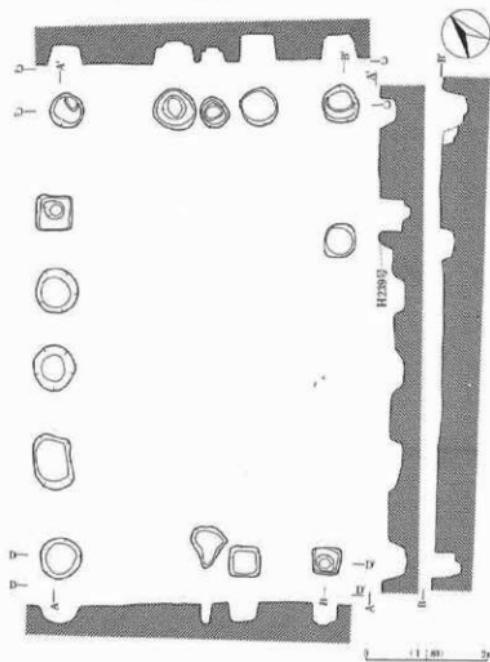
第556図 Ho16櫛立柱建物址実測図



第557図 Ho17櫛立柱建物址実測図

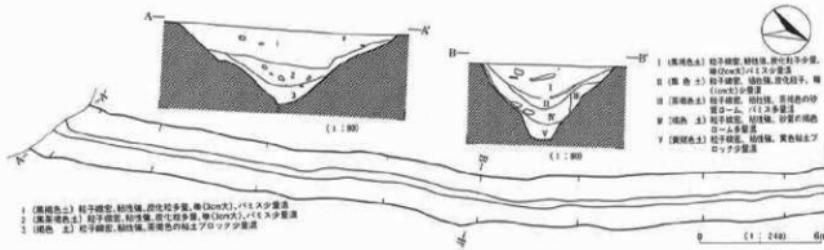


第558图 Ho18号立柱建筑物实测图

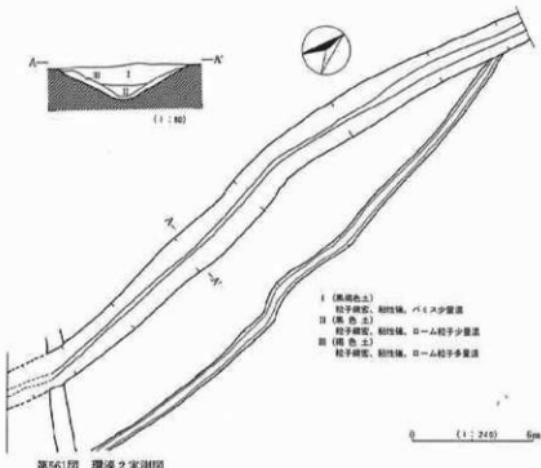


第559图 Ho18号立柱建筑物实测图

## 7 環濠



第560図 環濠 1 実測図



第561図 環濠 2 実測図

第66图 美状礁1·2·3实测图

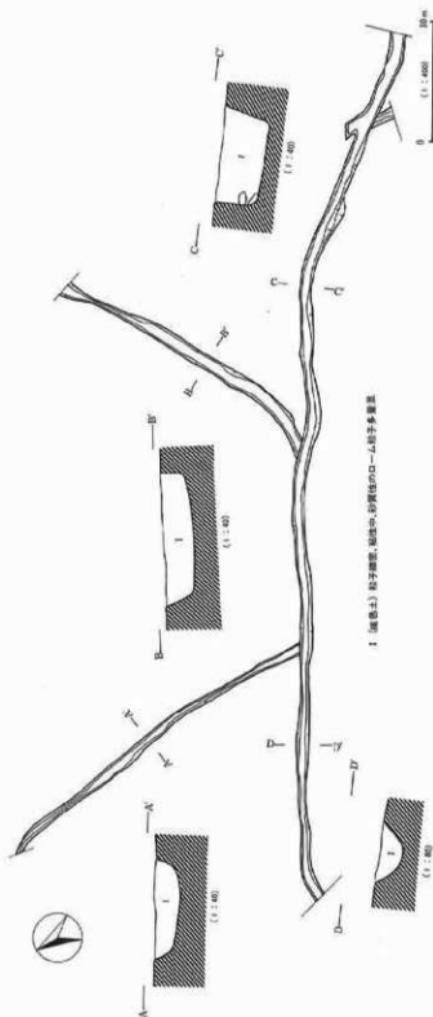


表 2 表 横行連続突出遺構一覧表

遺構形態	平面図	平面図ブロック番号	主軸方位	対	周期	備考
	cm	cm	面積	cm <sup>2</sup>		
Y-1 方形	391	—~7	N-22-E	主軸北 4間、 74×53.6 地盤炉(中央) 74×53.6	新時代 中期	M.3号と重複、南西コーナーにかけて傾斜される。
Y-2 滝丸方形	(296)	(4~12)	N-33-W	地床炉(西側中央) 61×31.6	"	Y.8号と重複、東側もさる。
Y-3 滝丸長方形	(404)	295 (9~18)	N-115-W	石垣壁、火門、 石門扉、火門、 58×55.1	主軸北 2間、 1間	Y.9号と重複、東側コーナーに傾きられる。
Y-4 滝丸方形		(2~10)	—	地盤炉(中央)	主軸北 4間、 8間	Y.10号と重複、西側もさる。先住居。
Y-5 —	—	—	—	地盤炉	主軸北 1間	新時代 後期
Y-6 滝丸長方形		315	—~18	(13.46)	地床炉(北面) 39×29.4	Y.7、新1号と重複して裏塀、炉を残すのみと被覆されている。
Y-7 不規則長方形	637	636	2~15	51.01	地床炉(北面) 50×26.5 中火門、50×26.5 火門、6間、 2間	西側被覆される。
Y-8 滝丸長方形	597	468	14~30	27.56	石田炉(北面) 36×36(6×6)	西側被覆される。
Y-9 滝丸長方形	648	536	—~18	34.26	土器窯炉(北面) 9(中火門) 56×48.6	Y.13号と重複
Y-10 滝丸長方形	710	595	8~30	36.22	石田炉(北面) 43×47.8 火門、6間、 2間	北事コーナーに開口あり、Y.4号を引き。
Y-11 方形	(502)	563 (2~16)	(27.87)	N-8-E	1石田炉(北面) 43×33.5	南西側被覆される。南端と重複、中央を専用にされる。
Y-12 滝丸長方形	(784)	(485) (6~20)	N-37-W	石田炉、北面 火門、88×63.6	Y.13号と重複、南西コーナーに傾きられる。南端2と重複、北西側もさる。M.3号と重複	
Y-13 滝丸長方形	(689)	554 (17~34)	(36.48)	N-21-E	主軸北 4間、 7.1m	Y.12号と重複、中央を専用にされる。
Y-14 滝丸長方形	629	465	15~29	28.62	N-17-W	主軸北 4間、 2間
Y-15 不規則方形	365	370 (8~14)	(12.96)	N-26-E	地盤炉(南面) 中火門、45×35.5	Y.10号と重複、北西コーナーに傾きられる。H.10号と重複、南西コーナーに傾きられる。
Y-16 長方形	560	407 (21~36)	21.50	E-26-S	地盤炉(北面) 55×48×10	新時代 後期
Y-17 長方形	359 (457)	(24~35)	(16.00)	N-27-E	中火門、43×37.7 1石器窯炉(北面) 44×46.9	H.240号と重複、東側コーナーに傾きられる。
Y-18 長方形		(19~36)	—	—	主軸北 1間	T.12号と重複、北壁中央部もさる。H.235・236号と重複、南側もさる。
Y-19 長方形		(22)	(16.38)	E-29-S	地床炉(北面) 中火門、60×55.6	H.238号と重複、東側もさる。

遺構	形	幅	平 地	深さ	面積	主軸方位	炉	ビット	時期	備 考
Y-20	万 形	(418)	568	(5~27)	(20.34) <sup>er</sup>	—	柱穴 4個、 爐	H22住と重複 後	H22住と重複 北東側に開けられる。	
Y-21	方 形		(2~10)	(32.84)	N-12~W	地盤凹(北東24°)1 中央23°×22°1 柱穴 3個、	H16住と重複 南西側に開けられる。	H16住と重複 北東コーナーに開けられる。H161住と重複 H163住と重複		
Y-22	隅丸長方形	383	(353)	(3~9)	(13.28)	N-1~W	地盤凹(北東24°)1 中央23°×22°1 柱穴 4個、 爐	H17住と重複 H173住と重複 P 柱穴 3個、 爐	H17住と重複 南西側に開けられる。	

遺構	形	幅	平 地	深さ	面積	主軸方位	カーブ	ビット	時期	備 考
H-1	—	—	314	(4~11)	—	—	也	1個	平安時代	
H-2	長 方 形	455	358	7~15	16.14	E-8°~S	柱穴 4個、 爐	—	H2住と重複 北壁中央D4に開けられる。	
H-3	方 形	488	505	4~11	24.63	(N-10°~E)	(北壁側のやや 東寄り)	P5 保険	H11住と重複 T3とする。	
H-4	方 形	342	387	—~19	13.08	N-21~E	北壁の西	P5 保険 柱穴 4個、 爐	平安時代	
H-5	方 形	360	356	8~30	13.57	N-26~E	北壁中央	柱穴(奥壁) 3個、 爐 3個、 入口	北壁東側から東壁にアラスあり。	
H-6	方 形	440	426	23~36	18.40	N-42~E	北壁中央	柱穴 4個、 爐 1個	H7住と重複 H8住と重複	
H-7	方 形	345	369	(26~39)	13.55	N-31~E	北壁中央	柱穴(奥壁) 2個、 爐 1個	H6住と重複	
H-8	方 形	358	370	8~20	12.84	N-25~E	北壁のやや東寄 り	柱穴 4個、 爐	H16住と重複 H16住と重複 H16住と重複	
H-9	方 形	440	(431)	31~45	(18.08)	N-30~W	北壁中央	柱穴 3個、 爐	古墳時代 後	
H-10	長 方 形	247	300	12~24	7.47	N-14°~E	北壁の西	柱穴 2個、 爐	奈良時代	
H-11	方 形	570	579	12~30	N-21~E	北壁中央	柱穴 4個、 爐	古墳時代 後		
H-12	方 形	434	430	11~25	18.52	N-46°~W	北壁の東	柱穴 4個、 爐	古墳時代 後	
H-13	( 方 形 )		418	(11~22)	N-45°~E	北壁の東	柱穴 2個、 爐	—	周溝あり。敷火はH14住と重複 P6 保険、その 柱穴 2個、 爐	奈良時代
H-14	—		(441)	(12~20)	N-32°~E	北壁中央	—	—	H13住と重複 H13住と重複	

遺構	形	層	平 面 プ ラ シ	規 模	深さ	面 積	主軸方位	カーブ	ビット	時 期	備 考
H-35	方	形	563	cm	562	2~15	N-40~W	北壁のやや西寄り 6層、厚さ6cm	主柱穴 4個、地 下室穴 1個、厚さ6cm 11) 1層	古墳時代 後期	Ta 4と重複。周溝あり。消失在西。 H 8、H 9位にほとんどきられる。
H-16											
H-17		(565)	—								
H-18	長	方 形	266	377	8~27	10.00	N-35~E	北壁のやや東寄 り 6層、厚さ5cm	主柱穴 4個、地 下室穴 1個	西壁一部に周溝あり。消失在東。南北分土壁により破壊。 H 8と重複。周溝あり。	
H-19	方	形	401	447	4~10	17.88		主柱穴 4個		T 5と重複。カーブ崩壊。	
H-20		—	(546)	—	(1~18)					H 22位と重複 北東コーナーにきられる。西半分土壁により破壊。	
H-21	(	方 形 )	(361)	(379)	(4~17)	(13~46)		主柱穴 2個		H 22位と重複 北側きられる。H 29位にきられる。	
H-22	方	形	491	515	6~28	24.98	N-24~E	北壁のやや西寄 り 6層、厚さ6cm	主柱穴 4個	H 20位・H 21位・H 29位をきる。変化した「カナ」西存する。	
H-23										H 25、H 26位にきられる。	
H-24	方	形	(514)	517	(22~43)	(36.66)		主柱穴 3個		H 25、H 26位にきられる。	
H-25	台	形	(440)	570	(24.70)	N-5~E	北壁中央	主柱穴 4個		H 23位・H 24位をきる。	
H-26	不 壁 方 形	427	474	35~48	20.04	N-35~E	北壁の東 り	主柱穴 4個		H 24位と日暮 北東コーナーにきられる。H 28位と重複。東側きられる。H 29位と重複 西コーナーにきられる。H 30と重複。南西コーナーにきられる。	
H-27	方	形	(691)	(754)	(7~22)	(51.74)		主柱穴 4個 出入口		H 24位と日暮 北東コーナーにきられる。H 28位と重複。東側きられる。H 29位と重複 西コーナーにきられる。H 30と重複。南西コーナーにきられる。	
H-28	方	形	(507)	508	(29~44)	(25.41)	(N-27~E)	北壁中央一部 厚さ	主柱穴 4個 出入口 5~P6 屋根穴 1層	H 24位と日暮 北側きられる。H 27位をきる。P 7付近に板化跡がある。	
H-29	方	形	547	499	19~40	(36.94)	N-13~W	北壁中央	主柱穴 4個、厚 さ2層	H 22位と重複 北西コーナーにきられる。H 27位をきる。南壁出入口間に繋り石状の連絡中 して在る。	
H-30	(	方 形 )	(405)	(406)	32~39	(16.39)		主柱穴 3個		H 31位と重複 北東側きらざる。	
H-31	不 壁 方 形	518	557	29~53	28.58	N-27~E	北壁中央	主柱穴 4個、薄 い層 5~1層		H 30位をきる。	
H-32	方	形	709	689	9~41	(48.05)		主柱穴 4個		H 23位と重複 H 35位と重複 南東コーナーにきられる。	
H-33	長	方 形	528	450	23~47	23.60	N-27~E	北壁中央	主柱穴 4個	H 30位と重複 北東コーナーにきられる。H 32位と重複。	

遺構	形	期	平面	ブ	ラ	ン	主軸方位	カ	ア	フ	ビ	ト	時	期	備	考
H-34	長 方 形	513	623 cm	(21~38) cm	35.36 <sup>er</sup>	N-22°-E	北壁中央	主柱穴 4 個	古墳時代 後	カマド右脇から通路中央に開口あり。						
H-35	長 方 形	446	563	2~35	24.95	N-35-E	北壁のやや左寄 り。	主柱穴 4 個					H32住をさる。			
H-36	方 形	416	417	5~24	17.35	N-13°-E	北壁のやや右寄 り。	主柱穴 4 個、他 1 個、貯藏穴 P 6), P <sub>7</sub> 灰面					南西コーナ付近に横石状の構造物として出土。			
H-37	方 形	354	400	14~30	14.18	N-23°-E	北壁中央	主柱穴 4 個								
H-38	方 形	434	413	(16~20)	17.62	N-16-E	北壁中央	主柱穴 4 個					H39住と重複			
H-39	方 形	413	394	10~20	16.24	N-4°-E	北壁中央	主柱穴 4 個					H38住をさる。出入口部に小施設あり。周溝あり。			
H-40	( 方 形 )	(455)	(452)	7~15	(20.29)			主柱穴 4 個					H41住と重複 北側側きられる。H42住と重複 南側側きられる。			
H-41	長 方 形	282	381	21~37	10.64	N-9°-W	北壁のやや右寄 り。	主柱穴 4 個、他 1 個					H40住をさる。			
H-42	方 形	383	414	20~32	15.74	N	北壁中央	主柱穴 4 個					H40住・H41住をさる。			
H-43	( 長 方 形 )	—	367	15~20				主柱穴 2 個					H44住と重複 東側側きられる。H45住と重複 北側側きられる。			
H-44	不 壁 方 形	287	(387)	(4~20)	(10.91)	N-12°-E	北壁中央	主柱穴 4 個、 貯藏穴 P <sub>5</sub> 1 個					H42住と重複 北東コーナーをさる。H46住と重複 西側側きられる。H48住をさる。			
H-45	方 形	481	568	33~44	26.28	N-29°-E	北壁中央	主柱穴 4 個、他 1 個					H46住と重複			
H-46	長 方 形	460	567	24~34	25.33	N-30°-E	北壁中央	主柱穴 3 個、 他 5 個					H43住・H44住をさる。H45住をさる。東側側きである。			
H-47	方 形	(652)	676	(28~41)	(44.64)			主柱穴 4 個					H48住と重複 北側側きである。H46住と重複 東側一帯をさる。H47住をさる。			
H-48	方 形	437	473	23~41	20.55	N-11°-E	北壁の西寄り	主柱穴 4 個、 貯藏穴 P <sub>5</sub> 1 個					H47住をさる。			
H-49	不 壁 方 形	468	438	(45~53)	21.15	N-45°-E	北壁の東	主柱穴 4 個、 貯藏穴 P <sub>5</sub> 1 個					H20住と重複。			
H-50	( 長 方 形 )	582	507	9~31	29.54	N-34°-E	北壁中央	主柱穴 4 個					H49・H20住に南側側きられる。			
H-51	方 形	482	472	4~17	N-29°-E	北壁中央	主柱穴 4 個、 貯藏穴 P <sub>5</sub> 1 個					喪失住居 残土多量に散在。				
H-52	不 壁 方 形	513	497	13~31	25.42			主柱穴 4 個					H53住・H54住と重複 南側側に散在り石状の構造物として出土。			

遺構	形態	平面	ブリッジ	範囲	深さ	面積	主柱方位		セメント	時間	備考		
							北	南					
H-53 不 垂力形	柱	521	534	cm	27.79	27 <sup>27</sup>	N-9-E	N-9-W	生柱穴 4個	古墳時代後期	H32住をきる。		
H-54 方 形	柱	(766)	(839)	cm	27~24	(63.90)	N-4-E	N-4-W	生柱中央 北壁中央に南北土 の入戸残存	生柱穴 4個	#	H35住と重複 西側をきられる。H37住と重複 東側をきられる。H38住と重複 H32住をきる。	
H-55 不 垂力形	柱	340	395	cm	13.46	13.46	N-5-E	N-5-W	生柱中央	生柱穴 4個	#	H38住・H39住をきる。H38住の北壁一帯をきる。	
H-56 (万形)	(525)	(501)	(315)	cm	(26.09)	(26.09)			補助穴 2個、 桶穴 3個	#	H58住と重複 北東側をきる。		
H-57 方 形	柱	478	526	cm	13~33	24.86	N-9-W	N-9-E	北壁のやや東寄 り	生柱穴 3個、 桶穴(P 4)1個	#	H54住をきる。	
H-58 不 垂力形	柱	582	623	cm	8~28	8~28	N-2-W	N-2-E	北壁中央	生柱穴 4個、 桶穴 1個	#	H55住と重複 北西コーナーをきらされる。H34住・H36住をきる。	
H-59 (不垂長方形)	—	—	(12)	cm	N-22-E	N-22-W	北壁中央	生柱穴 3個、 桶穴 1個	#	H61住と重複 大半をきられる。H62住と重複 南東側をきられる。			
H-60 方 形	柱	503	528	cm	6~26	26.17	N-20-E	N-20-W	北壁のやや東寄 り	生柱穴 4個、 桶穴(P 5)1個	#	H47住・H59住・H60住をきる。H63住と重複 南東側をきられる。北壁・東側に周溝あり。	
H-61 方 形	柱	(739)	(780)	cm	(12~20)	(12~20)	北壁より中央部 に奥戸残存	生柱穴 4個、 桶穴 1個	#	H61住・H65住をきる。			
H-62 方 形	柱	682	692	cm	29~42	46.96	N-26-E	N-26-W	北壁のやや東寄 り	生柱穴 4個、 桶穴 5個	#	H60住と重複 横溝をきられる。H79住と重複 生柱穴少部分出た。	
H-63 不 垂力形	柱	508	547	cm	8~26	8~26	N-6-W	N-6-E	北壁中央	生柱穴 2個、 桶穴 1個	#	H63住と重複 北西コーナーをきられる。H78住と重複 H79住と重複 H65住と重複 H66住と重複 南西側をきられる。H34住・H35住をきらる。	
H-64 (方 形)	(882)	816	(36~41)	cm						生柱穴 4個、 桶穴 1個	#		
H-65 垂 方 形	柱	327	565	cm	(24~40)	N-5-E	N-5-W	N-5-E	北壁のやや東寄 り	生柱穴 3個、 桶穴 2個	#	H64住をきる。H65住と重複 北東コーナー及び横溝を一帯をきられる。	
H-66 ———	—	615	(37~51)	cm	3~22	22.30	N-5-W	N-5-E	北壁の西寄り、 北壁の西寄り	生柱穴 2個、 桶穴(P 3)1個	#	H64住をきる。H66住と重複 北半分土壤。	
H-67 不 垂力形	柱	480	496	cm	10~15	9.89	N-6-E	N-6-W	北壁の西寄り、 北壁の西寄り	生柱穴 4個	#	H65住にきらわれる。	
H-68 方 形	柱	338	385	cm	3~16	12.36	N-6-E	N-6-W	北壁のやや東寄 り	生柱穴 4個	#	H67住をきる。既化材、板上、床面に散在。	
H-69 不 垂力形	柱	599	574	cm	--~18	34.60	N-4-W	N-4-E	北壁の西寄り	生柱穴 4個、 桶穴(P 6)1個、他	#		
H-70 長 方 形	柱	273	370	cm	(10~15)	9.89	N-5-E	N-5-W	北壁の西寄り	生柱穴 4個、 桶穴 3個	#	周溝あり。	
H-71 方 形	柱	510	530	cm	14~25	26.52	N-5-E	N-5-W	北壁中央	生柱穴 4個、 桶穴 1個	#	特異透視 7をきる。P 311主柱穴との透視をつかねる。	

通 番	形	施	平 面	平 面	深さ	面積	三軸方位	カ マ フ	ビ ット	時 期	備 考		
H-72	方	形	365 <sup>cm</sup> (425)	18~28 <sup>cm</sup> (16~33) <sup>cm</sup>	N~2~W	北壁中央	主柱穴 4個 玄関(P 5)1個	主柱穴 4個	主柱穴 4個	古墳時代 後	H73住と重複 北西側をられる。		
H-73	方	形	411	391	14~49	15.97	N~7~E	北壁の奥通り	主柱穴 4個 玄関(P 5)1個	"	H72住をきる。		
H-74	( 方 形 )	-	476	(39~52)				主柱穴 4個	"	H75住と重複 東側をられる。H76住と重複 北西側をられる。			
H-75	方	形	444	443	11~27	19.62	N~3~E	北壁中央	主柱穴 4個	"	H76住と重複 北西コーナーをられる。H74住をきる。P 1は前廊穴を飛ばす。		
H-76	長 方 形	338	483	16~33	16.1	N~12~E	北壁中央	主柱穴 4個 玄 柱穴 3個	主柱穴 4個 玄 柱穴 3個	"	H74住・H75住をきる。		
H-77	( 方 形 )	-	415	(16~23)			N~7~E	北壁中央	主柱穴 3個 玄 柱穴(P 5)1個	"	H63住と重複 西側をられる。H79住と重複 北西側をられる。H73住と重複 東壁北側をられる。H81住と重複 南東側をられる。		
H-78	方	形	880	905	(33~58)		N~6~E	北壁のやや高 り	主柱穴 4個 玄 柱穴 1個	"	H79住と重複 北西側をられる。H69住と重複 東壁北側をられる。H81住と重複 南東側をられる。		
H-79	不 等 方 形	491	522	34~40		N~10~E	北壁のやや高 り	主柱穴 4個 玄 柱穴(P 5)1個	"	H63住・H66住・H77住	H78住をきる。		
H-80	不 等 方 形	490	479	23~40	23.38	(N~15~E)	北壁中央	主柱穴 4個 玄 柱穴(P 5)1個	"	H78住をきる。			
H-81	—	—	(671)	(16~35)		N~10~E	北壁中央	主柱穴 2個	"	H78住をきる。			
H-82	方	形	494	(564)	(4~13)	27.10	(N~20~E)	北壁のやや高 りに一部残存	主柱穴 4個	"	H83住と重複。北東コーナー区域外。		
H-83	( 方 形 )	698	-	(9~23)		N~26~E	北壁のやや高 りに一部残存	主柱穴 4個	"	H82住と重複 底面土上部 40cm×40cmの塊の存在あり。			
H-84	—	—	-	(13~16)			北壁二輪土一部 残存	主柱穴 1個	"	H85住と重複 大半をきられる。			
H-85	—	—	(365)	(7~31)			北壁中央		"	H88住と重複 南半分をきられる。H84住をきる。			
H-86	( 方 形 )	(435)	-	(14~20)		N~5~E	北壁中央	主柱穴 4個	"	H88住と重複 北側をられる。H89住と重複 カメドから裏蓋をきる。H99住と重複			
H-87	( 長 方 形 )	503	-	(18~27)				主柱穴 4個	"	H88住と重複 北側をられる。H86住をきる。			
H-88	方	形	582	562	13~32	32.32	E~9~N	東壁よりやや高 り	主柱穴 4個 玄 柱穴(P 5)1個	"	H87住と重複 南東側をられる。H88住と重複 カメドから裏蓋をきる。		
H-89	( 不 等 方 形 )	(280)	292	(9~16)	8.10	N~37~E	北壁のやや高 り	主柱穴 4個 玄 柱穴(P 5)1個	"	H75住と重複 北西コーナーをられる。H85住をきる。南西コーナーに残り石状の漆無中 して出る。			
H-90	方	形	482	434	18~30	19.68	N~11~E	北壁中央	主柱穴 4個、出 入口設置	1個	"	出入口設置あり。炭化粧瓦。	

遺構	形態	平面		壁構	深さ	面積	主軸方位	アーチ	ドーム	ピット	トランク	時局	備考	
		形	幅											
H-91 方	形	511	479	cm	cm	(25~31)	(24.07)	N-25°-E	北壁のやや高窓 り	主軸穴 4個	古墳時代 後	H22住と重複 にさしかかる。		
H-92		(564)	—	(15~32)				主軸穴 2個			"	H91住をさす。東半分区分界。		
H-93		—	—	(8~27)				主軸穴 1個、 他 1個			"	H94住と重複 北側をきらへる。東半分区分界。		
H-94 ( 方形 )	356	—	(9~28)	(13.25)				主軸穴 4個			"	東壁掘削部北、10m~50m六の塊の集石あり。		
H-95		(634)	(19~25)					前窓穴(P1)1個			"	H96住と重複。		
H-96 不整方形	608	734	(13~26)		N-10°-E	北壁のやや高窓 り	主軸穴 は頂出しきる、田へ 字状(?)、野原 P5)	主軸穴 2個、田へ 字状(?)、野原 P5)	主軸穴 1個	張り出しと重複、南 壁の腰壁出土。	"	H91住、H92住をきらへる。P1~P2に通じて、 出入り施設あり。		
H-97 不整方形	315	368	10~19	11.65	N-6°-W	北壁中央	主軸穴 3個	主軸穴 1個		H96住をさす。北側掘削入り込み。	"			
H-98 方形	306	319	8~27	9.70	N-25°-W	北壁のやや高窓 り	主軸穴 2個	主軸穴 4個			"	西半分土壤によりきられる。		
H-99		462												
H-100 ( 長方形 )		(635)	(18~29)					主軸穴 2個			"	H101住と重複 一帯をきらべる。		
H-101 方	形	442	459	23~33	12.23	N-27°-E	北壁のやや高窓 り	主軸穴 4個			"	H102住と重複 西側をきられる。H100住をささむ。		
H-102 方	形	479	502	9~46	24.38	N-27°-W	北壁中央	主軸穴 2個、P5、P6出入 口	主軸穴 4個	P5、P6出入 口	"	H100住・H101住をささむ。		
H-103 長方形	327	373	23~35	14.40	N-21°-E	北壁のやや高窓 り	主軸穴 2個				"	H100住をさす。		
H-104 ( 方形 )	(748)	739	(14~36)	(54.65)				主軸穴 は頂出しきる、田へ 字状(?)、野原 P5)	主軸穴 2個	主軸穴 1個	"	H105住と重複 北壁をきる。P1~P4の柱根痕。		
H-105 長方形	377	443	12~38	16.58	N-12°-E	北壁中央	主軸穴 4個				"	H100住をさす。		
H-106 長方形	300	453	21~33	13.70	N-6°-W	北壁のやや高 窓	主軸穴 2個、 右斜火(P3)1個				"	Y158住をさす。		
H-107 不整方形	605	565	11~27	33.69	N-16°-E	北壁のやや高窓 り	主軸穴 4個				"	Y158住をさす。10m~60m六の塊の集石あり。		
H-108 方形	518	498	24~38		S-56°-E	南壁のやや高窓 り	主軸穴 2個、地 1個				"	H109住をきらへる。カマドの焼成段あり。 10m~30m六の塊の集石あり。		
H-109 方形	513	533	18~27	27.19	N-31°-E	北壁中央	主軸穴 4個				"	H108住と重複。		

測深	形態	平面ブラン			主柱方位	カーボ	ビット	時期	備考
		cm	cm	cm					
H-10 不整方形	498	548	3~22	27.25 <sup>erf</sup>	N-25-E	北壁中央	主柱穴 4個	古墳時代 後期	H111柱と重複。
H-111 方形	955	(962)	(11~26)	(94.47)	N-9-E	北壁のやや西寄り	主柱穴 4個	n 5,	H111柱と重複。H112柱と重複。東壁一部をきる。H113柱と重複。南壁コナーをきら。
H-112 不整方形	489	495	17~24	24.21	N-13-E	北壁中央	主柱穴 4個	n	H111柱をきる。
H-113 不整方形	246	363	14~21	7.36	N-22-E	北壁中央	主柱穴 4個	n	H111柱をきる。
H-114 方形	35	421	439	28~37	18.39	N-6-W	北壁中央	主柱穴 4個、 斜柱穴(P5)1個	周溝あり。
H-115 圆丸方形	269	(290)	(--26)	(7.77)	N-30-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 2個	n	H116柱・H117柱と重複。西壁一部をきる。
H-116 長方形	36	296	346	19~22	10.40	N-10-E	北壁中央	主柱穴 2個	n
H-117 方形	39	520	543	2~15	28.64	N-10-E	北壁中央	主柱穴 1個、 斜柱穴 1個 出しごとく1個	H118柱をきる。出入口跡あり。
H-118 不整方形	481	483	(14~23)	23.42	E-7-S	東壁中央	主柱穴 4個	n	H119柱と重複。北壁をきら。
H-119 方形	585	(665)	(17~29)	39.36	N-39-E	北壁中央	主柱穴 4個	n	H116柱をきる。H120柱と重複。西壁中央をきら。
H-120 長方形	300	382	25~41	11.03	N-16-E	北壁中央	主柱穴 4個	n	H116柱をきる。15m~40m大的礫の重石あり。
H-121 長方形	236	368	(21~31)	(10.85)	N-16-E	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	n	H120柱と重複。南西コナーをきら。
H-122 方形	39	418	419	19~34	17.36	N-26-E	北壁中央	主柱穴 4個	周溝あり。
H-123 方形	511	543	31~44	27.62	N-16-E	北壁中央	主柱穴 4個、 斜柱穴 2個	n	H121柱・東伏道跡をきる。周溝あり。
H-124	—	—	—	—	—	—	—	n	H122柱と重複。大柱をきら。
H-125 方形	815	798	(30~42)	60.30	N-7-E	北壁中央	主柱穴 4個、 斜柱穴 1個	n	H120柱と重複。北西コナーをきら。H121柱と重複。北東コナーをきら。H124柱と重複をきる。
H-126 (方形)	322	—	(21~27)	(12.70)	N-22-E	北壁中央	主柱穴 2個	n	H121柱と重複。西壁をきら。
H-127 方形	739	750	24~38	55.09	N-18-E	北壁中央	主柱穴 1個、 斜柱穴 1個	n	H120柱をきる。主柱コナーから南壁中央にかけて周溝あり。
H-128 方形	362	361	15~22	12.89	E-2-S	東壁のやや東寄りに一部残存	主柱穴 4個、 斜柱穴 2個	n	H120柱をきる。

連標	形態	平面	ブレ	ゾ	標高	深さ	面積	主軸方位	カーブ	F	ビット	鉛	鉛	備考
H-129 不整方形	272	311 <sup>cm</sup>	15~26 <sup>cm</sup>	8.30 <sup>㎡</sup>	N 65°E	主軸ヨーナー	主軸穴 3個、 柱穴(4個)1個	主軸穴 3個、 柱穴(4個)1個	主軸穴 3個、 柱穴(4個)1個	主軸穴 3個、 柱穴(4個)1個	H125住をさる。	H126住と重複	北東側をられる。	
H-130 (方 形)	(462)	—	(23~28)											柱穴(4個)1個
H-131 (方 形)	(426)	(444)	(17~26)	(18.76)				主軸穴 2個				H132住と重複	北西側をられる。	H130住をさる。
H-132 不整方形	546	519	23~32	28.28	N~35°E	主軸中央	主軸穴 4個					H130住・H131住をさる。		
H-133 万形	369	445	16~33	17.59	N~10°E	北壁中央	主軸穴 4個、 柱穴(6個)1個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 3個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(6個)1個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 3個、 柱穴(5個)1個	H135住と重複	東側に周溝あり。	南半分土堤に散見される。	
H-134	—	537	(40~43)		N~2°E	北壁中央	主軸穴 2個					H134住をさる。	南半分土堤に散見される。	H134住のカマと同位置にあり、2段になつて並ぶ。
H-135 方方形	363	332	20~38	11.89	N~18°E	北壁中央	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個、他	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	H136住と重複			
H-136 圆弧方形	448	443	17~28	19.68	N~10°E	北壁中央	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	H137住と重複			
H-138 長方形	318	412	(8~22)	(13.11)	N~9°E	北壁中央	主軸穴 4個					H139住と重複	南東コーナーをさる。	
H-139 方形	655	645	(28~39)	N~14°E	主軸中央	主軸穴 4個						H138住をさる。		
H-140 方形	440	468	(21~30)	20.68	N~6°E	北壁中央	主軸穴 4個					H141住と重複	南東コーナーをさる。	
H-141 圓弧長方形	613	798	19~26	N~18°E	北壁中央	主軸穴 4個						H140住をさる。	Ta106をさる。	10m~80mの段の黒石あり。
H-142	(485)	—	(21~41)	E~11°S								H143住と重複	南西側をさる。	南半分土堤により被覆。
H-143	—	—	(30~41)	N~35°W	北壁中央	主軸穴 1個						H142住をさる。	南西半分土堤により被覆。	
H-144 (方 形)	—	471	(11~24)	N~5°E	北壁中央	主軸穴 4個、 柱穴 1個								南半分土堤により被覆。
H-145	—	(340)	(8~13)	N~38°E	主軸穴 2個							H146住と重複	南側をさる。	
H-146 方形	519	507	11~22	26.66	N~14°E	北壁中央	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	主軸穴 4個、 柱穴(5個)1個	H145住をさる。			
H-147 方形	393	385	15~24	15.10	N~34°E	北壁中央	主軸穴 4個							

通構形	形態	平面		平面		平面		主軸方位		カーブ		ビート		時期		備考	
		幅	奥	幅	奥	幅	奥	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴	主軸穴
H-148 万	形	263	cm	287	cm	6~17	cm	N-45~E	N-45~W	北壁側に一窓設 置。H-151住と重複。	主軸穴 1個	古墳時代 後					
H-149 万	形	386	403	(~10)	(15~40)	N-5~W		主軸穴 4個 他 1個				"	H-150住をさくる。H-151住と重複。				
H-150 ( 方 形 )	439	465	(11~24)	(20~61)	N-10~E	N-10~W	北壁中央	主軸穴 4個			"	H-149住と重複 大半をさくられる。H-151住と重複 南西コーナーをさくられる。					
H-151 不 壁 方 形	525	484	25~44	25~52	N-9~E	N-9~W	北壁中央	主軸穴 4個 窓置穴(P-1) 1個			"	H-149住・H-150住をさくる。					
H-152 万	形	316	354	15~21	10~98	N	北壁中央	主軸穴 4個			"						
H-153 長 方 形	338	397	16~27	13~23	N-4~W	N-4~W	北壁中央	主軸穴 4個			"	P 11は主軸穴と府窓穴をかねる。					
H-154	-	(637)	(24~37)					主軸穴 2個			"	H-155住と重複 北西側をさくられる。H-154住をさくる。					
H-155 ( 短 方 形 )	(349)	-	(25~38)	(16~72)	N-25~W	N-25~W	北壁の裏寄り 下一部一窓設置	主軸穴 3個			"	H-150住と重複 北西側をさくられる。H-154住をさくる。					
H-156 万	形	380	427	15~38	16~35	N-24~E	N-24~E	北壁や中央寄り	主軸穴 4個 窓置穴(P-5) 1個、他 1個			"	H-154住・H-155住をさくる。				
H-157 長 方 形	316	447	21~28	14~18	N-19~E	N-19~E	北壁の裏寄り	主軸穴 4個			"						
H-158 ( 方 形 )	(438)	-	(23~29)	N-21~E	N-21~E	北壁中央	主軸穴 4個				"	H-160住と重複 実側をさくられる。他穴は削出穴(削出穴)					
H-159 万	形	504	483	(21~31)	(24~51)			主軸穴 4個			"	H-160住と重複 西壁一帯をさくられる。北東コーナー区塗れ。	P 1、P 4の中央より土跡出				
H-160 万	形	581	547	28~43	(31~55)	N-15~E	N-15~E	北壁中央	主軸穴 4個 窓置穴(P-5) 1個			"	Y-21住・H-158住・H-159住をさくる。				
H-161 万	形	710	739	(25~38)	(41~20)	N-24~E	N-24~E	北壁側カーブ一 部一窓設置	主軸穴 4個 窓置穴(P-5) 1個			"	H-156住・H-162住と重複 Y-21住をさくる。周溝あり。出入口施設あり。				
H-162 不 壁 方 形	560	586	(21~33)	33~02	N-28~E	N-3~E	北壁のやや西寄 り	主軸穴 4個 他 1個			"	H-156住と重複 H-161住をさくる。					
H-163 不 壁 方 形	524	581	15~27	30~61	N-3~E	N-3~E	北壁中央	主軸穴 4個 他 1個			"	Y-21住をさくる。出入口施設あり。					
H-164	-	-	(19~24)								"	H-163住・H-166住に大半をさくられる。北東部端外。					
H-165	-	(458)	(17~21)								"	H-166住に大半をさくられる。H-165住をさくる。					
H-166	(342)	(393)	(13~24)					主軸穴 3個			"	H-166住・H-165住の P 1と兼る。P 1はH-165住の P 1と兼る。P 2はH-164住の P 1と兼る。北東部 端外。					

遺構	形態	平面図	寸法	深さ	面積	主導方位	カーブ	F	ビット	時	備考	
											古墳時代 後	北半分区域内。
H-167	長方形	—	(477)	13~24	cm	主柱穴 4個	主柱穴 4個	1	主柱穴 2個	—	—	—
H-168	長方形	367	444	18~26	16.72	N	北壁中央	—	—	—	—	—
H-169	方形	498	414	17~26	N~7°E	北壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	—	—
H-170	方形	568	603	18~26	34.24	E	東壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	—
H-171	(方形)	(378)	383	(19~31)	14.60	E~30°~S	南壁中央	主柱穴 4個	—	H172住と重複 梅東コーナーをきらる。北東コーナーにも確認される。	H172住と重複	—
H-172	不規方形	459	460	(22~34)	(26.95)	E~38°~N	東壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	—
H-173	方形	495	465	9~24	(23.16)	E~22°~N	東壁のやや西寄り	主柱穴 4個	—	H173住と重複。H171住をきる。	H173住と重複	—
H-174	方形	417	428	10~16	17.97	N~10°~W	北壁のやや東寄り	主柱穴 4個	—	Y22住をきる。発表住(P4住)があり。	Y22住をきる。	—
H-175	方形	612	653	(26~35)	40.45	N~22°~E	北壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	H176住と重複 出入口施設あり。
H-176	方形	560	583	(18~29)	(32.46)	N~26°~E	北壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	H175住と重複 H177住と重複 南西コーナーをきられる。
H-177	—	—	(400)	(11~16)	—	—	—	—	—	—	H178住と重複。H179住と重複 大半をきられる。	—
H-178	—	—	—	(15)	—	—	—	—	—	—	H177住と重複。H179住と重複 大半をきられる。	—
H-179	方形	322	459	9~21	14.74	N~9°~W	南壁中央	主柱穴 2個	1	主柱穴 2個	—	H176住・H177住・H178住をきる。
H-180	(方形)	—	(462)	(12~19)	N~25°~E	—	—	—	—	—	—	H179住と重複 北東コーナーをきられる。H180住と重複 西側をきられる。
H-181	方形	432	444	13~22	(19.03)	(N~11°~E)	東壁中央に一部残存	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	H180住をきる。東壁中央付近より造り石状の施設集中して出土。炭化材出土(焼失か?)
H-182	方形	600	542	(17~23)	31.84	N~18°~W	北壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	H183住と重複
H-183	長方形	521	470	11~24	24.22	E~21°~S	東壁中央	主柱穴 4個	1	主柱穴 4個	—	H182住と重複。
H-184	—	—	(462)	(30~38)	N~10°~W	北壁中央	主柱穴 2個	—	—	—	—	南半分上層により破壊。
H-185	—	—	643	(14~18)	—	—	—	主柱穴 4個	—	—	—	梅東住と重複 北西コーナーをきらる。H182住と重複 施設跡をきらる。南側土壁で破壊。

通構	形態	平面	断面	深さ	面積	主柱方位	ガマド	ビット	時間	備考
H-166	方	形	616	668	4~12	cm <sup>2</sup>	N	北壁中央 支柱穴 4個 柱頭穴(P5)1個	H186年と重複 古墳時代 後	
H-187	方	—	(431)	(17~23)	N-5°E	北壁中央 支柱穴 4個 柱頭穴(P5)1個	H186年をきる。 南半分土崩により破壊。	"		
H-188	方	形	380	440	6~20	16.44	N-30°~E	北壁中央 支柱穴 4個	"	
H-189	方	形	513	625	20~34	N-17°~E	北壁中央 支柱穴 4個	"		
H-190	方	形	567	572	27~43	32.21	N-21°~E	北壁のやや裏寄 支柱穴 4個 柱頭穴(P5)1個	開溝あり。永久注泥。隧道2つあり。作りかえか?	
H-191	—	—	(537)	(22~33)	"	支柱穴 2個	"	北半分土崩外。		
H-192	方	形	613	603	19~30	36.44	N-8°E	北壁中央 支柱穴 4個、防護 (P5)5個、瓦頭 (P6)5個	南西コーナーに覆石状の壇壝中にして出土。	
H-193	方	形	503	482	20~40	23.96	N-30°~E	北壁中央 支柱穴 4個	"	北壁東側にテラスあり。
H-194	方	形	(654)	697	(11~38)	(45.69)	N-20°~E	北壁の脇寄り 支柱穴 5個	H197年・H198年と重複 南壁一部剥きられる。	
H-195	方	形	402	422	17~31	17.61	N-8°E	北壁中央 支柱穴 5個	"	南東コーナー墨立柱に生きられる。南東コーナーに一部剥きあり。
H-196	—	—	(27~40)	N-38°~E	北壁 支柱穴 1個	"	H197年と重複 東半分土壠により破壊。			
H-197	(長方形)	604	639	11~39	"	"	"	H197年と重複 北西コーナー生きる。H196年をきる。		
H-198	方	形	602	627	11~39	37.29	(東壁中央)	支柱穴 4個、 柱頭穴 1個	H197年と重複で壇壝な点多い。 H196年をきる。	
H-199	不整方形	423	(405)	(19~39)	(16.92)	N-40°~E	北壁中央 支柱穴 4個 柱頭穴(P5)1個	H196年と重複 北西剥きられる。		
H-200	不整方形	473	525	25~43	N-35°~E	北壁中央 支柱穴 2個	H196年をきる。			
H-201	不整方形	466	509	6~15	24.37	N-31°~E	北東コーナー- 支柱穴 4個	H346年とH469年をきる。A地区2に位置する。		
H-202	方	形	509	489	8~29	24.91	N-49°~E	北壁中央 支柱穴 4個 柱頭穴(P5)1個	開溝あり。H202年と重複。北東コーナーを生きる。殿内村方面に少量出土。	
H-203	方	形	460	493	13~22	22.4	N-6°~E	北壁中央 支柱穴 4個	H203年と重複。炭化材の出土あり。	
H-204	不整方形	—	(471)	(13~25)	(21.63)	"	支柱穴 4個、防護 瓦頭穴(P5)1個、他 1個	南西コーナー生きる。H205年と重複。北側剥きられる。南西コーナーに通り石灰の壇壝中し て出土。		

連構	形	縦	横	深さ	テラ	主軸方位	カーマ	ド	ビ	ト	時	期	備	考
H-205	力	形	373	cm	414	15~30	15~40 <sup>cm</sup>	N-5~W	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個	古墳時代 後	北西コーナーにテラスあり。H204吐をきる。		
H-206	長	方	形	343	454	12~33	15~22	N-29~E	北壁の東寄り	主柱穴 <sup>4個</sup>	"	"		
H-207	隅丸	方	形	304	327	48~57	9~76	N-33~W	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup>	"	同上あり。櫛溝痕跡のまま出土(トングル穴)		
H-208	方	形	477	519	15~22	24~61	N-25~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup>	"	"	同上あり。		
H-209		—	—	364	(22~33)	—			北壁側土塊にエリ破壊、周溝あり。					
H-210	方	形	436	452	17~32	19~47	N-27~W	北壁の西寄り	主柱穴 <sup>4個</sup>	"	"	既失注記。カバードの支脚は左側支脚である。		
H-211	(方形)	467	—	(21~41)	(24~57)	N-11~E	N-11~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個	"	H212吐・H213吐・H214吐と重複	H213吐に點綴書きられる。		
H-212	長	方	形	430	613	19~30	26~62		東壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup>	"	周溝あり。H211吐をきる。		
H-213	方	形	472	471	(26~44)	(22~43)	N-18~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個、他 1個	"	"	周溝あり。H211吐をきる。		
H-214	方	形	443	458	4~20	20~87	N-26~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個	"	H211吐をきる。			
H-215		—	—	(26~34)	—				主柱穴 <sup>1個</sup> 、 竪窓穴(P5)1個、他 1個	"	H210吐と重複	自然倒壊寸のみで、ほとんど破壊される。		
H-216	方	形	420	473	23~35	20~56	N-9~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個、他 1個	"	H210吐をきる。			
H-217	万	形	390	375	24~42	14~58	E-8~S	東壁の南寄り	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個、他 3個	"	H210吐と重複			
H-218	長	力	形	(695)	617	(21~40)	(43~65)			主柱穴 <sup>4個</sup> 、出入口部より出しひょと 1個	"	出入口部あり。無久住原、H219吐と重複		
H-219	方	形	367	419	14~37	15~49	N-7~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個	"	H210吐をきる。			
H-220	方	形	925	937	(21~33)	85~20	N	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 、竪窓 穴(P5)1個	"	H220吐と重複			
H-221	不整	力	形	334	299	21~33	9~92	E-3~S	東壁中央	主柱穴 <sup>1個</sup>	"	H220吐と重複。		
H-222	方	形	449	516	21~37	25~81	N-6~E	北壁中央	主柱穴 <sup>4個</sup> 竪窓穴(P5)1個	"	Y20吐をきる。			
H-223	万	形	763	771	(16~38)	58~82	N-3~W	北壁のやや東寄り	主柱穴 <sup>1個</sup> 、当入 口部より出しひょと 1個	"	同上あり。出入口部あり。H224吐と重複。	P付近に繩引石が数ヶ量出土。		

遺構	形態	平面	ブランク	主軸方位	北→南	時期	備考
H-224	方	形	390	420	13~23 cm	11~16 cm <sup>2</sup> (N-13~W)	北壁の東寄り 主柱穴 4個 主柱穴 3個、斜鏡 穴(P4) 1個、他 穴(P5) 1個、他 穴(P6) 1個、他
H-225	方	形	354	326	15~22	12.70	N-18~W 北壁中央 主柱穴 3個、 他 3個、 穴(P3) 1個、他 穴(P4) 1個、他
H-226	方	形	(446)	(408)	(--11)	(17.16)	S-91~E 南壁中央 主柱穴 2個、斜鏡 穴(P3) 1個、他 穴(P4) 1個、他
H-227	方	形	578	576	11~36	(33.18)	E-35~S 東壁のやや中央 主柱穴 5個、 斜鏡穴(P6) 1個
H-228	不整	方	357	340	21~28	11.96	E-13~N 東壁中央 主柱穴 1個
H-229	方	形	428	426	13~22	18.27	N 北壁中央 主柱穴 4個
H-230	方	形	527	515	30~53	26.88	N-9~W 北壁中央 主柱穴 5個、 斜鏡穴(P6) 1個
H-231	方	形	719	738	(32~46)	53.36	N-14~W 北壁中央 主柱穴 4個
H-232	長	方	364	447	14~27	16.11	N-35~E 北壁中央 主柱穴 4個
H-233							
H-234	不整	方	298	259	7~13	7.69	主柱穴 4個、 他 2個
H-235	(不整)	方	(518)	(17~32)	(36.64)		主柱穴 2個
H-236	方	形	676	675	(28~37)	41.52	N-15~E 東壁中央 主柱穴 4個、斜鏡 穴(P5) 1個、他 穴(P6) 1個、深窓
H-237	長	方	307	410	24~35	12.70	N-3~E 北壁中央 主柱穴 4個、斜鏡 穴(P5) 1個、他 穴(P6) 1個
H-238	方	形	592	660	25~39	39.10	N-28~E 北壁中央 主柱穴 4個、斜鏡 穴(P5) 1個、深窓
H-239	方	形	531	547	(2~20)	28.96	N-31~E 北壁中央 主柱穴 4個、 他 5個
H-240	方	形	396	330	7~29	9.77	N-40~E 北壁中央 主柱穴 4個
H-241	方	形	260	399	8~14	8.18	N-9~E 北壁中央 主柱穴 3個、 他 1個
H-242			--	--	(--15)	--	

遺構	形	面	平 面 シ ル	裏 模	深さ cm	裏 質	主柱方位	カーブ 度	ビット ト	時 期	備 考		
											古墳時代 後	古墳時代 後	
H-243	方	形	544	579	31.43 <sup>er</sup>	N-21'-E	北墻中央	主柱穴 4個、方磚 穴(P6)1個、他 2個	+	H242住と重複、南壁突起に並んで石状の塊集中して出土。			
H-244	方	形	422	439	15~35	18.33	N-10'-W	北墻中央	主柱穴 4個、方磚 穴(P5)1個	+	東壁・北壁西側から西側に周溝あり。		
H-245	不 整	方 形	467	452	17~32	26.83	N-7'-W	北墻中央	主柱穴 4個、方磚 穴(P5)1個、他 2個	+	東壁にもカマドあり、作りかえか?		
H-246		(385)	—	(14~29)	—	—	北壁に突出し一 段厚	主柱穴(2個)	+	H247住と重複、北西側をられる。H248住と重複、西側をられる。			
H-247		(397)	—	(12~33)	—	E	東壁中央	主柱穴(2個)	+	H246住・H248住と重複、H248住に西側をられる。			
H-248	方	形	661	704	(45~96)	N-12'-E	北墻中央	主柱穴 4個、他 1個	+	H246住・H247住と重複、北西コーナー土壤により破壊。壁面2つあり、作りかえか?			
H-249	方	形	581	539	7~27	31.13	N-27'-E	北墻中央	主柱穴 4個、他 2個	+	東壁に突出し一 段厚にカマドせらしき肥土既存。		
H-250		—	630	(2~16)	—	—	—	主柱穴 3個、他 2個	+	南壁に周溝あり。H251住と重複、北側土堀により破壊。			
H-251	(方 形)	(625)	(566)	(21~42)	—	E-33'-N	東壁中央	主柱穴 3個 防護穴(P4)1個	+	H250住と重複、北側土堀により破壊。			
H-252		—	(598)	(21~28)	—	—	—	主柱穴 3個	+	H253住と重複、北西側をられる。周溝削除外。			
H-253	長	方 形	385	532	23~41	20.52	N-23'-E	北墻中央	主柱穴 4個、他 3個	+	H252住と重複。		
H-254	方	形	451	483	(20~36)	21.92	N-15'-E	北墻中央	主柱穴 4個	+	H253住と重複。		
H-255	方	形	313	369	—~22	11.76	N	北墻中央	主柱穴 4個	+	H254住と重複。		
H-256	方	形	260	295	8~14	7.61	W-6'-N	西壁中央・軒 脊	1個	平安時代 後	古墳時代 後		
H-257	長	方 形	335	533	20~33	17.83	E-20'-N	東壁中央	主柱穴 4個、方磚 穴(P5)1個、他 2個	+	柱穴検出されず。Hollと重複、壁面をられる。		
H-258	方	形	1,160	1,002	(1~37)	(115.60)	N-9'-E	北墻中央	主柱穴 4個、方磚 穴(P5)1個、他 2個	+	H259住と重複、本造営の大住留社。		
H-259	方	形	448	437	17~27	20.89	N-42'-W	北墻中央	主柱穴 4個、方磚 穴(P5)1個、他 2個	+	H258住と重複、砂礫の詰め込み床面に多量。		
H-260	長	方 形	265	386	(7~15)	(8.36)	北壁のやや西側 より	主柱穴 2個、他 1個	+	軒先造営になるか?			
H-261		—	(417)	(14~30)	—	N-35'-E	北墻中央	主柱穴 2個 防護穴(P3)1個	+	H252住と重複、H264住と重複。			

道 槽	形	施	干	面	ア	タ	ノ	王輪方位	カ	マ	ド	ヒ	ツ	ト	時 期	備 考
H-262 方	形	482	497	cm	(18-28)	(23-60)	cm <sup>2</sup>	N-29-W	北壁中央	主柱穴 4個、 脇柱穴 1個	古墳時代 後	H263住と重複	北西コート一きられ5、P3付近より炭化材少量出土。			
H-263 方	形	650	668	cm	(23-47)	43.35	cm <sup>2</sup>			主柱穴 4個、 他 1個	"	P11号櫛立柱・H265住と重複。				
H-264 方	形	810	809	cm	(23-38)	64.56	cm <sup>2</sup>	N-17-E	北壁中央	主柱穴 4個	"	H263住櫛立柱・H265住と重複。H261住・H265住をきる。西壁中央付近より織り石状の遺	少出土。			
H-265 (「方 形」) —	(460)	(6-18)	—	(28-94)	(4-15)	(28-94)	cm <sup>2</sup>	N-7-E	北壁中央	主柱穴 4個	"	H267住と重複	北側きられる。			
H-266 不 方 形 (533)	(540)	722	599	cm	24-36	33.89	cm <sup>2</sup>	N-31-E	北壁中央	主柱穴 4個、 脇柱穴 1個	"	H267住と重複	北西きられる。			
H-267 方 形	形	573	599	cm	(5-12)	(28-61)	cm <sup>2</sup>	N-25-E	北壁中央	主柱穴 3個、 他 2個	"	P3・P4はH265住 P2・P1をかきぐる。H265住・H266住をきる。H265住と重複。				
H-268 長 方 形	形	576	562	cm	(10-15)	—	cm <sup>2</sup>	N-13-E	北壁中央	主柱穴 4個	"	D39号・D40号と重複	D40号に南側一端きられる。H268住と重複。			
H-269 方 形	形	692	692	cm	14-35	48.52	cm <sup>2</sup>	N-8-E	北壁中央	主柱穴 4個	"	H269号・H270号櫛立柱と重複。				
H-270	(485)	—	(10-15)	—	(10-15)	—	cm <sup>2</sup>				"	H271住と重複	西側半周をきられる。			
H-271 (「方 形」) —	(654)	(29-48)	—	(25-73)	(5-18)	(25-73)	cm <sup>2</sup>	N-14-E	北壁中央	主柱穴 4個	"	T 8号にきられる。H270住をきる。南端部区端外。				
H-272	—	(500)	(22-33)	—	(77-65)	(22-49)	cm <sup>2</sup>	N-16-E	北壁中央	主柱穴 3個、 脇柱穴 1個	"	柱穴地出されず。南半分区端外。				
H-273 方	形	899	896	cm	—	77.05	cm <sup>2</sup>	N-16-E	北壁中央	主柱穴 3個、 脇柱穴 1個	"	T 10号をきる。南端あり。				
H-274 方	形	572	458	cm	(5-18)	(25-73)	cm <sup>2</sup>			主柱穴 3個	"	H275号と重複。住跡は中央部に2 m × 2.5mの複数あり。特殊な構造か。				
H-275 方	形	412	428	cm	22-26	17.44	cm <sup>2</sup>	N-37-E	北壁中央	主柱穴 3個、 脇柱穴 1個	"	古墳時代 後	周溝あり。炭化材出土。			
H-276 長 方 形	形	335	427	cm	11-19	14.25	cm <sup>2</sup>	E-15-S	東壁中央-腰土 の小段仔	主柱穴 4個	"	H277号と重複。				
H-277 方	形	382	406	cm	21-33	15.43	cm <sup>2</sup>	N-43-E	北壁中央	主柱穴 4個、 他 1個	"	古墳時代 後	周溝あり。炭化材出土。			
H-278 長 方 形	形	330	403	cm	15-22	28.80	cm <sup>2</sup>	N-3-E	北壁中央-腰土	主柱穴 4個	"	H279号と重複。	腰失住居 炭化材あり。			
H-279 方	形	487	554	cm	18-27	26.2	cm <sup>2</sup>	W-27-N	西壁中央	主柱穴 4個	"	H280号と重複。				
H-280 長 方 形	形	361	412	cm	9-34	14.72	cm <sup>2</sup>	N	北壁中央-腰土 の小段仔	主柱穴 4個	"					

遺構	形	面	平面	深さ	面積	主軸方位	カーブ	F	ビート	時期	備考
H-281 不	壁	形	cm	25~39	16.53 <sup>2</sup>	内部カット	側外ビット	1個	古墳時代後	考慮アラーン層を側面に行なったが現状の状態であった。前斜行に繋り石状の遺構中1.	
H-282 長	方	形	433	526	23~41	23.02	N-7-E	北壁中央	主柱穴、4個、 出入口施設1個。	"	周囲あり。
H-283 方	形	669	655	27~43	39.81	N-40-E	北壁中央	主柱穴(P5)1個、 支柱穴(P6)1個	"		
H-284 方	形	609	576	23~40	35.54	N-11-E	北壁中央	主柱穴、4個	"		
H-285 方	形	202	223	25~34	9.28	E-15-S	裏壁のやや高窓	主柱穴 1個、 1個	"		
H-286 不	壁	方	611	641	13~33	38.66	N-3-E	北壁中央	主柱穴 1個	"	Hollow柱立地と重複。
H-287 不	壁	方	437	458	12~26	20.26	N-2-E	北壁のやや東寄	主柱穴 1個	"	A地区2
H-288 方	形	421	437	(18~27)	18.11	W-6-S	西壁のやや高窓	主柱穴(P5)1個、 支柱穴(P6)1個	"	H26柱をさる。	

## VI まとめ

### 1 弥生時代の遺構について

穂村遺跡からは弥生時代中期（栗林式比定）5軒、後期17軒の堅穴住居址と環濠と考えられる溝2基、その他の溝3基が検出された。本編では、遺物は検討できないため、遺跡の分布及び住居址の形態について簡単に触れてみたい。

穂村遺跡は滑津川の支流内山川の北岸にあり、西側を流れる千曲川からは一段上った複合扇状地の微高地上に位置している。内山川流域における弥生時代遺跡は、本遺跡の他には上の台遺跡において弥生時代後期（吉田式比定）の住居址が2<sup>(1)</sup>軒検出されている他、後家山・中屋敷・館ヶ沢・初谷遺跡等が詳細分布調査によって確認されている。但し館ヶ沢、初谷遺跡は極めて奥深い山間部の斜面上にあるため、大規模集落址が存在する可能性は薄く、内山川流域における弥生時代遺跡の主体部は、穂村・平賀中屋敷遺跡の存在する複合扇状地上（当流域では最も広い平坦面を有する）に限られてくる。またこの扇状地の南東部は切立った崖になっており、その眼下は大規模な低地帯が広がり、往時の生産地帯の存在も想起させる。従って、穂村遺跡の場合当流域では弥生時代遺跡の立地としては最も良好な条件にあったと言えよう。

次に住居址の分布状態について触れておきたい。前述の如く、当流域における弥生時代遺跡の調査は、上の台遺跡一例のみであり、他の流域においても中期後半（栗林式比定）、後期前半（吉田式比定）の調査例は増加しているものの、その内容についての明確な資料化がなされていないため、相互の比較・検討は成し難い。従って、ここでは、本遺跡内におけるあり方のみを列挙するに留めた。

本遺跡内で弥生時代の住居址は微高地の最東端に14軒、中央部に散漫に3軒、西側に5軒が分布している。このうち、最も住居址が集中する最東端の微高地では、中期と後期の住居址が共存することと、本遺跡内で最大な軒数を誇る古墳時代後期の住居址が全く存在しないことは注目される。特に後者の問題は、弥生時代と古墳時代の集落構成及び生活様式の違いを明確に表わすものと考えられ、遺物編では更に詳細な分析が必要となろう。

住居址の形態は、中期の場合一辺が3~4mと概して小型であり、形態は方形、隅丸長方形、隅丸方形や円形に近いものなどもあり、バラエティーに富む傾向にある。柱穴はY1・4号住居址は整然と配された主柱穴が4本検出されているが、他の住居址はやや不明確といえる。炉址は、住居址の中央かそのやや西寄りに存在し、地床炉を基本とするが、Y3号住居址は、南側に炉縁石を一個有する。後期の住居址は、中期後半に比べると概して大型化し、平面形態も隅丸長方形・方形に定形化されるようであり、隅丸長方形の住居址は大型、隅丸方形・方形の住居址は小型のものが多い傾向にある。隅丸長方形の場合の規模は長軸で560~837cm、短軸で407~636cmを測り、隅丸方形、方形の場合は一辺350cm前後~550cm前後の規模を有する。ピットは主柱穴が整然と4本配されるY8・9・10・14・16・22号住居址、6本配されるY7号住居址と整然と配置されない例が認められる。また、棟持柱と考えられるものはY7・8・9・10・19・22号住居址で認められ、いずれも長軸線上の入り口施設・主炉の存在する位置の反対に配置されている。入り口施設に隣接するピットは、Y7・8・9等で検出された。その他、貯蔵穴を有する例もある。最後に炉址について触れておきたい。炉址は、Y6・7・14・16・19・21・22が地床炉、Y10・11が炉縁石を有する地床炉、Y17が土器敷炉、Y9が炉縁石を有する土器敷炉、Y8・11・12が「コ」の字、あるいは「ノ」型の石囲い炉で、その形態はバラエティーに富む。構築位置も住居址の主柱穴P<sub>1</sub>・P<sub>2</sub>の2点を結んだ線上の中央か、やや住居址の中央寄りに認められる例が多い。尚、Y11は本遺跡内では唯一の復炉が認められている。

以上、本稿では総合的な検討ができず、事実記載の羅列に留まった。内山川の流域で弥生時代遺跡の本格的な

調査が行われたのは初めてであり、今後、今回のような調査は行われないかもしれない。その意味でも種村遺跡の弥生時代資料は、佐久平の弥生時代研究史上でも極めて重要な位置を占めるものと思われ、遺物編では更に多角的に検討を加えたいと考えている。

- (1) 佐久市教育委員会 1984 『上の台』  
(2) タ 1984 『佐久市遺跡詳細分布調査報告書』

(小山 岳夫)

## 2 種村遺跡における集落の在り方

### 1) 古墳時代後期

本遺跡調査は、第1回種村遺跡地形図及び発掘区設定図に図示してあるように、圓場整備対象区全域にくまなく試掘トレンチを入れ、遺跡の広がりを詳細に把握した。結果、検出遺構は莫大な数にのぼり、期間、予算等の切迫した条件に悩まされながらも、調査団一丸となって協力し合い、その全てを発掘調査することができた。

こうした努力により古墳時代後期の大集落ともいいくらいの全体像が見事に顕現し、佐久平の歴史を解明する大きな指標を得たことはいうまでもない。しかし、整理作業期間の制約により、出土遺物の整理が終了しない段階で本報告書を作成した為、集落構造とその変遷、住居およびカマド形態等の分析は充分な検討には至らず、一応予察としての大略的検討となってしまった。遺物整理が終了し、遺物編の発刊時点できらに再検討し、より明確な分析と詳細な区分を試みる所存である。

該期集落の分析は、出土土器が鬼高峰期であることから、住居址相互の重複関係を基点にして考察した。その結果、時間的推移は一応、I期・II期・III期・いざれかに属するの4グループに区分することができた。しかし、この区分けはあくまでも住居址相互の重複に限定した大別であり、土器分析によってさらに数期に細分できるることは明白であるが、先は不充分ながら第一段階としての具体的検討に入りたい。

I期(初原期) 全体の集落は、約40,000m<sup>2</sup>の範囲にわたって、東西に細長く展開している。現在住宅が存在する地区を除いてはぼんやりとした全貌が顕現していると考えられる。I期は、本遺跡に初めて古墳時代の集落が形成された初原期である。にもかかわらずかなりまとまったムラが構成されている。居住地区は、東西両端に空白地帯が多少みられるが、全域に拡散しているといえる。古墳時代後期の住居址273棟の内、該期に属すると判断される住居は77棟を数え、全体の28.2%を占める。これ等住居址の内訳は、H21・23・27・34・40・43・47・52・56・59・60・63・64・74・78・84・86・93・94・95・100・110・118・124・126・130・150・154・158・161・164・171・175・180・194・196・211・220・226・246が最も古いと推察され、若干新しくなるか、あるいはII期からの出現に属すると考えられるグループは、H30・32・38・67・72・82・104・108・115・121・134・138・140・142・145・177・185・199・202・204・215・218・223・235・242・251・252・254・258・261・262・263・265・266・270・281・288の計37棟を数える。

住居址の特徴は大形が多く、和泉期からの系譜であると考えられる。A地区Iには、H27・32・64・78と4棟の大形住居址が存在し、H64・78は重複する接点に接近していることから、I期の前・後に細分されることが推測される。これ等4棟は重複がはげしく、カマド等は破壊消滅が著しい。全体にこの地区はおびただしい重複状態を示し、I期もかなりこみ合っている。また、E地区Iは入口施設およびそれに共なる張出しピットを有す、H104・161・194の3棟が存在し、一辺650~750cmを測る大形住居址である。これ等の住居と共に24棟の中形および小形住居址が、間隔的に均一距離を保ちながら分散している。更にE地区2・3は共に超大形H220・258が存在し、特にH220の前後には、入口施設に付随する張出しピットを有した、H218・223の大形住居址が前後に配列している。本地区も一部分こみ合いで見られ、やはり前・後に細分される状態があらわれている。

以上I期のムラを概観してきたが、初原期としてはかなり大きな力を有した氏族の首長が存在しムラを統率し

ていたものと推察され、周辺北東山間部の丘陵に群をなしている古墳群と関わりがより密接に関連してくるもの想定される。

II期（最盛期） II期は棟数も91棟と増加し、全体の33.3%を占める。ムラの範囲もやや拡大はするものの、大概I期と変化のない同一の占地内で集落を営んでいる。

II期と判断される住居址は、H20・24・25・28・29・31・39・41・44・45・48・49・53・54・58・61・65・66・75・77・80・85・87・90・91・96・101・103・111・119・125・127・131・149・155・159・162・165・172・176・178・182・195・197・213・214・222・227・235・247の計52棟があげられる。さらに、H33・35・68・73・81・83・105・109・116・117・122・123・135・139・141・146・163・174・181・186・187・200・203・205・216・219・224・232・238・243・250・253・255・259・264・267・268・271・272・282の計39棟が、同一時期あるいは若干新しくなる住居址と考えられる。

II期は重複が一段とほげしく、住居間隔も狭く、切合い関係から前・中・後と3期の細分が読みとれ、時間的にもII期は長い期間の集落であったと考えられる。住居もI期と継続して大型の傾向が強く、955×962cmを測るH111の超大形と7×8mを測る、H54・61・96・119・125・127・141・264の大形住居をはじめ、4~5mを測る中形住居が大半を占める。人口が増加し集落の安定化が推察される。

III期（終末期） III期に入ると、住居は減少し、集落も中央に縮小した占地の状態を示している。住居間隔もやや平均的に分散したほど良い調和を保っている。また、規模は小型化する傾向が顕著である。III期に位置付けられる住居址は、H22・25・42・46・55・57・62・76・79・88・89・92・97・102・112・113・120・128・129・132・151・156・160・166・173・179・183・198・201・212・221・228の計33棟を数え、全体の12%を占める。H62・198・248住居址が600~700cmを測り、III期最大級の住居址である。400~500cmを測る住居址は51.5%で大半を占め、200~300cmを測る超小型住居址は30%にあたる。こうした小型化傾向は次の奈良時代に入ても継続される。これ等の要因は、社会構造の変化に起因することが第一に浮びあがる。III期は7世紀にあたると考えられることから、大化の改新により中央集権化が一層強まり、新しい国家機構の変革期となる。農民には口分田が与えられ、収奪の開始と階級制度が確立された。さらに大陸の政治体制を模倣した律令制度は、庶民の家族生活の中にまで及んだ。「男女の法」として新しい家族法が制定され、母系家族から父系家族へのきりかえが法的に強制された。こうした変革はIII期の住居形態および集落の変化により、権威遺跡のムラにまでおし寄せていたことが推察される。

## 2) 奈良時代

奈良時代の住居址は、A地区1から7棟検出された。集落の立地は、古墳時代後期のムラ中心部よりはずれた最西端寄りに存在し、先行していた古墳時代後期住居址とは、4棟重複するのみで、新たな地点に居住地を形成し始めたことが理解される。しかし、地形的な面からみて微高地状の段丘縁辺部に所在していることから、比較的小さな集落を営んでいたものと思われる。

また、水田開発も拡大し、本遺跡西側を北流する滑津川添いの低地（自然堤防）を避け、本遺跡中心部から北西にかかる微高地に大規模な条里制の定着が確立されたものと推考される。

出土遺物は各住居址とも極めて微少で、須恵器坏、同高台付坏片、同甕片、土師器坏片、同甕片等がみられるのみである。また、H6号と重複関係にあるH7号は、須恵器片20点（格子叩目を有す甕破片、坏口部3点）の出土のみで、土師器は覆土中ではもとより生活面に至っても一点の出土もみられなかった。尚、器厚の薄い土師器甕形土器（胴部縦位のヘラケズリ、底部ヘラケズリが施されている調整）から、本遺跡奈良時代の集落は、平安時代に比較的近い時期に比定される。

## 3) 平安時代

該期の遺構は、住居址7棟、Ta5・Ta6堅穴状遺構、T8・T9・T10特殊遺構、掘立柱建物址19棟が検出さ

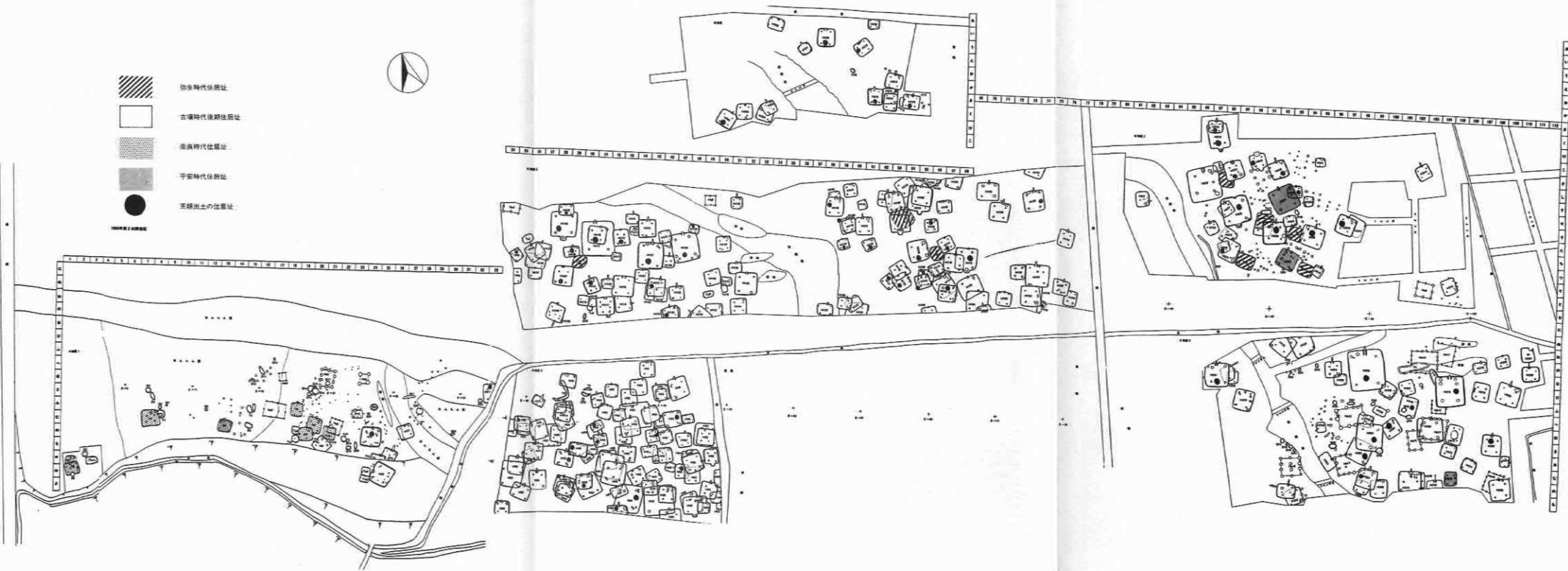


図1 稲村遺跡時代別集落構成図

れた。遺構は、調査区東西側、左右に分れた状態で分布しており、最西端南側の微高地段丘縁辺部A地区1には、3棟の住居址、2棟の竪穴状遺構、小規模掘立柱建物址2、中規模掘立柱建物址3が存在する。掘立柱建物址が存在する北側は、試掘の結果遺構が認められなかったこと、段丘縁辺部のため南側への広がりは微少であると判断される。

また、調査区東側E地区2・3地点には、住居址5棟、比較的規模の大きい掘立柱建物址No.9～No.19、礎石および石組大形カマドを有するT8およびT9・T10特殊遺構が存在する。以上の遺構の存在から本地区は南側への展開が予測され、該郷の集落は現在の穂村地区住宅地とはば重なり合っていることが想定される。第II章考古学的環境の中で前述したように、平安時代の遺跡は弥生時代から連続して営まれた遺跡立地とは別に、小規模ではあるが新たに6遺跡が加わり、大きく分散している。生産の場の拡大が起因しているものと推測される。

I・II・III期いずれかに属する住居址 本分類に属する住居址は単独で存在するため、詳細な土器分類が完成されていない現段階においては、早計な判断は避けなければならない関係から保留とした。これらの住居址は計72棟を数え全体の26.3%を占める。各地区共に小型～やや小型の住居が比較的多く、II期～III期に属するものが多いかと推定される。現在の穂村・後家・荒神地区を含めた西耕地の戸数は130戸を数える。この、いずれかに属する住居社群の約半数(36棟)をII期に加えたならば、計127戸となりほぼ同戸数の集落がすでに古墳時代後期に実在したことになる。「貴窮問答歌」の家族構成を基準として計算した場合人口は約700～800人が推計される。しかし、これはあくまでII期の全体数値であって、さらに3期に細分される可能性があることから、集落の最大構成人口は、200～300人が数えられる。

以上、簡単ではあるが穂村遺跡における集落の変遷について概観してきた。古墳時代後期大集落として、画期的な展開が40,000m<sup>2</sup>の設定された区域内において実在している。ムラの構造、生活様式等、多様な古代史解明の鍵が遺構、遺物の中に残されており、穂村遺跡は多くの問題点、貴重な資料を提供する重要な遺跡となった。遺物編の中では可能な限り、これ等の諸問題を再検討し、解明していくことを考える。次に住居形態の様相を追ってみたい。

### 3 穂村遺跡にみられる住居址形態

#### 1) 古墳時代後期

I期 付図2にI期の住居址16棟を示した。I期の住居址規模は全時期を通じて最大の規模を測る大型住居址が多い。1、H258号は(11.6×10.02m、115.6m<sup>2</sup>)を測り、長野県下において最大を誇る住居址である。過去において最高を計測していた、平出遺跡第11号住居址(11.5×10.0m)を10cm上まわっている。カマドは北壁中央に位置し、主柱穴4個は規則的な配列を示している。施設としては、カマド左脇に貯蔵穴を有す。2、H220号は(9.2×9.3m、85.20m<sup>2</sup>)を測り、主柱穴4個、貯蔵穴2個を有す。カマドは北壁中央に存在し、周辺より多量の土器が散乱して出土した。

4～7は、出入口施設およびそれに共なる張出しピットを有す住居址である。カマドは北壁中央に位置するが、H104、H218は、新しい住居に破壊されて消滅している。主柱穴は各コーナー寄りに規則的な配列を示している。特にH104は、各々の主柱穴に柱痕が残存していた。第205回住居址実測図に柱痕の状態を明示してあるが、三石延雄調査員の詳細な分析の結果、柱の材質はナラ材が使用されていたことが判明した。ナラ材の耐久年数は約20年前後であることが推定され現在も付近の山々に多く自生している。規模の大きいH223は、(7.6×7.7m、58.8m<sup>2</sup>)、H104は(7.5×7.4m、54.6m<sup>2</sup>)を測り、具体的な例として豊60敷の広い住居となる。H161は周溝が一巡し(7.1×7.4m、41.2m<sup>2</sup>)を測り、50cm前後小さくなるだけで規模的にはほぼ同一である。H218は長方形を呈し、(6.9×6.2m、43m<sup>2</sup>)を測る。規模は一回り縮小する。8～14までの住居址形態は、方形を呈しており、規模は

6.7~4.5m前後を測る。カマドは北壁中央に位置し、規格的な4本柱である。H182はカマド右脇に貯蔵穴が存在しており、H60は出入り口右側に位置している数少ない例である。

また、H138は(3.2×4.1m、13.12m<sup>2</sup>)、H121は(3×3.7m、10.8m<sup>2</sup>)を測る東西に長い長方形を呈した小形住居址であるが、この規模の小形住居址は比較的少ない。

II期 形態的にはあまり変化はみられないが、規模の面でI期の超大型から中間的な大きさが増加する。H111は、(9.5×9.6m、94.4m<sup>2</sup>)を測る超大型住居址で、4本の主柱穴のみで他施設は認められなかった。H125は、(8.1×8m、60.3m<sup>2</sup>)を測り、出入口右脇と南西壁コーナー寄りに貯蔵穴を有す。出入口と右脇貯蔵穴の中間地点床面上より、滑石製の切子玉が出土している。また、H127は(7.4×7.5m、55m<sup>2</sup>)を測り、カマド右脇に貯蔵穴、左脇に灰溜施設を有す。東壁~南壁中央まで周溝が確認された。また、H236は、煙道2本が確認され、東壁カマドから北壁中央に移動しており、主柱穴の脇に補助穴を有し、東壁カマド右脇に存在していた貯蔵穴を北壁カマドに移ってからも使用している。周溝、補助穴の存在等からかなり整備された住居址である。5・6は出入口施設を有す住居址であるが、I期と比較して規模も小さくなり、6は張出しビットを共なっていない。さらに5は出入口施設付近に穴柱が対を成しており、本遺跡において極めて類例の少ない内部形態である。間仕切り的要素が窺える。7は、煙道が壁外に長くのびており、出入口部に設けられた張出しビットが施設を共なわないので、単独に存在する。9~13は、方形を呈する住居址で主柱穴4本、カマド右脇に貯蔵穴が存在する形態の一例である。規模は、最大のH186が(6.1×6.6m、41m<sup>2</sup>)を測り、中間的規模のH267は、(5.7×6m、33.9m<sup>2</sup>)を測り、小形であるH214は、(4.4×4.5m、20.8m<sup>2</sup>)を測る。14~15は、出入口部の右寄り、又は左寄りの主柱穴中間に支柱穴とおもわれるビットが存在する。特にH200は規模がしっかりしていて、主柱穴の様相を呈している。16~18は東西に長い長方形を呈した住居址で、H35は(4.4×5.6m、24.9m<sup>2</sup>)を測り、小形のH105は(3.7×4.4m、16.5m<sup>2</sup>)の規模を有する。19~21は小形グループの住居址で、H75が19.6m<sup>2</sup>、H73、H219共に15m<sup>2</sup>、15.5m<sup>2</sup>を測る。H172、H77は、東壁中央にカマドを設置しており、該期から東壁カマドが出現はじめる。

III期 該期に入ると小形化は一段と著しく、III期の中で最大規模であるH248・H62は、6.6~7m、45m<sup>2</sup>~47m<sup>2</sup>を測り、I・II期における中形の住居址がこれに該当する。最小規模のH113は(2.4×3m、7.3m<sup>2</sup>)を測る。平均的規模のH57は(4.7×5.3m、24.8m<sup>2</sup>)で、H79は(4.9×4.6m、23.1m<sup>2</sup>)を計測する。II期から見られる東壁中央へのカマド設置は、H129、H26において北東コーナー付近へと推移しており新たな形態の出現である。また、カマド右脇に貯蔵穴を有する住居は1/3で増加傾向である。

いずれかの時期に属する住居 時期細分のできない古墳時代後期の特徴的な住居を1~9まで図示した。大型住居のH273は(9×8.6m、77m<sup>2</sup>)を測る。周溝がほぼ一巡し、4本の主柱穴、3本の補助穴、カマド右脇に貯蔵穴、左脇に灰溜施設があり、全ての施設が整っていた数少ない例である。H283は、出入口中央に存在する主柱穴、北東コーナーには貯蔵穴を有し、39.8m<sup>2</sup>を測る。5~7は出入口施設を有するが張出しビットは存在していない。II期においてこの変化が現れはじめる。H229は、この出入口施設と平行した掘り方の状態でカマドが設置されており、他住居址ではこうしたカマドの掘り込みはみられない。H207は小形ではあるが、遺存状態が良好で、深さ48~57cmを測り、煙道およびカマドはほぼ原形を保っていた。しかし、掘る後から水が湧き出て精査が困難であった。H278は東西に長い長方形を呈した住居でカマドが東寄りに位置している。

以上が古墳時代後期住居址形態の変遷である。全期を概観してその変化をあげると、

- 1、規模の変化。(大形住居址から小形化へと推移)
- 2、出入口施設の変化。(張出しビットを共なう施設から除々に消滅)
- 3、カマド設置の位置的変化。(北壁中央~東壁~北東壁コーナー側へと推移したカマドも若干見受けられる)このうち、最も大きな変化は、1の規模である。集落の中で前述したように、この時期における新しい国家機構の変革は、如実に庶民生活まで波及しているのである。

また、内部施設、住居形態には特に大きな変化はなく、あえて取りあげるならば2、3が減少の変化といえる。内部施設は、全期を通じてカマド右脇に存在する貯蔵穴、カマド左脇に設けられた灰溜施設、周溝、出入口施設等があり、これ等の施設を有す住居址は、全体的に少なく30%に満たない状態である。ほとんどの住居址は4本の主柱穴で支えられた一屋一室の住居構造を示している。

形態は、方形を呈するものが一般的で、稀に東西に長い長方形を呈する住居址もあり、この形態は小形住居址に最も多く、少数ではあるが全期を通じて見出せる。

付図7は、塩尻市平出遺跡第3号住居址の復原図である。カマドが東壁に位置している点が本遺跡とは異なるが $6.3 \times 6$ mを測る住居址規模、4本の主柱穴が規則的に配列し、構造的には本遺跡の住居址と変化がないため参考資料として加えた。このような大形住居址が軒を連ねて並んでいた往古の穂村遺跡の集落の姿を想像されたい。

## 2) 奈良・平安時代

奈良・平安時代の住居址は少数で、形態等の分類は資料的に薄弱であるため、変遷をたどる参考として図示した。1~4は、奈良時代の住居址である。規模は、H3号が( $4.8 \times 5$ m、 $24.6\text{m}^2$ )、H5号が( $3.8 \times 3.5$ m、 $13.5\text{m}^2$ )、H6号が( $4.4 \times 4.2$ m、 $18.4\text{m}^2$ )、H10号が( $2.4 \times 3$ m、 $7.4\text{m}^2$ )を測る。H3、H6号は、4本の主柱穴が規則的な配列を示し、カマド右脇に貯蔵穴を有する。また、H5、H10号は壁中、壁外に柱穴が認められ特徴的である。形態は方形、東西に長い長方形を呈した小形の2形態で、古墳時代後期と大差はみられない。

平安時代は、5~8の4棟を図示した。H231は大形で( $7.2 \times 7.4$ m、 $53.3\text{m}^2$ )を測り、6~8は小形で方形、長方形を呈すが、東西に長い長方形と南北に長い長方形とに大別される。規模は、H4号が( $3.4 \times 3.8$ m、 $13\text{m}^2$ )、H237号が( $3 \times 4.1$ m、 $12.7\text{m}^2$ )、H276号が( $3.3 \times 4.2$ m、 $14.2\text{m}^2$ )を計測する。平安時代の住居址は、大形を中心とその周囲を小形住居址が占居する傾向が顕著であるが、検出遺構が少数であるためグループ的区分けには至らない。

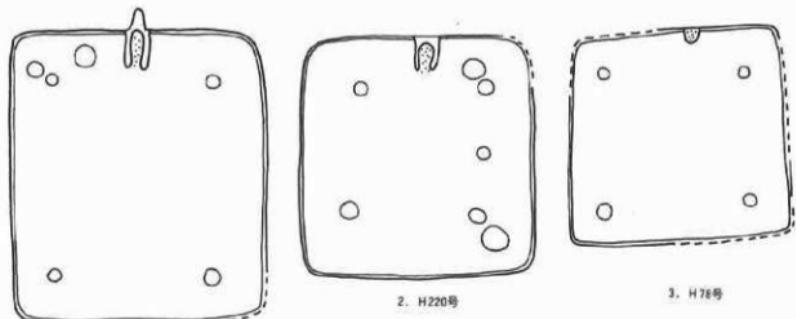
## 3) 捶立柱建物址

本遺跡より検出された撊立柱建物址を付図6に集成した。これ等遺構は、A地区2・B地区を除いた各地より検出された。特にA地区1、E地区3はかなりまとまった状態で確認されている。この地区は平安時代の遺構が所在する地点でもあるため、やはり時代的な関わりを見逃すこととはできない。

昭和57年度調査区には、Ho1が検出された。この地点は弥生中~後期の集落で、他時期の住居址は確認されていない。しかし、建物址の付近から須恵器片が採集されていることや、Y5号住居址を切っている状況から、弥生時代との関係は薄い。また、E地区1はHo7、Ho8が確認されている。この地点も平安時代の遺構は存在しない。規模も小さく、Ho7は全体が把握されない状況下にあるため判然としないが、古墳時代後期の住居址群と関連していると考えられるが、北側に未調査区が広がっているため、早計が許されない。

E地区2は、数々のビット群が確認され、全体図から建物址に該当しそうな配列も見られるが、現場では、柱穴の規模が合うこと、同一線上に並び間隔がほぼ一定するもの、直角であること等を考慮して、建物址であるとの認定をしたため、確認の持てないものは除外した。E地区3は、かなり規模の大きいHo10~Ho12、Ho17が検出された。Ho13・14、Ho16・17は重複関係にあり、建物址についても時間的差が生じていることが判断される。また、Ho15、Ho18は住居址に切られた状態で検出され、Ho11、Ho12、Ho16、Ho17は規模が大きかったため住居址掘り下げ過程において、重複部分が判明した。しかし、軟弱な規模を持つHo15、Ho18は、住居址覆土と変化がなかったため、かなり面密に行なった上面での精査も、時間的制約に追いつかれて、効をなさないまま打ち切らざるを得なかつた。T8は礎石が配列し、 $3\text{m} \times 1.5\text{m}$ を測る大規模な石組カマドを有しており、特異な建物址である。上面で確認されず、H271、H270を掘り下げる過程において発見され、慌てる場面もあった。

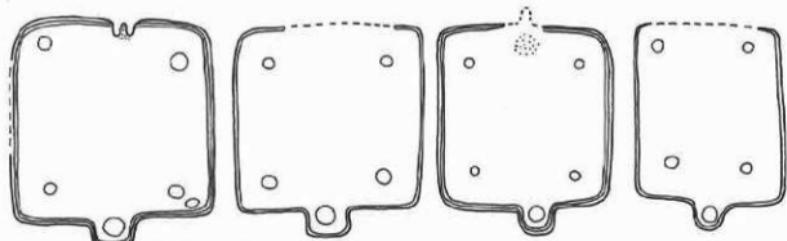
これ等の撊立柱建物址は、Ho3が奈良時代の建物址を切っていることと、Ho19が平安時代の住居址H238と重複関係にあること等を考慮し、出土遺物の須恵器系切り底部の杯、同土器系杯から、平安時代の所産であると判断される。



1. H258号

2. H220号

3. H78号

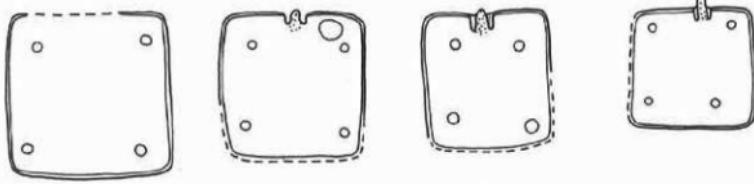


4. H223号

5. H104号

6. H161号

7. H218号

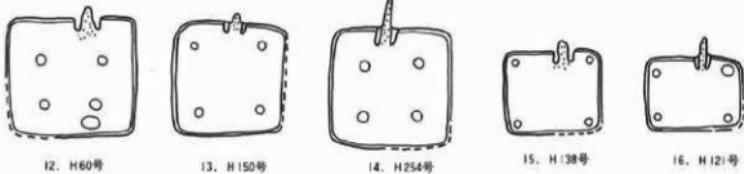


8. H47号

9. H182号

10. H34号

11. H118号



12. H60号

13. H150号

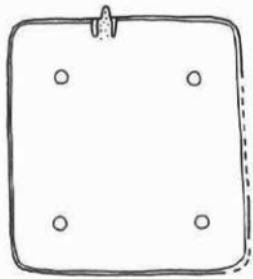
14. H254号

15. H138号

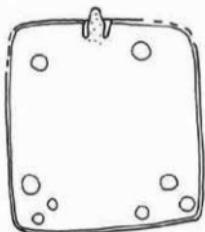
16. H121号



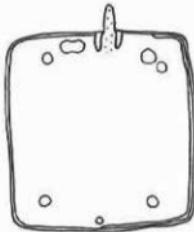
付図2 I期の住居址形態



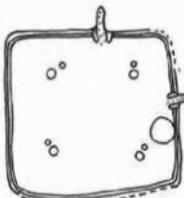
1. H111号



2. H125号



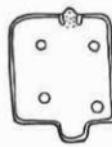
3. H127号



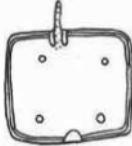
4. H236号



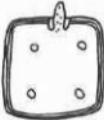
5. H117号



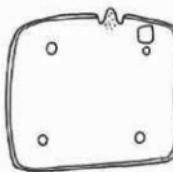
6. H90号



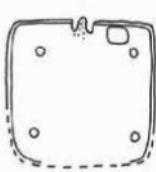
7. H282号



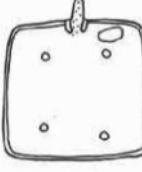
8. H39号



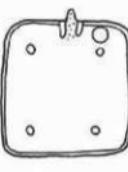
9. H186号



10. H182号



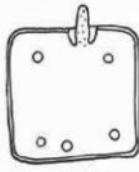
11. H267号



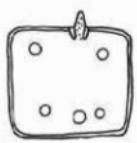
12. H148号



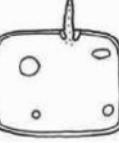
13. H214号



14. H123号



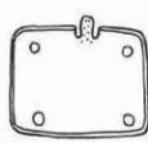
15. H200号



16. H253号



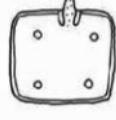
17. H105号



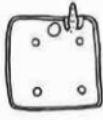
18. H35号



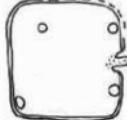
19. H75号



20. H219号



21. H73号



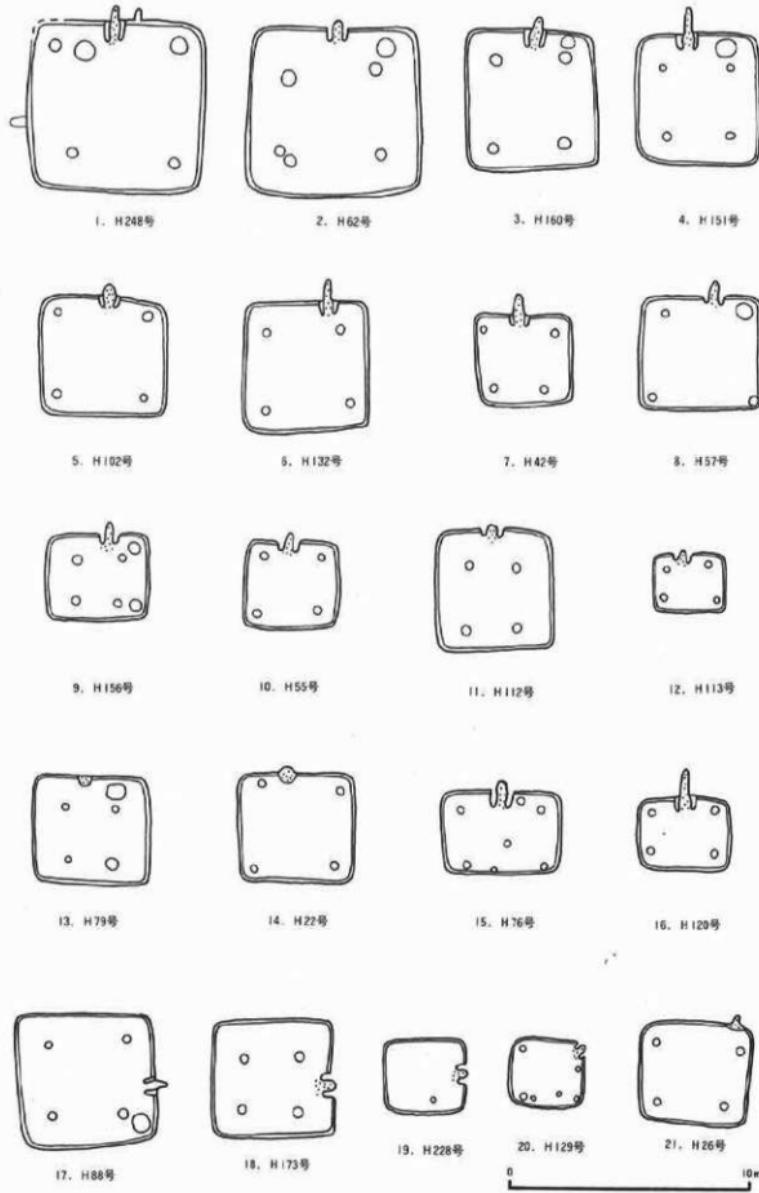
22. H172号



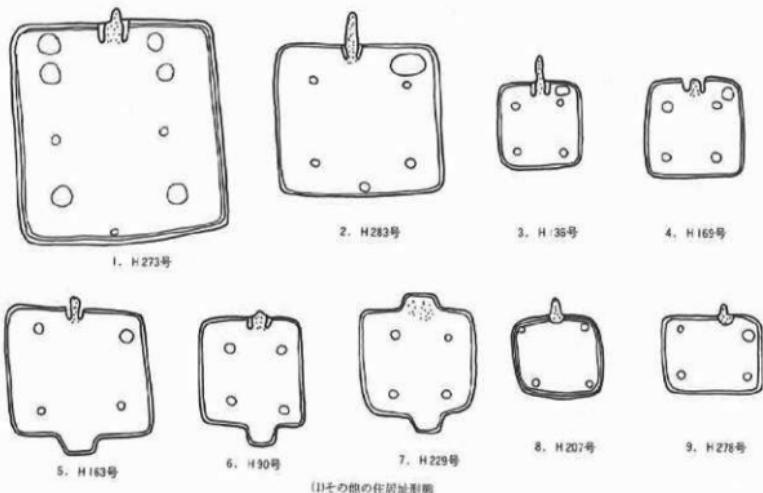
23. H77号

10m

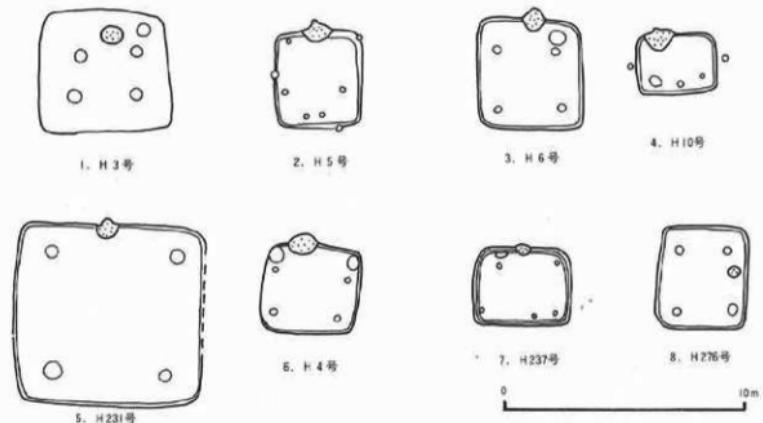
付図3 II期の住居址形態



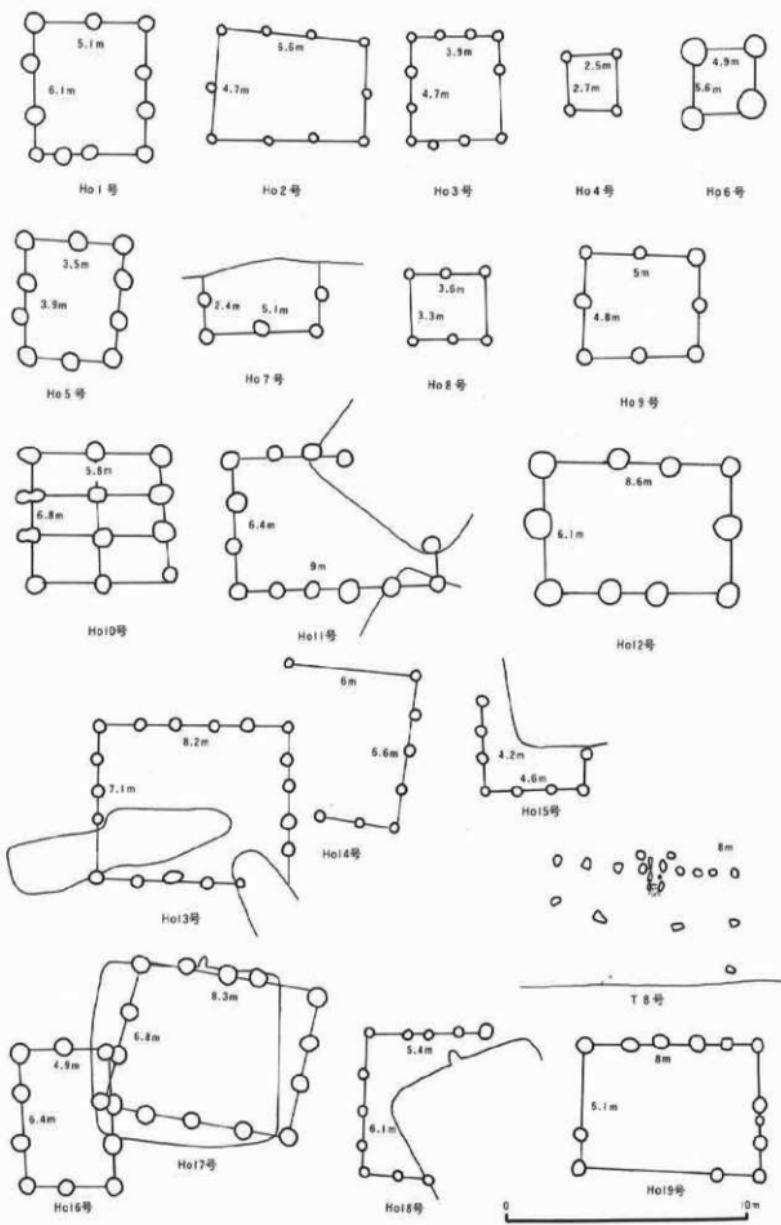
付図4 Ⅲ期の住居址形態



(1)その他の住居址形態



付図5 (2)奈良時代(1~4)・平安時代(5~8)の住居址形態



付図 6 棚立柱建物跡、T 8 特殊遺構一覧

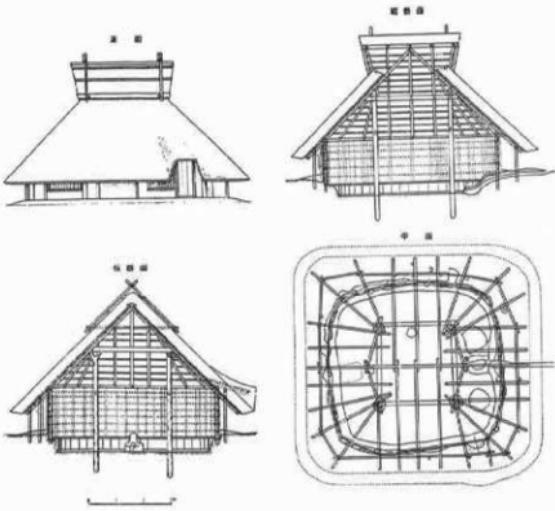


図7 平出遺跡第3号住居址復原図

#### 4 横村遺跡のカマド構造・形態

##### 1) 古墳時代後期

本遺跡検出の住居址は、カマドを保有していたものが大半を占め、そのほとんどの遺残状態は極めて良好で、中には原形を保っていたカマドも見出された。地山土層が良好な強粘土層であったため、崩落の恐れの少なかつたことが幸いしていたといえる。そのため、カマド構造の復原を可能な限り明確にすることに重点をおき、広範囲にわたる問題意識を持って断面観察をおこなった。

- ①カマド構造の存り方
- ②煙道の構造
- ③火床部と地下への焼けこみ状態
- ④袖部側面および内面への熱伝導と焼けこみ深度
- ⑤支脚石、袖石、天井石の使用形態
- ⑥カマド内に遺存した土器の原位置を図でとらえる
- ⑦使用時における炎の伝わり方
- ⑧袖部の構築方法
- ⑨天井部の崩落状態（断面図に示した黄色焼土（ブロック・粒子状）が崩落の残存である）

以上9項目があげられる。

また、本遺跡のカマド形態および構築方法は、I期～III期を通じて特に顕著な変化はみられないが、住居址の規模によってカマド形態が決定されるという共通点が見出されている。このため、全期を貫して、カマド形態を概観してみたい。尚、I～III期を中心に住居形態別に遺存の良好であったカマド平面図を付図7～13図に集成した。

### ○構築位置

構築位置は、そのほとんどが北壁中央に固定化されている。住居形態の中で明示しているように、Ⅰ期は全て北壁中央に統一されているがⅡ期に入ると僅かではあるが東壁カマドが顕れる。Ⅲ期は、さらに北東コーナーに設置される類形もあらわれるが、その数値はⅡ期、Ⅲ期共に全体の5%にも満たない。特にⅢ期に入って、東壁・北東コーナーに設けられる例が顕れるようになるのは、前述した社会機構の変革による、家族体系の変化が起因することも考えられる。氏族崩壊による小家族制が住居規模の中にも実証的な現象となって顕れてくるようになり、カマドもまた多くの民俗例が示すように、これ等の要因によって、構築位置の設定に変化が生じてきたことが勘案される。

東壁カマドは、付図8、3、H118、付図9、1、H172、付図12、1、H173、8、H183の4例が図示されている。

### ○構材

本遺跡の基礎土層は、長い期間の沈殿によって形成された微粒子状の強粘土層であるため、構築粘土はこの地山粘質土を用いていることはいまでない。また、袖石、支脚石、天井石に使用した石材の石質は、遺跡東方の内山地区山間地から産出される、溶結凝灰岩（佐久石）を中心に、角閃安山岩、輝石安山岩、玄武岩、玢岩等（白倉盛男氏の鑑定による）であった。特に、天井石は溶結凝灰岩が多用され、炊口部の袖石は、角閃安山岩、輝石安山岩、玄武岩が大半を占めるが、溶結凝灰岩とセットで使用されているカマドが多い。袖石は、炊口部の袖先端に埋めこまれているものが普遍的であるが、稀には付図9、7、H33号、付図11、1、H139号のように袖全体に埋めこまれた例も見られる。補強材を必要としない程頑強な強粘土層でありながら、特にH139号のように多量の豫が使用されていることは、何等かの意図があってのことと推察される。それは、袖部内に完形の小形窓が埋めこまれていたH179号、H136号、杯が埋めこまれていたH169号などからもいえることである。今後の課題として指摘にとどめておきたい。

支脚は、石が使用されているものが大半はあるが、図示した第6図5、H210号にみられるコップ形を呈した土製支脚、円筒状支脚が炊口付近に横転していたH113号、カマド右脇に立てかけてあったH227号等に土製がみられ、佐久平において土製支脚出土は本遺跡が初見である。支脚石が原形のまま埋めこまれた状態を示しているカマドは、図示した付図9、4、H243、5、H195、7、H33、付図10、1、H45、3、H91、付図11、1、H139、2、H125、付図12、3、H57、5、H173、6、H160、7、H112、付図13、4、H225、7、H168、9、H184等にみられる。大半は、玄武岩、輝石安山岩、佐久石等の石材が使用されている。また、H107の支脚石には完形の小形窓がかぶせてあった。支脚に高杯を利用している例もみられることから、煮沸の際長胴腰をより安定させるための方策であると考えられる。この他にも多くのカマドが原形をとどめているが、各々の住居址と共に図示した平面図を参照されたい。

### ○構造・形態

全期を通して、基礎的構造、形態はほぼ同一であるが、次の2形態、3種に分けられる。

A形態　竪穴住居を構築する際、当初よりカマド設置の場所を定め、計画的にカマド袖部の地山層をかなり上部から残す。この内、2種類の構造が看取される。

(a) 地山を利用して袖部先端の炊口に袖石を埋めこみ、両袖石上に天井石を高架させ、燃焼部中心に支脚石を埋める。（この構造は本遺跡のどのカマドも共通である。）

燃焼部先端を住居址の壁と同一線上まで掘りこむ。そのため、燃焼部の中心は壁に近づく。また、床面と炊口との境には段を有し、燃焼率を高める工夫がなされている。規模は、70~90cm×80~100cmを測り、燃焼空間は30~50cm×70~100cmを計測する。小形住居址に比例した規模である。

(b) aと大差はないが、変化として小さな煙道が設けられる。煙道部を壁外に20~30cm、半椭円状に掘りこ

み、燃焼部との境に僅かな段を設ける。床面と炊口部との段を合せて2段となる。規模は、煙道部が加わった分のみ縦長となる。

B形態 構造的変化としては、煙道部が壁外に、最長130cm、最短50cm、平均80~100cmを測る長さをもって、円柱状に掘りこまれ、煙道先端部に円形の穴を有す。住居址の壁中央よりこの円形状の穴までゆるやかな上り坂状に傾斜させながら空道にし、煙を外へ送り出す効果を取る。

袖部は、断面図に示してあるように、床面から20~30cmまで、いわゆるカマドの天井部を高架させる接合部までは、竪穴構築の過程で計画的に残した地山を利用している。また、僅少ではあるが土器・礫類を袖部内に埋めこむため、それ以外においても、新たに地山の強粘土を固めて袖部を形成した2種が見られる。これ等の区分は、袖部断面図に示したが黒色・黒褐色のしみこみを残した袖部で顕著にあらわれている。尚、A形態の地山利用の袖部は、遺構確認時点から明確に顯れていたが、B形態においては、袖部残存面（住居址プラン確認面より10~20cm下った面）でA形態と比較して不鮮明な色に変色していたが認められた。また、煙道部と燃焼部の段差は大きく、平均20~30cmを測り、より高い熱効率と空気の流通効果をねらったものと考えられる。平均的な規模は、80~130cm×100~130cmを測り、燃焼空間は、30~50cm×100~130cmを測る。袖と袖間の巾は、A形態の小形カマドと大差ないが、燃焼部の袖部側面は抉れた状態の立ち上りをみせている。この抉れた部分に焼土・炭化粒子が付着しており、これにより正確な袖部の検出を可能してくれた。

B形態のカマドは、超小形~小形（一辺300cm内外）を除いた、全期の住居址に普遍的にみられる。

大雜把ではあるが以上が本遺跡においてみられるカマドの構造、形態分類である。以下、集成図を中心その所属状況を追ってみたい。

A形態 a類に属するカマドは、特に小形住居址に多く、II期~III期の住居址の小形化と共に多くなる。集成に入らなかったI期では、H72・H138・H140・H266がこの部に属する。II期は付図9、4・5がこれにあたり、特に4のH243は6個体の土器がカマド内に遺残していた。III期は付図12、5・7・8がa類に、この他付図13、6・7・9は床面と炊口との境に段を形成している点で、良好な遺残状態を示している。これ等の形成は、水はけの悪い土層である為、水分は土に浸透しないでそのまま残ることから、水分を残さないために設けられた方策であると共に、b類の2段を形成しているH48、H275のように、つくり付けカマドは須恵器製作の技術流入と共に朝鮮半島南部からわが国に伝った、登窯の構造と類似することを、「カマド出現に関する二・三の問題」（歌舞伎遺跡）の中で林博通氏は指摘している。構造的面において重視される指摘といえよう。

b類は、II期付図9、1~3・4、III期付図12、1~4・6、付図13、8・9がこれに属す。これ等の段を形成しているカマドは佐久平においても初見である。土層との関連において変化が生じたものであろうか。類例の増加を持ちたい。

B形態に属するカマドは、a類・b類にあげた以外のものが該当するので省略し、代表例として付図8、1の県下において最大級の住居址となった、H258のカマドを見てみたい。

超大形住居址にふさわしい大形カマドである。煙道部を壁外へ130cm、円柱状に掘り込み、カマドの規模は190×120cmを測る。燃焼空間は190×40cmを測り、袖と袖間の巾は、小形住居址と変化ないため、細長くのびて熱効率を高めている。火床は60cmの範囲にわたり焼土が堆積し、火床下の掘りくぼみはなく、焼けこみが礫層の直上まで5~6cmにわたって浸透している。住居址のプラン確認の時点では、すでに床面に達している部分もあり、上面がかなり破壊されていた関係から、煙道部と燃焼部の段差も僅かに見られるのみである。袖石と支脚石はしっかりと土中に埋めこまれ、天井石は崩落して床面に横たわっている。また、炎の伝わり方はスクリントーンによって示されている焼土の付着によって、その範囲が看取される。ダイナミックなカマドであることに驚かされる。袖と袖間の巾が小形カマド~大形カマドまで数値に変化がみられないことは、土器形態が同一であるという要因が考えられる。

2のH220号はやはり大形住居址である。しかし、このカマド形態は普遍的にみられるB形態と異なる点が注目される。煙道部の掘りこみが壁外にみられず、袖部が住居址の壁まで連続している。このため、運り出し施設は住居址の壁立ち上り位置に設けられたと考えられる。構造の基準は変化していない。規模は170×100cmを測り、燃焼部は70×45cmを測る。特にカマド周辺に多量の土器が散乱しており好資料となった。

なお、本遺跡においては、火床部の熱が火床下に浸透する状態も強粘土層であったため、観察が可能となり断面図に加えることができた。結果、本遺跡のカマド火床下は、僅かな例外を除いては、レベル的には床面より高いか、僅か掘りくぼめている。これは、住居址平面図でのカマドを通したエレベーションによっても、あらわれ、カマドに近づいてから床面が上る状態を示していることが観察される。

また、煙道が空道のままの状態となって原形を保っていた、II期付図10、H224、付図13、H207、H230も貴重な資料である。煤、焼土が全体に付着しており、断面観察の際の切解は、熱によりコチコチに固まつた土の掘り下げは困難であった。特に、H207の煙道は深く33cmを測る。

この他、土器の遺残が良好であった、付図13、3、H284、4、H225、土製支脚が原形を保っていた、5、H210号も興味深い資料として提示した。佐久平では煙道部町田遺跡のカマド形態が最も本遺跡に類似している。

#### ○奈良・平安時代のカマド

古墳時代後期のカマドと対比するため、付図14、1・2・3の奈良時代、4、平安時代のカマドを明示した。構造的には奈良時代と平安時代との変化は見られないが、古墳時代後期との違いは大きい。

○煙道部の縮小 ○袖部は石組主体で粘土を固めた部分が僅少である。 ○燃焼空間の拡大

○煙道部と袖部の大半が壁外に出た状態で設置され、燃焼部の中心は壁際にある。

○天井石が認められない。

以上が観察される。

土器形態の変化、住居址の変化、社会構造の変化等、さまざまな要因によって生じた所産であると考えられるが、比較、検討の対象としての資料提出としたい。

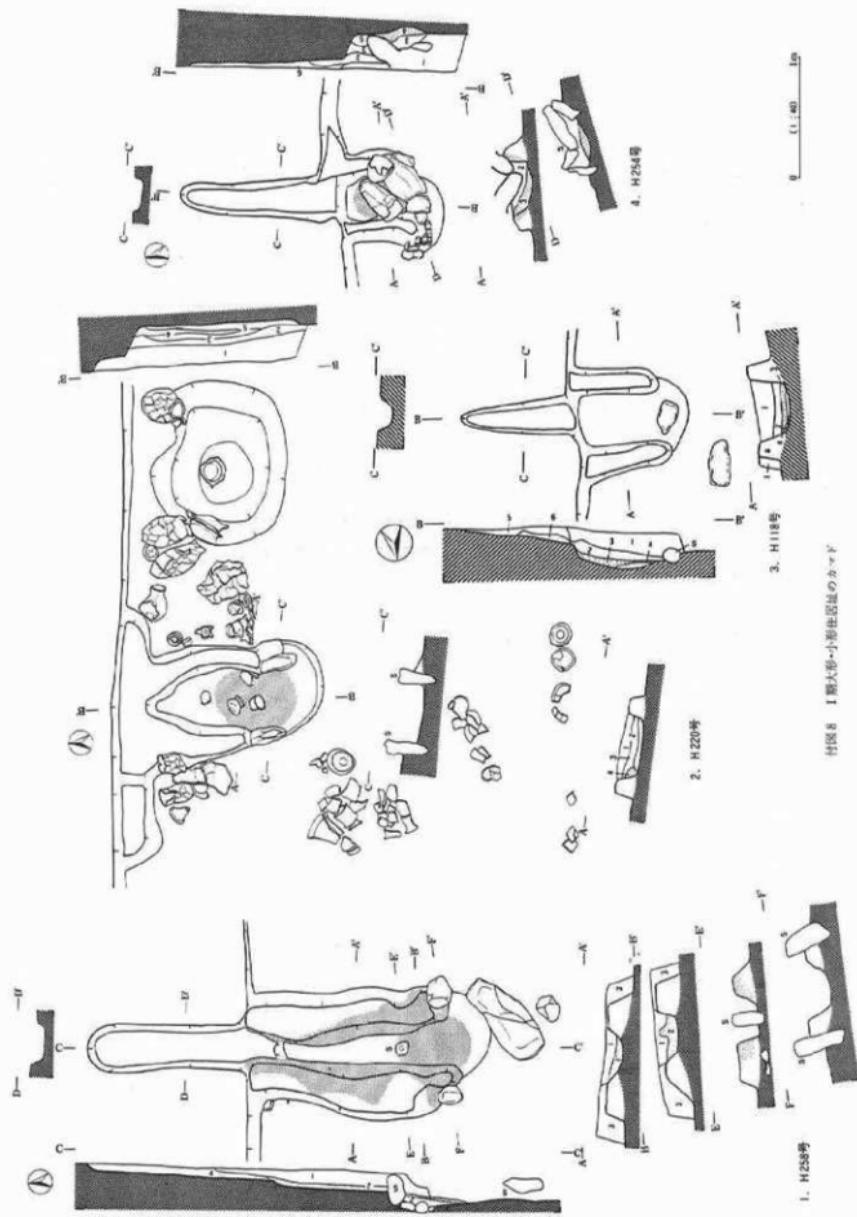
ここでは、樋村遺跡の古墳時代後期のカマドを中心に、形態、構造をみてきたが、佐久平のカマドについては、「若宮遺跡」で小山岳夫氏が詳細な論究を試みていているので参照されたい。

なお、カマドの構造については、三石延雄、佐々木宗昭調査員と検討し、本稿を作成した。

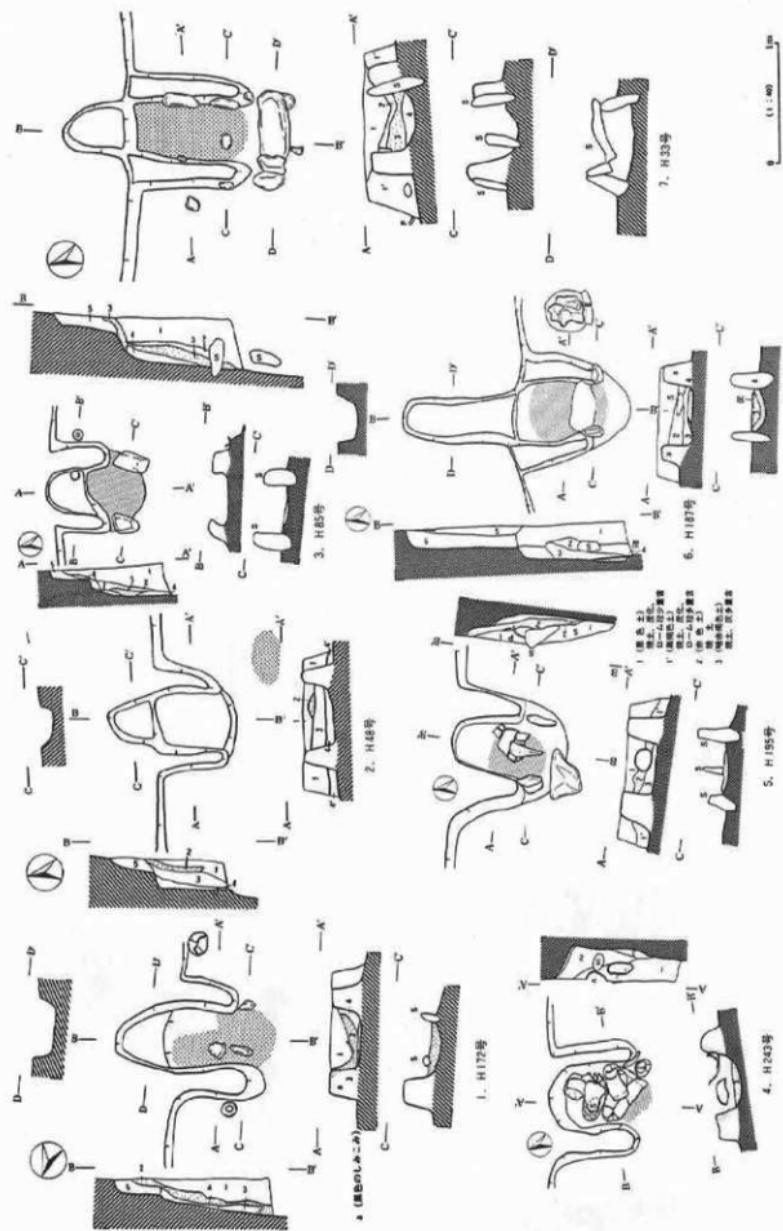
## 5 樋村遺跡出土の玉類（付図15）

本遺跡の住居址から出土した玉類を付図15にまとめた。さらに、全体図の中で出土した住居址に●印を入れて一見できるように図示した。玉の種類は、白玉、小玉、管玉、切子玉、勾玉、丸玉等があり、石材は滑石が主体を占めて、白玉をくり出し、管玉、切子玉は碧玉岩を素材としている。また、丸玉類は土製品が多い。出土した住居址は総計70住で全体の25.6%を占める。特徴としては、△焼失住居から多量に出土。△床面直上。カマド付近から出土。が最も顕著である。特にH284住からは、カマド内に残存した甕の中から6個連なった状態で発見された。焼失住居から多数出土している原因是、突然の火災に持ち出す余裕もなく、日常品がそのまま残存したものと考えられる。作りかけの製品も出土しており、これ等は孔が穿たれ、1×2cmの長方形や2.5×2.5cmの四角形を呈し、未だ白玉の形がつくり出されていない。孔の大きさから完成品を推測すると、直径約1cmの白玉となる。かなり大形の素材から作り出されていることが理解される。この作りかけにより作業工程もおのずと判断される。

これ等の玉類が、25.6%の住居址から出土していることから、一般的な装飾品であったと推察される。勾玉、切子玉、管玉が出土した住居址も決して特別なつくりの住居址とおもわらない普通の住居であり、銅環が出土したH243号もごく一般的な堅穴住居である。また、樋村遺跡の首長たる人物を埋葬したと推察される後家山

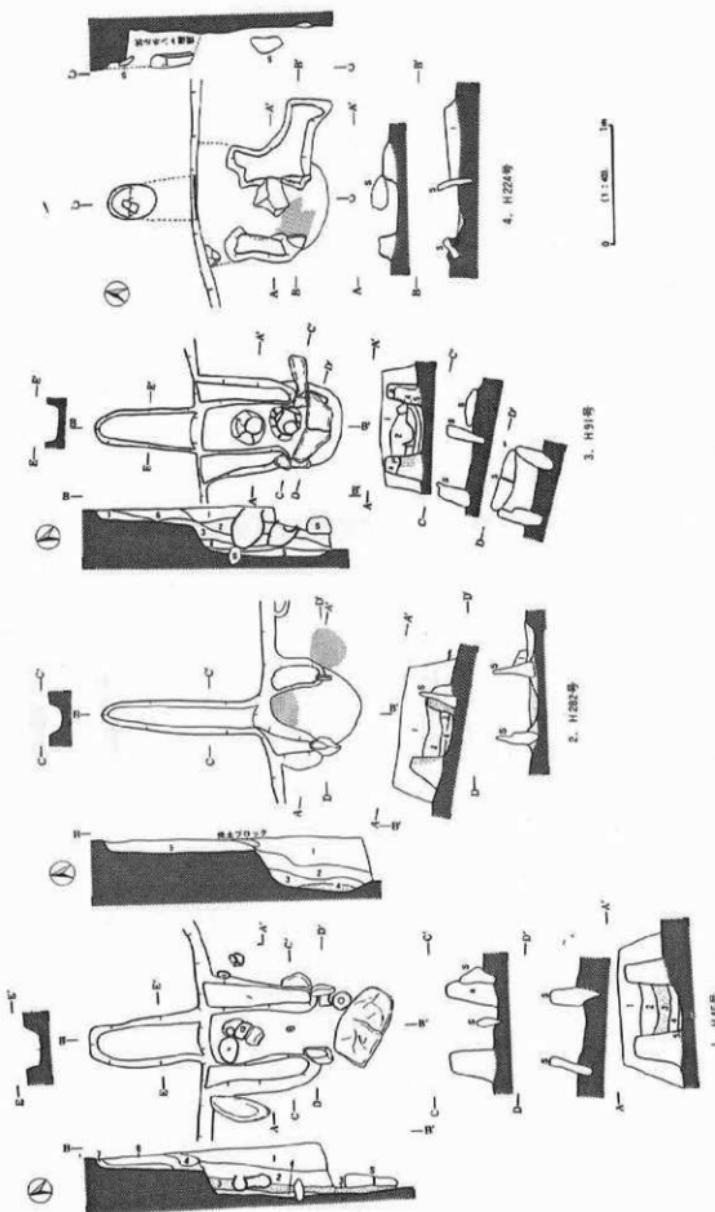


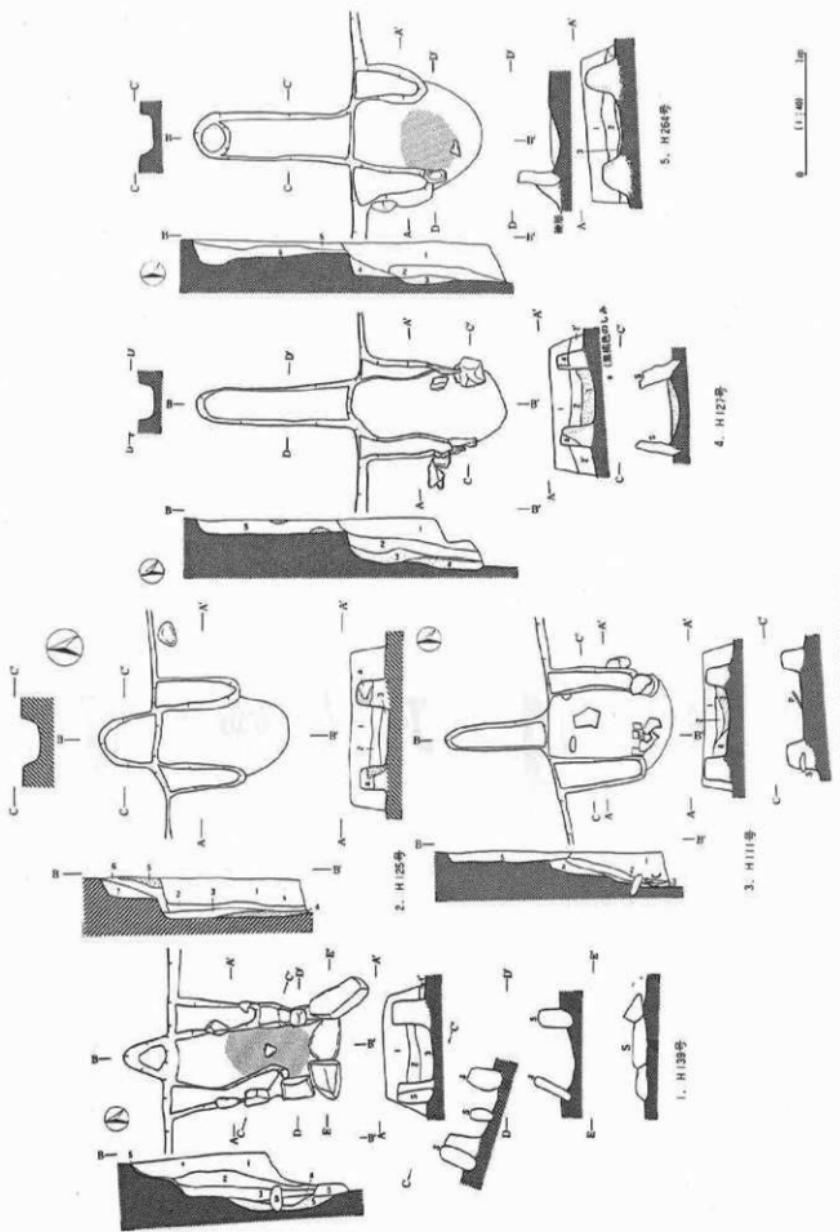
図版8 1. 様大形~小形地層のカバ



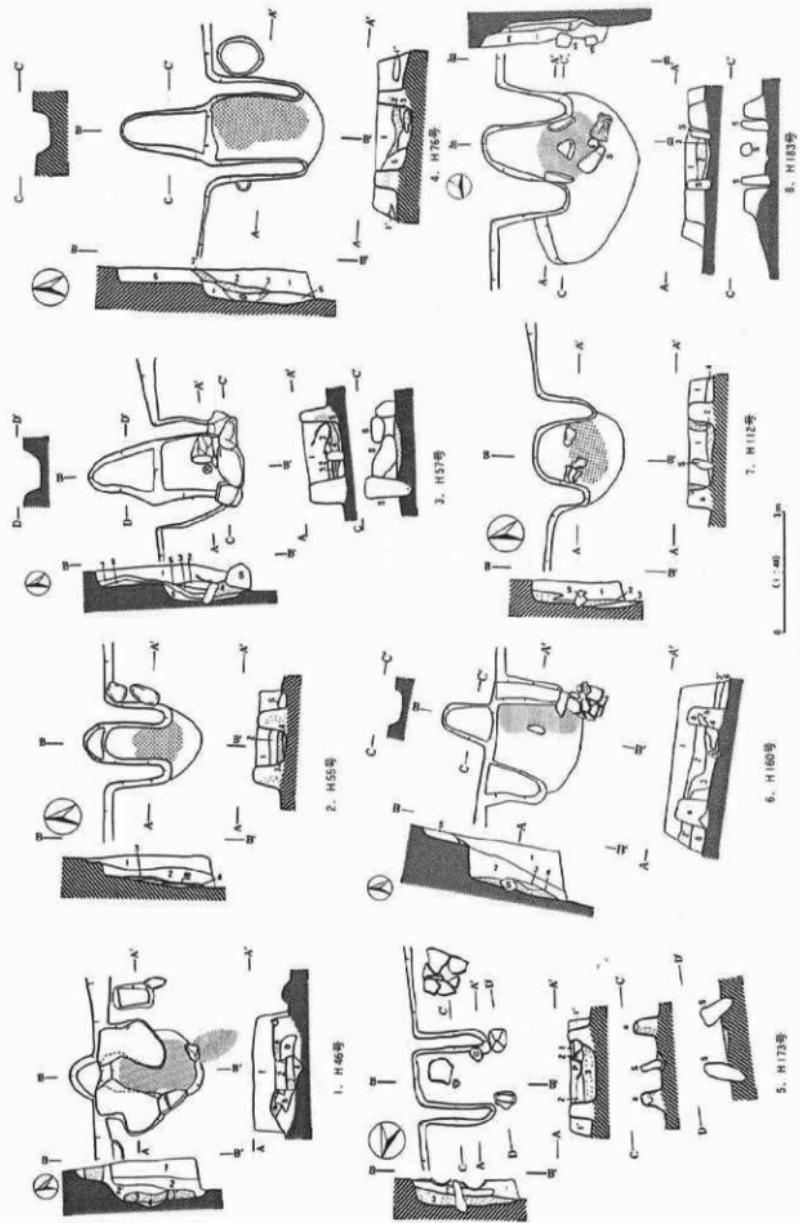
付図9 日本小形住顎のカマド

付図10 丹波小鷹住居のカッタ

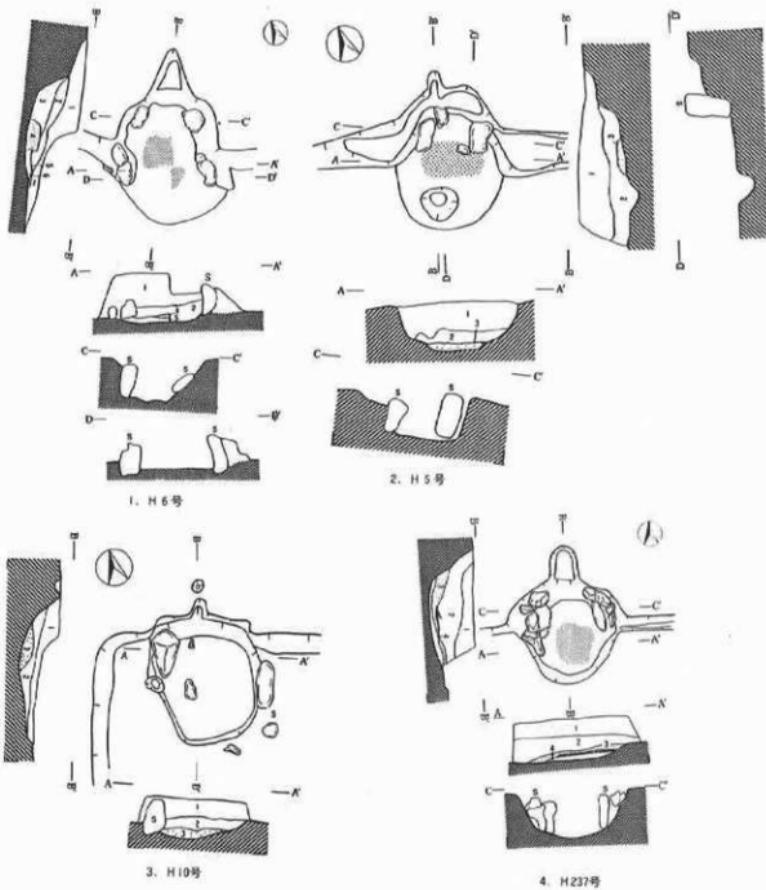




付図1 II期大形虫带のカマド



付図2 田間生息地のカマド



付図14 奈良時代・平安時代のカマド

古墳の石室から出土した装飾品は、切子玉8、管玉7、ガラス小玉14、小形白玉12等で同類のものが多いが、切子玉が水晶製であり、ガラス小玉も加わる。首長と一般庶民との差であろう。

本調査の中では、こうした玉類を作り出した工房とも言うべき住居址は発見されなかった。ただ、Ta11の施設が特殊ではあったが、石材のくずが1片も見当たらないので判然としない。しかし、作りかけがH129、H211、H267、H273等の住居址から出土しており、特殊性も認められなかつことから、滑石による白玉類の簡単な製作は各住居址でおこなっていた可能性が強い。これ等も含め生活復原は今後の課題とした。

貴重な資料を提供してくれた本遺跡は、調査期限および報告書作成の諸制約により、ここまでまとめる最大の努力限界である。遺物整理が終了した時点において、早計な判断であった箇所は速かに訂正して、完成に向かいたい。

(島田 恵子)

付図15 横村遺跡玉類出土居址一覧表

住居址No.	分類	素 材	個数	備 考	住居址No.	分類	素 材	個数	備 考
H11	丸玉	土 製	1	床面直上	H181	丸玉	土 製	1	床面直上
H17	臼玉	滑石製	17	焼失住居、床面出土	H183	白玉	滑石製	3	〃
H22	〃	タ	1	床面直上	H190	タ	タ	7	焼失住居、北側のほぼ中央部寄り壁付近
H34	丸玉	土 製	1	〃	H192	丸玉	土 製	1	カマド付近
H41	臼玉	滑石製	1	〃	H196	タ	タ	1	床面直上
41	丸玉	土 製	1	〃	H199	白玉	滑石製	1	〃
H42	管玉	碧玉製	1	〃	H202	丸玉	土 製	1	カマド内
H45	臼玉	滑石製	1	カマド内	H208	白玉	滑石製	1	床面直上
H46	丸玉	土 製	1	床面直上	H210	タ	タ	6	焼失住居、南東寄り床面直上より出土
H48	〃	タ	1	〃	H211	タ	タ	1	カマド内
H64	臼玉	滑石製	1	〃	211	タ	タ	1	作りかけ、床面直上
H66	丸玉	土 製	1	〃	H213	タ	タ	3	床面直上
H71	〃	タ	2	〃	H216	タ	タ	2	カマド内
H73	臼玉	滑石製	1	〃	H218	タ	タ	11	焼失住居、西南コーナー寄り炭化材の中より出土
H86	〃	タ	4	カマド左側袖部の筋より出土	H219	タ	タ	2	床面直上
H98	〃	タ	1	床面直上	H222	勾玉	タ	1	〃
H104	〃	タ	4	北東、東南、西南の各コーナ寄りから各1個づつ更側の北寄り壁面1個	H223	管玉	タ	1	〃
H105	〃	タ	1	床面直上	223	白玉	タ	2	〃
H106	管玉	土 製	1	〃	H228	タ	タ	1	〃
H107	臼玉	滑石製	1	〃	H229	タ	タ	2	焼失住居
H110	〃	タ	1	〃	H230	タ	土 製	1	床面直上
H112	〃	タ	1	〃	230	丸玉	タ	1	〃
H114	〃	タ	1	〃	H232	管玉	滑石製	2	〃
H125	切子玉	タ	1	〃	H236	臼玉	タ	2	〃
H127	臼玉	タ	1	覆土	H238	タ	タ	1	〃
H129	〃	タ	1	作りかけ・トシナ	H243	タ	タ	5	カマド内 3個、(銅鏡)・シンチ・東鏡、カマド右脇 2個
H132	丸玉	土 製	1	覆土	243	タ	タ	半分	カマド内の左脇より出土
H135	臼玉	滑石製	1	床面直上	H248	タ	タ	18	カマド内 4個、東寄り灰面 14個
H146	〃	タ	1	〃	H258	タ	タ	4	カマド内の左側より出土
H150	〃	タ	1	カマド付近	H262	タ	タ	1	床面直上
H152	〃	タ	1	床面直上	H263	タ	タ	1	〃
H153	〃	タ	1	〃	263	丸玉	土 製	1	〃
H169	〃	タ	1	〃	H264	臼玉	滑石製	10	カマド内 4個、西南寄り床面より 6個
H170	丸玉	土 製	1	〃	H267	タ	タ	2	床面直上
H171	臼玉	滑石製	1	〃	267	タ	タ	2	作りかけ、床面直上
H172	管玉	タ	2	〃	H268	タ	タ	2	カマド内 1個、カマド付近 1個
172	臼玉	タ	1	〃	H273	丸玉	土 製	1	床面直上
H174	〃	タ	1	〃	273	タ	滑石製	2	作りかけ、床面直上
H175	〃	タ	2	〃	H284	タ	土 製	6	カマド内既存のカメの中より出土
H180	丸玉	土 製	1	〃					

## 引用参考文献

- 佐久市教育委員会 1967 『佐久平ゴルフ場古墳群調査報告書』  
〃 1972 『佐久市中込深掘遺跡発掘調査報告』  
〃 1974 『佐久市平賀後家山古墳緊急発掘調査報告書』  
〃 1978 『上桜井北』  
〃 1978 『跡部町田』  
〃 1984 『上の台』  
〃 1984 『佐久市遺跡詳細分布調査報告書』  
〃 1984 『若宮遺跡』  
駒沢大学考古学研究室 1982 『千葉・上ノ台遺跡』  
群馬県文化財保護協会 1974 『歌舞伎A遺跡』  
塩尻市教育委員会 1983 『吉田向井』  
平出遺跡調査会 1955 『平出』  
東筑摩郡・松本市・塩尻市郷土資料編纂会 1955 『東筑摩郡・松本市・塩尻市誌』  
小山 岳夫 1984 『V総括 佐久平におけるカマドについて』(『若宮遺跡』)  
杉原莊介・大塚初重 1973・1974 『土師式土器集成 本編3・4』 東京堂  
高群 逸枝 1966 『招婿婚の研究一』 理論社  
町田 章 1979 『装身具』(『日本の原始美術9』) 講談社  
森崎稔・小林孚・笠沢浩 1976 『上水内郡誌 歴史編』 上水内郡編纂会  
もろさわ ようこ 1970 『おんなの歴史上』 未来社  
樋口 清之 1979 『宮廷生活と庶民の日々』(『図説日本文化の歴史2 飛鳥・白鳳』) 小学館

遺跡付近航空写真

- 1 植村遺跡
- 2 後家山古墳
- 3 新町遺跡
- 4 中屋敷遺跡
- 5 久釋添遺跡



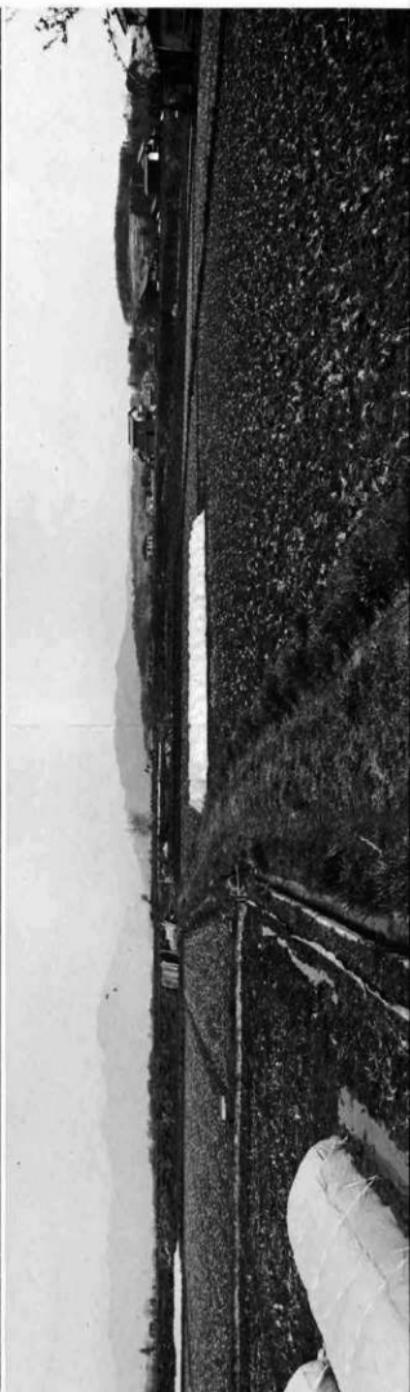
1・2  
57年度第一次  
調査区遠景  
(西より)



1 58年度第二次  
調査区遠景  
(西より)



2 58年度第二次  
調査区遠景  
(南より)



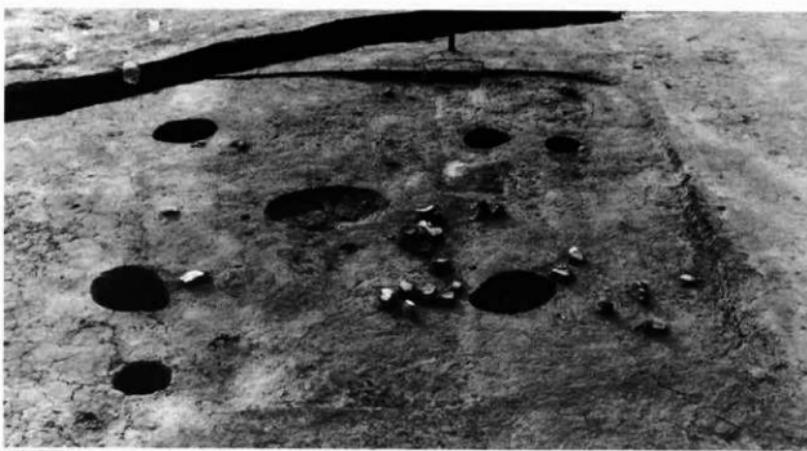
1 57年度第一次  
調査区全景  
(東より)



2 57年度第一次  
調査区全景  
(西より)



1 Y1号住居址  
(東より)



2 Y2号住居址  
(西より)



3 Y3号住居址  
(南より)





1・2  
Y2号住居址  
遺物出土状況



3 Y3号住居址炉

4 Y4号住居址炉



5 Y4号住居址  
炭化材出土状況



6 Y4号住居址  
(東より)

1 Y6号住居址  
(南西より)



2 Y7号住居址  
遺物出土状況



3 Y7号住居址  
(東より)

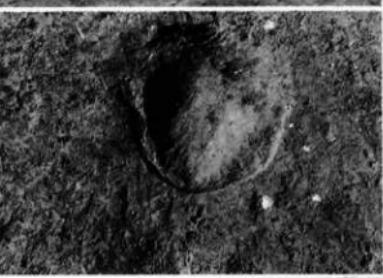




1 Y8号住居址  
(南より)



2・3 Y7号住居址  
遺物出土状況



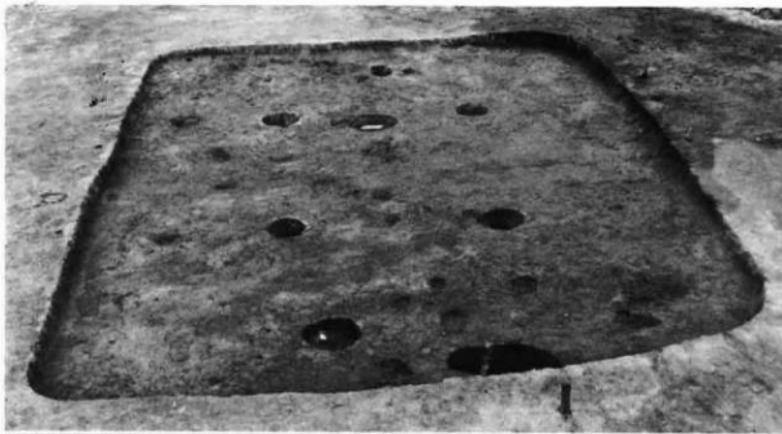
4 Y7号住居址炉

5 Y8号住居址炉



6 Y9号住居址  
(南より)

1 Y10号住居址  
(南東より)



2 Y9号住居址  
勾玉出土状況



3 Y9号住居址炉



4 Y10号住居址  
遺物出土状況



5 Y10号住居址炉



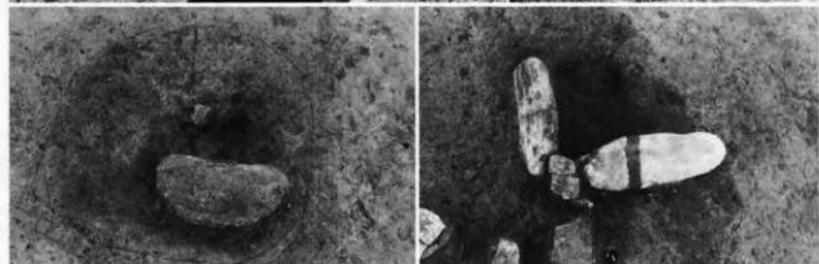
6 Y11号住居址  
(南より)



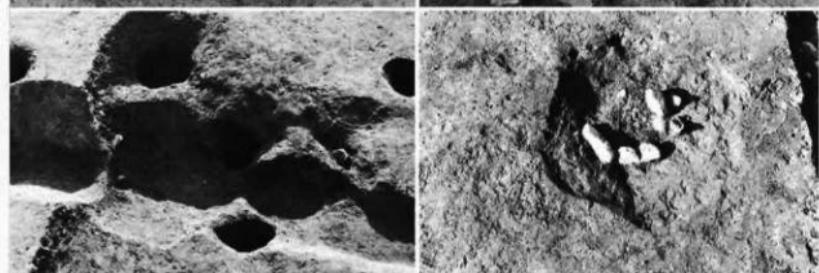
1 Y12号住居址  
(南より)



2・3  
Y11号住居址炉



4 Y12号住居址  
出入口ピット  
掘り方



5 Y12号住居址炉



6 Y13号住居址  
(南より)

1 Y14号住居址  
遺物出土状況



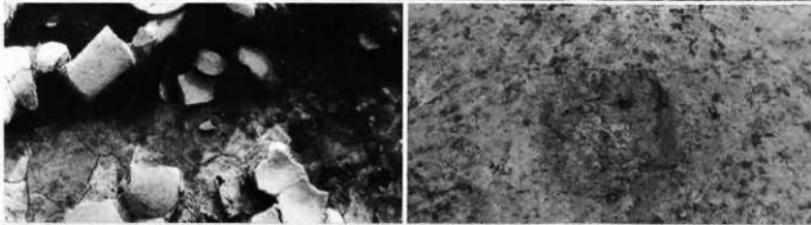
2 Y14号住居址  
(南より)



3・4  
Y14号住居址  
遺物出土状況



5 Y14号住居址  
石鏃出土状況



6 Y14号住居址炉

1 Y15号住居址  
(東より)



2 Y16号住居址  
(北より)



3 Y17号住居址  
(北東より)



1 Y16号住居址  
遺物出土状況



2 Y17号住居址  
遺物出土状況



3 Y18号住居址  
(北より)



1 Y20号住居址  
(北より)



2 Y21号住居址  
(南より)



3 Y22号住居址  
(北より)



1 A地区1全景  
(東より)



2 A地区1全景  
(西より)





1 H 1号住居址  
(東より)



2 H 2号住居址  
(北より)



3 H 3号住居址  
(東より)

1 H4号住居址  
(西より)



2 H5号住居址  
(南より)



3 H2号住居址  
カマド



4 H5号住居址  
カマド





1 H 6号住居址  
(南より)



2 H 7号住居址  
(北より)



3 H 8号住居址  
(南より)

1 H 9号住居址  
遺物出土状況



2 H 9号住居址  
(北東より)



3 H 9号住居址  
遺物出土状況



4 H 9号住居址  
鉄鏃出土状況



5 H 8号住居址  
カマド



6 H 9号住居址  
カマド





1 H10号住居址  
遺物出土状況



2 H10号住居址  
(北より)



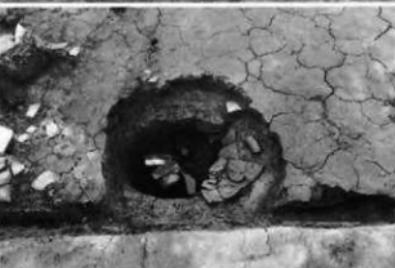
3 H10号住居址  
カマド



4 H11号住居址  
カマド



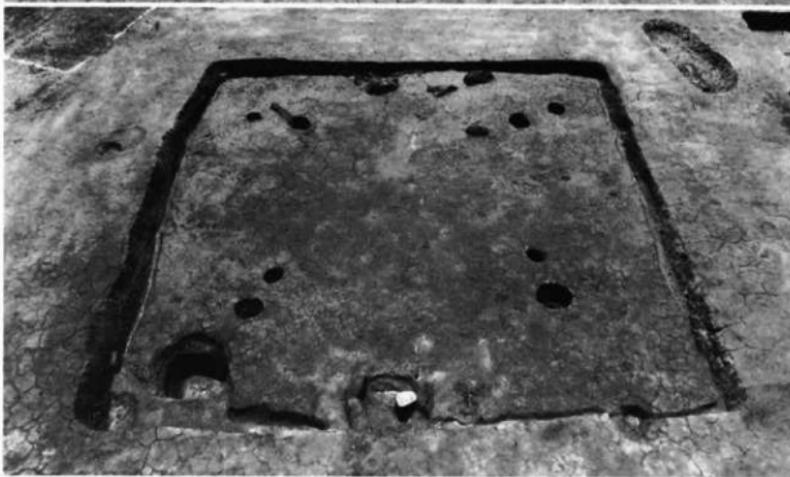
5・6 H11号住居址  
遺物出土状況



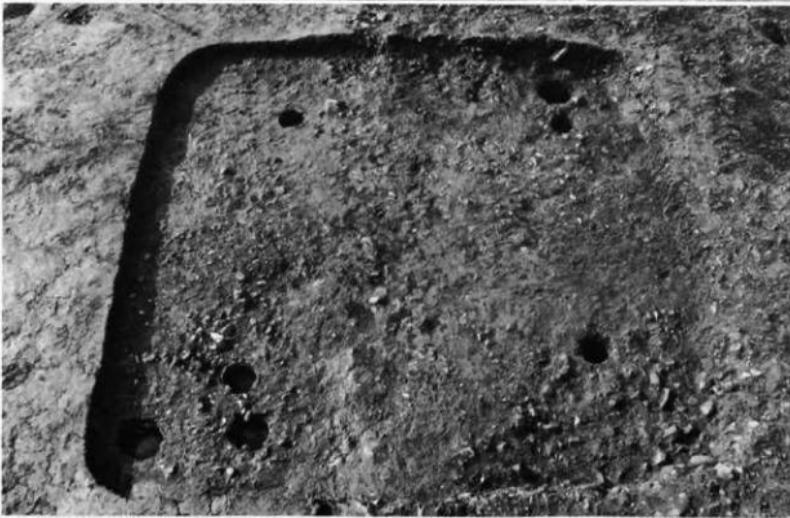
1 H11号住居址  
遺物出土状況



2 H11号住居址  
(北より)



3 H12号住居址  
(南より)



1 H 13号住居址  
遺物出土状況



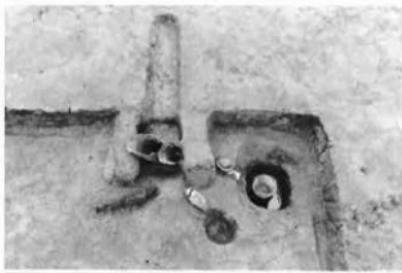
2 H 13号住居址  
(北東より)



3・4 H 13号住居址  
遺物出土状況



1 H13号住居址  
カマド



2 H14号住居址  
カマド



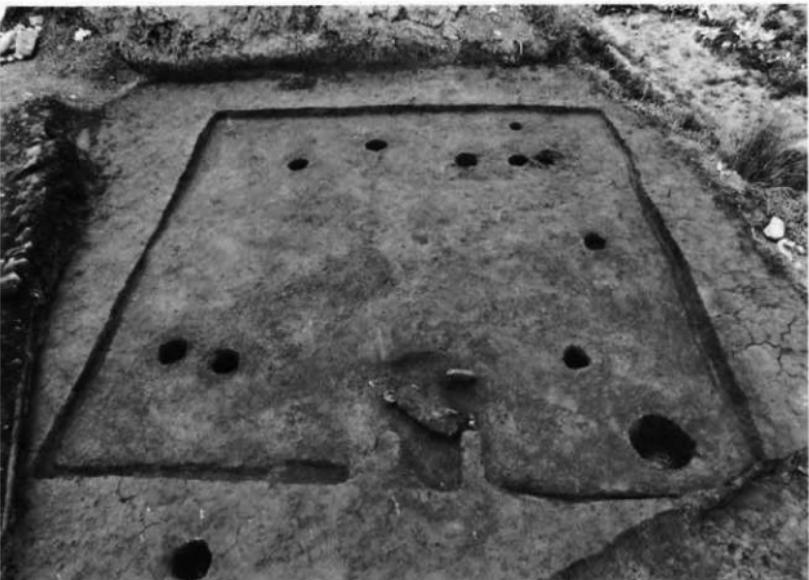
3 H14号住居址  
(西より)



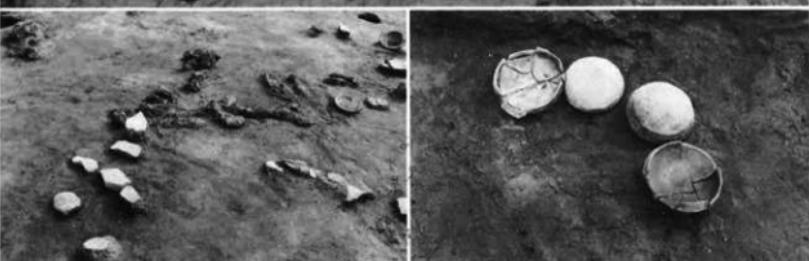
4 H15号住居址  
遺物出土状況



1 H15号住居址  
(北西より)



2・3 H15号住居址  
遺物出土状況



4・5 H15号住居址  
遺物出土状況



6 H15号住居址  
遺物出土状況



7 H15号住居址  
カマド



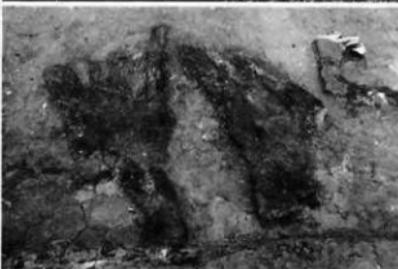
1 H17号住居址  
炭化材出土状況



2 H17号住居址  
(東より)



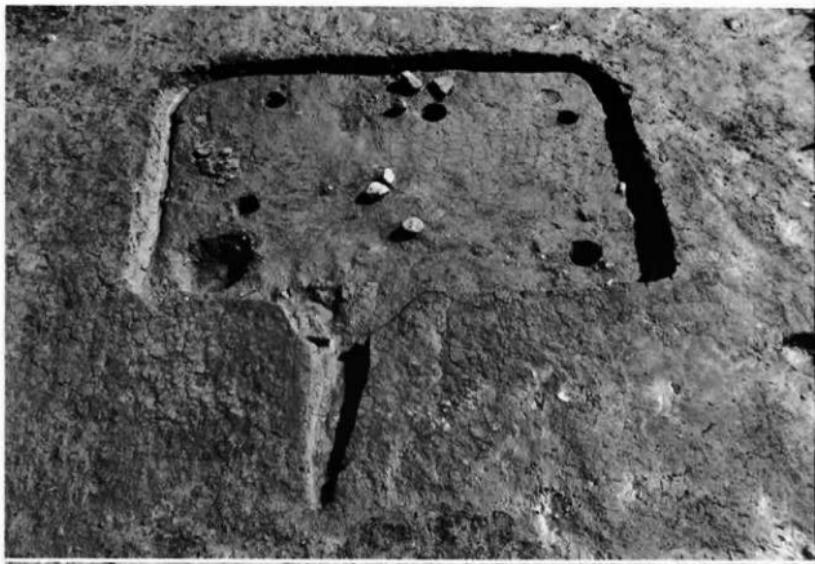
3 H17号住居址  
炭化材出土状況





A地区2全景  
(東より)

1 H18号住居址  
遺物出土状況



2 H18号住居址  
(北東より)



3 H18号住居址  
ガマド



4 H22号住居址  
ガマド





1 H19号住居址  
(北より)

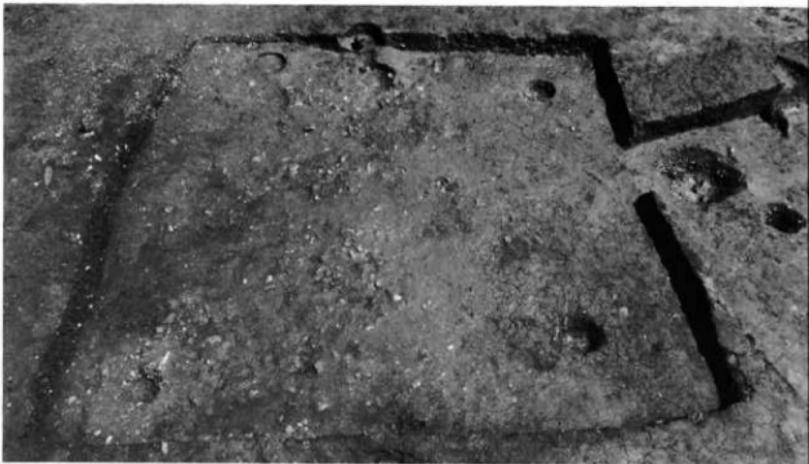


2 H21号住居址  
(北より)



3 H20・21・  
22号住居址  
(東より)

1 H22号住居址  
(南より)



2 H24号住居址  
(北東より)



3 H25・26号  
住居址  
(東より)





1 H26号住居址  
(南より)



2・3 H26号住居址  
カマド



4 H26号住居址  
遺物出土状況

5 H26号住居址  
カマド



6 H27号住居址  
(東より)

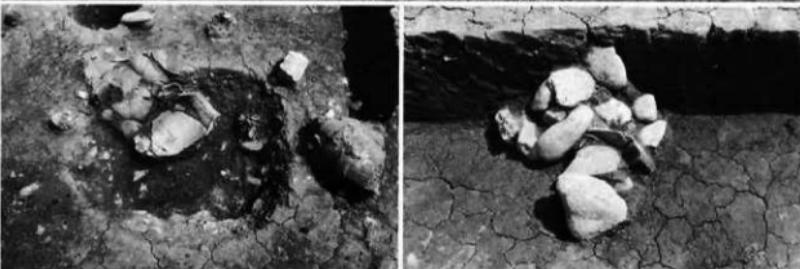
1 H28号住居址  
(西より)

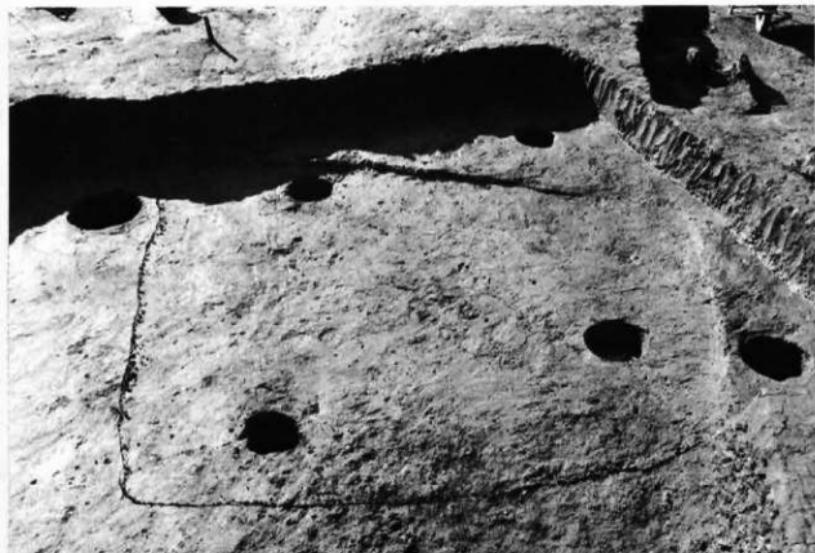


2 H29号住居址  
(南より)



3 + 4  
H29号住居址  
遺物出土状況





1 H30号住居址  
(北より)



2 H31号住居址  
(南より)



3 H31号住居址  
カマド



4 H32号住居址  
カマド

1 H32号住居址  
(南より)



2 H33号住居址  
(南より)



3・4  
H33号住居址  
カマド



1 H34号住居址  
(東より)



2 H35号住居址  
(南より)



3 H34号住居址  
カマド



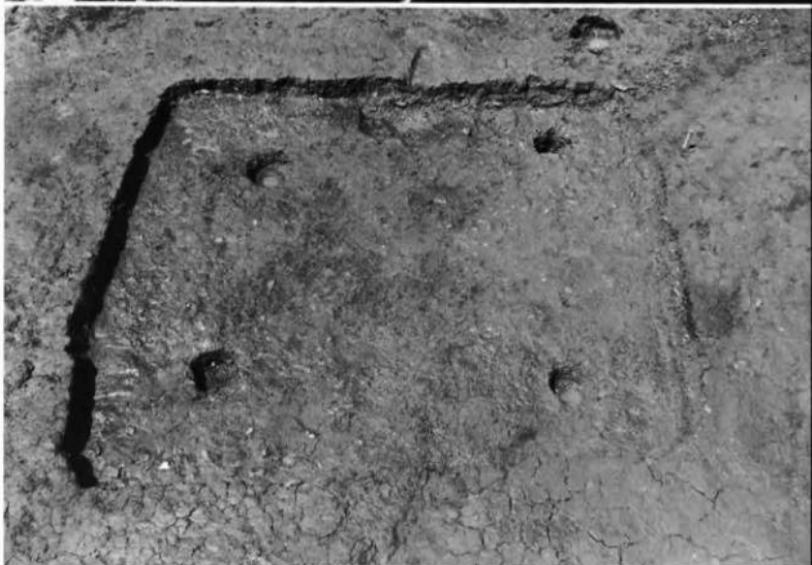
4 H35号住居址  
カマド



1 H36号住居址  
(西より)



2 H37号住居址  
(南より)



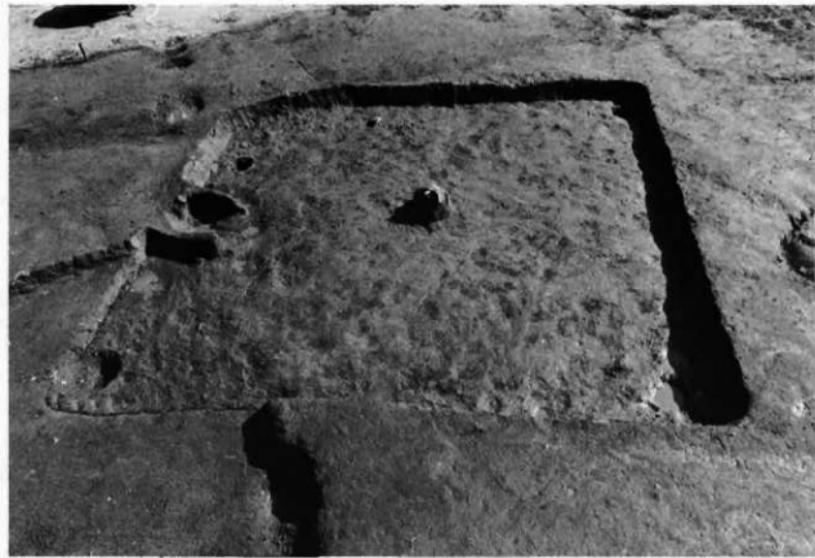
3 H36号住居址  
カマド



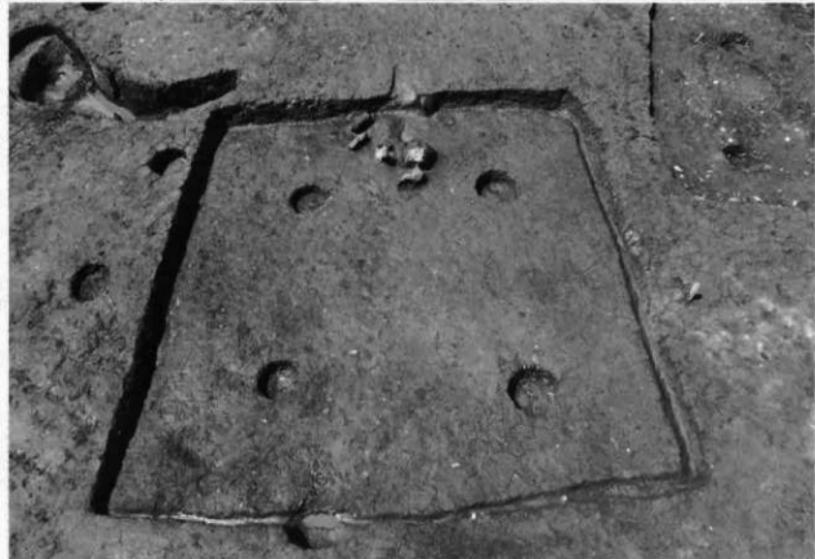
4 H37号住居址  
遺物出土状況



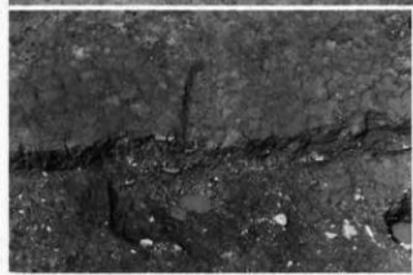
1 H38号住居址  
(西より)



2 H39号住居址  
(南より)



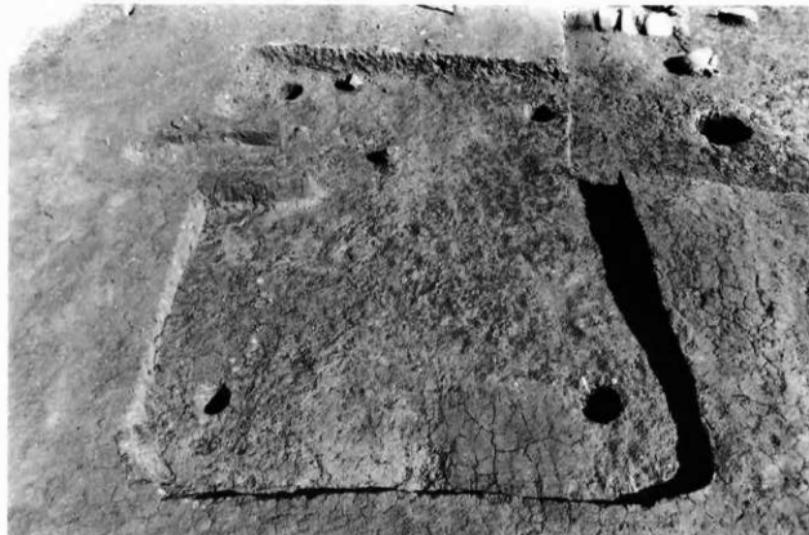
3 H37号住居址  
カマド



4 H38号住居址  
カマド



1 H138号住居址  
(西より)



2 H135号住居址  
カマド



4 H137号住居址  
カマド



5 H138号住居址  
カマド



1 H40号住居址  
(東より)



2 H41号住居址  
(北より)



3 H39号住居址  
カマド



4 H41号住居址  
カマド





1 H42号住居址  
(西より)



2 H43号住居址  
(南東より)



3 H44号住居址  
(南より)



4 H42号住居址  
カマド

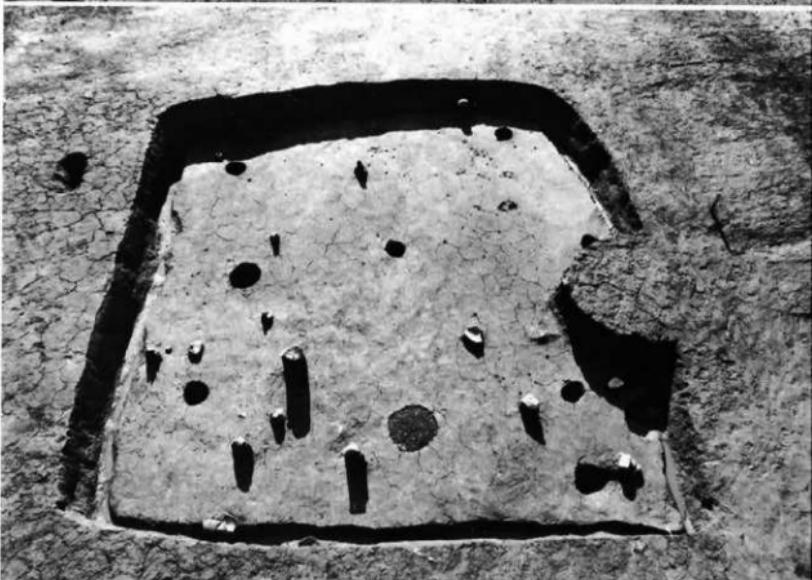


5 H44号住居址  
カマド

1 H45号住居址  
(南より)



2 H46号住居址  
(東より)



3 H45号住居址  
カマド



4 H46号住居址  
カマド

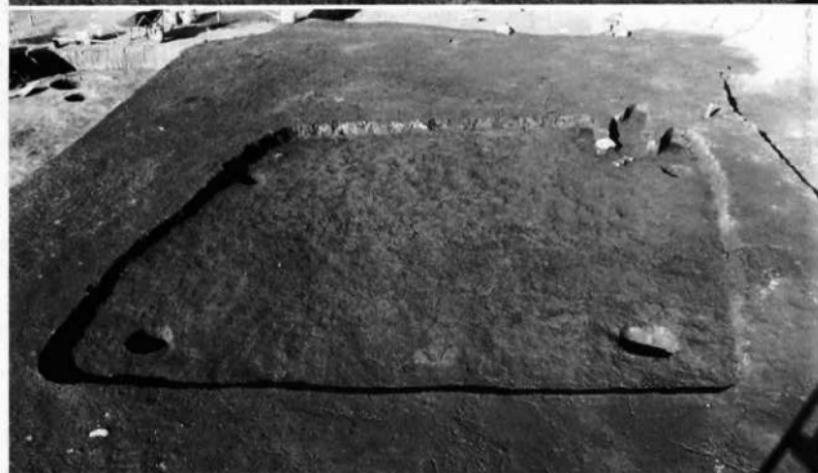




1 H47号住居址  
(西より)



2 H48号住居址  
(南より)



3 H201号住居址  
(南より)

1 H49・201号  
住居址  
(南より)



2 H50号住居址  
(南より)



3 H48号住居址  
カマド



4 H49号住居址  
カマド

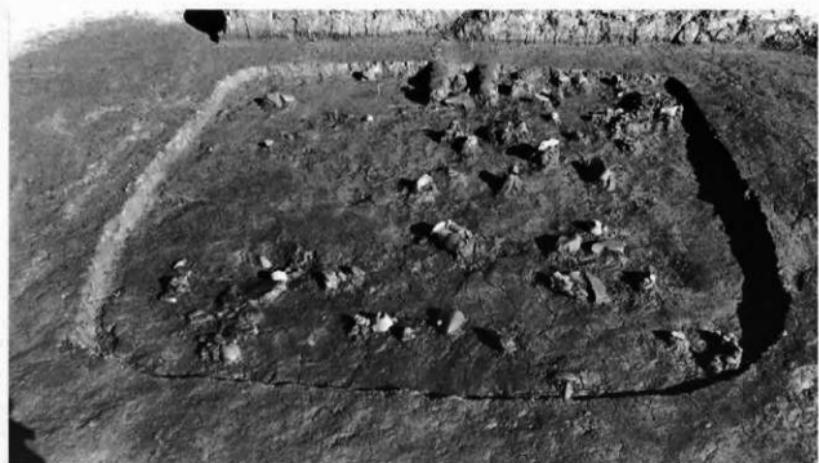


5 H201号住居址  
カマド



6 H50号住居址  
カマド





1 H51号住居址  
遺物出土状況

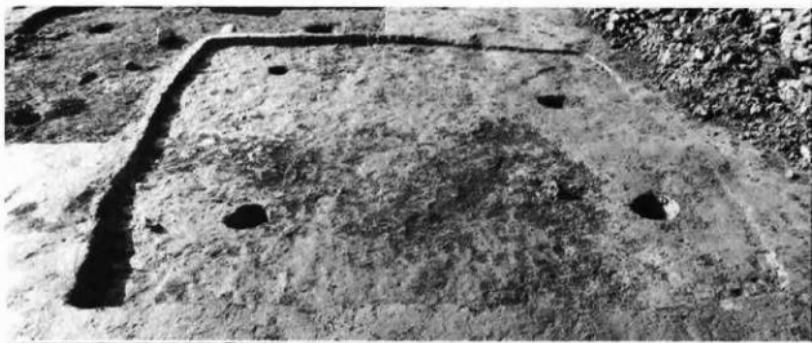


2 H51号住居址  
(南より)



3 H52号住居址  
(西より)

1 H53号住居址  
(東より)



2 H55号住居址  
(南より)



3 H51号住居址  
カマド



4 H55号住居址  
カマド



5 H56号住居址  
(東より)





1 H54-55-57-  
58号住居址  
(東より)



2 H58号住居址  
(南より)

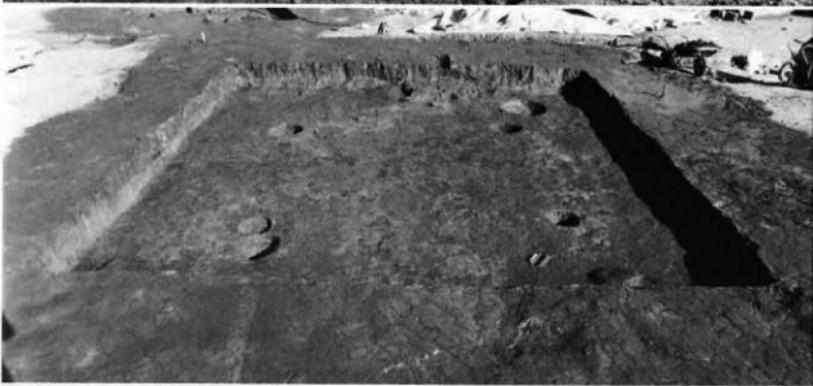


3 H59・61号  
住居址  
(南より)

1 H60号住居址  
(西より)



2 H62号住居址  
(西より)



3 H58号住居址  
カマド



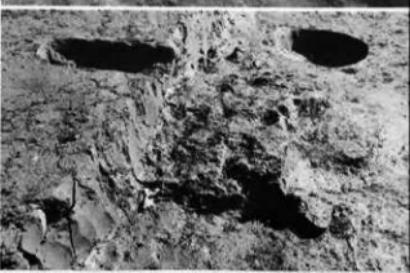
4 H59号住居址  
カマド



5 H60号住居址  
カマド



6 H62号住居址  
カマド



1 H63号住居址  
(南より)



2 H64号住居址  
(南より)



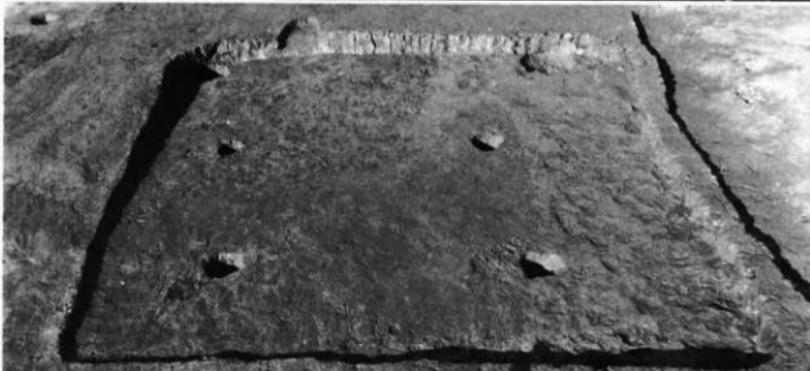
3 H65号住居址  
(西より)



1 H66号住居址  
(西より)



2 H67号住居址  
(南より)



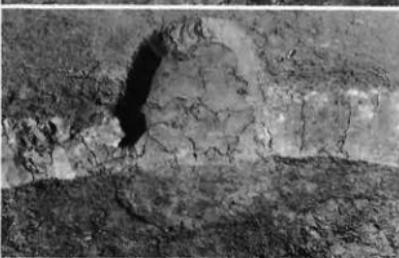
3 H65号住居址  
カマド



4 H66号住居址  
カマド



5 H67号住居址  
カマド



6 H68号住居址  
カマド





1 H68号住居址  
(東より)



2 H69号住居址  
(東より)



3 H70号住居址  
(東より)

1 H69号住居址  
カマド



2 H70号住居址  
カマド



3 H71号住居址  
(南より)



4 H72号住居址  
(南より)



5 H71号住居址  
カマド



6 H72号住居址  
カマド





1 H73号住居址  
(南より)



2 H74号住居址  
(南より)



3 H75号住居址  
(南より)

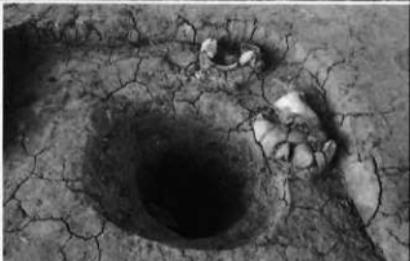
1 H76号住居址  
(南より)



2 H73号住居址  
カマド



3 H75号住居址  
遺物出土状況



4・5  
H75号住居址  
カマド



6 H76号住居址  
遺物出土状況



7 H76号住居址  
カマド



1 H77号住居址  
(南西より)



2 H78・79・  
80号住居址  
(南より)



3 H80号住居址  
(南より)



1 H77号住居址  
遺物出土状況



2 H79号住居址  
ガマド



3 H81号住居址  
(東より)



4 H82・83号  
住居址  
(東より)

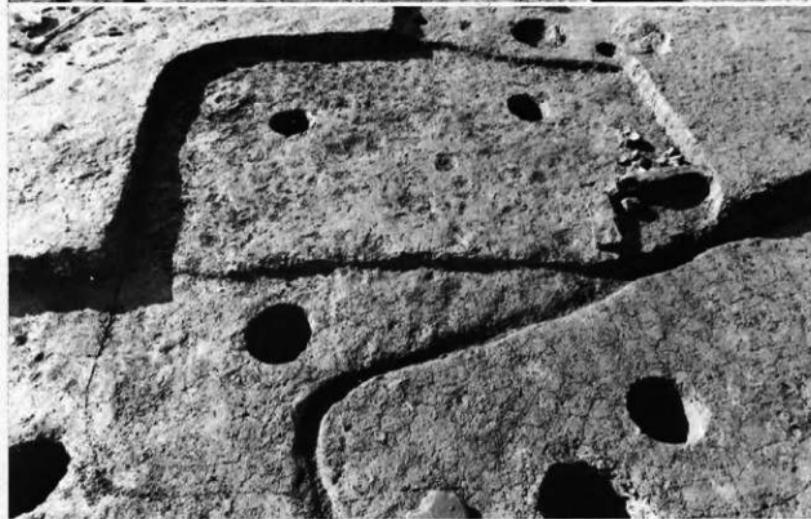


5 H83号住居址  
(西より)





1 H85号住居址  
(南より)



2 H86号住居址  
(東より)



3 H87・88号  
住居址  
(南より)

1 H88号住居址  
(西より)



2 H89号住居址  
(南より)



3 H85号住居址  
カマド



4 H86号住居址  
カマド



5 H88号住居址  
カマド



6 H89号住居址  
カマド





1 H90号住居址  
(南より)



2 H91号住居址  
(南より)



3 H92号住居址  
(南より)



4 H90号住居址  
カマド



5 H91号住居址  
カマド

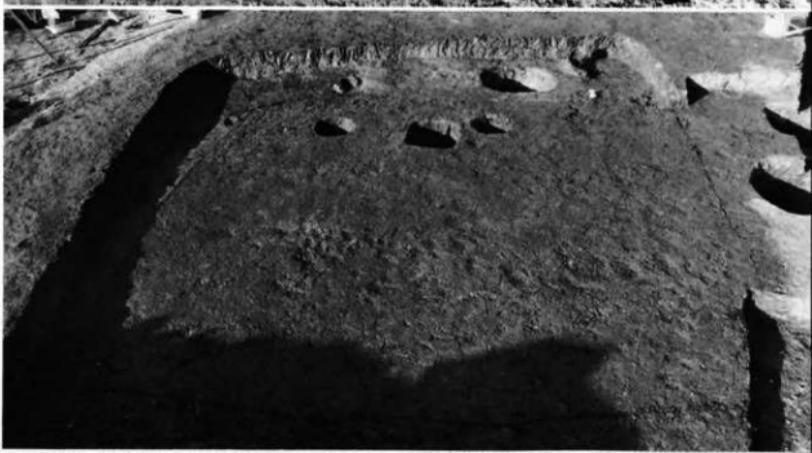
1 H93号住居址  
(南より)



2 H94号住居址  
(西より)



3 H95号住居址  
(南より)



1 H96・97号  
住居址  
(南より)



2 H97号住居址  
(南より)



3 H96号住居址  
カマド



4 H97号住居址  
カマド



1 H96・97号  
住居址  
(西より)



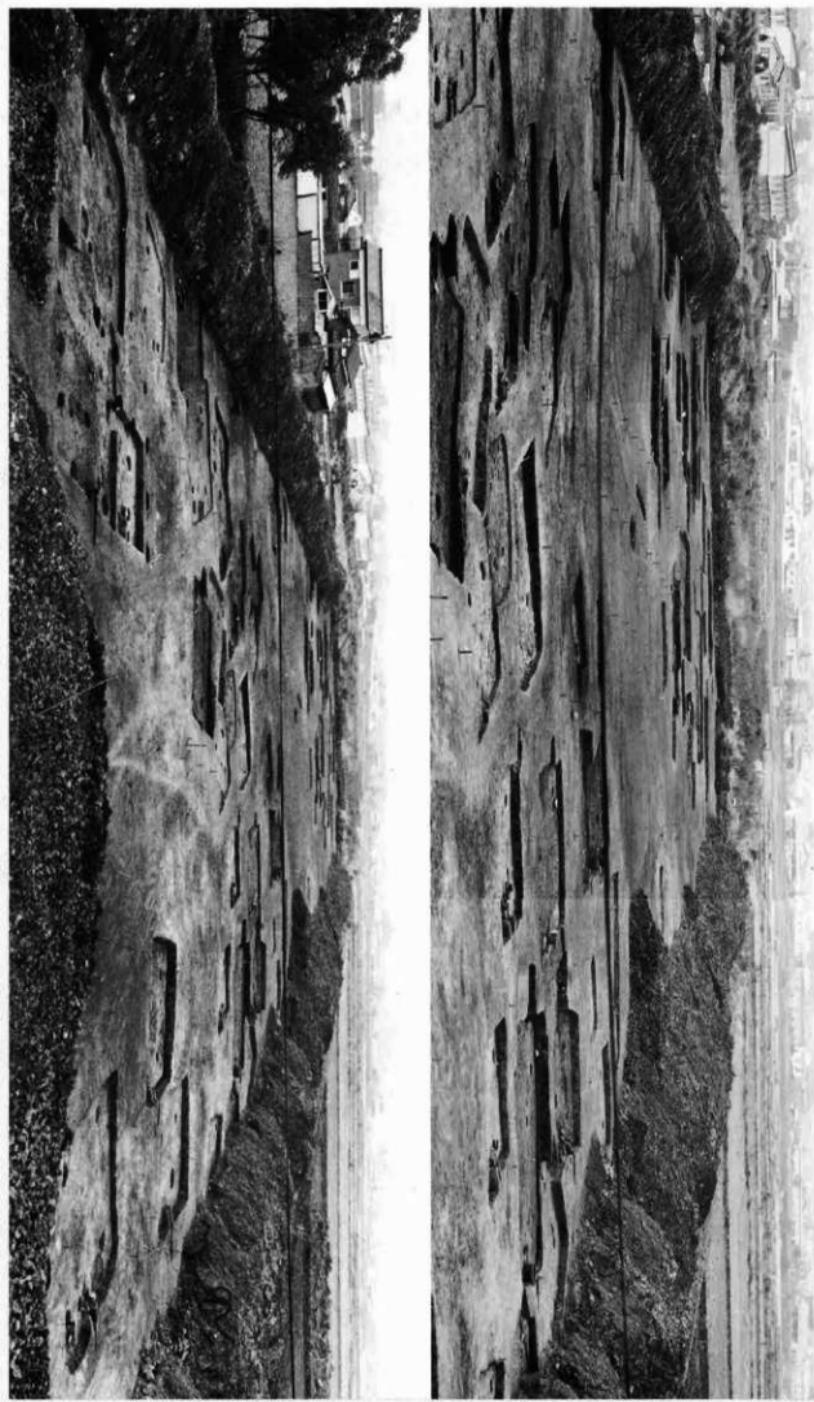
2 H287号住居址  
(南より)



3・4  
H287号住居址  
カマド



1・2  
E地区1全景  
(東より)



1 H98号住居址  
(南より)



2 H99号住居址  
(東より)



3 H98号住居址  
カマド



4 H99号住居址  
カマド



5 H100・102号  
住居址  
(東より)





1 H100・101・102・  
103号住居址  
(南より)



2 H101号住居址  
(南より)



3 H102号住居址  
(南より)

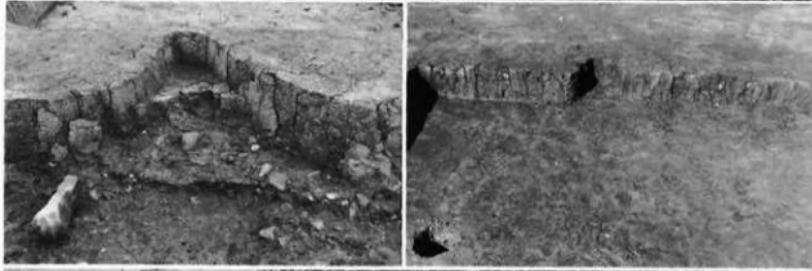
1 H103号住居址  
(南より)



2 H101号住居址  
カマド



3 H102号住居址  
遺物出土状況



4 H102号住居址  
カマド

5 H103号住居址  
カマド

6 H104号住居址  
(南より)



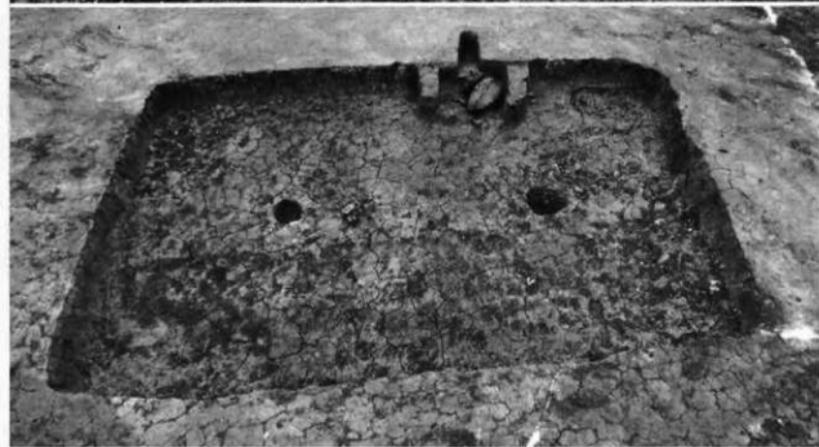
1 H104・105号  
住居址  
(北より)



2 H105号住居址  
(南より)



3 H106号住居址  
(南より)



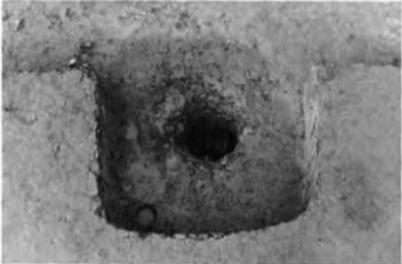
1 H107号住居址  
(南より)



2・3 H104号住居址  
柱痕残存状況



4 H104号住居址  
張り出しふィット



5 H105号住居址  
カマド



6 H106号住居址  
カマド



7 H107号住居址  
遺物出土状況



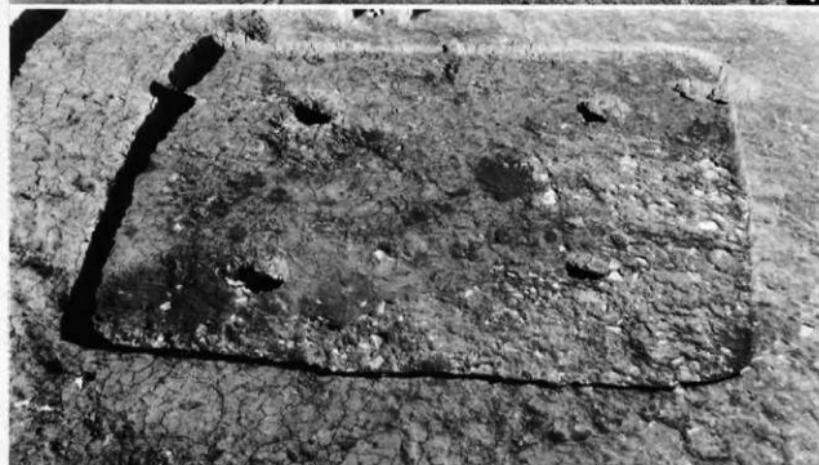
1 H108号住居址  
(北東より)



2 H109号住居址  
(南西より)



3 H110号住居址  
(南より)



1 H110・111号  
住居址  
(南より)



2 H112号住居址  
(南より)



3 H108号住居址  
遺物出土状況



4 H109号住居址  
カマド



5 H110号住居址  
遺物出土状況



6 H110号住居址  
カマド



7 H111号住居址  
カマド



8 H112号住居址  
カマド



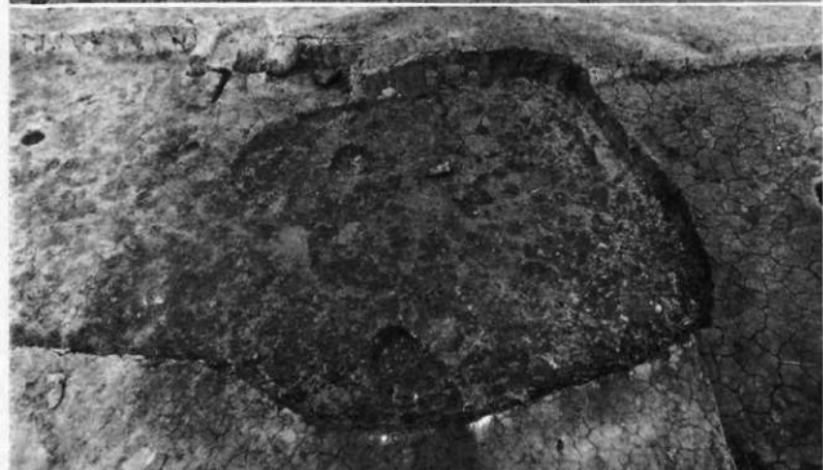
1 H113号住居址  
(南より)



2 H114号住居址  
(南より)



3 H115号住居址  
(南より)



1 H116号住居址  
(南より)



2 H113号住居址  
遺物出土状況



3 H113号住居址  
カマド



4 H114号住居址  
カマド

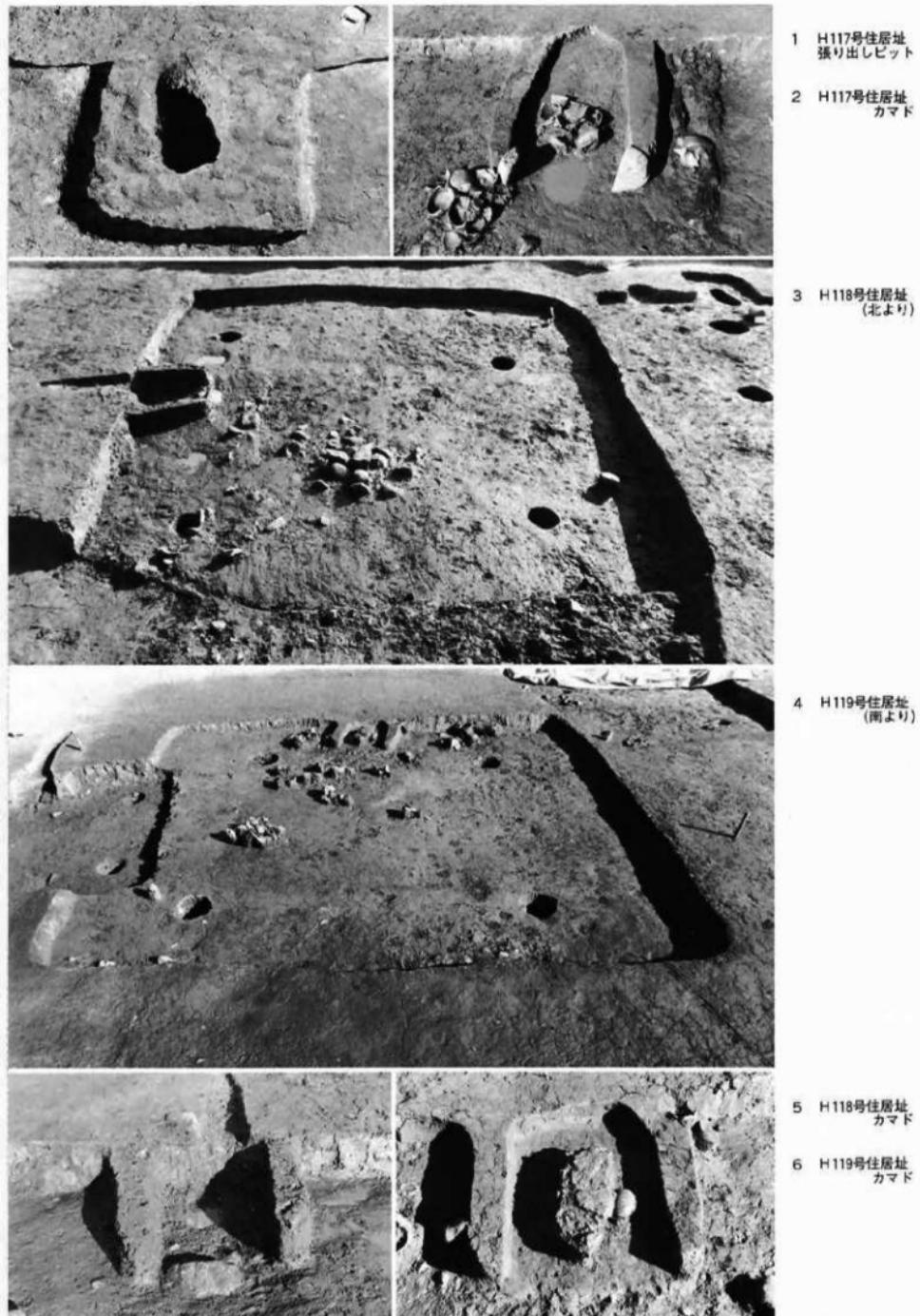


5 H116号住居址  
カマド



6 H117号住居址  
(南より)





1・2 H119号住居址  
遺物出土状況



3 H120号住居址  
(南より)



4 H120号住居址  
カマド



5 H120号住居址  
遺物出土状況



1 H122号住居址  
(南より)



2 H123号住居址  
(南より)



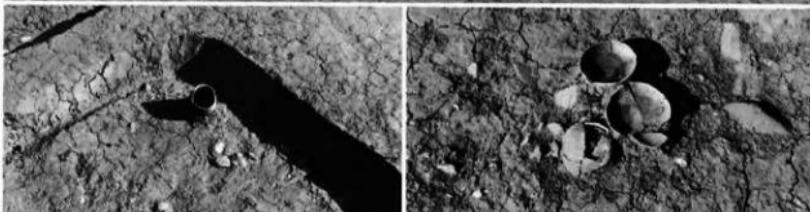
3 H125号住居址  
(南より)



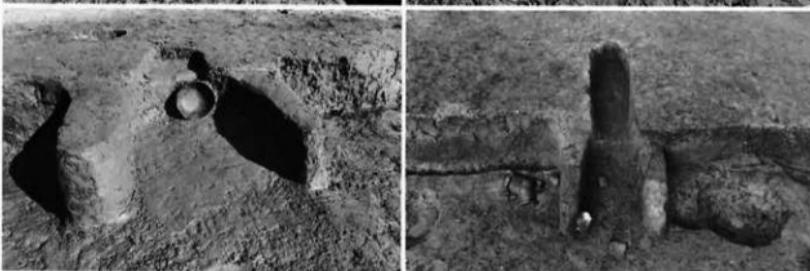
1 H126号住居址  
(南より)



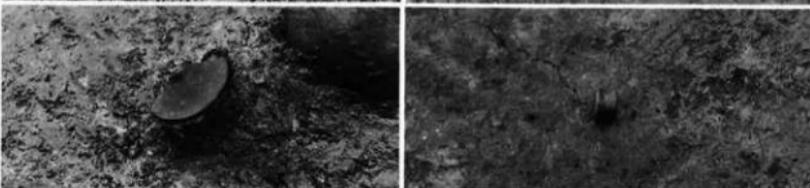
2・3 H122号住居址  
遺物出土状況



4 H122号住居址  
カマド



6・7 H123号住居址  
遺物出土状況



8 H125号住居址  
カマド



9 H126号住居址  
カマド



1 H127号住居址  
(南より)



2 H126号住居址  
(西より)



3 H129号住居址  
(南より)

1・2  
H127号住居址  
遺物出土状況



3・4  
H127号住居址  
遺物出土状況



5 H127号住居址  
カマド



6 H129号住居址  
カマド



7 H130号住居址  
(南より)



1 H131号住居址  
〔西より〕



2 H132号住居址  
〔南より〕



3 H130・131・  
132号住居址  
〔南より〕



1 H133号住居址  
(南より)



2 H134・135号  
住居址  
(南より)



3 H132号住居址  
遺物出土状況



4 H132号住居址  
カマド



5 H133号住居址  
カマド



6 H134・135号  
住居址  
カマド





1 H135号住居址  
(南より)

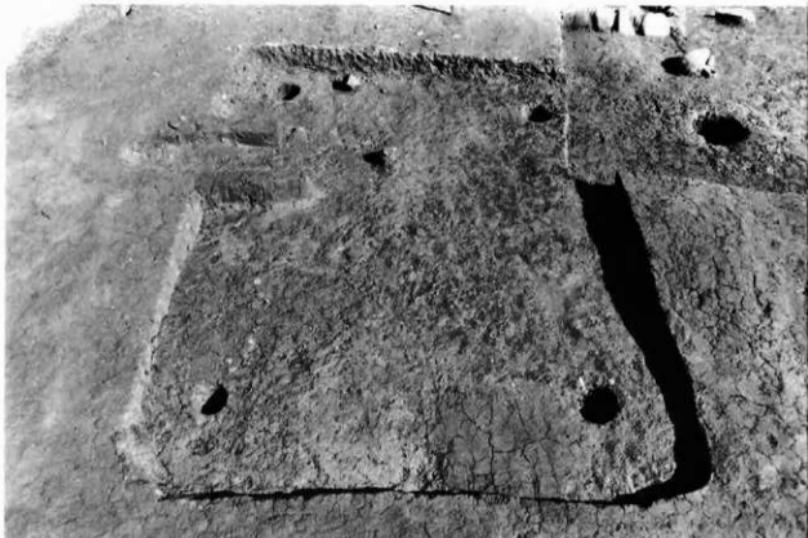


2 H136号住居址  
(南より)

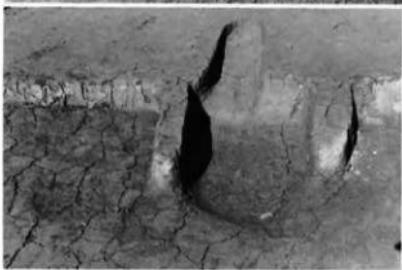


3 H137号住居址  
(南より)

1 H138号住居址  
(西より)



2 H135号住居址  
カマド



3 H136号住居址  
カマド



4 H137号住居址  
カマド



5 H138号住居址  
カマド

6 H139号住居址  
(南より)



1・2 H139号住居址  
遺物出土状況



3 H139号住居址  
カマド

4 H140号住居址  
カマド



5 H140号住居址  
(南より)



6 H141号住居址  
遺物出土状況

1 H141号住居址  
(南より)



2 H142号住居址  
(西より)



3 H141号住居址  
カマド



4 H142号住居址  
カマド



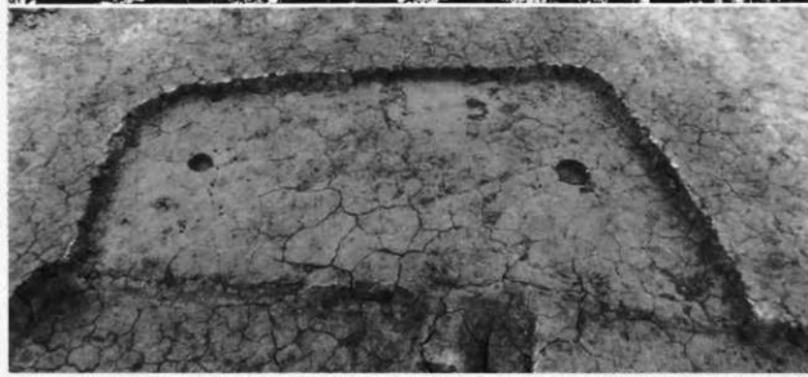
1 H143号住居址  
(南東より)



2 H144号住居址  
(南より)



3 H145号住居址  
(南より)



1 H146号住居址  
(南より)



2 H143号住居址  
カマド



3 H144号住居址  
遺物出土状況



4 H144号住居址  
カマド



5 H146号住居址  
遺物出土状況



6 H146号住居址  
カマド



7 H148号住居址  
カマド



1 H147号住居址  
(南より)



2 H148号住居址  
(南より)



3 H149号住居址  
(東より)



1 H150号住居址  
(南より)



2 H147号住居址  
遺物出土状況



3 H147号住居址  
カマド



4・5  
H150号住居址  
カマド



6・7  
H150号住居址  
遺物出土状況



1 H151号住居址  
(南より)

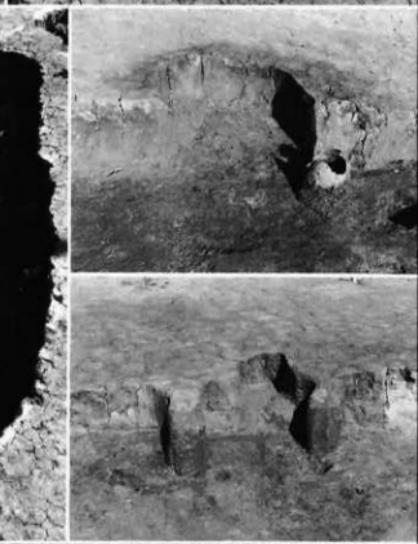
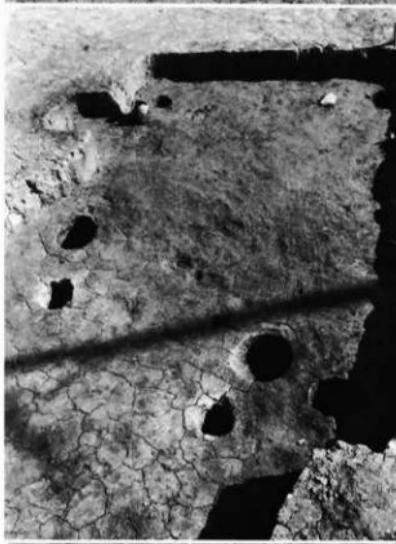


2 H152号住居址  
(南より)



3 H153号住居址  
(南より)



1 H151号住居址  
カマド3 H153号住居址  
遺物出土状況5 H155号住居址  
(西より)6 H155号住居址  
カマド7 H156号住居址  
カマド

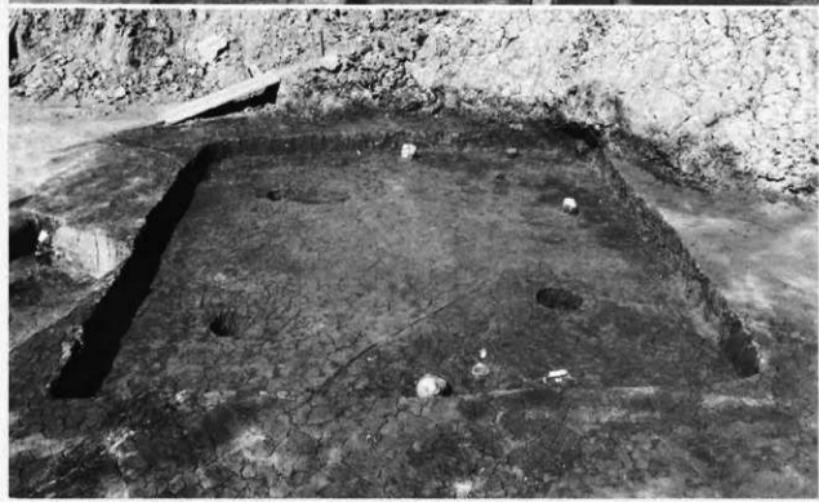
1 H 157号住居址  
(南より)



2 H 158・160号  
住居址  
(南より)



3 H 159号住居址  
(南より)



1 H160号住居址  
(南より)



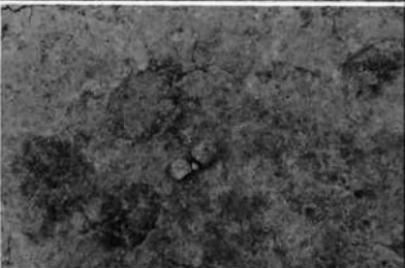
2 H161号住居址  
(南より)



3 H158号住居址  
カマド



4 H159住居址  
土器出土状況

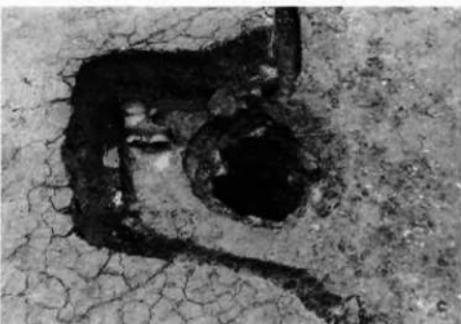


5 H160号住居址  
カマド



6 H161号住居址  
カマド





1 H161号住居址  
張り出レピット



3 H162号住居址  
カマド



5 H162号住居址  
(南より)



6 H163号住居址  
(西より)

1 H166号住居址  
(南より)

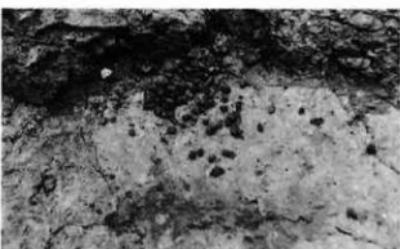


2 H167号住居址  
(北より)



3 H168号住居址  
(南より)





1 H168号住居址  
カマド



2 H169号住居址  
炭化豆類  
出土状況



3 H169号住居址  
炭化材出土状況



4 H169号住居址  
(南より)

5 H170号住居址  
(西より)

1 H169号住居址  
カマド



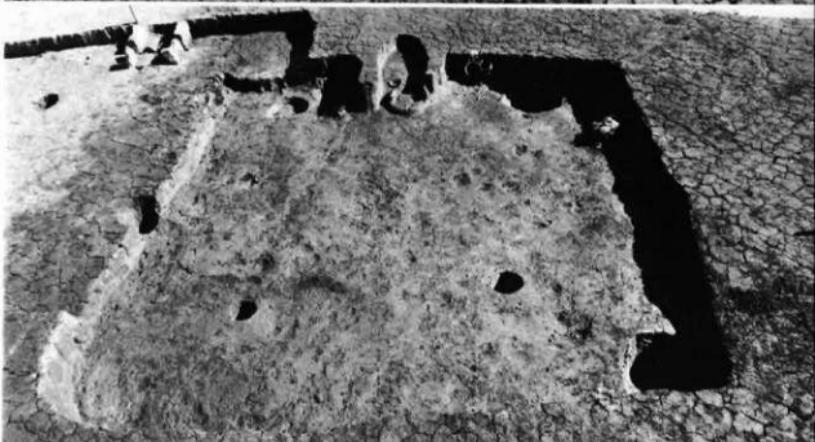
2 H170号住居址  
カマド



3 H171号住居址  
(北より)



4 H172号住居址  
(西より)



5 H171号住居址  
カマド



6 H172号住居址  
カマド



1 H173号住居址  
(西より)



2 H174号住居址  
(南より)



3 H175号住居址  
(南より)



1 H176号住居址  
(南より)



2 H173号住居址  
カマド



3 H174号住居址  
カマド



4 H175号住居址  
カマド



5 H176号住居址  
カマド



6 H179号住居址  
(南より)





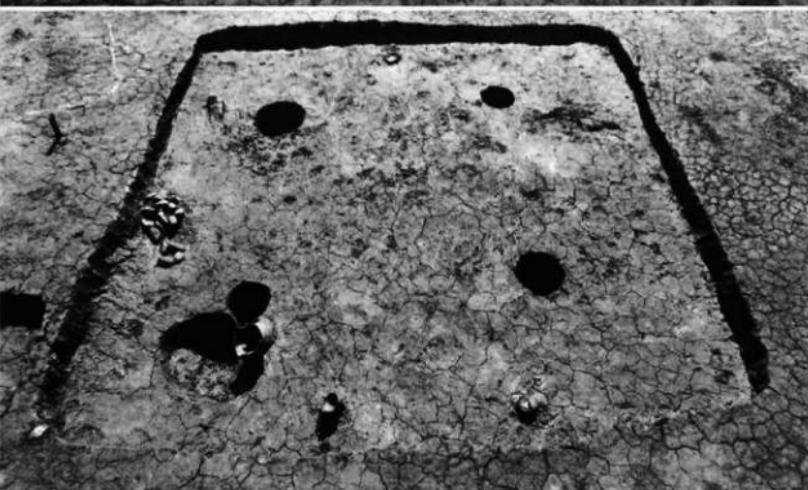
1 H179号住居址  
遺物出土状況



2 H179号住居址  
カマド



3 H180号住居址  
(南より)



4 H181号住居址  
(北より)



5 H180号住居址  
カマド



6 H181号住居址  
土鈴出土状況

1 H182号住居址  
(西より)



2 H183号住居址  
(西より)



3 H182号住居址  
カマド



4 H183号住居址  
カマド



5 H184号住居址  
(西より)





1 H185号住居址  
(南より)



2 H186号住居址  
(西より)



3 H187号住居址  
(西より)



4 H184号住居址  
カマド



5 H186号住居址  
カマド

1 H188号住居址  
(南より)



2 H189号住居址  
(南より)

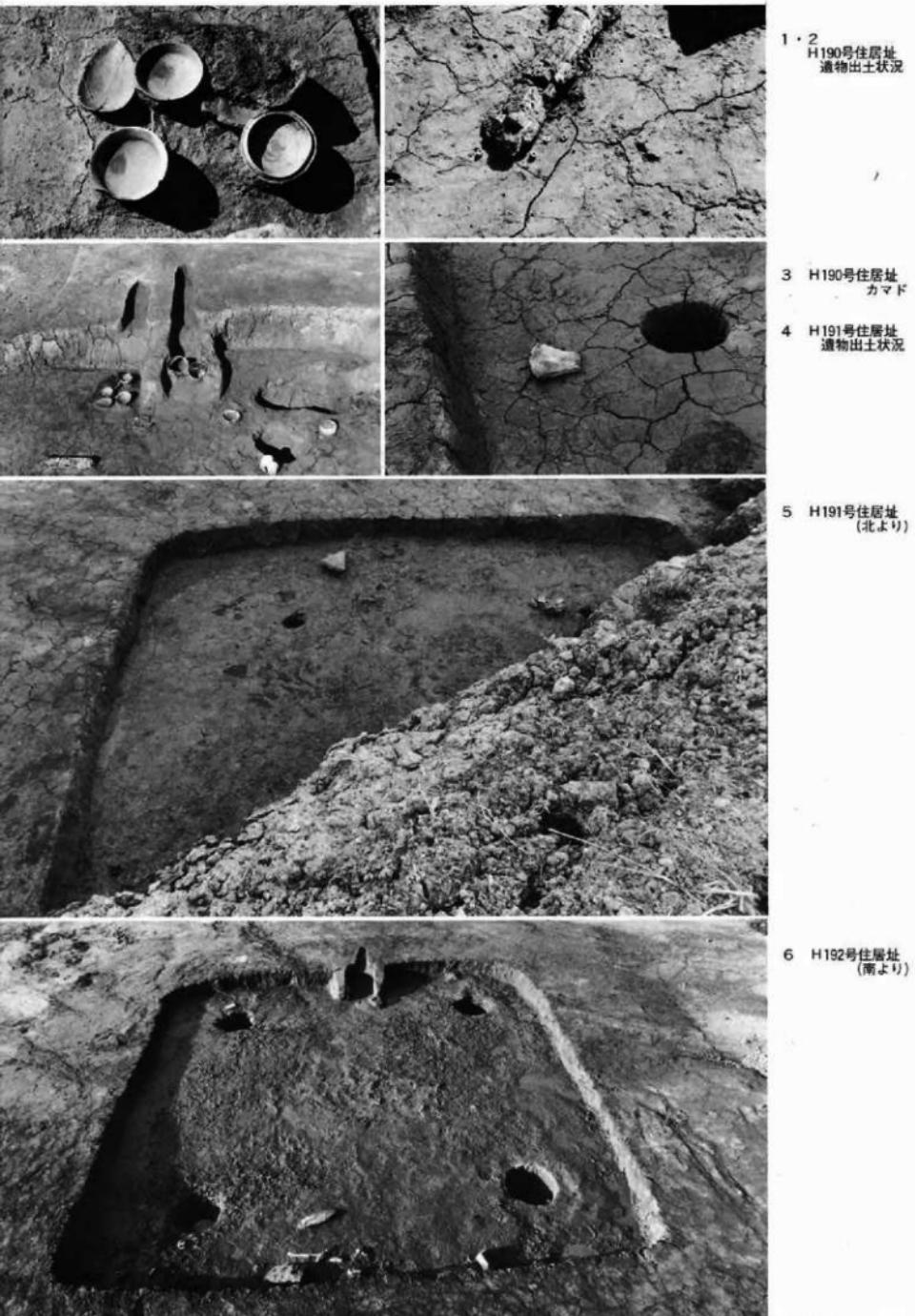


3 H187号住居址  
カマド



4 H189号住居址  
カマド





1・2  
H190号住居址  
遺物出土状況

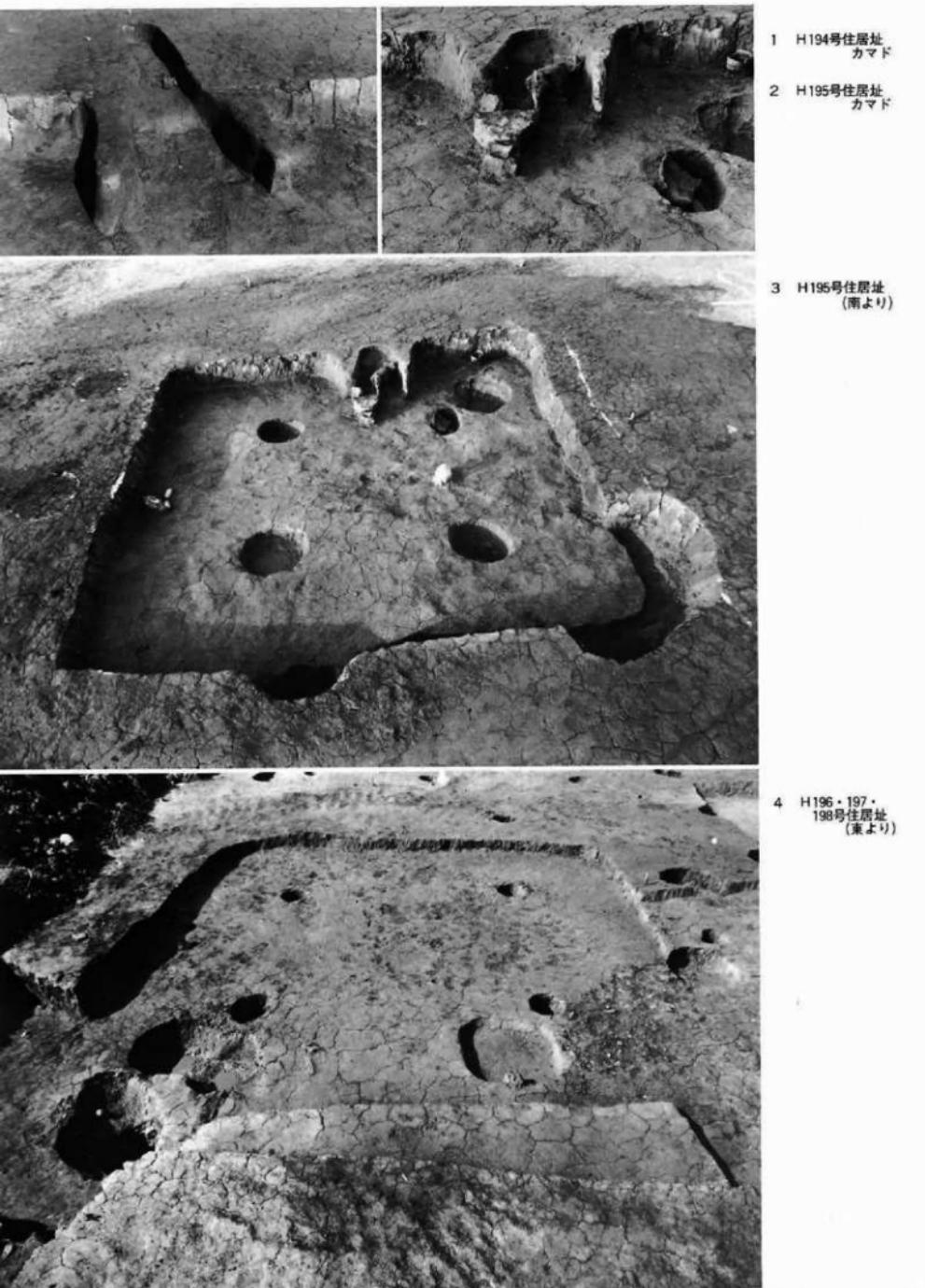
3 H190号住居址  
カマド

4 H191号住居址  
遺物出土状況

5 H191号住居址  
(北より)

6 H192号住居址  
(南より)

1 H192号住居址  
遺物出土状況2 H192号住居址  
カマド3 H193号住居址  
(南より)4 H194号住居址  
(北より)5 H193号住居址  
カマド6 H194号住居址  
遺物出土状況



1 H194号住居址  
カマド

2 H195号住居址  
カマド

3 H195号住居址  
(南より)

4 H196・197・  
198号住居址  
(東より)

1 H199号住居址  
(南より)



2 H200号住居址  
(南より)



3 H196号住居址  
カマド



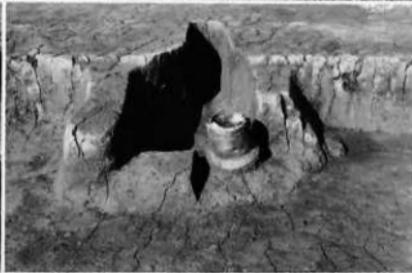
4 H198号住居址  
遺物出土状況



5 H199号住居址  
カマド



6 H200号住居址  
カマド



1 B地区全景  
(東より)



2 B地区全景  
(西より)



1 H202号住居址  
(南西より)



2 H203号住居址  
(東より)



3 H202号住居址  
カマド



4 H202号住居址  
遺物出土状況



5 H202号住居址  
P<sub>6</sub>



6 H203号住居址  
カマド





1 H204・205号  
住居址  
(南西より)



2 H205号住居址  
(南より)



3 H206号住居址  
(南西より)

1 H207号住居址  
(南より)



2 H204号住居址  
遺物出土状況



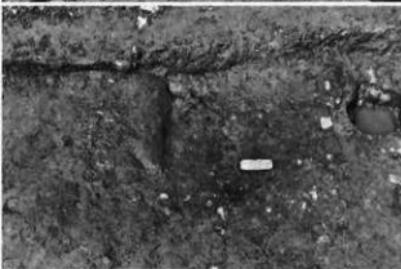
3 H205号住居址  
カマド



4 H206号住居址  
遺物出土状況



5 H206号住居址  
カマド



6・7  
H207号住居址  
カマド





1 H208号住居址  
(南より)



2 H209号住居址  
(南より)

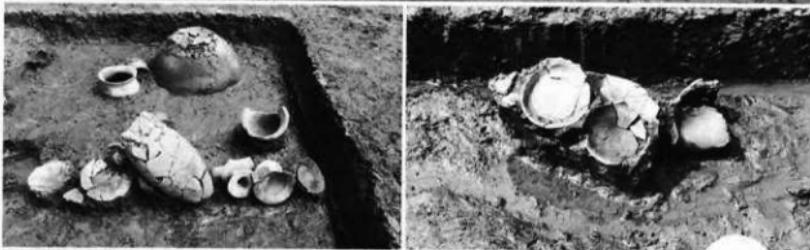


3 H210号住居址  
炭化材出土状況

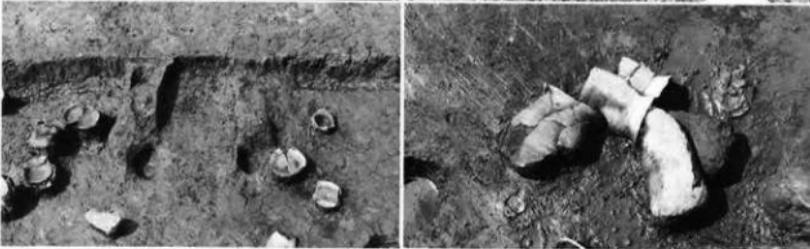
1 H210号住居址  
(南より)



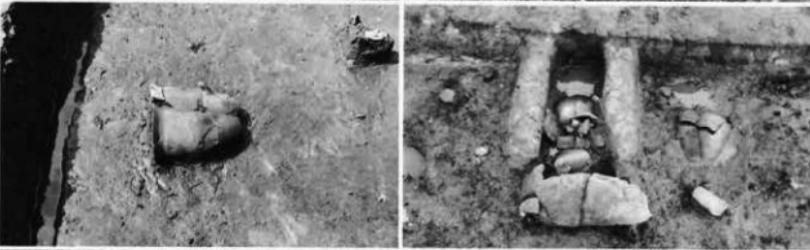
2・3 H208号住居址  
遺物出土状況



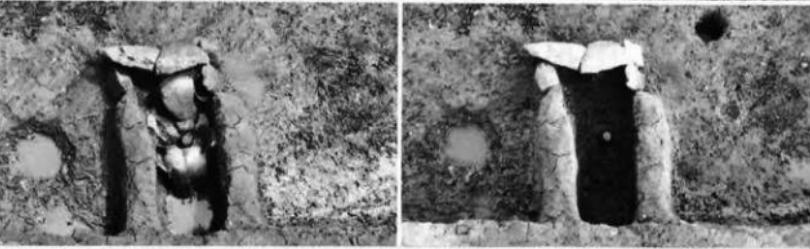
4 H208号住居址  
カマド



5 H209号住居址  
遺物出土状況



8・9 H210号住居址  
カマド



1 H211・212・  
213号住居址  
(西より)



2 H211号住居址  
(南より)



3 H212号住居址  
(北より)



1 H213号住居址  
(南より)



2 H214号住居址  
(北より)



3 H213号住居址  
カマド



4 H214号住居址  
カマド



5・6  
H214号住居址  
遺物出土状況





1 H216号住居址  
(南より)



2 H215・216号  
住居址  
(南より)



3 H216号住居址  
カマド

1 E地区2全景  
(東より)



2 E地区2全景  
(西より)



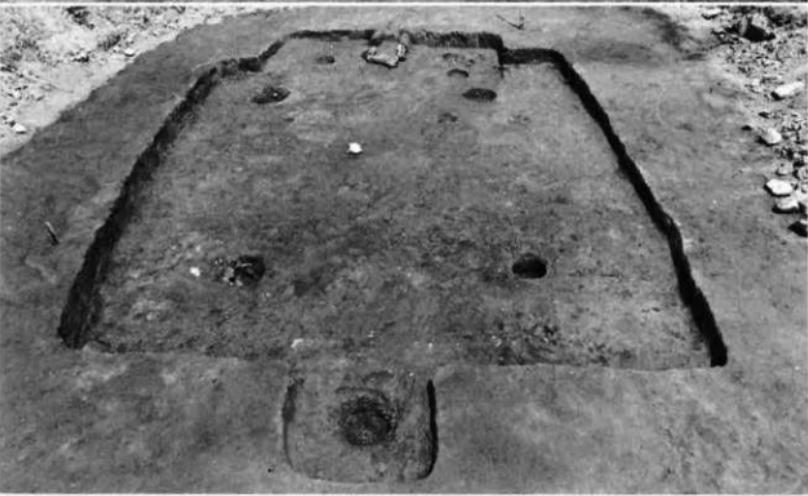
1 H217号住居址  
(西より)



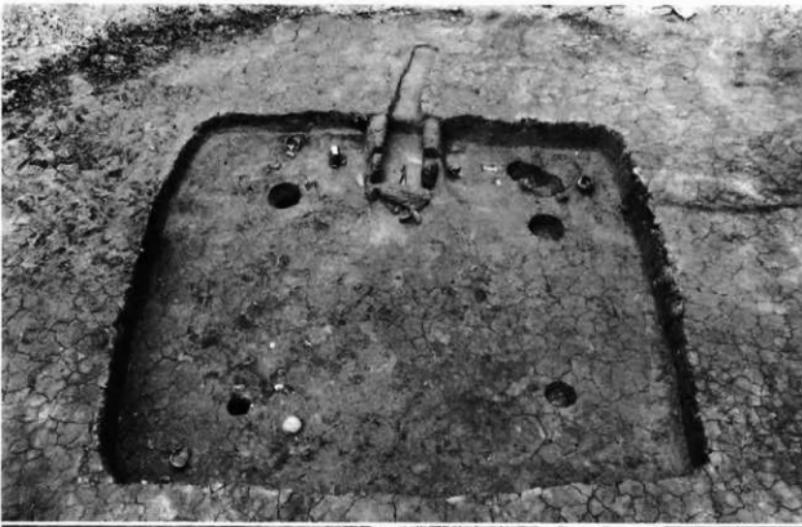
2 H218号住居址  
炭化材出土状況



3 H218号住居址  
(南より)



1 H219号住居址  
(南より)



2 H220号住居址  
(南より)



3 H217号住居址  
カマド



4 H218号住居址  
炭化材出土状況



5 H219号住居址  
カマド



6 H220号住居址  
カマド



1 H221号住居址  
(南より)



2 H222号住居址  
(南より)



3 H222号住居址  
管玉出土状況



4 H222号住居址  
遺物出土状況



5 H222号住居址  
遺物出土状況

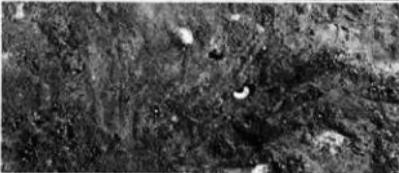


6 H222号住居址  
カマド

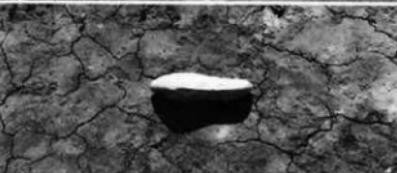
1 H223号住居址  
(南より)



2 H223号住居址  
勾玉出土状況



3 H223号住居址  
鉢石出土状況



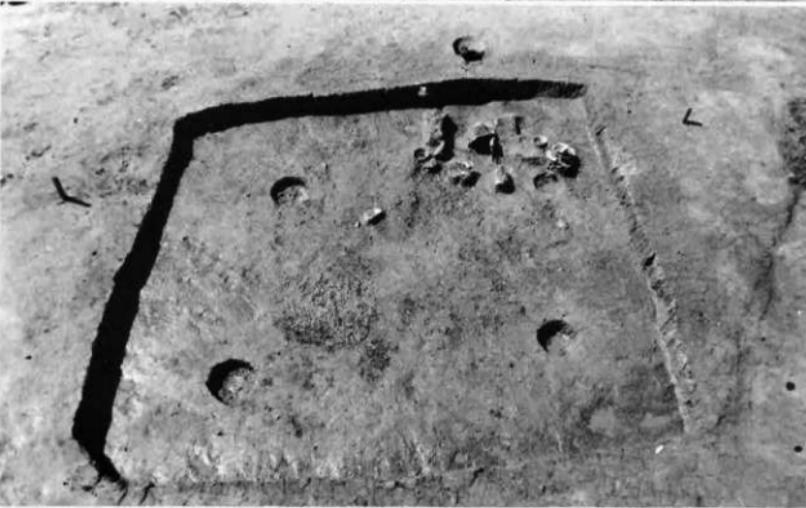
4 H223号住居址  
張り出レピット



5 H223号住居址  
カマド



6 H224号住居址  
(南より)





1 H225号住居址  
(南より)



2 H226号住居址  
(北西より)



3 H227・228号  
住居址  
(北西より)

1 H228号住居址  
(西より)



2・3 H224号住居址  
カマド



4 H225号住居址  
カマド



5 H227号住居址  
カマド土製支脚



6 H227号住居址  
カマド

7 H228号住居址  
カマド



1 H229号住居址  
炭化材出土状況



2 H229号住居址  
(南より)



3 H229号住居址  
出入口部施設



4 H229号住居址  
遺物出土状況



5 H229号住居址  
紡錘車出土状況

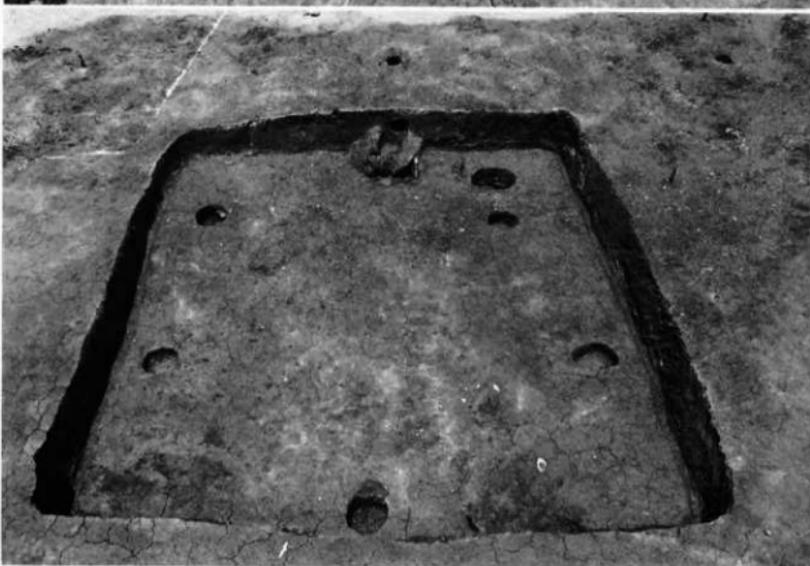


6 H229号住居址  
カマド

1 H230号住居址  
遺物出土状況



2 H230号住居址  
(南より)



3・4  
H230号住居址  
遺物出土状況



5 H230号住居址  
カマド



1 H231号住居址  
(南より)



2 H232号住居址  
(南より)



3 H234号住居址  
(東より)

1 H235号住居址  
(南より)



2 H236号住居址  
(南より)



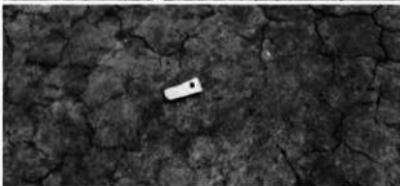
3 H231号住居址  
カマド



4 H236号住居址  
カマド



5 H236号住居址  
鉢石出土状況



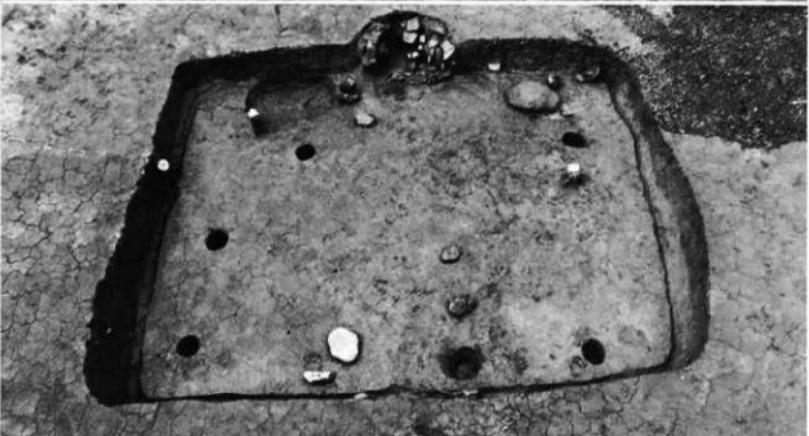
6 H236号住居址  
縄文石出土状況



1 H236号住居址  
(南より)



2 H237号住居址  
(南より)



3 H238号住居址  
(南西より)



1 H239号住居址  
(南西より)



2 H237号住居址  
遺物出土状況



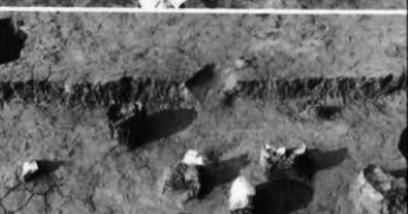
3 H237号住居址  
カマド



4 H237号住居址  
筋錐車出土状況



5 H238号住居址  
遺物出土状況



6 H238号住居址  
遺物出土状況

7 H238号住居址  
カマド

8 H238号住居址  
遺物出土状況

9 H239号住居址  
カマド

1 H240号住居址  
(北東より)



2 H241号住居址  
(南より)



3 H243号住居址  
(南西より)



1 H244号住居址  
(南より)



2 H240号住居址  
遺物出土状況



3 H240号住居址  
カマド



4 H243号住居址  
白玉出土状況



5 H243号住居址  
貯蔵穴



6 H243号住居址  
カマド



7 H244号住居址  
カマド



8 H244号住居址  
遺物出土状況



9 H244号住居址  
打製石斧  
出土状況





1 H245号住居址  
(南より)



2・3 H245号住居址  
遺物出土状況



4・5 H245号住居址  
遺物出土状況



6 H245号住居址  
カマド

1 E地区3全景  
(東より)



2 E地区3全景  
(西より)





1 H246号住居址  
(西より)

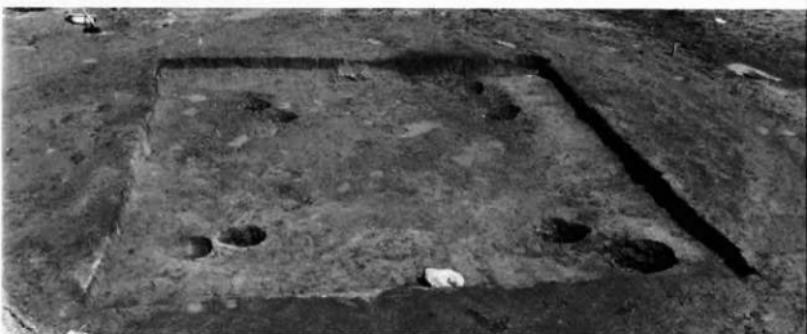


2 H247号住居址  
(西より)



3 H248号住居址  
(南より)

1 H249号住居址  
(南西より)



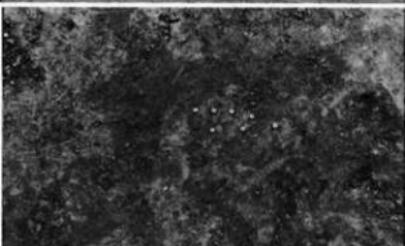
2 H250号住居址  
(南西より)



3 H247号住居址  
カマド



4 H248号住居址  
白玉出土状況



5 H248号住居址  
砾石出土状況



6 H248号住居址  
カマド



7・8 H250号住居址  
遺物出土状況





1 H251号住居址  
(南より)



2 H252・253号  
住居址  
(南より)



3 H253号住居址  
(南より)

1 H254号住居址  
(南より)



2 H254・255号  
住居址  
(南より)



3 H252号住居址  
遺物出土状況



4 H253号住居址  
カマド



5・6 H254号住居址  
カマド



1 H256号住居址  
(東より)



2 H257号住居址  
(西より)



3 H258号住居址  
(南より)



4 H257号住居址  
カマド



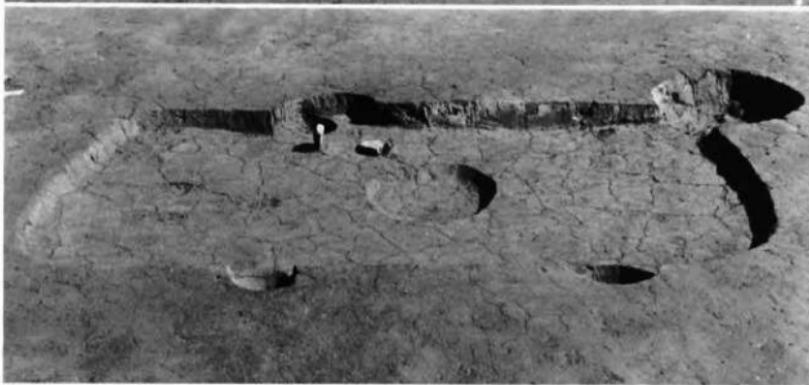
5 H258号住居址  
カマド



1 H259号住居址  
(南東より)

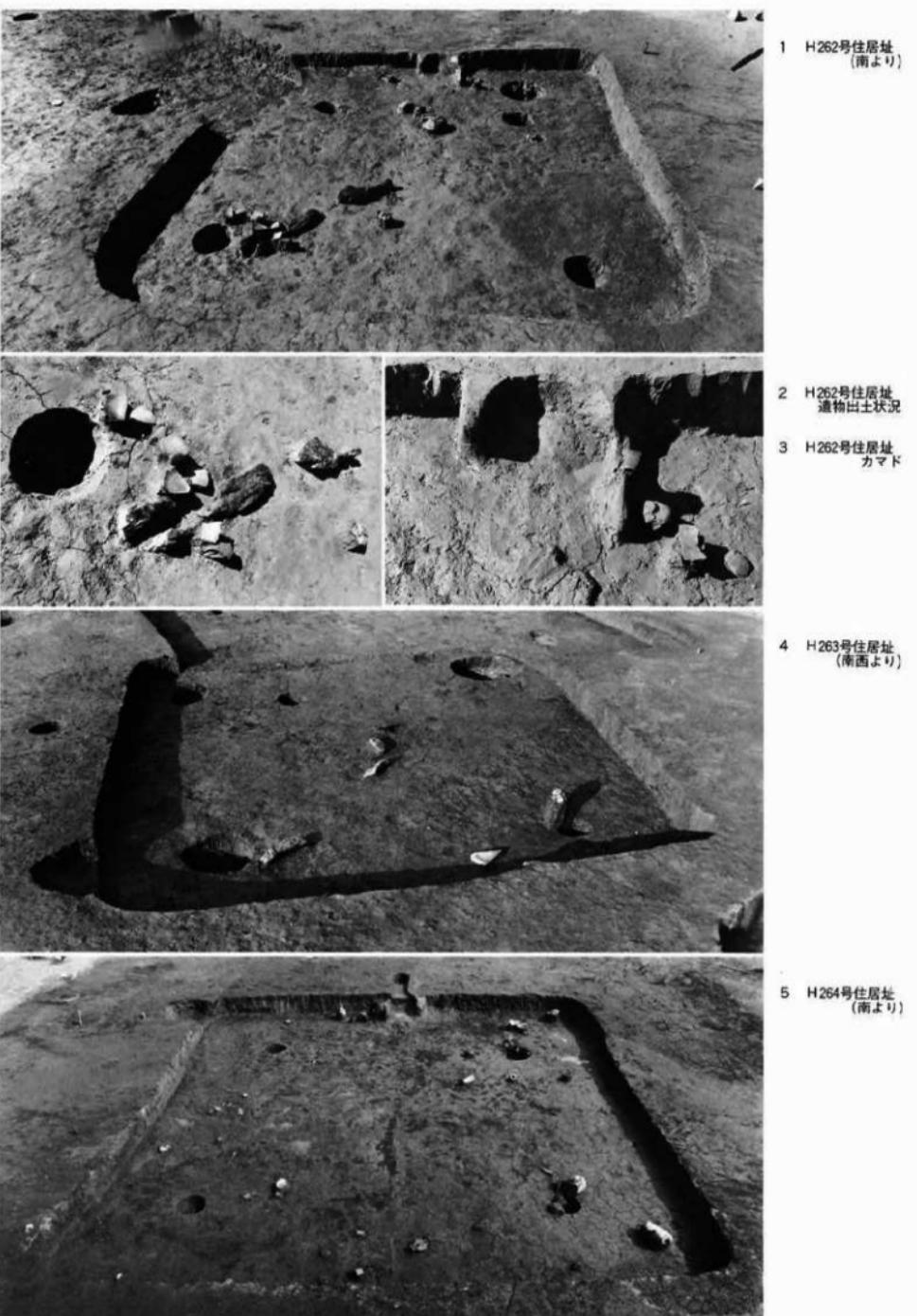


2 H260号住居址  
(南西より)



3 H261号住居址  
(南より)





1 H265・267号  
住居址  
(南西より)



2 H266号住居址  
(南より)



3 H263号住居址  
遺物出土状況



4 H264号住居址  
カマド



5 H264号住居址  
臼玉出土状況



6 H266号住居址  
カマド





1 H267号住居址  
(南より)



2 H268号住居址  
(南より)



3 H269号住居址  
(南より)

1 H272号住居址  
(南より)



2 H267号住居址  
カマド



3 H269号住居址  
磨製石斧  
出土状況



4 H269号住居址  
カマド



5 H271号住居址  
カマド



6・7 H272号住居址  
遺物出土状況



8 H272号住居址  
遺物出土状況



9 H272号住居址  
カマド



1 H273号住居址  
(南より)



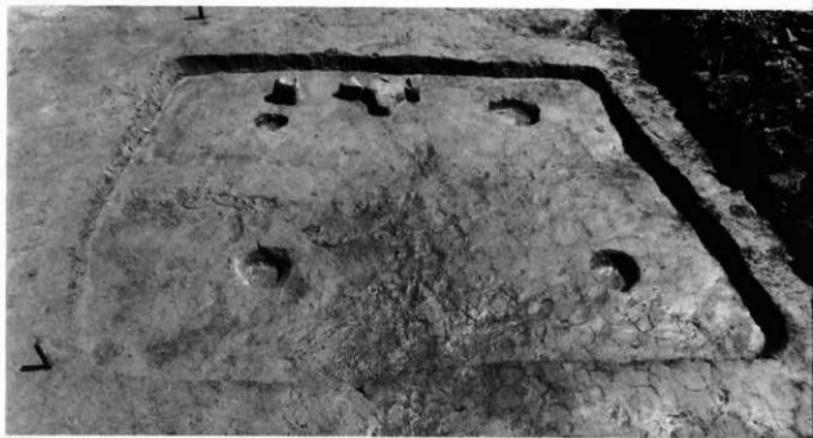
2 H274号住居址  
(北より)



3 H275号住居址  
(南より)



1 H276号住居址  
(西より)



2 H277号住居址  
(南西より)



3 H273号住居址  
カマド



4 H275号住居址  
カマド



5 H277号住居址  
遺物出土状況



6 H277号住居址  
カマド



1 H278号住居址  
(南より)



2 H279号住居址  
(東より)



3 H280号住居址  
(南より)



1 H281号住居址  
(南より)



2 H282号住居址  
(東より)



3 H278号住居址  
カマド



4 H282号住居址  
カマド



5・6 H281号住居址  
遺物出土状況



1 H281・282号  
住居址  
(南より)



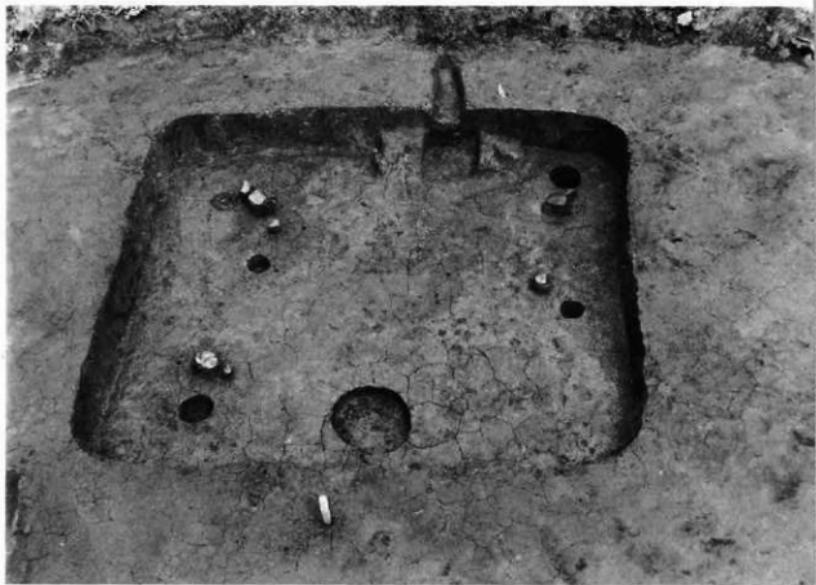
2 H283号住居址  
(南西より)



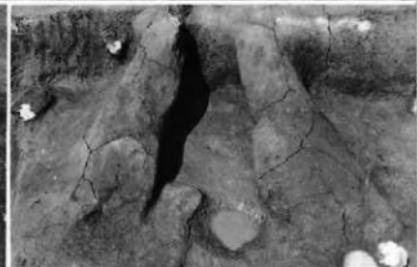
3 H284号住居址  
(南より)



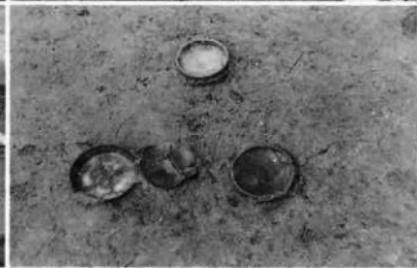
1 H285号住居址  
(西より)



2・3  
H283号住居址  
カマド



4・5  
H284号住居址  
遺物出土状況



6 H284号住居址  
カマド



7 H285号住居址  
カマド

1 H286号住居址  
〔南より〕



2 H288号住居址  
〔東より〕



3 H286号住居址  
カマド

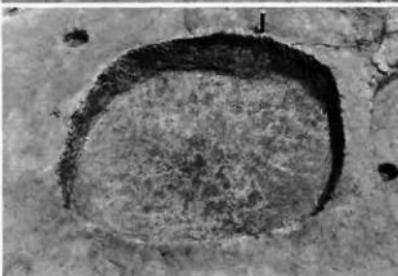


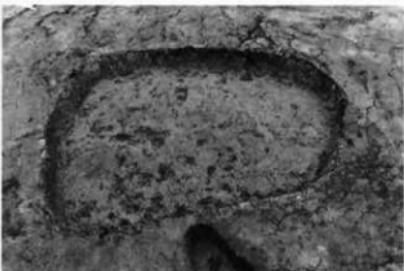
4 H288号住居址  
遺物出土状況



5・6 H288号住居址  
カマド



1 Ta1号  
竪穴状遺構3 Ta2号  
竪穴状遺構  
遺物出土状況5 Ta3号  
竪穴状遺構  
遺物出土状況6 Ta3号  
竪穴状遺構7 Ta4号  
竪穴状遺構8 Ta5・6号  
竪穴状遺構9 Ta5号  
竪穴状遺構10 Ta6号  
竪穴状遺構

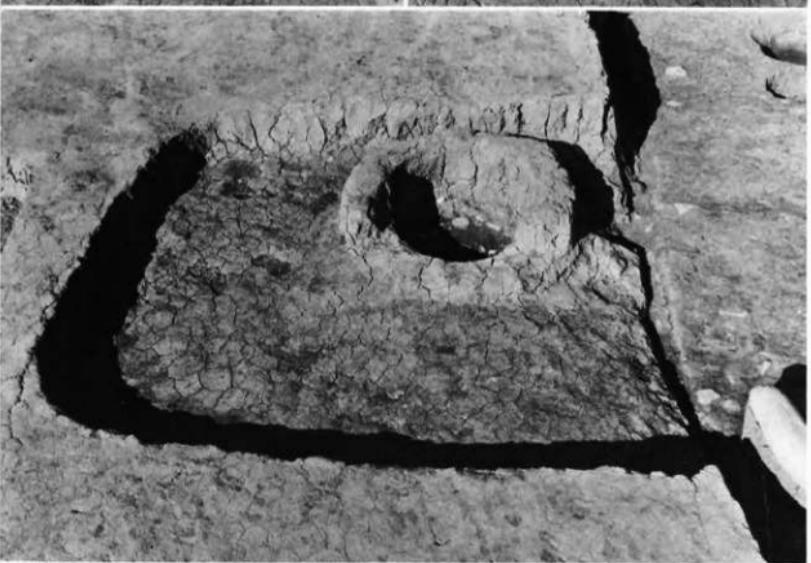


1 Ta7号  
壓穴状造構



3 Ta9号  
壓穴状造構

4 Ta10号  
壓穴状造構



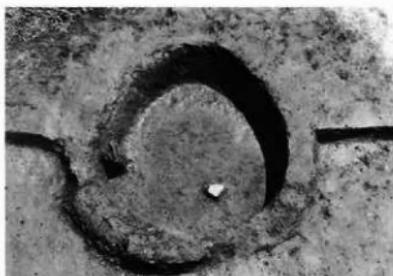
5 Ta11号  
壓穴状造構



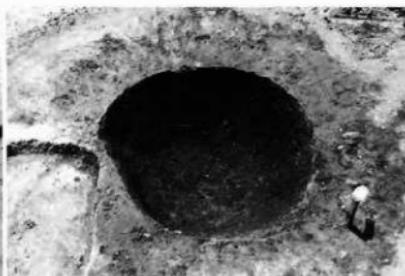
6 Ta11号  
壓穴状造構内施設

7 Ta12号  
壓穴状造構

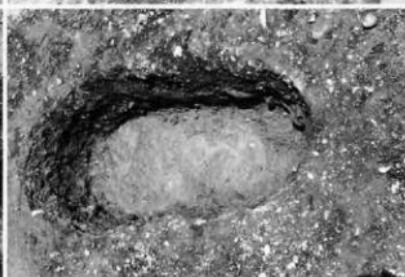
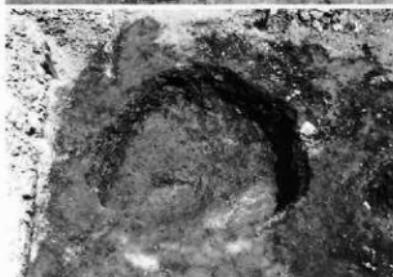
1 D 2号土壤



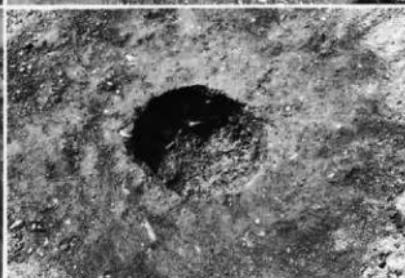
2 D 3号土壤



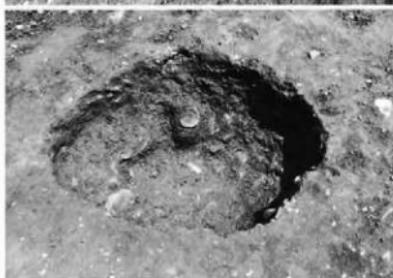
3 D 4号土壤



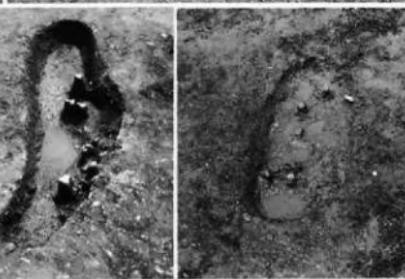
5 D 6号土壤



7 D 8号土壤



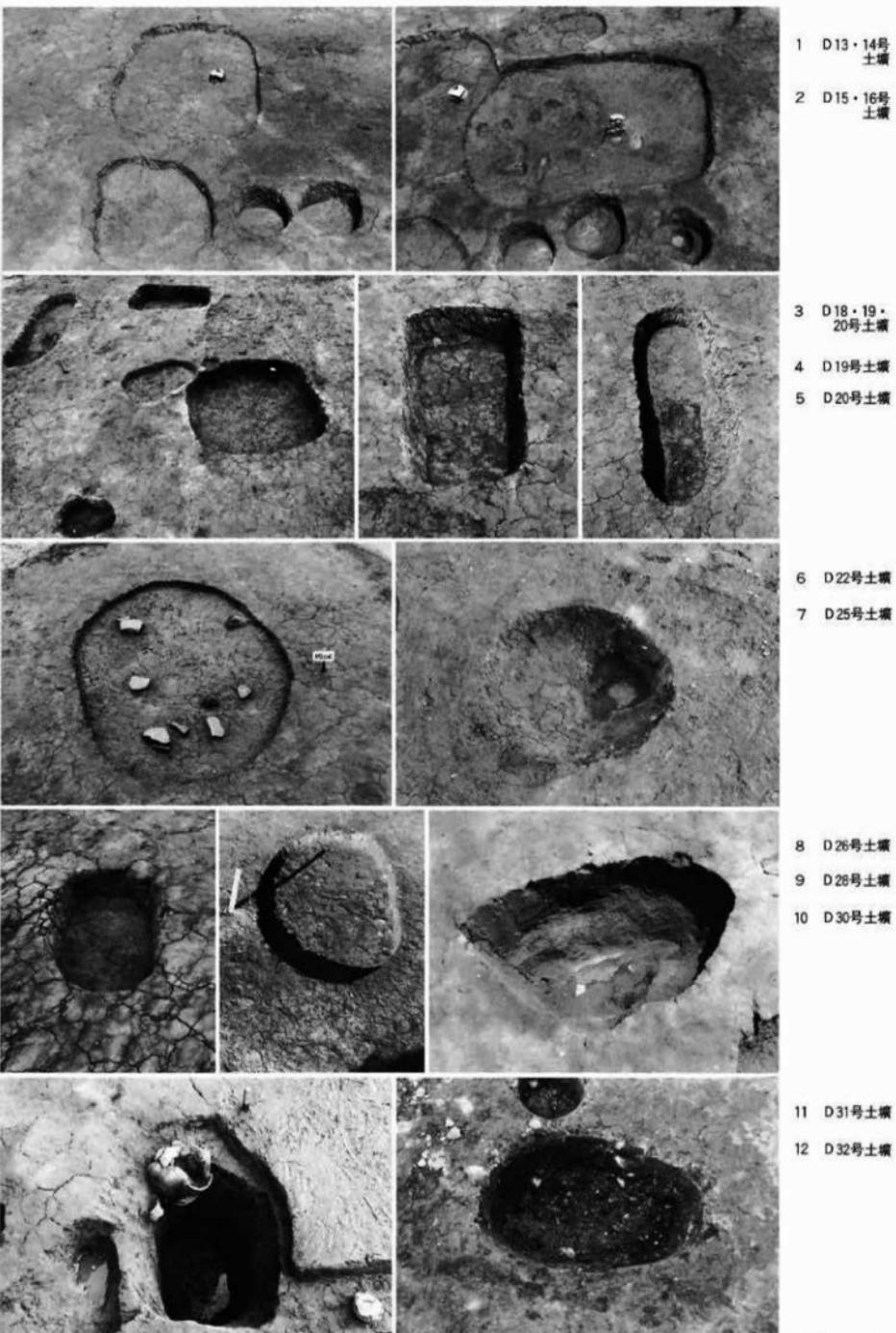
9 D 10号土壤



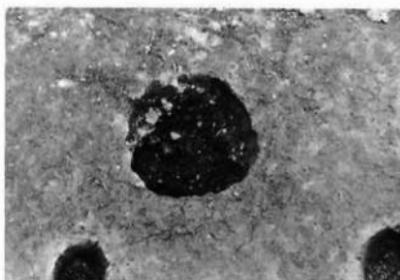
10 D 11号土壤



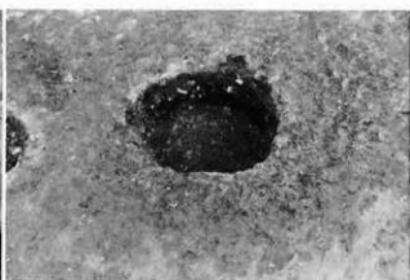
11 D 12号土壤



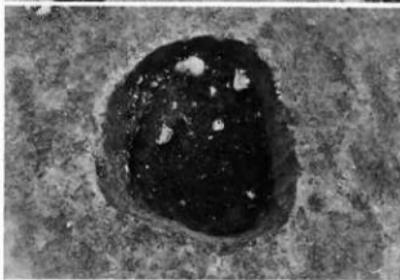
1 D33号土壤



2 D34号土壤



3 D35号土壤

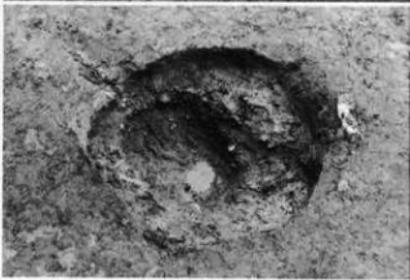
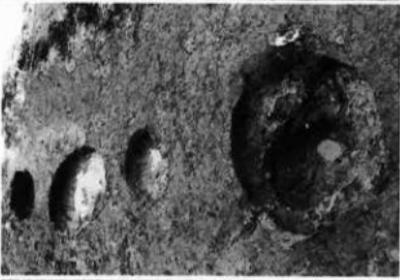


4 D36・37号土壤

5 D38号土壤

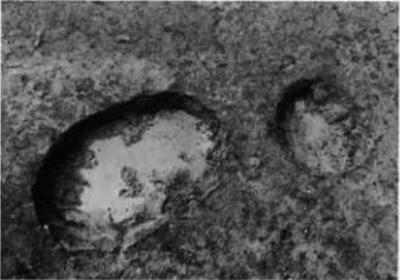


6 D39・40号土壤

7 D41・42・43  
44号土壤

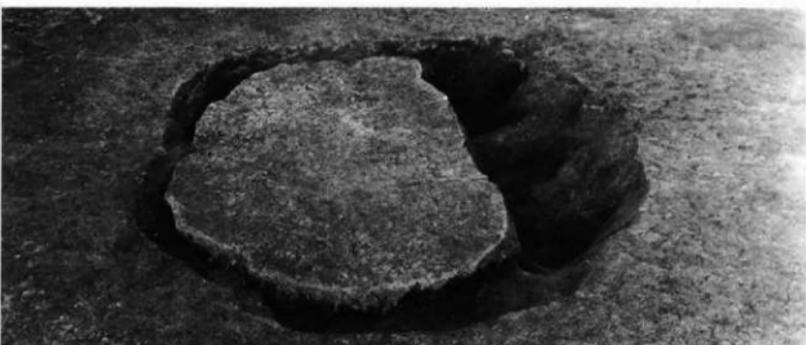
8 D41号土壤

9 D42・43号土壤



10 D44号土壤

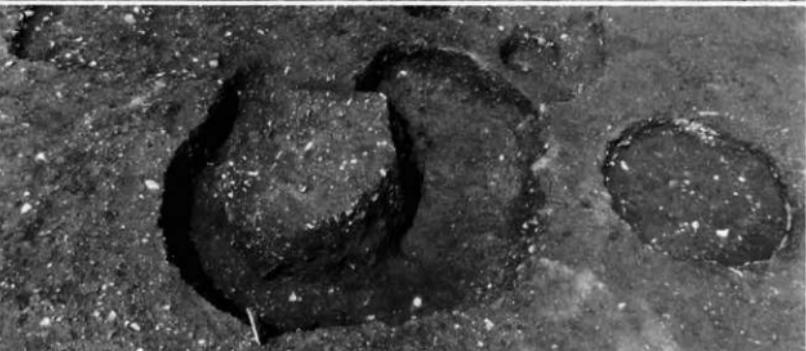
1 T1号  
特殊造構



2 T2号  
特殊造構



3 T3号  
特殊造構



4 T4号  
特殊造構

5 T5号  
特殊造構



1 T6号  
特殊遺構



2 T7号  
特殊遺構



3 T8号  
特殊遺構



4 T8号  
特殊遺構



5 T9号  
特殊遺構

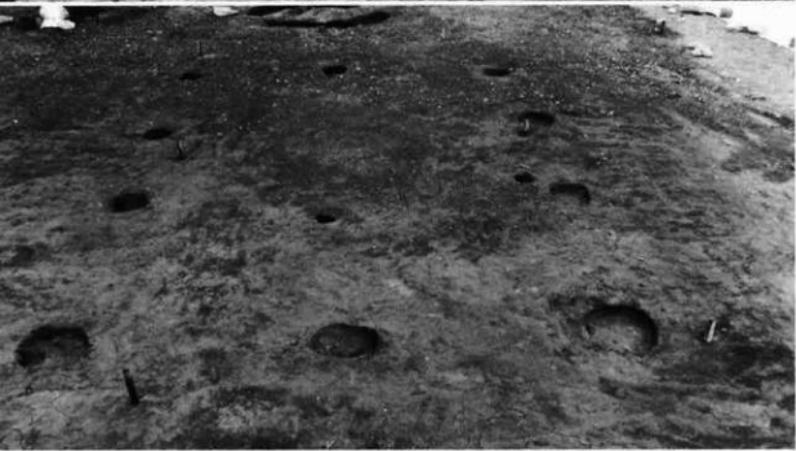


6 T10号  
特殊遺構





1 Ho1号  
掘立柱建物址



2 Ho2号  
掘立柱建物址



3 Ho3号  
掘立柱建物址

1 Ho4号  
掘立柱建物址



2 Ho6号  
掘立柱建物址



3 Ho6号  
掘立柱建物址



1 Ho7号  
標立柱建物址



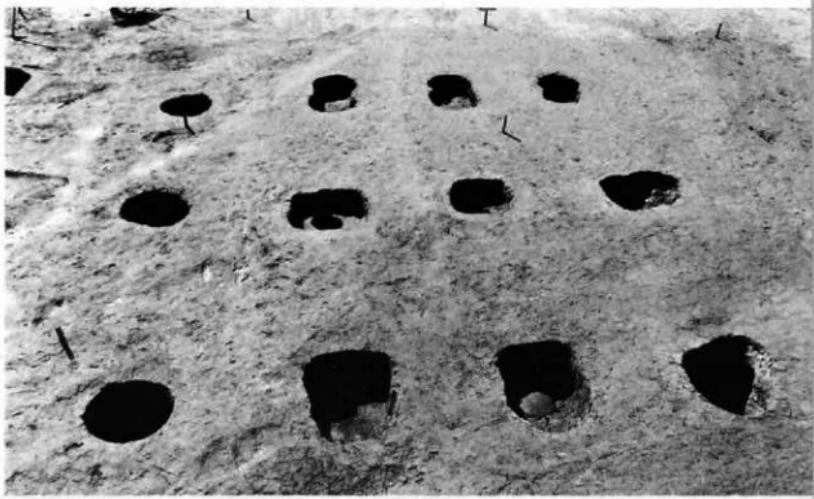
2 Ho8号  
標立柱建物址



3 Ho9号  
標立柱建物址



1 Ho10号  
据立柱建物址



2 Ho11号  
据立柱建物址



3 Ho12号  
据立柱建物址





1 Ho13・14号  
据立柱建物址



2 Ho15・16・17号  
据立柱建物址

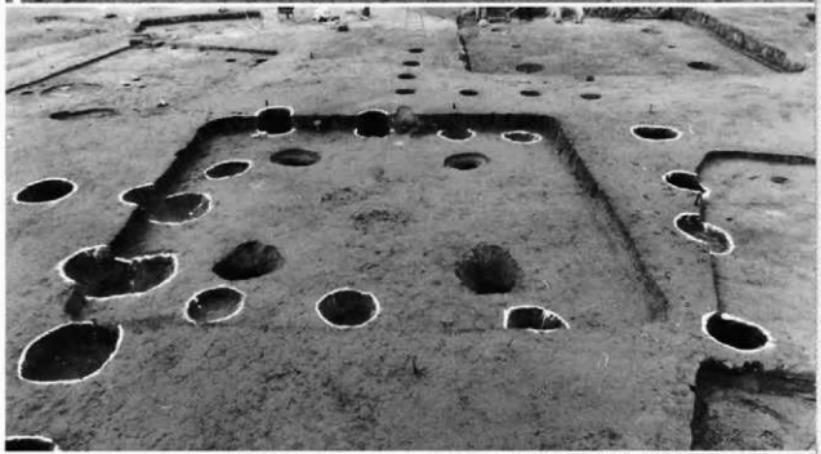


3 Ho16・17号  
据立柱建物址

1 Ho16号  
据立柱建物址



2 Ho17号  
据立柱建物址



3 Ho18号  
据立柱建物址





1 環境1



2 環境2



3 溝

発掘調査  
スナップ

楊村遺跡  
発掘調査団



